

No.

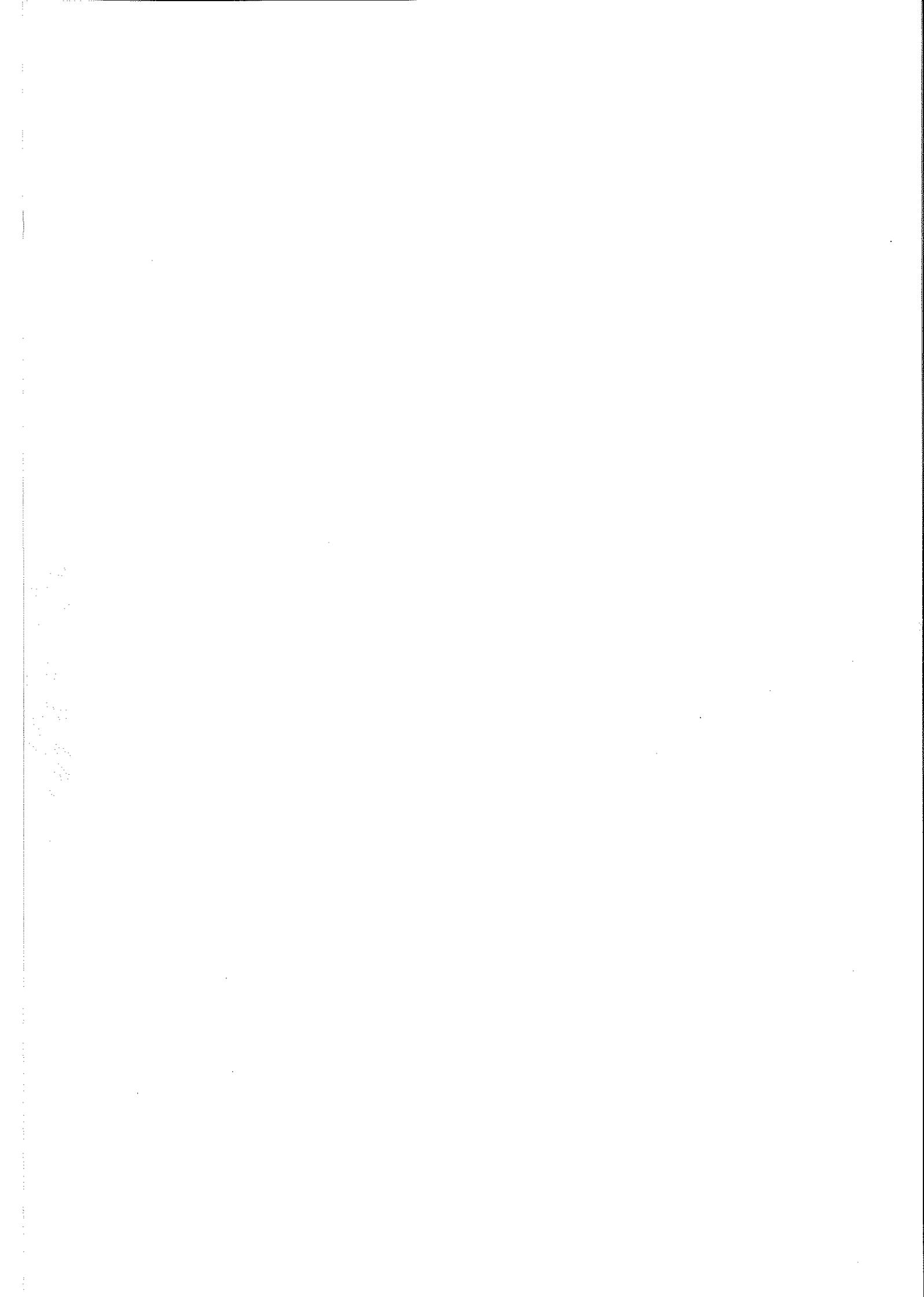
ネパール王国

人口・家族計画第二次基礎調査報告書

昭和62年6月

国際協力事業団
医療協力部

医 業
J R
87 - 23



ネパール王国

人口・家族計画第二次基礎調査報告書

昭和 62 年 6 月

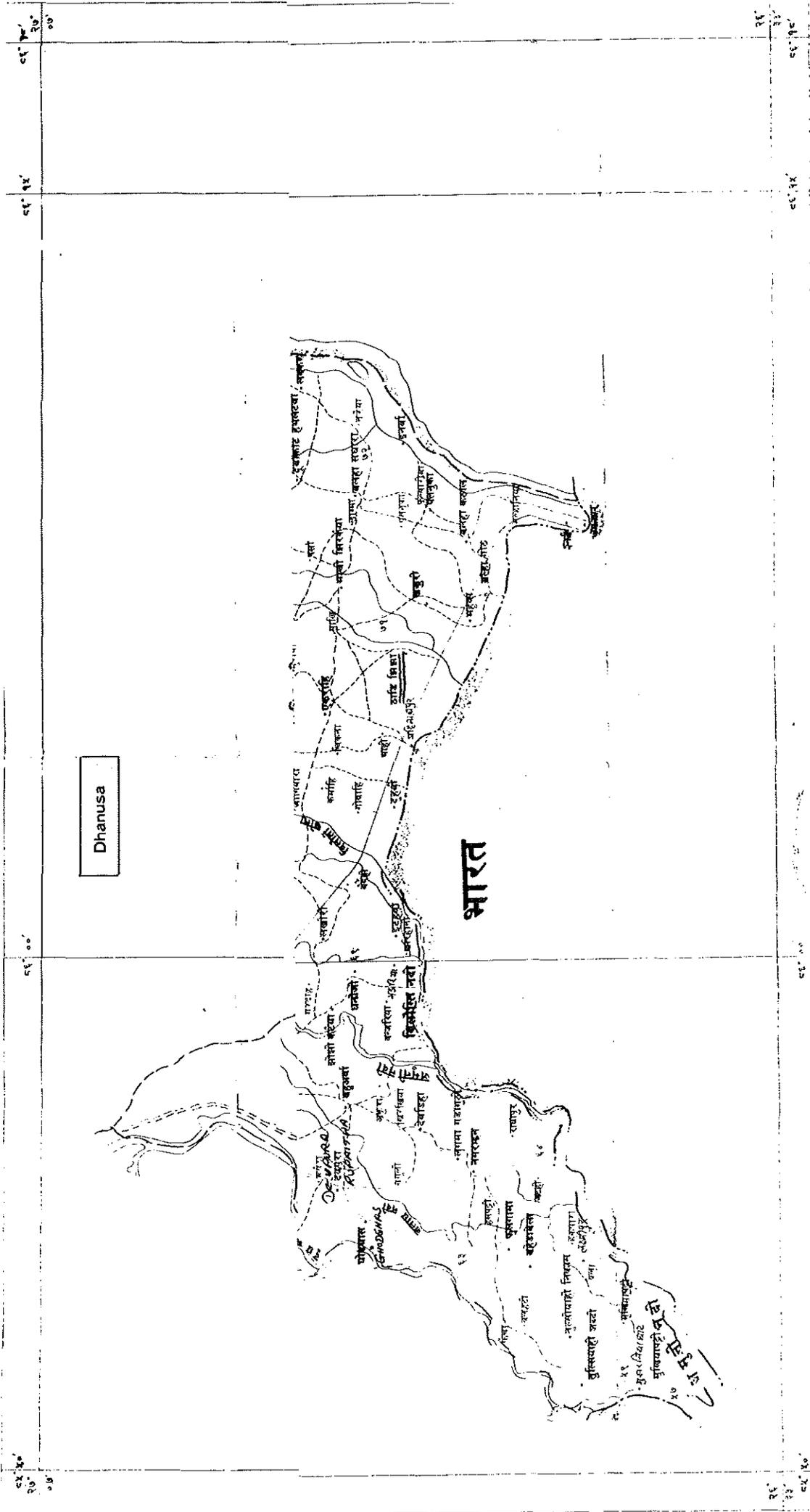
国際協力事業団
医療協力部

ネパール王国

人口・家族計画第二次基礎調査報告書

昭和62年6月

国際協力事業団
医療協力部



目 次

は し が き	3
地図：カブレパランチョーク郡, ダヌーシャ郡	
第1章 調査目的および概要	7
第2章 調査対象地域および調査方法概要	11
第1節 地域概況	13
第2節 医療の現状	16
第1項 疾病構造	16
第2項 ヘルスポストの対応	20
第3項 母子保健および家族計画	23
第3章 調査方法概要	31
第1節 調査の構成	31
第2節 標本抽出法	32
第3節 調査項目	36
第4章 調査結果分析	43
第1節 人口構成および社会・経済的属性	45
第1項 人口分布と年齢構造	45
第2項 配偶関係	47
第3項 教育水準と職業構成	48
第4項 衛生環境	50
第2節 出生	51
第1項 調査対象女子人口の特徴	51
第2項 出生力	54
第3項 希望子供数	54
第3節 家族計画	58
第4節 死亡	67
第5節 疾病	70

第1項 治療とその対策	70
第2項 産前・産後の女子検診	78
第3項 予防接種	82
第4項 経口補水治療法	84
第6節 食習慣と栄養状態	87
第1項 子供の栄養状態と食習慣	87
第2項 妊娠期間の栄養状態	90
第3項 授乳と食習慣	90
第5章 総括：最終目標指標の設定	95
第6章 調査日程, 調査団の構成, 協力者・機関等	105
付 録	119
集計表	
調査票	

第1章 調査目的および概要

第 1 章 調査目的および概要

1981年センサスによれば、ネパールの人口は、15,022,839人、前回センサス1971年から10年間のセンサス間の年間の年平均人口増加率は、2.6%である。この増加率が継続されると仮定すると約27年後には、人口は、現在の約2倍に達する。

センサス間の年平均人口増加率は、1961年から71年が、2.1%であるのに対し、71年から81年には2.6%と人口増加が加速化されている。人口増加加速化の理由は出生率が持続的に高水準を示すのに対して、死亡率が低下しているためである。出生率ならびに普通死亡率の低下には、乳児死亡率の寄与するところが大きい¹⁾

1976年に行なわれたWFS(World Fertility Survey)は、全国レベルで行なわれた初めての標本抽出調査であり、ネパールで行なわれた標本抽出調査の中で最も信頼性が高いとされている。その調査結果によれば乳児死亡率は、出生1,000に対して152と推計されている。1985年国連統計による乳児死亡率の推計値は130であり、その水準は、他のアジア諸国と比較しても高い水準にある。

今回の調査目的は、母子保健・家族計画分野のプロジェクト実施に際し、母子保健・家族計画における基本項目に関する標本抽出調査を行ない、プロジェクト終了時の評価のための指標を確立することである。

ここで今回の調査目的にそって、人口および家族計画の分野における問題点を指摘すると、ネパールの乳児死亡率が、他の諸国と比較して高い水準にあること、さらに、それが、医療の状態が悪いことを反映していることである。もう1つは、乳児死亡率に関する正確なデータの入手ができないことである。乳児死亡率の低下が、出生率にも影響を及ぼすこと、また、医療状態を反映していることは既に述べた通りであるが、医療・公衆衛生の状態を示すデータもまた得ることができないのが現状である。

調査対象地区として、丘陵部からはカブレパランチョーク郡、平野部からダヌーシャ郡が選考されている。2つの地区は、地理的、文化的にも異なる地域であるが、現時点で地区別データ、とくに家族計画・母子保健分野でそれを得ることはむずかしい。そこでプロジェクト実施に際して、母子保健・家族計画分野における現状を知るため、またプロジェクト終了後における評価のため、1985年R/Dにより9指標が提示された。これらの指標は1986年のNFP/MCHプロジェクト(Nepal Family Planning and Maternal Child Health Project)から提出されたプロポーザルにおいて11の指標に改修された。これらの指標は下記に示す通りである。

- ① 妊産婦検診率
- ② 5歳未満乳幼児検診率
- ③ 予防接種率
- ④ 罹病率と疾病原因

- ⑤ 乳児死亡率
- ⑥ 乳児死亡原因
- ⑦ 家族計画受容率
- ⑧ 普通出生率
- ⑨ 食習慣
- ⑩ 乳幼児の栄養状態
- ⑪ その他

今回調査のために用意された質問票は、上記の指標を推計できるような形で、また、とくに今までデータが不足していた母子保健、栄養の分野に焦点をおいて構成されている。

また、1986年のNFP/MCHプロジェクトから提出されたプロポーザルにおいては、各コミュニティにおけるヘルスポストおよびMCHクリニックの対応と住民の医療についてのニーズの把握が、短期目的としてあげられている。

第2章以下の構成は、第2章は調査地域概況、医療および母子保健の現状について、第3章は、標本の抽出法、調査項目について述べた調査の方法概要、第4章においてインタビュー調査によって得た調査結果分析、第5章において、総括として、調査結果より上記の11の指標を推計している。

注)

1) 各サンプル調査に基づく乳児死亡率の推計値は、下記の通りである。

表1-1 乳児死亡率推計値、1954~1978年

年次	乳児死亡率推計値(‰)		
	男子	女子	計
1954	260	250	
1961-71	200	186	
1965-66			130-208
1971			172
1974-75	141	123	133
1974-76	135	130	133
1976	128	138	134
1977-1978	110	98	104

出所) ESCAP, *ESCAP Country Monograph Series*
No. 6, *Population of Nepal*, Bangkok, 1980.

第2章 調査対象地域および調査方法概要

第2章 調査対象地域および調査方法概要

第1節 地域概況

今回の標本抽出調査対象地区となったのは、丘陵部に属するカブレパランチョークと、タライ平野に位置するダヌーシャの2郡である。カブレパランチョーク郡は、標高は1,007mから3,018mであり、中央部開発区、バグマティー・ゾーンに属している。カブレパランチョーク郡のある丘陵部は、亜熱帯の高地という条件が、冷温帯から暖温帯の気候環境を作り、耕地の大半がここに集中し、テラス・フィールドが多く観察される¹⁾。この有利な気候条件を反映し、丘陵部は、タライ地区開発以前は、最も居住条件のよい所であり、人口過密地帯でもあった。

一方、ダヌーシャ郡は、中央部開発区、ジャナカプール・ゾーンに属している。タライ平原は、亜熱帯に属し、以前は、マラリアの流行地であり、またジャングルに覆われていた地帯であったことから、その居住条件はきわめて悪く、人口はあまり過密ではなかった。しかし、1958年マラリア撲滅のための活動が開始され、1960年代を通じてマラリアの撲滅運動が展開された。その結果、急速に死亡率が低下しはじめ、自然増加率が高まっている。

ネパールは地形的にみると、山岳、丘陵、平野（タライ）の3地域に区分することができる。表2-1に示したのは、面積、人口、食糧生産についての山岳・丘陵地帯とタライの比較を示したものである。

表2-1 山岳・丘陵地帯とタライの比較(1981年)

地域区分	面積比	人口比	食糧生産比	初生産比
山岳・丘陵地帯	78	56	37	22
タライ	22	44	63	78

出所) 井上恭子,「ネパールの経済開発計画」,「アジアトレンド」,1983年秋,第24号,106頁

ネパールの人口の過半数は、国土面積の78%を占める山岳・丘陵地帯に居住しているが、食糧生産の中心はタライである。近年、タライ地区の開発は急速に進んでおり、丘陵部からの余剰人口は、政府対策もあり、タライ地区に流入している。

表2-2は、カブレパランチョーク、ダヌーシャ両郡の人口指標を示したものである。ネパールでは、各郡別の出生率を得ることはできないが、その代理指標として、婦人・子供比率(0-4歳人口/15-49歳女子人口×100)を示した。

最近10年間のダヌーシャ郡の人口増加率は、カブレパランチョーク郡よりも高い。しかし、婦人・子供比率における両郡の格差は、あまり大きくないこと、また平均家族数が少ないことから、

表2-2 人口、センサス間人口増加率および婦人・子供比率

	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
人口	307,150	432,569
人口密度	220.0人/km ²	366.6人/km ²
1971-81人口増加率	25.28%	30.84%
平均家族数(人)	6.2	5.4
世帯数	49,545	79,785
婦人・子供比率	58.70	60.28

資料) Central Bureau of Statistics, His Majesty's Government of Nepal, *Statistical Pocket Book of Nepal 1986*, Kathmandu
 Central Bureau of Statistics, His Majesty's Government of Nepal, *Population Census-1981, General Characteristics Tables Vol. I - Part I* Kathmandu, 1984

ダヌーシャ郡においては、近年人口の社会移動による増加もまた急速に進んでいることをうかがわせる。

表2-3は、両郡における言語別人口比率について、上位5言語についてそれぞれ示したものである。

表2-3 言語別人口構成

カブレパランチョーク郡		ダヌーシャ郡	
言語名	人口(%)	言語名	人口(%)
Nepali	194,853 (63.4)	Maithali	372,515 (86.1)
Tamang	72,042 (23.5)	Nepali	38,140 (8.8)
Newari	29,611 (9.6)	Tamang	3,251 (0.8)
Rai, Kirati	1,723 (0.6)	Bhojpuri	2,843 (0.7)
Maithali	1,668 (0.5)	Magar	1,594 (0.4)
Others/Unstated	7,253 (2.4)	Others/Unstated	14,221 (3.3)

資料) Central Bureau of Statistics, HMG, *Population Census-1981, Social Characteristics Tables, Vol. I, Part III*, Kathmandu, 1984.

ネパールは、様々な言語と民族によって構成されている。民族区分は、地形分布と相関しており、各言語集団ごとに異なる人種集団がみられる。したがって、表2-3の分布から、両郡における人種別構成を知ることができる。

ダヌーシャ郡人口の86.1%は、マイティリ語を使用している。マイティリ語は、インド・ビハール語に構造的に類似しており、地理的条件からいってもダヌーシャ郡においては、その社会的慣習にも、インドの影響が強く現われている。たとえば、既婚女子に関する慣習をみると、パル

ダの影響がみられ、とくに外部から来た男性の目から姿をかくすという傾向が強くみられる。これは、社会 — とくに女性における保守性を示し、女性の社会進出を遅くしている理由の1つと考えられる。

一方、カブレパランチョーク郡の人口構成は、ダヌーシャ郡のそれより複雑である。すなわち、ネパール語、タマン語、ネワール語が、それぞれ、63.4%、23.5%、9.6%である。ネパール語、ネワール語は、山地低部にみられるインド・ヨーロッパ語族であり、カースト社会を構成している。一方、タマン語は、山地高部のビルマ・チベット語族である。タマンの生業についての特徴は、「トウモロコシ、ヒエ、ムギ、ジャガイモ等を植え、低い所では、水稻をつくり、牛、水牛、ヤギ、ブタを飼育している……木工、竹細工、石工、毛織者にすぐれた技術を持ち、カトマンズ盆地という大消費地の需要を満たしてきた。」²⁾以上のことから、インドの影響を受けたダヌーシャ郡の方が比較的均質な社会構成であったのに対し、カブレパランチョーク郡は、社会構造が複雑であることが示されている。

産業構造に関していえば、ネパール人口の94%は農村に居住し、労働人口の90%は、農業に従事している。この産業構造は、カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡にも共通するものである。表2-4は、産業構造に関する両地区の比較を示したものである。

表2-4 産業別人口

		(%)	
産 業 区 分		カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
農 業		93.3	80.5
サ - ビ ス		2.5	14.2
商 業		1.7	2.9
製 造 業		0.2	1.2
そ の 他		2.3	1.2

資料) Central Bureau of Statistics, HMG, *Population Census-1981, Economic Characteristics Tables*, Vol. I, Part V, Kathmandu, 1984.

カブレパランチョーク郡においては、労働人口の93.3%、ダヌーシャ郡80.5%が、農業に従事しており、その比率はきわめて高い。

この高い農業従事人口を反映し、人々の生活様式もまた、1年の農業カレンダーを踏襲した形で営まれている。ダヌーシャ郡の場合、その農業形態は、水の供給に応じ、供給が十分な所では、換金作物として、重要な米作が中心であり、6-7月が田植え、10-11月が刈り取り、その後、小麦の植え付け、4月に収穫である。また水の供給の少ないところでは、とうもろこしの三期作が行われている。カブレパランチョーク郡は、地形、高度、水の供給により主作物と農業形態は異なるが、冬作として大麦、小麦、ソバ、ヒエ、トウモロコシが生産され、給水が十分な所では、稲作が行われている。本年(1986年)の収穫時期は少し遅いようであるが、調査期(1986年11月

-12月)は、米の刈り取りが終わりつつあり、農閑期に入るところであった。

教育水準全体は、男子、女子ともにカブレパランチョーク郡において高い。1951年王制復古により、立憲君主制がとられる以前、教育機関に基礎をおいた教育体制の発展にはあまり努力がなされていなかった。1951年以降、教育水準向上に向けての政策努力が重ねられ、1971年の国家教育計画(National Education System Plan)が発足し、機構的、財政的、教師の配置、カリキュラム等教育に関する基礎に大きな変化が加えられ、教育改革史上の転換点となった。³⁾表2-5によると、識字率は6-9歳人口を除けば、低年齢層において高い。これは、こうした教育水準向上についての国家計画の開始時期と関連性をもつ。ネパールにおいて、近代的教育の開始時期はここ20年位の間のことであり、これを反映し、その教育水準は、10代後半、20代において高くなっている。

表2-5 男女、年齢別識字率 (%)

年 齢	カブレパランチョーク郡		ダヌーシャ郡	
	男 子	女 子	男 子	女 子
6-9	29.5	16.6	25.3	10.4
10-14	53.3	25.9	42.1	15.6
15-19	49.3	17.1	41.6	11.7
20-24	41.6	11.4	35.4	7.7
25-29	37.5	9.6	29.8	6.5
30-34	32.9	6.9	26.1	5.0
35-39	29.5	6.4	24.1	4.0
40-44	25.8	5.3	19.0	2.8
45-49	23.9	4.5	18.4	2.9
50+	19.3	4.3	14.7	1.7
計	35.8	12.3	28.5	7.3

資料) Central Bureau of Statistics, HMG, *Poulation Census-1981, Social Characteristics Tables*, Vol. I, Part IV, Kathmandu, 1984.

第2節 医療の現状

第1項 疾病構造

傷病統計は、「ネパール王国人口・家族計画基礎調査報告書」においても報告されているように、ネパールの傷病に関する統計がないため、いくつかの病院統計から推計する方法がとられている。このような現状を改善するために、1986年4月から、各ヘルスポストから傷病レポートが、各郡の郡事務所を通じて保健省に報告されるシステムが導入されている。このシステムは、まだ開始されたばかりでもあり、また、各ヘルスポストにより、若干開始時期に差がある。ここに示

した統計は、今回調査対象となった両郡、それぞれ4つのヘルスポストの報告をまとめたものである。

表2-6、表2-7により、まず各月別の患者数をみると、両郡とも10-11月に患者数の減少がみられる。これは、すでに地域概況において示した通り、農繁期にあり、ヘルスポストを訪れる時間的余裕がなくなること、また重病の場合でも、病人に付き添う人でさえ得ることが困難なためと思われる。しかしながら、患者数の推移を見る上で留意すべきなのは、件数に数えられている患者が、年齢別、性別に区分されていないことである。さらに、対象人口の特定がされていないので、これをもって有病率とすることもまた危険である。とくにカブレパランチョーク郡は、感染症の占める比率が高い。家屋構造の影響から家族内感染率が高くなることも考慮しなくてはならない。さらに、ここでは、妊産婦の疾病についての報告が非常に少ない。妊産婦自体の総数把握ができていないので、明言はできないが、産前・産後の検診習慣が一般的でなく、受診率がきわめて低いためであると考えられる。この保健省、郡事務所を通じての報告は、週1度併設されているMCHクリニックの報告とは管轄外であるため、別に行われている状況であり、現状をより正確に把握するためには、これらの現状もあわせて考慮すべきである。

ネパールの気候は、亜熱帯モンスーン気候であり、両郡とも雨期が、おおよそ6月-9月、乾期が10月-5月である。ただし、年間の気温変化については、標高により異なる。丘陵部にあるカブレパランチョーク郡においては、気温の年間月別格差は14度程度で少ない。一方、タライ地方では、冬の乾期には10度から20度であるのに対し、暑熱期には40度を超える暑さとなる。

季節ごとの疾病構造の変化については、年間を通じた報告をまだ得ることが不可能なので、明確にすることはできない。しかしながら、年間を通じての気温変化、雨期、乾期の区別がより明確であるダヌーシャ郡においては、疾病構造に若干の季節変化がみられる。ダヌーシャ郡の場合、雨期である6月-9月に感染症患者の比率が高くなっている。感染症の中でもとくに消化器系感染症の比率が高まっている。この時期は、河川が氾濫する場合もあり、汚物等の処理施設が完備していないことから、飲料水等が汚染されるものと思われる。また、消化器系の疾患とも関連することであるが、この時期には、食物の保存状態も不備と思われ食中毒も危惧される。

さらに、ヘルスポストは検査設備に乏しく、複雑な疾病に対する対応がむずかしいことも、この傷病統計をみる上で考慮されるべきことである。たとえば、両郡を通じ寄生虫感染率が高い。寄生虫は、腸内におけるタンパク質と炭水化物を消費し、ビタミンAの吸収阻害を助長すると報告されている⁴⁾。寄生虫は、栄養失調の原因となるだけでなく、虫体が細い血管（脳、心臓等）に入りこみ、一種の脳梗塞、心筋梗塞等の症状をおこすことも時々ある。寄生虫対策は重要な課題であり、駆虫剤の一斉投与、継続投与が必要と思われる。ヘルスポストにおいては、顕微鏡等、検便のために必要な検査設備はほとんどなく、実際の疾病率はさらに高いと思われる。また、表の脚注にも示したが、たとえば、サベイラ・ヘルスポストにおいては、感染症の小分類について、分類がされていない月があった。これは4-5月の報告のみであるが、傷病統計全体についてもいえることであるが、ヘルスポストで治療できる病気の限界と設備の不足が、疾病分類をむ

表2-6 疾病構造 -カブレパランチョーク郡- (1986年7月~12月)

病名	() 内%										
	7-8月*	8-9月	9-10月	10-11月	11-12月	計					
消化器系感染症	507 (25.0)	202 (5.6)	154 (7.1)	117 (6.8)	50 (2.9)	1,030 (9.2)					
結核	3 (0.1)	5 (0.1)	1 (0.0)	3 (0.2)	29 (1.7)	41 (0.4)					
レジオネラ症	2 (0.1)	7 (0.2)	-	2 (0.1)	2 (0.1)	13 (0.1)					
百日咳	2 (0.1)	6 (0.2)	1 (0.0)	-	-	9 (0.1)					
風疹	8 (0.4)	9 (0.3)	5 (0.2)	12 (0.7)	5 (0.3)	39 (0.3)					
麻疹	13 (0.6)	17 (0.5)	3 (0.1)	5 (0.3)	2 (0.1)	40 (0.4)					
マラリア	4 (0.2)	-	-	-	1 (0.1)	5 (0.0)					
寄生虫症	88 (4.3)	150 (4.2)	176 (8.2)	156 (9.1)	247 (14.1)	817 (7.3)					
呼吸器系疾患	242 (12.0)	485 (13.5)	329 (15.3)	156 (9.1)	161 (9.2)	1,373 (12.2)					
皮膚疾患	43 (2.1)	374 (10.4)	436 (20.2)	370 (21.7)	455 (26.0)	1,678 (14.9)					
眼疾患	20 (1.0)	83 (2.3)	68 (3.2)	59 (3.5)	88 (5.0)	318 (2.8)					
その他	1,092 (54.0)	2,254 (62.8)	982 (45.6)	829 (48.5)	711 (40.6)	5,868 (52.2)					
計	2,024	3,592	2,155	1,709	1,751	11,231					

* ナラヘルズボストを除く。

出所) District Office, Public Health, Kavrepalanchok

表2-7 疾病構造 -ダヌーシヤ郡- (1986年4月~11月)

病名	() 内%										
	4-5月	5-6月	6-7月	7-8月	8-9月	9-10月	10-11月	計			
消化器系感染症	178 (11.9)	289 (14.2)	203 (7.5)	263 (9.6)	213 (8.6)	115 (5.6)	89 (5.0)	1,350 (8.8)			
結核	5 (0.3)	6 (0.3)	3 (0.1)	3 (0.1)	2 (0.1)	1 (0.0)	-	20 (0.1)			
レジオネラ症	5 (0.3)	3 (0.1)	4 (0.1)	5 (0.2)	7 (0.3)	7 (0.3)	3 (0.2)	34 (0.2)			
百日咳	-	5 (0.2)	-	-	-	-	-	5 (0.0)			
風疹	5 (0.3)	-	5 (0.2)	-	-	-	-	10 (0.1)			
麻疹	4 (0.3)	-	-	-	2 (0.1)	-	-	6 (0.0)			
マラリア	3 (0.2)	4 (0.2)	6 (0.2)	5 (0.2)	7 (0.3)	4 (0.2)	18 (1.0)	47 (0.3)			
寄生虫症	85 (5.7)	125 (6.1)	148 (5.5)	207 (7.6)	137 (5.5)	113 (5.5)	118 (6.6)	983 (6.1)			
呼吸器系疾患	78 (5.2)	115 (5.6)	123 (4.5)	135 (4.9)	80 (3.2)	94 (4.6)	158 (8.9)	783 (5.1)			
皮膚疾患	435 (29.0)	466 (22.9)	848 (31.3)	957 (34.9)	808 (32.6)	781 (38.3)	709 (39.9)	5,004 (32.7)			
眼疾患	25 (1.7)	90 (4.4)	190 (7.0)	71 (2.6)	91 (3.7)	43 (2.1)	21 (1.2)	531 (3.5)			
その他	675 (45.1)	933 (45.8)	1,180 (43.5)	1,095 (39.9)	1,133 (45.7)	882 (43.2)	663 (37.3)	6,561 (42.9)			
計	1,498 (71)*	2,036	2,710	2,741	2,480	2,040	1,779	15,284 (71)*			

* サバイラヘルズボストの場合, 4~5月の感染症報告は, 小分類に分けられていない。

出所) District Office, Public Health, Dhanusa

ずかしくしていると考えられる。

両郡のヘルスポストからの報告の時期に若干ずれがあるため、疾病構造について共通に得られる時期 — 8月～11月の疾病をまとめたのが、表2-8である。

表2-8 カブレパランチョーク郡とダヌーシャ郡疾病構造の相違(1986年8月-11月合計患者数)

病 名	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
消化器系感染症	473 (6.3)	417 (6.6)
結核	9 (0.1)	3 (0.0)
レ プ ラ	9 (0.1)	17 (0.3)
ジ フ テ リ ア	7 (0.1)	—
百日咳	26 (0.3)	—
風疹	25 (0.3)	2 (0.0)
マ ラ リ ア	—	29 0.5
寄生虫症	482 (6.5)	368 (5.8)
呼吸器系疾患	970 (13.0)	332 (5.3)
皮膚病	1,180 (15.8)	2,298 (36.5)
眼疾患	210 (2.8)	155 (2.5)
その他の	4,065 (54.5)	2,678 (42.5)
計	7,456(100.0)	6,299(100.0)

出所) District Office, Public Health, Kavrepalanchok and Dhanusa

大分類においては、カブレパランチョーク郡において、感染症、呼吸器系疾患の比率が高く、一方、ダヌーシャ郡においては、皮膚病の比率が高い。カブレパランチョーク郡の家屋構造は多くの場合、土間造りであり、屋内に台所が配置されているが、その換気は不十分であり、呼吸器系疾患の一因になると思われる。とくに、気候的にも寒冷である冬季に呼吸器系疾患が多くみられる。その原因として、暖房と家屋構造、着衣、低栄養等が考えられる。さらに、家屋の1階部分は家畜小屋であることが多く、衛生上も問題であると思われる。

一方、ダヌーシャ郡は、気候上からみても、蚊をはじめとする虫の繁殖地であり、虫さされのあとの掻き傷が、化膿の原因となったり、また、両郡に共通する問題であるが、栄養失調による皮膚疾患、また衛生教育の不足から、皮膚が不衛生な状態にあることもその一因である。ヘルスポストにおける診察でも、まず清潔にするようにとの指導がなされており、衛生教育の必要性が感じられる。

両郡に共通している眼疾患の原因としては、カブレパランチョーク郡の場合は換気不十分な家屋構造が、また、両郡に共通することとして、土ぼこり、不衛生な生活習慣が考えられるが、同時に、栄養状態の悪さもこれを助長している。

第2項 ヘルスポストの対応

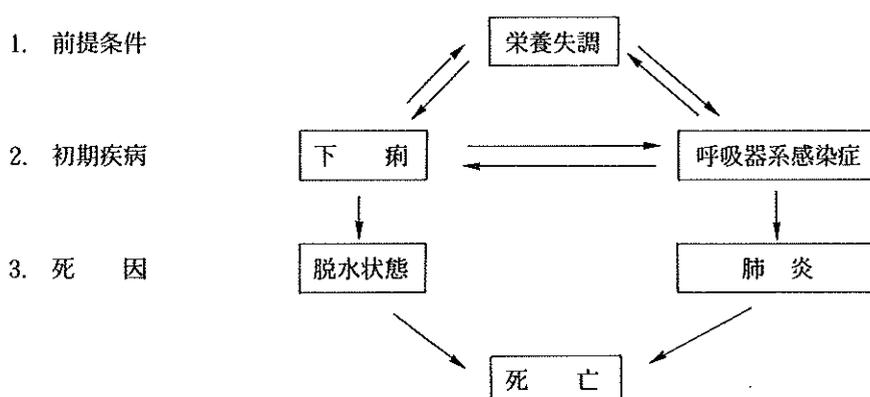
ヘルスポストは、医療施設の乏しいネパールにおいて、初期医療として重要であると思われる。今回の調査項目には、こうした機能を果たしているヘルスポストについて下記のような項目について調査が行われている。

- ① ヘルスポスト責任者の資格と経歴、ヘルスポスト外の医療行為の有無
- ② 管轄地域のパンチャヤート数と最遠隔地の距離
- ③ 平均患者数
- ④ 5歳以下の乳幼児の主な疾病と死因
- ⑤ ヘルスポスト周辺の医療（薬局、開業医の有無）
- ⑥ 地域の支持（保健委員会の有無とその有用性）
- ⑦ ヘルスポストスタッフ（人員と欠員）
- ⑧ ヘルスポストの設備等（独自の建物かどうか、薬の供給、施設、備品等）

表2-9および表2-10は、上記の調査結果をまとめたものである。

第1項との関連で5歳以下の主な疾病をみると、カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡ともに下痢があげられている。同時に下痢は主な死因としてもあげられている。主な疾病として、ナラ、サベイラ、タラパティの各ヘルスポストは栄養失調症、またカブレパランチョーク郡の全ヘルスポストにおいて、呼吸器系感染症があげられていることから、死因との連環について次のような図式が考えられる。

図1 乳児死亡原因についての因果関係



出所) Terence H. Hull & Jon E. Dohde, *Prospects for Rapid Decline of Mortality Rates in Java*, Population Institute, Gudjah Mada University, Yogyakarta, 1978.

疾病構造は各ヘルスポストで明らかにされているが、地域医療体制は、十分とはいえない。各ヘルスポストに共通するのは、マンパワーおよび諸設備が不十分なことである。医薬品、医療機器、診察台等の備品は、ともに不十分であり、すでに示した疾病への十分な対応を困難にしてい

表2-9 ヘルスポスト・インフォメーション (カブレパランチョーク郡)

ヘルスポスト名		Bhumlutar	Dapcha	Khopasi	Nala
H P	経験年数	15年	7.75年	11年	8.25年
責任者	資格	Health Assistant	10年生終了	Intermediate in MS	Intermediate in MS
パンチャヤート数		6	5	10	10
最遠隔地の距離		9 km	12km	51km	8 km
H P 独自の建物		有り	無し	無し	無し
1日平均患者数		50	45	30	50
主な疾病 (5歳未満)		破傷風 百日ぜき 下痢 気管支炎 赤痢	下痢 皮膚病 肺炎 赤痢 寄生虫症	下痢 呼吸器系感染症 皮膚病	寄生虫症 皮膚病 下痢 / 赤痢 呼吸器系感染症 栄養失調
主な死因 (5歳未満)		下痢 破傷風 はしか 呼吸器系感染症	下痢 呼吸器系感染症	下痢 はしか 呼吸器系感染症	下痢 はしか 呼吸器系感染症 栄養失調
HPにおける薬の供給		不十分	不十分	不十分	不十分
地域の薬局の有無		無	有	有	有
地域の開業医の有無		無	無	無	無
保健委員会の有無		無	有	有	有
保健委員会の有用性		-	否	有用	有用
HP以外での医療行為		無し	無し	有り	有り
HPスタッフ と欠員 ()内 欠員	Health A.	1	1(1)	1	1
	A. H. W.	1	無回答	2(1)	2(内1名は他HP兼任)
	A. N. M.	無回答	無回答	2	2
	V. H. W.	無回答	4(1)	6(5)	無回答
	事務	無回答	無回答	1(1)	無回答
	Peon	1	1	無回答	無回答
マンパワー		不足	不足	不足	不足
保管場所の有無		有	無	無	無
必要な設備の有無		有	有	無	無
H P の 問 題 点		医療スタッフ不足 必要な備品不足	HP独自の建物必要 医療スタッフ不足 医薬品不足	HP独自の建物必要 備品・設備不足 医薬品不足 適宜な訓練の必要性	HP独自の建物必要 必要な備品不足 医薬品不足 医療スタッフ不足

表2-10 ヘルスポスト・インフォメーション (ダヌーシャ郡)

ヘルスポスト名		Godar	Ghodaghas	Sabaila	Tarapatti
H P 責任者	経験年数	5年	17年	8年	6年
	資格	S.L.C.	S.L.C.	S.L.C.	Intermediate
パンチャヤート数		7	11	12	8
最遠隔地の距離		11km	16km	8 km	9 km
H P 独自の建物		無し	有り	無し	有り
1日平均患者数		30	30	25	40
主な疾病 (5歳未満)		下痢 耳疾患 寄生虫症 栄養失調症	下痢 外傷 皮膚病 せきと風邪	下痢 皮膚病 せき 栄養失調症 寄生虫症	下痢 皮膚病/寄生虫症 栄養失調症 赤痢 熱病
主な死因 (5歳未満)		下痢 呼吸器系感染症	下痢 呼吸器系感染症	下痢	下痢 呼吸器系感染症 熱病
HPにおける薬の供給		不十分	不十分	不十分	不十分
地域の薬局の有無		有	無	有	有
地域の開業医の有無		無	有	有	有
保健委員会の有無		有	有	有	有
保健委員会の有用性		否	否	否	有用
HP以外での医療行為		有り	無し	無し	有り
HPスタッフ と欠員 ()内 欠員	Health A.	1	1	1	1
	A. H. W.	2(2)	2 (内1名他HP兼任)	2	2
	A. N. M.	2(2)	2(1) 他HP兼任	2(2)	2(1)
	V. H. W.	無回答	6(5)	6(6)	6(6)
	事務	1	1	1	1
	Peon	3	2	2	3
	清掃人	無回答	1	1	無回答
マンパワー		不十分	十分	不十分	不十分
保管場所の有無		無	有(ただし不十分)	無	有
必要な設備の有無		無	有	有	無
H P の 問題 点		HP独自の建物必要 救急医療体制が無い 医療スタッフ不足 医薬品不足 備品不十分	宿泊施設必要 飲料水の供給 保管場所の必要性 備品不十分 適宜な医療訓練必要	医薬品不十分 無資格医師による医療妨害。 HP独自の建物必要 備品・スタッフ不足	医薬品不十分 設備・備品不十分 HP維持費が必要

る。とくに、カブレパラチョーク郡においては、地域内に開業医もなく、ブムルタルヘルスポスト周辺には、薬局等もないことから、ヘルスポストの持つ役割は非常に大きく、医療体制の充実が望まれる。

皮膚病等の疾病原因の1つとして衛生状態が悪いことをあげたが、衛生教育の一環として現在、母子保健・家族計画の指導を行っているヘルス・ワーカー（Panchayat Based Health Worker）の活用もまた考えられる。PBHWは、年間契約ベースで、読み書きできる人で、各パンチャヤートからの推薦により、郡事務所で選考する。村民に母子保健・家族計画関連のモチベーションを与えるという仕事の内容から、PBHWは、女子を採用する方向に向っているが、すでに述べた教育水準からいくと、その人選はむずかしく、これが欠員を多くしている理由の1つでもある。

ヘルスポストの建物については、ブムルタル、ゴードガス、タラパティ以外は、借家である。備品・薬品の保管場所をはじめとして、診療体制にふさわしい施設が整えられる必要がある。こうした施設が無い場合、これを補うために、現在のヘルスポストがそうであるように、各地域単位（パンチャヤート）の支援が必要である。運営上の問題として、保健委員会の有無とその有用性が考えられるが、ヘルスポストの責任者によるとコパシー、ナラ、タラパティの各ヘルスポスト以外では、その有用性は認められていない。保健委員会の医療活動への関心は、同時に地域住民のヘルスポストをはじめとする医療に対する意識を反映しているものと考えられる。また、今回のサンプル・ポイントであるサベイラ・パンチャヤートにおいては、無資格医師による医療が問題とされた。サベイラは、バザールが行われる地域であり、経済的水準は若干高いようである。同パンチャヤートにはアユルベティック診療所もあり、医療環境としては恵まれていると思われるが、こうした正式の診療所およびヘルスポスト以外に無資格医師の診療行為にも患者が集る状況は、検討を要する問題である。無資格医師による診療は、もちろん是正されるべきであり、そのためにもヘルスポストにおける医療は、いっそう充実されるべきである。

第3項 母子保健および家族計画

上記のような疾病状況のもとで、母子保健および家族計画については、どのような活動を行っているのだろうか。

表2-11、表2-12は、各郡別の過去5年間のプロジェクト別の支出を示したものである。事務局経費以外では、PBHW等の契約ベースの件費が、その大半を占めている。ついで、不妊手術のための経費であり、母子保健、教育普及関係の支出は少ない。ただし、ダヌーシャ郡では、UNFPA、MCHインテンシフィケーションプログラムが行われており、1985-86年において、母子保健支出が10%を超えていることは注目に値する。

表2-13、表2-14は、各郡における母子保健および家族計画の実績を示したものである。年変動が大きいため、時系列的傾向を指摘することはむずかしいが、産前産後の検診率、および5歳以下の子供の検診率は上昇している。予防接種についてはその実績は少ないが、これは予防接種キャンプ等、他の機関が主としてあたっているためと考えられる。

表2-11 カブレバランチョーク郡 FPO プロジェクト支出

(Rs.)

年次	General	Contract	V. S. C.	Sterilization	I. E. C.	M C H	計
1981-82	441,648.82 (61.8)	249,842.58 (34.9)	-	23,513.33 (3.3)	-	-	715,004.73 (100.0)
1982-83	424,500.95 (42.9)	468,241.35 (47.3)	-	91,181.86 (9.2)	5,380.00 (0.5)	-	989,304.16 (100.0)
1983-84	581,148.22 (49.8)	37,197.12 (3.2)	-	187,326.75 (16.0)	2,034.00 (0.2)	-	1,167,706.09 (100.0)
1984-85	703,144.91 (51.3)	500,960.83 (36.5)	3,000.00 (0.2)	162,140.70 (11.8)	2,730.00 (0.2)	-	1,371,976.44 (100.0)
1985-86	733,315.21 (38.3)	823,703.08 (43.0)	101,931.50 (5.3)	252,353.98 (13.2)	2,730.00 (0.1)	-	1,914,033.77 (100.0)
計	2,883,758.11 (46.8)	2,439,944.96 (39.6)	104,931.50 (1.7)	716,516.62 (11.6)	12,874.00 (0.2)	-	6,158,025.19 (100.0)

出所) FP/MCH Dhulikhel District Office

表2-12 ダヌーシャ郡 FPO プロジェクト支出

(Rs.)

年次	General	Contract	V. S. C.	Sterilization	I. E. C.	M C H	計
1981-82	330,172.80 (29.0)	410,742.22 (36.0)	43,347.20 (3.8)	355,921.00 (31.2)	-	-	1,140,183.22 (100.0)
1982-83	337,476.00 (23.9)	488,232.00 (34.6)	62,334.00 (4.4)	521,133.00 (36.9)	3,117.00 (0.2)	-	1,412,292.00 (100.0)
1983-84	731,266.00 (35.9)	516,043.00 (25.3)	89,727.00 (4.4)	698,274.00 (34.3)	2,343.00 (0.1)	-	2,037,653.00 (100.0)
1984-85	821,872.00 (34.1)	774,160.00 (32.2)	124,401.00 (5.2)	683,849.00 (28.4)	2,684.00 (0.1)	-	2,406,966.00 (100.0)
1985-86	476,234.00 (15.9)	1,321,867.00 (44.3)	370,163.00 (12.4)	489,872.00 (16.4)	2,640.00 (0.1)	325,299.00 (10.9)	2,986,075.00 (100.0)
計	2,697,020.80 (27.0)	3,511,044.22 (35.2)	689,972.20 (6.9)	2,749,049.00 (27.5)	10,784.00 (0.1)	325,299.00 (3.3)	9,983,169.22 (100.0)

出所) FP/MCH Dhanusa District Office

表 2-13 MCH実績件数, カブレバランチョーク郡 (1982-86)

		1982-1983		1983-1984		1984-1985		1985-1988	
		件数	件数	増加率 (%)	件数	増加率 (%)	件数	増加率 (%)	
Vasectomy		323	340	5.3	780	129.4	531	-31.9	
Laparoscopy		183	217	18.6	242	11.5	283	16.9	
Pill Distributed	New	1,095	778	-28.9	1,370	76.1	1,885	37.6	
	Old Continue	1,552	1,089	-29.8	2,352	116.0	2,136	-9.2	
Condom Distributed	New	1,866	1,922	3.0	3,277	70.5	4,035	23.1	
	Old	857							
I.U.D.		-	5	-	3	-40.0	3	0.0	
Depoprovera		-	53	-	140	164.2	141	0.7	
Follow Up	Pill	4,071	3,340	-18.0	3,494	4.6	5,955	70.4	
	Condom	2,180	2,559	17.4	2,230	-12.9	4,373	96.1	
	Extra	558	885	58.6	1,027	16.0	1,911	86.1	
Antenatal	New	457	727	59.1	1,239	70.4	3,353	170.6	
	Old	640	775	21.1	1,238	59.7	5,024	305.8	
Children Under 5 Years	New	2,087	2,816	34.9	3,201	13.7	9,090	184.0	
	Old	2,524	2,775	9.9	3,734	34.6	9,860	164.1	
D.P.T.	New	1,408	1,245	-11.6	171	-86.3	891	421.1	
	Old	663	604	-8.9	111	-81.6	591	432.4	
B.C.G.		-	596	-	169	-71.6	530	213.6	
Measles		-	-	-	-	-	-	-	
Anemia		147	-	-	-	-	-	-	
O.R.S.		1,003	1,987	98.1	2,687	35.2	5,308	97.5	
Motivation		86,440	93,453	8.1	129,346	38.4	125,727	-2.8	

出所) FP/MCH Project Dhulikhel District Office

表 2-14 MCH実績件数、ダヌーシ + 郡 (1982-86)

	1982-1983		1983-1984		1984-1985		1985-1986	
	件数	増加率 (%)	件数	増加率 (%)	件数	増加率 (%)	件数	増加率 (%)
Vasectomy	94	4.3	98	4.3	172	75.5	156	-9.3
Laparoscopy	3,380	5.2	3,557	5.2	3,711	4.3	2,767	-25.4
Pill Distributed	1,692 15,593 16,275	24.4 -8.6 -11.3	2,105 14,252 14,441	24.4 -8.6 -11.3	2,355 18,741 17,628	11.9 31.5 22.1	3,051 17,195 16,215	30.0 -8.2 -8.0
Condom Distributed	13,399 128,186	-28.2 -7.9	9,619 118,025	-28.2 -7.9	13,471 203,456	40.0 72.4	14,290 236,346	6.1 16.2
I.U.D.	24	-33.3	16	-33.3	19	18.8	46	142.1
Depoprovera	8	287.5	31	287.5	20	-35.5	138	590.0
Follow Up	11,944 3,737 553	-1.7 -15.9 282.3	11,736 3,141 2,114	-1.7 -15.9 282.3	13,982 4,449 198	19.1 41.6 -90.6	13,034 5,711 -	-6.8 28.4 -100.0
Antenatal	4,554 3,295	35.0 23.6	6,150 4,072	35.0 23.6	10,916 7,235	77.5 77.7	18,622 10,326	70.6 42.7
Children Under 5 Years	9,869 7,187	3.9 -5.6	10,255 6,784	3.9 -5.6	18,260 12,027	78.0 77.3	23,255 14,152	27.4 17.7
D.P.T.	825 278	-52.1 -69.4	395 85	-52.1 -69.4	230 124	-41.8 45.9	242 43	5.2 -65.3
B.C.G.	2	18,850.0	379	18,850.0	132	-65.2	90	-31.8
Measles	-	-	-	-	-	-	-	-
Anemia	1,401	35.5	1,898	35.5	3,186	67.9	4,031	26.5
O.R.S.	3,607	-5.9	3,394	-5.9	5,849	72.3	8,714	49.0
Motivation	283,295	15.9	328,280	15.9	400,338	22.0	524,971	31.1

出所) FP/MCH Project Dhanusa District Office

家族計画については、両郡に差異がみられる。不妊手術に関してであるが、ダヌーシャ郡の場合その主流が女子不妊手術であるのに対し、カブレパランチョーク郡の場合男子不妊手術の件数が高い。この理由の1つには丘陵部と平野部タライの男女間の地位の相違をあげることができる。IUDの受容率は、両郡ともに少ないが、フォローアップのむずかしさを考えるとその普及は遅いように思われる。丘陵部カブレパランチョーク郡において、地形および交通の便を考慮すると、不妊手術を受ける機会、および、ピル、コンドーム等の入手難易度に問題があり、これらを補う上でもPBHWの活動状況の影響が大きい。

注)

- 1) 石井簿編, 『もっと知りたいネパール』, 昭和61年, 弘文堂, 9-11頁
- 2) 同上, 120-121頁
- 3) Nirmal Nath Rimal ed., *Nepal District Profile, Education*, National Research Associates, Kathmandu, 1986, pp.1-2
- 4) 国際協力事業団, 『ネパール王国人口・家族計画基礎調査報告書』, 昭和61年, 32ページ。

第3章 調査方法概要

第3章 調査方法概要

第1節 調査の構成

今回の調査は、NFP/MCHプロジェクト、JICA現地派遣専門家、本調査団の共同作業によってすすめられた。質問票作成、印刷、調査員訓練、標本抽出、面接調査、コーディング作業までが、ネパールですすめられ、コード化されたデータは、日本へ持ち帰り、コンピュータ入力、解析作業は、本調査団が行った。

質問票の構成については章末脚注¹⁾に示す通りであり、その詳細については第3節で論じる。

第1項 調査員の選考および訓練

フィールド調査のチームは、スーパーバイザー、エディター、インタビュアー¹⁾で構成されている。スーパーバイザーとエディターは、FP/MCHプロジェクトから選考され、彼らの訓練は、10月26日から10月31日にかけて、カトマンズで行われた。訓練内容は、

- (1) FP/MCHおよびJICAプロジェクト概要
- (2) 本調査の調査票と標本抽出法概説
- (3) 各質問項目別フィールド・エディティングの方法

等であり、その詳細は、巻末の付録に示す通りである。以上の訓練は、FP/MCHプロジェクト・エバリュエーション・ディビジョンのスタッフおよびJICA専門家によって行われた。

インタビュアーの募集は、カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡の両郡に分けて行われた。募集期間は、カブレパランチョーク郡は11月5日から16日にかけて行われ、ダヌーシャ郡は、11月12日から21日にかけて行われた。応募資格は、女子の場合SLC(School Leaving Certificate: 10年生終了の証明書)以上、男子の場合は、IA(Intermediate Art)の資格、もしくは、SLCを有し、社会調査の経験のある者である。選考はカブレパランチョーク郡が11月21日、ダヌーシャ郡が11月23日に面接試験を行い、両地域とも、FP/MCHプロジェクト・エバリュエーション・ディビジョンのスタッフおよびJICA専門家はその選考に当たった。

応募状況は、カブレパランチョーク郡の場合、応募者が115名であり、採用されたのは女子15名、男子9名の計24名、ダヌーシャ郡の場合は、応募者が31名であり、採用されたのは女子4名、男子12名の計16名であった。調査の性格上、インタビュアーは女子を中心とする予定であったが、ダヌーシャ郡では日程の制約上男子が多くならざるを得なかった。インタビュアーの人数の相違は、両郡の地理的条件を考慮して、カブレパランチョーク郡の人数が多くなっている。採用されたインタビュアーの氏名および性別は、巻末の付録に示す通りである。

インタビュアーの訓練については、カブレパランチョーク郡については、11月24日から12月6日まで、ドゥリッケルで、ダヌーシャ郡の場合は、ジャナカプールで11月25日から12月6日まで行われた。

訓練の主な内容は、

- (1) FP/MCHおよびJICAプロジェクト概要
- (2) 調査目的、プログラムの説明
- (3) 家族計画、乳幼児の疾病およびその予防法（予防接種）、治療法（ORT等）に関する基礎知識
- (4) 質問票の項目ごとの説明
- (5) グループ・ディスカッション、ロールプレイング
- (6) フィールドプラクティス

等であり、その詳細は、巻末の付録に示す通りである。以上の訓練は、FP/MCHプロジェクト・エバリュエーション・ディビジョンのスタッフおよびJICA専門家によって行われた。

第2項 調査日程

第1項で述べた通り、選考されたインタビュアーは、カブレパランチョーク郡は3グループに、ダヌーシャ郡の場合は2グループに分けて、インタビュー調査を行った。各グループには、スーパーバイザーとエディターが各1名ずつ配置され、インタビュー調査を管理した。スーパーバイザーの役割は、ワードの境界を明確にし、世帯リストを作成し、世帯の抽出を行うことである。エディターの役割は、インタビュー調査の指導、調査票のチェックを行うことである。詳細な標本抽出法については、次の節で述べる通りである。調査日程および調査地区分担については、巻末の付録に示す通りである。

コーディングに必要なコーディング・ブックの作成、コーディング・シートの印刷は、12月31日に終了し、1月1日からコーダーへの指示を行った。1月2日からコーディングとオフィス・エディティングを同時並行してすすめた。コーディング・チェック等の終了は、1月23日であり、この間の日程は、巻末の付録に示す通りである。

第2節 標本抽出法

対象地域についてはすでに、丘陵部からカブレパランチョーク郡、平野部からダヌーシャ郡が選ばれている。対象調査世帯は、それぞれの郡から1,600世帯、合計3,200世帯が3段階抽出法により選出されている。第1段階は、カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡それぞれのヘルスポストからMCHクリニックを併設しているヘルスポストを4つずつ合計8ヘルスポストが諮意的に抽出されている。

ヘルスポストとMCHクリニックの管轄については、ヘルスポストが保健省の直轄であり、FP/MCHによって運営されているMCHクリニックは、このヘルスポスト内に間借りしている形になっている。

各ヘルスポストが管轄しているパンチャヤートは、表3-1、表3-2に示す通りである。カブレパランチョーク郡で抽出された4ヘルスポストが管轄するパンチャヤート数は26、ダヌーシャ郡の4ヘルスポストが管轄するパンチャヤート数は42である。これらのパンチャヤートから両郡それぞれ10のパンチャヤートを確率比例法(Sampling with Probability Proportionate to Size)によって抽出した。

$$I = \frac{\sum Pp}{NP}$$

ただし、 $\sum Pp$ は各パンチャヤート人口の累積値であり、カブレパランチョーク郡52,186、ダヌーシャ郡は、187,686である。NPは選出するパンチャヤートの数、すなわち、各郡とも10である。Iはパンチャヤート抽出の際のインターバルであり、その値は、カブレパランチョーク郡5218.6、ダヌーシャ郡は18768.6である。

表3-1 対象地域におけるパンチャヤート (カブレパランチョーク郡)

BHUMLUTAR H. P.	POPULATION	CUM. POP.	SE. PANCHA.
BANGTHALI	1,130	1,130	
BHUMLUTAR	2,427	3,557	2,560.8
BIRTA DEURALI	1,555	5,112	
CHOUBAS	1,458	6,570	
FALANTE BHUMLU	1,068	7,638	
GOTHPANI CHOUR	1,715	9,353	7,779.4
KATTIKE DEURALI	1,500	10,853	
SALLYE MULABARI	2,497	13,350	12,998
SAPING	2,471	15,821	
DAPCHA H. P.			
DAPCHA CHATREBANJH	2,661	18,482	18,216.6
DARAUNE POKHARI	2,687	21,169	
KHANALTHOK	2,771	23,940	23,435.2
SHYAMPATI SIMALCHOUR	2,255	26,195	
PURANO GAUN DAPCHA	2,200	28,395	
KHOPASI H. P.			
BALTHALI	1,407	29,802	28,653.8
BHUMEDANDA	1,500	31,302	
CHALAL GANESTHAN	2,775	34,077	33,872.4
KHOPASI	1,739	35,816	
SANKHU PATICHOUR	1,785	37,601	
SUNTHAN SARADA	1,889	39,490	39,091
NALA H. P.			
ANEKOT	2,355	41,845	
DEVITAR	986	42,831	
NAYAGAUN DEUPUR	2,196	45,027	44,309.6
TUKUCHA NALA	2,081	47,108	
UGRACHANDI NALA	3,288	50,396	49,528.2
UGRATARA JANAGAL	1,790	52,186	

表3-2 対象地域におけるパンチャヤート (ダヌーシャ郡)

GODAR H. P.	POPULATION	CUM. POP.	SE. PANCHA.
BARMAJHIYA	3,667	3,667	
BHARATPUR	9,005	12,672	6,343.1
GODAR	6,146	18,818	
LABATILY	1,927	20,745	
UMA PREMPUR	8,120	28,865	25,111.7
YAGYA BHUMI	9,239	38,104	
RAGHUNATHPUR	8,175	46,279	43,380.3
GHODHAGHAS H. P.			
BAHEDABELA	3,943	50,222	
BAHUARBA	3,268	53,490	
DEBADIHA	7,947	61,437	
DEVAPURA RUPAITHA	4,839	66,276	62,648.9
FULGAMA	5,956	72,232	
GHODHAGHAS	4,173	76,405	
LAGMA GADA GUTHI	3,004	79,409	
LOHANA	4,084	83,493	81,417.5
MUKHIYA PATTI	3,805	87,298	
NAGARAYAN	3,809	91,107	
TULASIYAH I JANDI	3,935	95,042	
TULASIYAH I NIKAS	3,073	98,115	
SABAILA H. P.			
BALABAKHAR	4,695	102,810	100,186.1
DHANUSHA DHAM	6,396	109,206	
GOVINDAPUR	3,678	112,884	
JHATIYAH I	3,902	116,786	
KAJURA RAMOL	3,697	120,483	118,954.7
KHARIHANI	6,211	126,694	
MAKHNAHA	4,663	131,357	
PARSAHI	2,793	134,150	
PATERBA	2,448	136,598	
SABAILA	5,957	142,555	137,723.3
SATOKHAR	4,219	146,774	
THILLA JUDHAUBA	2,566	149,340	
TARAPATTI H. P.			
ANDHO PATTI	2,366	151,706	
BAGHACHODA	3,868	155,574	
BHUTAH I PATERBA	3,255	158,829	156,491.9
GOPALPUR	3,436	162,265	
HANSAPUR KATHPULLA	3,218	165,483	
KACHURITHERA	4,014	169,497	
MITHILESWOR NIKAS	4,095	173,592	
MITHILESWOR MAHUBAH I	2,610	176,202	175,260.5
SUGHA NIKAS	2,610	178,812	
SUGHA MADHURARI	3,386	182,198	
TARAPATTI SIRSIYA	5,488	187,686	

第2段階は、各パンチャヤートからワードを抽出することである。各パンチャヤートは9つのワード (Ward) から構成されている。9つのワードから4つのワードが単純無作為抽出法 (Simple Random Sampling) により抽出された。抽出された各パンチャヤートのワード番号

は表3-3に示す通りである。

表3-3 抽出された各パンチャヤートのワード番号

District	Panchayat	Selected Wards
DHANUSA	1. BHARATPUR	3, 4, 6, 7,
	2. UMA PREMPUR	1, 5, 8, 9,
	3. RAGHUNATHPUR	1, 4, 5, 7,
	4. DEVAPURA RUPAITHA	4, 6, 7, 9,
	5. LOHANA	5, 6, 7, 8,
	6. BALABAKHAR	1, 2, 5, 9,
	7. KAJURA RAMOL	2, 3, 5, 9,
	8. SABAILA	1, 2, 4, 9,
	9. BHUTAHI PATERBA	1, 5, 7, 9,
	10. MITHILESWOR MAHUBAHI	1, 3, 6, 7,
KAVREPALANCHOK	1. BHUMLUTAR	2, 3, 4, 7,
	2. GOTHPANI CHOUR	2, 7, 8, 9,
	3. SALLYE MULABARI	1, 4, 5, 7,
	4. DAPCHA CHATREBANJH	1, 2, 6, 8,
	5. KHANALTHOK	2, 5, 6, 7,
	6. BALTHALI	1, 2, 8, 9,
	7. CHALAL GANESTHAN	1, 2, 3, 5,
	8. SUNTHAN SARADA	1, 4, 6, 9,
	9. NAYAGAUN DEUPUR	4, 7, 8, 9,
	10. UGRACHANDI NALA	2, 3, 6, 9,

第3段階は、抽出された各ワードの総世帯数から、40世帯を系統抽出法(Systematic Interval)により選出した。インターバル (Si) は下記の計算式によって得られる。

$$Si = \frac{\sum NH}{SH (=40)}$$

上記計算式において、 $\sum NH$ は各ワードに所属する世帯の累積値、SHは抽出する世帯数である。ただし、Siの決定はフィールド調査の際、スーパーバイザーおよびエディターによって行われた。ここで特記すべき事項は、調査の実施にあたって、いかに調査対象となる世帯の特定をするかということである。ネパールのパンチャヤートの境界は、1982年行われた選挙のために改編された。したがって、1981年センサスの世帯リストを使用することはできず、また調査対象地域を示した地図も充分とはいえない状態にある。したがって調査地域における世帯の抽出は、次の方法により行われた。

- 1) 調査チームが調査対象パンチャヤートに到着後、パンチャヤートメンバー（各ワードか

ら1人ずつ選出)及びPBHW (Panchayat Based Health Worker)の協力を得て、パンチャート内ワードの境界の確認、また各ワードに所属する世帯を明確にする。

2) 各調査チームのインタビュアーにより抽出されたワードの全世帯調査表作成 (Household Listing) を行う。

3) 世帯調査表の中から40世帯を系統抽出法により選出し、調査を開始する。

以上の全過程をまとめると抽出された世帯数は、下記の数式の通りである。

$$3,200\text{世帯} = 2\text{郡} \times 10\text{パンチャート} \times 4\text{ワード} \times 40\text{世帯}$$

各ワードの世帯数であるが、今回の調査に関しては、両郡のワード当たり世帯数に差がある。カブレパランチョーク郡においてのワード当たりの平均世帯数は61.6であり、ダヌーシャ郡の場合は111.1であり、カブレパランチョーク郡においてワード当たりの世帯数は少ない。地理的状况からみると、カブレパランチョーク郡は、サンプルポイントにもよるが、世帯は散在しており、ダヌーシャ郡の場合は、密集しているという傾向がみられた。したがって、今回の調査では、カブレパランチョーク郡において、ワード内の世帯数が40世帯に満たないワードが、5ワードあった。実際の抽出世帯数が、上記の標本抽出方法にもかかわらず、カブレパランチョーク郡において少ないのは、ここに起因している。

個人票の部分に関して、面接調査の結果は、2,960件中、対象女子が不在の場合が29件、面接調査未完了の場合が3件であった。

第3節 調査項目

本基礎調査の目的は、既に述べたように、家族計画・母子保健プロジェクトの実施に必要な基礎データを収集し、プロジェクトの指針となる11の指標を作成することにある。したがって、質問票の調査項目は非常に幅の広いものとならざるを得ないが、分析結果を十分に読み取り、またその信頼性を検討するには、調査項目の性格を詳細に知っておく必要がある。そこで、まず、この調査項目を概説し、それらの特色を明らかにした上で、最後に質問票の全体的な評価を行う。

今回の調査で用いられた質問票は、世帯票と個人票の2つの部分から成っている (付録参照)。まず、前者の世帯票に関していえば、世帯構成に関する項目を扱う部分 (第1部) と、世帯の社会・経済状況を扱っている部分 (第2部) とに大別される。第1部では、主として世帯構成員の数、性、年齢、配偶関係、同居の有無、昨晚休んだ場所などが調べられる。第2部では世帯主の教育水準、職業、農地所有の有無、所有する土地の規模、主たる飲料水源、トイレの有無、過去12ヶ月における年齢・性別の出生、死亡の発生状況などが調べられている。このことからわかるように、第1部、第2部のいずれの世帯調査票にしても、その主な目的は、選び出された世帯に関する基礎データを収集することにある。

しかし、そればかりではなく、世帯票にはもう1つの重要な目的がある。それは、世帯構成員の中に調査対象となる女子がいるか否かを判定し、いる場合にはこれを抽出することである。世帯票に記載されている質問事項には、調査しようとする世帯に属し、回答能力のある者であるならば、だれでも答えることができる。ところが、家族計画や母子保健等に関する具体的、かつ詳細な調査事項を扱っている個人票の調査対象者は、質問事項の性格上、次のような一定の厳格な基準を満たしている女性に限られている。

- (1) 年齢は15歳から49歳まで
- (2) 結婚している
- (3) 同居している
- (4) 調査実施日の前夜家にいたもの

これらの基準を満たすか否かを判定するための情報は、全て世帯票の調査事項に含まれている。つまり、世帯票は、自らが収集した世帯の情報に基づいて、この厳格な基準にかなった女性を特定する、という重要な役割を担っているのである。ちなみに、第4の条件からわかるように、この調査では現在地主義が採用されている。

今回の調査には、きわめて独創的な質問項目が数多く見受けられる。この点を、個人票の質問項目を概説しながら考察しよう。まず、個人票の構成と質問事項の概要であるが、これは下記の通りである。

第3部 回答者の背景に関する情報：調査対象女子の年齢、読み書き能力、学歴、職業、夫の年齢、読み書き能力、学歴、職業、最寄りの医療機関からの距離、疾病時の治療の有無、利用する医療機関、医療機関の提供するサービスに対する満足、不満足。

第4部 出産歴：月経開始年齢、結婚年齢、結婚後同居開始までの期間、男女別既往出生児数、過去12カ月間の出生、流産、死産。現在妊娠中か否か。最後に月経があった年月。男女別希望子供数、男女別理想子供数。適正な出産間隔に対する意見。

第5部 産前産後の健康管理：妊娠期間中の健康診断、検診場所、検診理由、検診内容、検診を受けるように勧めた者、検診に対する満足度。破傷風の予防接種を受けたか否か。最も最近の出産場所、出産に立ち合った者。出産後医療機関で健康診断を受けたか否か、その診断に満足しているか否か。

第6部 家族計画：家族計画に関する知識。具体的避妊法に関する知識。避妊法の過去および現在の使用状況。避妊法を使用しない理由。将来使用する意志の有無および使用したい手法。ヘルス・ワーカーの活動状況。

第7部 経口補水液：下痢の症状、原因、治療法に関する知識。経口補水液（ジーバン・ジャルおよびメディスン・ウォーター）の作り方、使用方法に関する知識とその知識の入手先。下痢疾患時に子供に流動食、母乳を与えるか否か、またその理由。

第8部 予防接種：予防接種に関する一般的、具体的知識とその知識の入手先。子供に予防

接種を受けさせているか否か。子供に予防接種を受けさせた場所。子供に予防接種をしない理由。

第9部 授乳：授乳の実施の有無、授乳実施の継続期間。授乳を行わない理由。初乳を子供に与えるか否か。母乳の長所。

第10部 栄養、食糧および食習慣：ライス・フィーディング・セレモニー実施の有無とその実施時期。離乳食の開始時期と離乳食の内容。離乳開始後の授乳の実施の有無と授乳継続期間。母乳以外にどのようなミルクを与えるか。妊娠中の母親に特別食を与えるか否か、また何を与えるか。妊娠中の母親に与えてはいけない食物とその理由。授乳を実施中の母親にどのような補充食を与え、また何を与えてはいけないか。ルンチェ、スケナッシュ（共に栄養不良から生じる病気）の起きる理由と治療法に関する知識。離乳食の調理法に関する知識。子供の眼病の有無。子供の栄養状態。

第11部 疾病および疾病原因：過去12ヶ月における子供の下痢、ましん、寄生虫、百日ゼキ、急性呼吸器系疾患、ジフテリアの発生状況と治療場所。

まず、以上の個人票の構成と質問事項を見て最初に気づくことは、出産歴や家族計画といった出生力に関する質問事項を中心においたこれまでの調査に比べて、今回の基礎調査は予防接種、栄養、疾病、医療・保健施設といった母子保健関係の事項が多く、これらにかなりの重点が置かれていることである。これが、今回の基礎調査の最大の特徴である。また、同時に、このことは、ネパールでは医療・保健関係の情報がかかなり不足していることを意味している。

このような特徴をもつ今回の調査では、これまでの調査では見ることのできない、独創的な質問事項が随所に見られる。その主要なものを挙げておこう。

(1) 年齢の確定：個人票の第3部では、世帯票につづき回答者とその夫の年齢に関する情報が再度収集されている。とくに、回答者に対する質問は詳細をきわめている。まず、回答者の出生年月が質問され、回答者がこれを知らない場合には年齢が質問され、さらに回答者がこれを知らない場合には、近隣等から集めた各種の情報をもとに、調査員が年齢を推測するという形式を採っている。年齢についてこのように入念な質問をするのは、これが人口統計上重要な情報であるというのも1つの理由であるが、ネパールでは自分の出生年月（年齢）を知らないものが数多くいることにもよる。

(2) 結婚年齢と同居との関係。個人票の第4部では「結婚」と「同居開始までの期間」が切り離して別個に質問されている。これは、ネパールの農村地帯では「幼児婚」が少なからず行われているために、結婚が必ずしも実質的な結婚生活の開始を意味していないためである。つまり、出生力に影響を及ぼす実質的な結婚年齢を考察しようとするならば、結婚年齢に同居開始までの期間を加える必要がある。このような質問形態は、現地の風習に精通しなければ作成できないものである。

(3) 産前産後の健康管理：母子保健の見地からするならば、産前産後の健康管理はきわめて重要である。しかし、この質問事項を第5部として独立させたのは、この種の情報が不足して

いるといった理由だけではなく、ネパールでは妊産婦の健康管理が重要な課題となっていることも大きな要因であろう。ここでの質問では、妊産婦の健康管理に対する医療機関、とくにヘルスポストの貢献度、出産場所と出産に立ち会った者などが詳しく調べられている。ヘルスポストは、ネパールの農村部における主要かつ第一線の保健機関である。しかしながら、これに対する妊産婦の信頼度・満足度に関する詳細な情報は、これまでに実施された調査からは得ることができなかった。また、出産場所や立ち会い人等に関する情報も、入手が困難であった貴重な情報である。これらの情報は、FP/MCHプロジェクトにとって非常に有益であろう。

- (4) ヘルスワーカー：人々の健康の維持・向上のために第一線で活動する者が、ヘルスワーカーである。その活動の重要性は農村部では非常に高く、ヘルスポストと双壁をなす。このヘルスワーカー制度は、ネパールの医療・保健政策の支柱の1つである。第6部では、彼らがどの程度の頻度で家々に巡回してくるか、健康管理や家族計画の指導はしてくれるか、といったヘルスワーカーの活動について詳しく質問し、詳細な情報を収集している。この種の情報は、今後の施策を策定する際にきわめて重要である。
- (5) 経口補水液と予防接種：ネパールでは、児童の最大の疾病は下痢である。経口補水液は下痢に対する治療薬ではないが、対処療法として推奨されているものである。とくに、医薬品の入手が困難である農村部では、経口補水液は下痢に対する唯一の有効な対処療法である。しかし、経口補水液の使用は各種の機関等を通じて推奨されているものの、その作成法や使用方法に関する知識がどの程度人々の間に浸透しているのか、また何によってそれを知ったかといった情報は、今日においてさえ十分にわかっていないのが実情である。同じことは、予防接種についてもいえる。子供に対する予防接種は免疫化ゼイション・キャンプを通じて精力的に押し進められてはいるが、これに対する人々の知識、態度、浸透度の詳細は不明である。したがって、本基礎調査で収集されたこの情報は、きわめて高い価値を有しているといえよう。
- (6) 授乳：母乳には出産後の閉経期間を延長する効果があるために、授乳をしている女性は次の妊娠が起りにくくなる。このために出産間隔が長くなり、授乳を行っている女性が再生産期間中（15～49歳）に生む子供数は減少する。このような授乳の出生抑制効果は、とくに避妊法が一般に浸透していない社会では、婚姻率の低下や初婚年齢の上昇といった結婚パターンの変化とともに、出生率の低下の一大要因となる。そこでネパールのような国では、出生率の将来の動向を探る上で、授乳の継続期間に関する情報は大きな意味をもってくる。また、今回の調査では、初乳に対する人々の態度も調べられているが、初乳には乳児の疾病に対する抵抗力を強化する作用がある。このような観点からするならば、授乳に関する情報はぜひとも入手しなければならないものである。
- (7) 栄養：食糧および食習慣：第10部では、乳幼児や妊産婦の食物および栄養状態、あるいは栄養不良から生じる病気（眼病も含む）といった非常に多くの事項が調べられている。しか

し、なかでも重要な質問事項は、ネパールの食習慣に関するものである。ネパールには、食物をコールド・フードとホット・フードという2つの範ちゅうに分けて考える伝統的習慣があり、人々の食生活を規定する基準となっている。しかし、これは科学的な裏付けのあるものではない。この因習にしたがうかぎり、栄養の観点からすれば、当然、妊産婦に与えるべき食物が禁止されている、という不可解な事態も生じる。こうした状況は、妊産婦等の健康を守る上で大きな障害となる、しかも、どの食物がいずれの範ちゅうに属し、この習慣が人々の間にどの程度浸透しているかは、いまだに十分には解明されてはいない。こうした習慣の実態が明らかになれば、妊産婦等の栄養状態を向上させるための対策がたてやすくなる。しかしながら、この種の情報が組織的に収集されたのは、今回の調査がおそらく初めてであろう。

- (8) 疾病および疾病原因：第11部では、5歳以下の子供をもつ母親に、過去1年間に子供が下痢、ましん、寄生虫症、百日ゼキ、急性呼吸器系疾患、ジフテリアにかかった回数、治療場所について質問している。この質問のなかで特筆すべきことは、治療場所に重点をおいていることである。これにより、人々の医療機関に対する信頼度の実態がわかり、児童の健康を守るにはどのような医療機関を重視すべきか、といった対策がたてやすくなる。

以上の重点からわかるように本調査個人票の質問事項は、これまでの調査にはみられないほど広範多岐にわたっている。しかも、そこから得られる情報のほとんどは、各種の官庁統計やこれまでに行われた様々な調査からは得られなかつたり、たとえ得られたにしても扱いが不十分であったものばかりである。

これまで検討してきた結果からすれば、「ネパール人口・家族計画基礎調査」調査票は次のように評価することができよう。全体としてみた場合、数多くの独創的な調査項目を扱ったこの調査票は現時点では適切かつ最善のものであり、きわめて高く評価することができる。本調査票を詳細に検討するならば、改善すべき点も幾つかあるが、ほとんどは不可避的なものばかりである。これまでの調査では、必要であるにもかかわらず扱いが不十分であったり、あるいは全く扱われなかった質問事項を網羅しようとする本調査票は、その性質上、予測することのできない未知の領域に踏み込む度合いが大きくなるために、改善すべき点の発生を極力少なくすることは可能であっても、全てを未然に防ぐことは困難である。しかも、将来にこの類いの調査を再び行う際に必要なノウハウの蓄積という観点から見れば、これらの改善すべき点は参考資料として価値あるものばかりである。本調査は現状を把握する上でも、また将来のためにも、有益な情報を提供しているといえる。

注)

- 1) 質問票の構成および担当者は下記の通りである。

質問票の構成

質 問 項 目	担 当 者
1. Household questionnaire	V. R. Dhakhwa
2. Background Information of Respondents (Currently married women ages 15-49)	V. R. Dhakhwa
3. Antenatal and Postnatal Information	V. R. Dhakhwa
4. Fertility History	B. B. Gubhaju
5. Desire for Additional Children	B. B. Gubhaju
6. Breast Feeding	B. B. Gubhaju
7. Incidence of Morbidity of Children Under 5	T. B. Dangi
8. Treatment of Disease	T. B. Dangi
9. Food Habits of Women and Children Under 5	G. P. Regmi
10. Knowledge of ORT, Knowledge and Incidence of Immunization	G. P. Regmi
11. Nutrition	N. Watahiki
12. Contraception	M. Mool
13. Information on Health Posts	M. Mool

第4章 調査結果分析

第 4 章 調査結果分析

第 1 節 人口構成および社会・経済的属性

第 1 項 人口分布と年齢構造

調査対象世帯は、丘陵部にあるカブレパランチョーク郡は、郡全体の3.2%に当たる1,593世帯、タライに位置するダヌーシャ郡は、郡全体の2.0%に当たる1,616世帯である。

調査対象世帯の総人口は、カブレパランチョーク郡は、郡全体の2.9%に当たる8,820人、ダヌーシャ郡は、郡全体の1.9%にあたる8,427人である。

表 4-1-1 は、年齢区分別男女性比（女子人口1,000に対する男子人口比率）を示したものである。両郡とも郡全体においては、男子の比率が高い。

表 4-1-1 年齢区分別男女性比

年齢区分	カブレパランチョーク郡		ダヌーシャ郡	
	全 郡	調査世帯	全 郡	調査世帯
0-14	1,049	1,025	1,123	1,111
15-64	1,011	862	1,060	1,020
65+	1,268	1,112	980	1,238
総人口	1,035	939	1,083	1,063

しかしながら、カブレパランチョーク郡の場合、全郡の性比が、1,035であるのに対し、調査世帯においては、939であり、女子比率が非常に高くなっている。これをさらに、年齢別に区分し、その性比をみると、0-14歳、65歳以上人口においては、全郡の年齢構成別性比と同様に、男子の比率が高くなっているが、15-64歳の生産年齢人口においては、女子の比率が、非常に高くなっている。今回の調査票において対象となった人口は、調査実施日の前日家にいて、通常家族と同居している人である。対象人口の移動歴については調査項目に含まれていないので明言はできないが、生産年齢男子における出稼ぎ等単身移動の可能性が考えられる。後に論じる職業構成についても、世帯主の職業として農業以外の比率が非常に高いことからこの可能性が考えられる。ダヌーシャ郡の場合、調査世帯全体の性比については、ほぼ郡全体の状況を反映している。65歳以上人口において性比が、全部の性比と逆転している。ネパールの平均寿命は、1985年 C B S (Central Bureau of Statistics) の推計によると全国レベルでは、男子53歳、女子50歳であり、女子において低い。この状態を考えると、男女性比は高年齢において男子の比率が高くなるという結果は妥当であると思われる。しかしながら全国レベルと、調査世帯の性比の相違については、全体の比率においても65歳以上人口比率が低いこと、また高年齢になるほど、自分の年齢

を知っている人が少なくなる状況を考え合わせると、データの精度の問題も同時に考慮する必要がある。

表4-1-2は、調査対象人口における5歳階級別人口の分布を示している。両郡ともに、2-3の年齢階級において増減はあるが、おおむね、低年齢層において、その人口比率が高く、典型的な末広がり1)の山型の分布を示している。調査対象のカブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡の、0-4歳人口比率は、それぞれ、15.1、15.2、年少人口係数（年少人口／総人口×100）は、40.2、40.7、年少人口指数（年少人口／生産年齢人口×100）は、80.4、74.6である。山型の人口分布は、高い出生率と、比較的低い死亡率が続いた場合に見られ、いわば、人口激増型で開発途上国に多くみられる¹⁾。注目すべきなのは、ダヌーシャ郡において、0-4歳人口の比率が、5-9歳人口のそれより低いことである。全郡においても同様の分布が観察されるが、これを家族計画政策の効果と考えられるかどうかについては、他の年齢層15-19歳人口比重が同様に低いことを考慮すると、さらに時系列的調査の結果を待って判断する必要があると考えられる。

表4-1-3、表4-1-4は、年齢区分をさらに、年少人口、生産年齢人口、老年人口の3区分に分けてその比率を示したものである。人口区分においては、両郡の調査世帯ともに、全郡とほぼ同じ分布を示しているが、カブレパランチョーク郡の場合、性比の場合同様、生産年齢男子の比率は、全郡の比率よりも低くなっている。全体の傾向としては、年少人口比率は、高くなっている。

表4-1-2 郡別、男女別、年齢5歳階級別分布

年齢階級	カブレパランチョーク郡			ダヌーシャ郡		
	計	男子	女子	計	男子	女子
0-4	15.1	16.0	14.2	15.2	14.8	15.6
5-9	14.2	14.4	14.0	15.4	15.9	14.8
10-14	13.4	14.2	12.7	11.0	11.8	10.1
15-19	10.0	9.6	10.4	6.7	7.0	6.3
20-24	8.2	7.5	8.8	7.7	6.3	9.2
25-29	6.4	5.9	7.0	8.7	8.7	8.7
30-34	5.4	5.1	5.7	7.2	6.7	7.8
35-39	5.0	4.7	5.2	6.5	7.5	5.5
40-44	5.1	5.3	5.0	4.3	4.3	4.3
45-49	3.4	3.8	3.0	3.5	3.8	3.1
50-55	4.5	4.0	5.0	4.5	3.4	5.7
55-59	2.6	3.0	2.3	3.2	3.2	3.2
60-64	2.6	2.1	3.0	3.2	3.5	2.9
65+	4.0	4.4	3.7	2.8	3.0	2.6
不詳	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表4-1-3 年齢構造の比較(カブレパランチョーク郡) (％)

年 齢 区 分	全地域(1981センサス)			調査対象世帯		
	計	男	女	計	男	女
年 少 人 口(0-14歳)	40.23	40.4	39.9	42.7	44.6	40.9
生産年齢人口(15-64歳)	56.48	55.8	57.1	53.1	50.8	55.3
老 年 人 口(65歳以上)	3.49	3.8	3.1	4.0	4.4	3.7
総 人 口(人)	307,150	156,218	150,932	8,820	4,270	4,550

表4-1-4 年齢構造の比較(ダヌーシャ郡) (％)

年 齢 区 分	全地域(1981センサス)			調査対象世帯		
	計	男	女	計	男	女
年 少 人 口(0-14歳)	40.2	40.9	39.5	41.5	42.4	40.6
生産年齢人口(15-64歳)	57.1	56.5	57.7	55.6	54.5	56.8
老 年 人 口(65歳以上)	2.7	2.6	2.8	2.8	3.0	2.6
総 人 口(人)	432,569	224,900	207,669	8,427	4,343	4,084

第2項 配偶関係

表4-1-5は、調査対象地区における年齢別、性別配偶関係を示したものである。今回の調査では、配偶関係についての質問は、10歳以上の人口について行われている。

出生力の動向を考える上で、何歳で結婚関係に入るか(初婚年齢)、同じコーホートの何%が、未婚のまま再生産年齢期間を過ごすか(生涯未婚率)、人々の結婚関係がどの程度安定的か(離婚、死別、再婚)によって影響を受ける。²⁾表4-1-5において、有配偶人口比率をみると、15-19歳において、すでに非常に高い比率を示している。ダヌーシャ郡の場合、15-19歳における女子人口の4分の3に当たる74.9%が、既に結婚している。同年齢における死別、離別の比率が、それぞれ5.8%、0.4%であることを考えると、結婚率は、80%を超えている。この低年齢層における高い有配偶率は高出生につながっていると考えられる。20-24歳については、97.9%であり、ほとんどの女子が結婚している。女子の有配偶率は、30-34歳代にピークをむかえ、以降低下し、逆に死別の比率が高くなる。女子と比較し、高年齢層における男子の有配偶率は高い。男子の有配偶率は35-39歳にピークをむかえ、その後低下するが、死別比率は女子のそれほど急速ではない。これは、男子と女子の結婚年齢が、夫の方が高いことに加えて、寡婦の再婚率が低いことから、高年齢層において、女子の有配偶率が低下し、死別人口が急速に高まっている。ダヌーシャ郡とカブレパランチョーク郡の有配偶率を比較すると、ダヌーシャ郡の方が高い。女子初婚年齢については、第2節で考察するが、カブレパランチョーク郡は、15.43歳、ダヌーシャ郡は、13.37歳であり、カブレパランチョーク郡の方が高い。

この2つの点は後に考察する再生産年齢女子の出生力に影響を与えている。両郡を通じて、アジア全域に共通である普遍結婚の特徴がみられ、生涯未婚と考えられるのは、ほとんどない。

表4-1-5 年齢別配偶関係

(%)

年齢階級	未婚		有配偶		死別		離別	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. カブレパランチョーク郡								
10-14	94.9	96.7	1.7	2.1	6.6	6.8	-	-
15-19	78.9	62.2	15.0	34.0	6.1	3.6	-	0.2
20-24	38.1	14.0	59.1	84.5	2.2	0.7	-	0.5
25-29	14.8	3.5	82.0	94.3	2.8	1.3	0.4	0.8
30-34	5.5	3.1	92.6	90.8	0.9	3.4	0.9	2.7
35-39	2.5	1.3	94.0	89.0	1.5	7.2	1.5	2.1
40-44	2.7	3.5	95.1	82.8	1.3	13.2	0.4	0.4
45-49	0.6	1.5	94.4	73.3	4.3	22.2	0.6	3.0
50+	1.4	1.7	80.5	55.8	17.4	40.5	0.5	1.6
2. ダヌーシャ郡								
10-14	86.9	74.2	14.6	13.5	10.9	12.3	-	-
15-19	66.4	18.9	24.7	74.9	8.9	5.8	-	0.4
20-24	25.8	2.1	70.9	97.9	2.9	-	0.4	-
25-29	7.1	1.4	87.8	97.2	4.0	0.8	1.1	0.6
30-34	1.4	0.3	95.5	97.2	2.4	2.2	0.7	0.3
35-39	0.9	0.4	97.2	93.3	1.2	6.3	0.6	-
40-44	0.5	-	94.6	92.1	4.8	6.8	-	1.1
45-49	-	-	94.5	78.9	5.5	20.3	-	0.8
50+	0.2	0.5	89.1	60.4	10.4	38.9	0.4	0.2

第3項 教育水準と職業構成

表4-1-6, 4-1-7は、世帯主の教育水準と職業構成を示したものである。コード化する際の制約上、教育水準は、就学期間により区別されている。再生産年齢女子に対する質問と、その設問の設定の仕方が違うので、就学経験はないが、読み書きができるというものの区別はされていない。したがって、ここでは就学年数をもって教育水準を考察することとする。

世帯主の就学歴をみると、カブレパランチョーク郡の場合、56.5%が就学経験をもち、ダヌーシャ郡の場合のそれは、30.9%である。就学経験により、両郡の教育水準を比較すると、カブレパランチョーク郡の教育水準の方が高い。しかし、就学年数をみると、カブレパランチョーク郡

表4-1-6 世帯主の職業構成と教育水準 カブレパランチョーク郡

年	無職	農業	労働	サービス業	商業	家事	その他	不明	計(%)
0年	24	566	38	10	8	31	8	8	693 (43.5)
1年	14	405	29	68	26	7	18	3	570 (35.8)
2年	-	12	2	1	1	-	-	-	16 (1.0)
3年	-	21	1	2	4	1	-	-	28 (1.8)
4年	-	20	2	5	2	-	-	-	30 (1.9)
5年	-	18	1	8	3	-	1	-	31 (1.9)
6年	-	13	1	1	3	-	1	1	20 (1.3)
7年	-	20	1	5	2	-	-	-	28 (1.8)
8年	-	16	-	2	8	-	-	-	26 (1.6)
9年	-	6	-	1	1	-	-	-	8 (0.5)
10年以上	1	20	-	59	7	1	-	-	88 (5.5)
不明	-	5	1	-	-	-	-	49	55 (3.5)
計	39	1,122	76	162	65	40	28	61	1,593
(%)	(2.4)	(70.4)	(4.8)	(10.2)	(4.1)	(2.5)	(1.8)	(3.8)	

表4-1-7 世帯主の職業構成と教育水準 ダヌーシャ郡

年	無職	農業	労働	サービス業	商業	家事	その他	不明	計(%)
0年	24	468	565	6	34	7	5	7	1,116 (69.1)
1年	2	161	42	10	32	2	5	3	257 (15.9)
2年	-	8	3	-	1	-	-	-	12 (0.7)
3年	-	8	4	-	3	-	-	-	15 (0.9)
4年	-	14	1	1	2	-	-	-	18 (1.1)
5年	-	10	5	1	1	-	-	-	17 (1.1)
6年	-	8	3	2	3	-	-	1	17 (1.1)
7年	-	20	2	4	1	-	1	-	28 (1.7)
8年	1	7	2	2	2	-	-	-	14 (0.9)
9年	-	8	-	1	-	-	-	-	9 (0.6)
10年以上	1	35	2	26	8	1	1	1	75 (4.6)
不明	-	1	1	-	-	-	-	34	36 (2.2)
計	28	748	630	53	87	10	12	46	1,614
(%)	(1.7)	(46.3)	(39.0)	(3.3)	(5.4)	(0.6)	(0.7)	(2.9)	

の場合、就学経験者のうち1年だけの就学経験があるものは、67.5%、ダヌーシャ郡の場合、55.6%である。就学経験者のうち両郡とも2年以上就学経験をもつ比率は急速に低下している。これはすでに地域概況の項で記述したが、近代教育が導入されているものの、ドロップ・アウトの比率は非常に高いことを示している。

職業構成については、両郡とも全郡の構成と若干異なる。1981年センサスによれば、カブレパ

ランチョーク郡では、93.3%、ダヌーシャ郡では、80.5%が農業に従事しており、きわめてその比率は高い。今回の調査世帯については、農業世帯がその大半であることは同じであるが、カブレパランチョーク郡ではとくにサービス業の比率が高い。

今回調査地区のカブレパランチョーク郡については、ブルタルの最も遠いサンプルポイントで、バス停（ドルガ）より徒歩3時間であり、コパシー、ナラヘルスポストの周辺パンチャヤートはバネパ、ドウリッケル等タウンパンチャヤートの交通の便があることも、この職業別構成をみるさいに留意すべきことである。

サービス業に従事する人口のうち、就学経験1年のものは、42.0%、10年以上のものは、36.4%である。教育水準の高いものについては、公務員、銀行員、教師等が考えられ、教育水準の低いものについては、運転手、門番等の家庭内サービス従業者、ポータ等が含まれる。

一方、ダヌーシャ郡においては、労働者の比重が高くなっている。コーディングの際の職業分類においては、農業労働者は、農業に含めるとのことであったが、農業関連の賃労働については、どのような分類がされているかは、明確にされていない。この点に関しては、質問項目設定の際に、定義を明確にして、選択式の回答形式にする等の工夫が今後の課題とされる。

第4項 衛生環境

調査票で衛生環境として質問項目に含まれているのは、飲料水の給水源と便所の保有の有無である。これらの世帯における経済状態とどのように関係しているかをみるために、代理変数として、土地所有面積ごとに以上の状態をみたのが、表4-1-8である。土地所有については、カブレパランチョーク郡の場合1~4ロパニ（1ロパニ=0.05ha）が最も多く、これに対しダヌーシャ郡の場合、27.4%が、土地なしである。これは、職業構成において、農業人口比率が、46.1%と低いのに比して、労働者人口比率が38.8%と高いことと関連性を持っていると思われる。給水源は、経済状態の代理変数としての土地所有面積と有意な相関はみられない。ただし、両郡の給水源には、地域的環境を背景として相違がみられる。カブレパランチョーク郡にみられるのは、丘陵部である地形を反映し泉、水道、湧き水である。一方、ダヌーシャ郡の場合は、井戸を利用している。今回は、共同か個別かの区別は質問されていないが、調査地区で観察される限りにおいては、共同利用が大半のようである。カブレパランチョーク郡で使用されている、泉などの湧き水の場合、雲母等が含まれている硬水の場合が多く消化器系疾患の一因となると考えられる。

ダヌーシャ郡の場合、深井戸か浅井戸かの区別はないが、汚染源との関連からいえば、この区別は重要である。井戸の場合、汚染源が近くにあるとき、汚物が井戸水に混入する危険性もあり、この場合、感染症等の疾病が危惧される。

便所の有無については、カブレパランチョーク郡においては、土地所有面積による差異はあまり見られないが、ダヌーシャ郡の場合、明らかに土地所有面積の広い世帯において便所の所有率が高く、経済状態を反映しているように考えられる。

表4-1-8 土地所有別、給水源、有トイレ率

所有面積 (ロバニ)	世帯数 ()内は%	給水源別世帯数比率(%)								有トイレ率 (%)
		1 Kuwa Pond	2 Kholā River	3 Kaldhara Tap	5 Tubewell	6 Dhungedhara Spring	7 Inar well	8 Others		
1. カブレパランチョーク郡										
0	34 (2.1)	38.2	—	47.1	—	2.9	—	—	—	14.7
1~4	486 (30.5)	32.1	7.6	38.1	0.6	15.8	0.4	5.3	—	16.5
5~9	366 (23.0)	38.3	7.9	39.1	—	11.5	—	3.3	—	20.2
10~14	230 (14.4)	32.2	6.1	44.3	—	15.7	0.4	0.9	—	26.1
15~19	153 (9.6)	39.2	9.8	32.0	—	17.0	0.7	1.3	—	17.0
20~24	87 (5.5)	36.8	8.0	41.4	—	12.6	1.1	—	—	23.0
25~29	53 (3.3)	22.6	9.4	45.3	—	17.0	1.9	3.8	—	32.1
30~34	37 (2.3)	27.0	2.7	43.2	—	24.3	—	2.7	—	35.1
35~39	15 (0.9)	26.7	—	46.7	6.7	6.7	—	13.3	—	13.3
40+	73 (4.6)	38.4	1.4	43.8	1.4	13.7	—	1.4	—	11.0
不詳	59 (3.7)									13.6
計	1,593	33.3	6.8	38.5	0.3	14.1	0.4	3.1	—	19.6
2. ダヌーシャ郡										
0	443 (27.4)	—	1.4	—	54.0	0.2	41.5	2.5	—	0.2
1~4	318 (19.7)	0.6	—	6.6	40.3	0.3	47.5	4.4	—	0.3
5~9	222 (13.8)	0.9	1.8	1.8	42.8	0.5	46.8	5.4	—	0.5
10~14	156 (9.7)	1.3	2.6	4.5	46.2	—	42.9	2.6	—	3.2
15~19	50 (3.1)	—	—	—	54.0	2.0	42.0	2.0	—	2.0
20~24	61 (3.8)	1.6	4.9	1.6	42.6	—	49.2	—	—	0.0
25~29	98 (6.1)	1.0	5.1	2.0	33.7	1.0	54.1	2.0	—	4.1
30~34	40 (2.5)	2.5	—	—	25.0	—	67.5	5.0	—	5.0
35~39	69 (4.3)	1.4	2.9	1.4	56.5	1.4	36.2	—	—	10.1
40+	120 (7.4)	0.8	0.8	4.2	46.7	0.8	45.8	0.8	—	20.8
不詳	37 (2.3)									
計	1,614	0.7	1.5	2.5	45.0	0.4	44.5	2.9	—	2.9

第2節 出生

第1項 調査対象女子人口の特徴

調査対象世帯、カブレパランチョーク郡1,532世帯、ダヌーシャ郡1,616世帯のうち、今回インタビューが行われた女子は、それぞれ1,467人と1,471人である。調査対象となっている再生産年齢女子人口の年齢別分布は、表4-2-1に示す通りである。この中には、調査対象とされる再生産年齢(15-49歳)以外の14歳以下、50歳以上人口、及び、年齢不詳者が含まれている。1世帯当たりの再生産年齢女子は、単純計算では1人以下ということになるが、家族構成からみると、カブレパランチョーク郡の核家族比率は、55.4%であり、ダヌーシャ郡の場合、54.9%である。

また、1世帯内の再生産年齢女子を2人以上想定できる合同家族の比率は、それぞれ15.6%、13.2%であるので、核家族世帯が半数以上という家族構成から考察すると、1世帯当たりの再生産年齢女子が、1人の場合も想定できる。また、調査対象人口が、通常居住しており、調査日前日に居たものという条件から、対象となる女子が不在の場合もあり、1世帯に1人以下という結果になったとも考えられる。調査対象女子の平均年齢は、カブレパランチョーク郡30.8歳、ダヌーシャ郡31.4歳と、カブレパランチョーク郡において若干低い。年齢分布は、両郡ともに20歳から34歳に集中しているが、その同年齢階級における比率は、ダヌーシャ郡において高い。この年齢構成分布における差異は、カブレパランチョーク郡の場合、年齢不詳人口が、全体の5.9%とダヌーシャ郡と比較して高いことも影響を与えている。

表4-2-1 再生産年齢女子人口の年齢別分布及び平均年齢
()内は%

年齢階級	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
～14	3 (0.2)	1 (0.1)
15～19	132 (9.0)	137 (9.3)
20～24	272 (18.5)	283 (19.2)
25～29	288 (19.6)	304 (20.7)
30～34	231 (15.7)	281 (19.1)
35～39	192 (13.1)	196 (13.3)
40～44	174 (11.9)	138 (9.4)
45～49	86 (5.9)	96 (6.5)
50+	3 (0.2)	-
不詳	86 (5.9)	35 (2.4)
計	1,467(100.0)	1,471(100.0)
平均年齢	30.83歳	31.37歳

表4-2-2は、年齢別教育水準を示したものである。カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡について文盲率を見てみると、その比率は、それぞれ87.2%と92.5%であり、教育に関する水準はきわめて低い。しかしながら、年齢別に教育水準を比較すると、両郡において特徴的なのは、低年齢層において、就学率が高く、とくに15-19歳において最も高いことである。逆に、高年齢層ほど、就学率が低くなっており、教育の普及が行われはじめて年数が浅いことがわかる。

次にこれらの教育水準別に結婚年齢を見てみると、表4-2-3に示す通りである。アジア諸国における出生率の高さは、女子の平均結婚年齢が若く有配偶率も高いためであるとされている。欧米先進諸国と比較し、多くの女子が早くから結婚生活に入り生涯で最も妊娠能力の高い20歳台を有配偶ですごし、多くの子供をもうけるのが、一般的傾向であるとされている。³⁾ネパールもその例外ではない。有配偶率が高いことについては、すでに第1節第2項で述べた通りである。さらに、結婚年齢については、カブレパランチョーク郡の場合15-16歳、ダヌーシャ郡の場合12-14歳と非常な低年齢である。ただし、ここで注意すべきなのは、結婚年齢と、実際の同居開始年齢までの間に間隔があることである。したがって、ダヌーシャ郡において実際の出生力に関連

をもつ同居開始年齢はこれよりも高く14-15歳ということになる。

表4-2-2 再生産年齢女子の年齢別教育水準

%ただし()内は女子人口

年齢階級	カブレパランチョーク郡					ダヌーシャ郡				
	文盲	識字/ 未就学	就学	不詳	計	文盲	識字/ 未就学	就学	不詳	計
～14	100.0	-	-	-	100.0 (3)	100.0	-	-	-	100.0 (1)
15～19	86.4	2.3	11.4	-	100.0 (132)	90.5	-	9.5	-	100.0 (137)
20～24	89.3	2.2	8.5	-	100.0 (272)	91.5	1.1	7.4	-	100.0 (283)
25～29	90.3	2.8	6.9	-	100.0 (288)	96.4	0.3	3.3	-	100.0 (304)
30～34	94.8	1.3	3.9	-	100.0 (231)	95.0	1.1	3.9	-	100.0 (281)
35～39	93.2	4.7	2.1	-	100.0 (192)	95.9	1.0	2.6	0.5	100.0 (196)
40～44	97.7	1.1	0.6	0.6	100.0 (174)	95.7	1.4	2.9	-	100.0 (138)
45～49	98.8	-	1.2	-	100.0 (86)	97.9	1.0	1.0	-	100.0 (96)
50～	100.0	-	-	-	100.0 (3)	-	-	-	-	-
不詳	3.5	-	-	96.5	100.0 (86)	8.6	-	-	91.4	100.0 (35)
計	87.2	2.1	5.0	5.7	100.0 (1,467)	92.5	0.8	4.4	2.2	100.0 (1,471)

表4-2-3 教育水準別結婚年齢

	文盲	識字/ 未就学	就学	計
1. カブレパランチョーク郡				
初 婚 年 齢(歳)	15.42	16.28	15.19	15.43
結婚から同居開始までの期間(年)	0.22	0.50	0.06	0.22
同 居 開 始 年 齢(歳)	15.64	16.78	15.25	15.65
2. ダヌーシャ郡				
初 婚 年 齢(歳)	13.32	12.57	14.68	13.37
結婚から同居開始までの期間(年)	1.90	1.75	0.31	1.84
同 居 開 始 年 齢(歳)	15.22	14.32	14.99	15.21

結婚年齢に関して教育水準別にみると、ここに相関性はほとんどみられない。ダヌーシャ郡の場合、就学経験がある方が、結婚年齢が高いようであるが、同居開始までの期間を考察すると、この関係は逆転する。しかしながら調査対象世帯において就学経験のある女子の年齢階層が低年齢層に集中していること、また就学経験のある女子の比率が低いことを考えると、今回のサンプルだけで結婚年齢と教育水準の相関性をみることは、むずかしいようである。

第2項 出生力

図2-1は、カブレパランチョーク郡とダヌーシャ郡についての年齢別出生率、すなわち、各年齢（5歳階級別）の女子について調査時以前1年間についての出生数の比率を示したものである。年齢別出生率の曲線は、開発途上国に特徴的なゆるやかな山型を示している。これは、高出生力の国にみられる特徴であり、出生力が特定の年齢に集中せず、広範囲に分布しているためである。とくに30歳以上の寄与率が高い点にその特徴がある。一般的に出生率が低下する場合、年齢別出生率の低下は、40歳代の高年齢層からはじまって、次第に低年齢層の出生力が低下していく。したがって、低出生力の国では、特定の年齢層にそのピークがきて、年齢層が高くなるに従って、急速にその比率が低下するというパターンとなる。図1に示した調査対象地域における両郡の特徴は、高出生力の諸国に特徴的なように特定の年齢層に集中せず、広範囲に高い出生率を示している。年齢別の出生率については、45-49歳年齢階級を除き、ダヌーシャ郡よりカブレパランチョーク郡の方が高い。

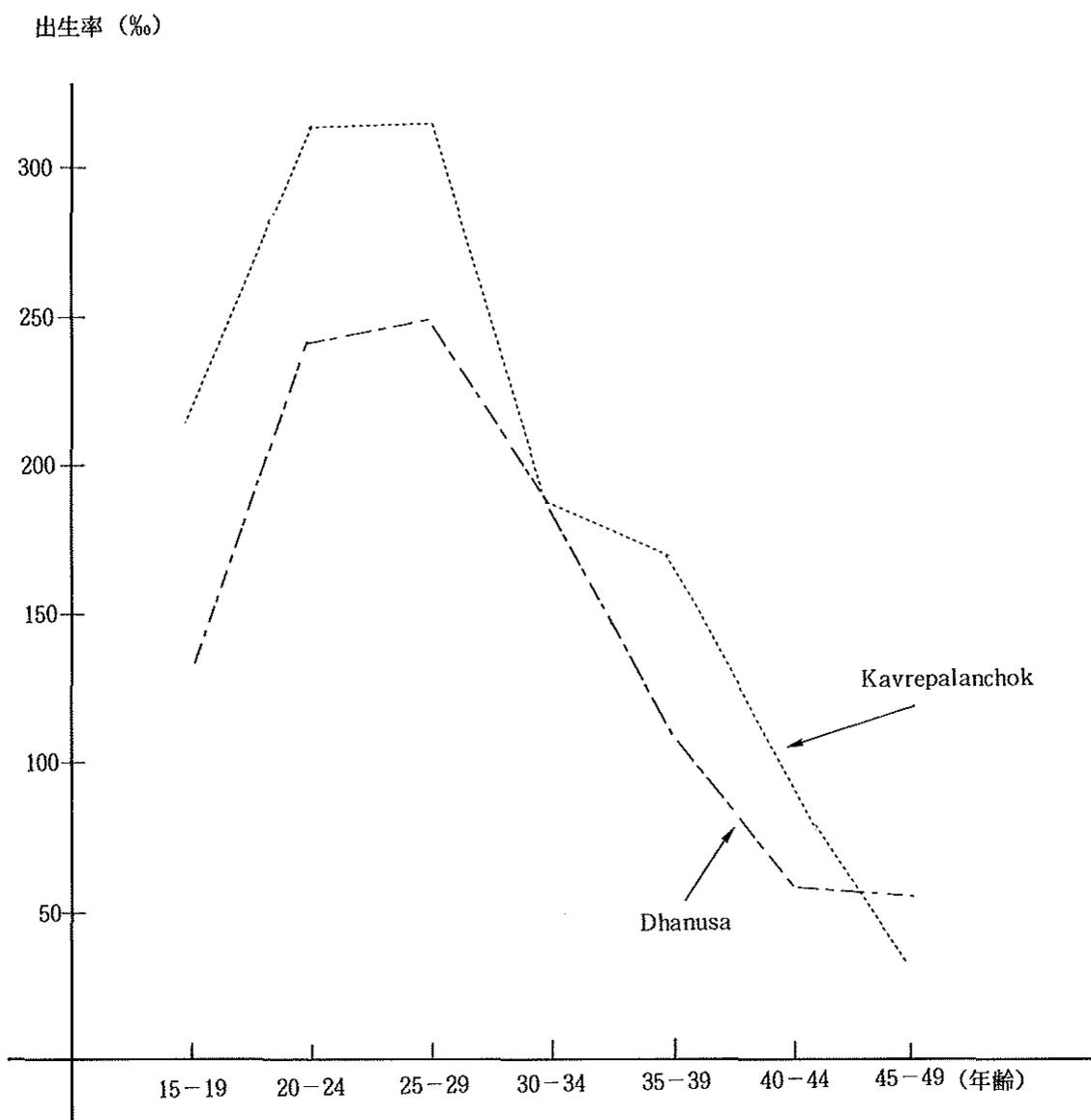
表4-2-4は、年齢別の既往出生児数についてその比率を示したものである。既往出生児数とは、あるコーホート（同時出生集団）が、これまでに産んだ子供数であり、コーホートの出生力を示している。高年齢になるほど子供の数の多い比率が高くなっている。既往出生児数についてみるかぎりにおいて、両郡の出生力は、ほぼ同水準であると考えられる。子供数は、カブレパランチョーク郡の場合、20歳代では2人、30歳代では3-4人と、その比率が高くなっている。ダヌーシャ郡の場合20歳代では1-2人、30歳代では3-4人である。さらに出生行動が完了する年齢層と考えられる45-49歳階級において、出生経験のない女子はきわめて少ない。

第3項 希望子供数

再生産女子人口の希望子供数について、教育水準別に示したのが、表4-2-5である。まず、理想子供数をみるとカブレパランチョーク郡においては、明らかに就学経験をもつ女子の方において、希望子供数は少ない。ダヌーシャ郡の場合も同様に、文盲女子と就学経験をもつ女子を比較した場合、理想子供数は前者において高い。表4-2-5では、また、教育水準別に現存子供数を示しているが、カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡ともに逆の傾向がみられる。しかしながらこれについては、就学経験のある人口が低年齢層であり、まだ、出生行動を完結していないので、この点を考慮にいれると、子供数についての教育水準による差をみることはむずかしいと考えられる。

希望子供数の分布について、さらに年齢別にみたのが、表4-2-6である。年齢別希望子供数については、明らかに年齢別の差異がみられる。すなわち、高年齢層において、希望子供数が多いことである。低年齢層において、教育水準が高いこと、また後に考察する家族計画等の意識の問題、さらに、乳児死亡率低下についての認識ができたこと等がその理由と考えられる。カブレパランチョーク郡の場合、理想とする家族数は、3人であるが、その内訳は、息子2人とするもの69.4%、娘1人とするもの63.7%であり、男子2人、女子1人が希望子供数である。ダヌーシャ郡の場合、息子2人とするもの72.4%、娘1人とするもの73.9%であり、両郡ともに男子選

図4-2-1 年齢別出生率（カブレパランチョーク郡, ダヌーシャ郡）



好の傾向がみられる。

表4-2-7, 表4-2-8は, こうした希望子供数を現在の息子の数ごとに希望追加子供数をみることにより, この傾向をさらに詳細に見たものである。カブレパランチョーク郡の場合, 男子が2人いた場合, 子供を希望しないとする比率は, 90%以上に達している。ダヌーシャ郡の場合, 子供を持つことに対する希望は, カブレパランチョーク郡のそれより高いように思われるが, すでに男子が3人いる場合, 子供を希望しないとする比率は, 95%に達している。ネパールでは, 財産相続権が多くの場合, 男子であること, また多くの儀礼が男子によって行われるという社会慣習によってこの傾向が顕著にみられると考えられる。

表4-2-4 年齢別既往出生児数

カブレパランチョーク郡								%ただし()内は人口	
年齢階級	0	1	2	3	4	5	6+	計	平均出生児数
15~19	67.7	26.8	4.7	0.8	-	-	-	100.0 (127)	0.4
20~24	24.0	35.1	28.4	8.9	3.0	0.4	0.4	100.0 (271)	1.3
25~29	4.5	12.5	25.4	22.7	19.9	10.8	4.2	100.0 (287)	2.9
30~34	2.3	1.8	8.7	21.6	29.4	17.0	19.3	100.0 (218)	4.1
35~39	4.3	3.7	4.3	12.9	17.2	21.5	36.2	100.0 (163)	4.6
40~44	5.5	3.1	3.1	15.6	10.9	18.8	43.0	100.0 (128)	4.7
45~49	1.7	-	11.9	18.6	8.5	20.3	39.0	100.0 (59)	4.7
計	14.7	14.3	15.4	15.1	14.0	11.2	15.3	100.0 (1, 253)	3.0

ダヌーシャ郡								%ただし()内は人口	
年齢階級	0	1	2	3	4	5	6+	計	平均出生児数
15~19	64.1	28.2	5.3	1.5	0.8	-	-	100.0 (131)	0.5
20~24	26.1	38.2	22.5	7.9	4.3	0.4	0.7	100.0 (280)	1.3
25~29	8.6	13.2	23.0	28.6	15.1	8.2	3.3	100.0 (304)	2.7
30~34	4.4	6.7	14.8	19.6	23.7	16.3	14.4	100.0 (270)	3.6
35~39	2.7	4.4	9.9	12.1	23.1	21.4	26.4	100.0 (182)	4.3
40~44	7.4	-	5.8	12.4	14.9	22.3	37.2	100.0 (121)	4.6
45~49	1.2	1.2	9.4	9.4	11.8	25.9	41.2	100.0 (85)	4.9
計	15.3	15.4	15.5	15.2	14.1	11.5	13.0	100.0 (1, 373)	3.0

表4-2-5 教育水準別子供数

(人)			
	文 盲	識字/未就学	就 学
1. 計			
現 存 子 供 数	2.61	2.44	2.57
理 想 子 供 数	3.17	2.93	2.83
2. カブレパランチョーク郡			
現 存 子 供 数	2.90	2.35	2.68
理 想 子 供 数	3.07	2.94	2.72
3. ダヌーシャ郡			
現 存 子 供 数	2.35	2.67	2.92
理 想 子 供 数	3.27	2.45	2.95

表4-2-6 年齢別希望子供数分布

(%)

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	平均子供数(人)
1. カブレパランチョーク郡									
15~19	0.8	1.6	35.9	41.4	14.8	3.9	1.6	-	2.9
20~24	-	1.5	32.0	48.3	16.4	1.5	0.4	-	2.9
25~29	0.3	1.7	31.9	43.4	17.7	3.5	1.4	-	2.9
30~34	0.4	0.4	23.2	39.0	30.7	4.4	1.3	0.4	3.2
35~39	-	0.5	30.1	34.7	25.9	4.7	3.1	1.0	3.2
40~44	1.1	1.1	22.4	40.8	28.7	2.3	2.3	1.1	3.2
45~49	1.1	-	18.4	35.6	35.6	5.7	2.3	1.1	3.4
2. グヌーシャ郡									
15~19	3.1	0.8	9.3	65.1	20.2	0.8	0.8	-	3.0
20~24	-	0.4	13.4	64.6	17.7	2.5	0.4	1.1	3.1
25~29	0.3	2.0	9.4	56.5	26.4	4.0	0.7	0.7	3.2
30~34	0.7	1.8	9.1	49.8	31.6	5.5	1.5	-	3.3
35~39	-	0.5	9.2	57.9	25.6	6.2	0.5	-	3.3
40~44	2.9	-	4.3	56.4	27.1	7.1	0.7	1.4	3.4
45~49	-	2.3	5.3	36.6	19.1	33.6	3.1	-	3.9

表4-2-7 現存子供数(男子)別, 性別, 追加希望子供数-カブレパランチョーク郡

(%)

現存子供数 (男子)	追加希望子供数(男子)					追加希望子供数(女子)				
	0	1	2	3	4+	0	1	2	3	4+
0	10.4	33.2	50.0	2.6	3.9	43.5	39.6	13.0	0.5	3.4
1	54.2	31.4	8.6	0.8	5.1	74.5	16.6	3.5	0.3	5.1
2	91.8	2.3	4.1	-	1.7	90.7	6.1	0.9	0.3	2.0
3	98.4	1.1	0.5	-	-	92.9	6.6	-	0.5	-
4	98.2	1.8	-	-	-	98.2	1.8	-	-	-
5+	97.3	2.7	-	-	-	97.3	2.7	-	-	-
計	60.0	18.7	17.4	0.9	2.9	73.8	18.2	4.8	0.4	2.8

表4-2-8 現存子供数(男子)別, 性別, 追加希望子供数-グヌーシャ郡

(%)

現存子供数 (男子)	追加希望子供数(男子)					追加希望子供数(女子)				
	0	1	2	3	4+	0	1	2	3	4+
0	11.3	11.7	60.6	7.4	9.0	36.4	46.3	7.9	1.1	8.3
1	37.1	30.7	18.8	1.6	11.9	60.9	24.5	2.5	0.9	11.2
2	89.9	4.2	4.5	0.9	0.6	89.8	5.8	1.2	0.3	2.9
3	95.6	0.7	-	2.2	1.5	96.3	2.2	-	1.5	-
4	90.9	-	2.3	2.3	4.5	88.4	2.3	2.3	4.7	2.3
5+	80.0	6.7	-	-	13.3	86.7	-	-	-	13.3
計	49.3	14.3	26.0	3.3	7.1	64.7	23.7	3.6	1.0	7.0

第3節 家族計画

出生変動に間接的に働きかける要因は、文化的要因、社会的要因、経済的要因など様々ある。しかし、出生に直接影響を及ぼす主たる要因は、「授乳の出生抑制効果」、「結婚パターンの変更」、「家族計画（人工妊娠中絶も含める）」しかない。今日、これらの要因は出生力媒介変数として知られているが、なかでも家族計画は出生を意識的に操作しようとする場合にとくに重要である。なぜならば、出生を人為的に抑制する際に、家族計画は最も大きな直接的影響力を発揮するからである。したがって、出生率の将来の動向を予測し、家族計画・母子保健プロジェクトの指針および政策を決定するには、家族計画に対する人々の態度を正確に把握する必要がある。そこで、本節では、ネパールにおける家族計画の概況を分析する。

まず、家族計画に対する人々の認識から分析する。今回の調査では、カブレパランチョーク郡が1,383名、ダヌーシャ郡が1,433名、合計2,816名の女性が調査対象となっている。本来ならば、調査対象女子の年齢は15-49歳の範囲内にあるはずであるが、この年齢層をはずれる女子が数名含まれている。そこで、これらの女性を除外するならば、「家族計画を聞いたことがあるか？」という質問に「聞いたことがある」と答えた者は、カブレパランチョーク郡が1,191名であり、ダヌーシャ郡が1,328名の合計2,519名である。これは調査対象女子総数の89.5%、カブレパランチョーク郡の場合は86.1%、ダヌーシャ郡の場合は92.7%にあたる。すなわち家族計画を聞いたことのある者の割合は両地域ともきわめて高く、大半の者が家族計画に関するなんらかの情報を持っていることがわかる。表4-3-1に示されているのは、これらの女子がどの避妊法について聞いたことがあるかを、女子の年齢ごとの手法別構成比によって表したものである。この表を見てまず最初に気がつくことは、いずれの地域、年齢層においても、男女の不妊手術がよく知られていることである。とくにダヌーシャ郡の女性不妊手術は際立っている。第2は、具体的な避妊法に対する情報に偏りがあることである。カブレパランチョーク郡では男女の不妊手術は等しく知られているのに対し、ダヌーシャ郡では女性不妊手術の方がよく知られている。さらにカブレパランチョーク郡とダヌーシャ郡を比較した場合、ピル、IUD、デポプロベラはダヌーシャ郡よりはカブレパランチョーク郡においてよく知られているといえよう。

以上の分析から、カブレパランチョーク、ダヌーシャのいずれにおいても、調査対象女子人口の相当部分が家族計画、避妊法に関する情報をもってはいるが、その情報には地域によって偏りがあることがわかる。しかし、最大の問題は、家族計画の実行である。かつて避妊を実行していたことがあるという回答の件数は、カブレパランチョーク郡が325件、ダヌーシャ郡が341件である。これは、カブレパランチョーク郡の場合、家族計画を聞いたことのある者の27%（=325/1191）、ダヌーシャ郡の場合は26%（=341/1328）に相当する。しかし、避妊法に関する設問は、複数の避妊法を回答することが可能な形式を採っているために、同一人物が複数の手法を用いていたことも考えられる。このことを想起するなら、この割合はかなり低水準ではあるが、それでも現状よりは若干高めに評価している可能性があるといえよう。

表4-3-1 避妊法を聞いたことのある者の割合

年 齢	避 妊 法 名 (%)								合 計	総 サンプル数	少なくとも1つの 避妊法を聞いたこ とがある者の割合
	ピ ル	コンドーム	IUD	デボプロベラ	不妊手術(男)	不妊手術(女)	伝統的手法	その他			
1. カブレパランチョーク郡											
15-19	21.6	9.9	10.1	14.5	21.6	21.8	0.5	-	100.0	385	94
20-24	21.3	8.3	8.7	15.3	22.2	23.0	0.9	0.2	100.0	926	234
25-29	21.2	8.0	8.8	15.7	22.6	22.9	0.8	-	100.0	987	245
30-34	20.4	9.3	9.3	15.6	22.2	21.6	1.0	0.5	100.0	793	195
35-39	21.8	7.8	8.7	14.1	23.6	22.9	0.7	0.4	100.0	669	175
40-44	22.6	7.9	8.8	12.8	24.0	22.5	0.9	0.5	100.0	579	154
45-49	21.6	7.8	9.0	14.5	23.1	22.7	0.8	0.4	100.0	255	67
計	21.4	8.4	9.0	14.8	22.7	22.5	0.8	0.3	100.0	4,594	1,164
2. ダヌーシャ郡											
15-19	16.8	10.6	3.1	10.9	26.5	31.0	1.1	-	100.0	358	113
20-24	16.8	9.5	3.6	12.4	26.9	30.2	0.5	0.1	100.0	862	260
25-29	17.7	8.6	2.9	11.5	27.7	30.6	0.7	0.2	100.0	919	285
30-34	19.7	8.6	2.2	11.8	27.2	29.5	0.9	-	100.0	907	269
35-39	16.7	7.5	2.8	10.8	28.6	33.4	0.2	-	100.0	545	182
40-44	17.3	6.6	1.9	13.6	28.5	30.4	1.7	-	100.0	411	126
45-49	15.2	7.1	2.5	12.4	29.7	32.2	0.7	0.4	100.0	283	91
計	17.5	8.5	2.8	11.9	27.7	30.8	0.7	0.1	100.0	4,285	1,326

さて表4-3-2は、この「かつて避妊を実行していた」と答えた者を、カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡について、各年齢ごとに実行していた避妊方法別の構成比によって示したものである。この表からまず第1にいえることは、かつて実行していた避妊法にも先に述べたのと同じ地域差が見られることである。すなわち、カブレパランチョーク郡では男性不妊手術が、ダヌーシャ郡では女性不妊手術が最もよく実行されていた手法であるが、ダヌーシャ郡では女性不妊手術に対する依存度がとくに高く、また前者においてはピル、デポプロベラの使用は、後者よりも多いようである。要するに、ダヌーシャ郡における避妊の実行パターンは、女性不妊手術への1点集中型であるといえよう。次に気づくことは、避妊の開始年齢である。カブレパランチョーク郡の場合には、25-29歳から男性不妊手術を受けた比率が増加するのに対し、ダヌーシャ郡ではこの年齢層から女性不妊手術を受けた割合が増えることである。

次は、家族計画の現在の実施状況であるが、これに関するデータには残念ながら不整合が生じている。一般に知られているように、男女の不妊手術は恒久的な避妊手段であり、以前に受けた不妊手術の効果は調査時点においても継続しているはずである。しかしながら、今回の分析に用いたデータでは、以前に不妊手術を受けた者の数よりも、調査時点において実施している避妊法を不妊手術と答えた者の数が少なくなってしまう。このような不整合は、現地調査とコーディングの段階で生じている。すなわち、かつて不妊手術を受けた場合には、調査時点においても不妊手術の項目に丸印をつけるべきところを、そうしなかったケースが発生し、これをフィールド調査の段階でも、コーディングの段階でもチェックしきれなかったのである。そこで、今回の分析では、かつて不妊手術を受けた者の数を、調査時点における数の代理変数とした。

データにこのような処理を施した上で、家族計画について聞いたことのある者に対する割合を求めると、カブレパランチョーク郡が22% (=259/1191)、ダヌーシャ郡は22% (=294/1328)である。先に述べたように、質問形式が複数の避妊法の回答を認めていることを考えあわせれば、これらの率はかなり低いとはいえ、それでも若干高めになっている可能性もある。さて、回答者の年齢ごとに、現在実行している避妊法の構成比を算定したものが、表4-3-3である。この表から、カブレパランチョーク、ダヌーシャのいずれの郡においても、男女の不妊手術がその圧倒的部分を占めていることがわかる。これを地域別に見るならば、先に述べたのと同じ特色を読み取ることができる。すなわち、カブレパランチョーク郡の場合には男性不妊手術が避妊法の第1位を占めているが、ダヌーシャ郡の場合には女性不妊手術が圧倒的な部分を占めている。また、こうした傾向を年齢別に見るならば、両地域とも25-29歳の年齢層を境として避妊手術を受ける者の割合が増加する反面、家族計画を実行していない者の割合が減少することがわかるであろう。

家族計画の将来の実施に対する態度を、同じように算定して表しているのが表4-3-4である。この表からは、興味深い事柄がわかる。カブレパランチョーク郡の場合、「かつて実行していた避妊法」の場合も、また「現在実行してる避妊法」の場合にも男性不妊手術が第1位を占めていた。ところが、将来利用する予定の避妊法は女性の不妊手術が第1位となっている。これはこれまでの傾向とは逆である。また、これまでの傾向の延長としては、不妊手術以外にもピル、

表4-3-2 かつて実行していた避妊法

年 齢	避 妊 法 名 (％)								合 計	総サンプル数
	ピ ル	コンドーム	I U D	デポプロベラ	不妊手術(男)	不妊手術(女)	伝統的手法	そ の 他		
1. カブレパランチョーク郡										
15-19	60.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	100.0	5
20-24	28.6	14.3	-	17.1	22.9	17.1	-	-	100.0	35
25-29	20.0	1.5	-	7.7	40.0	30.8	-	-	100.0	65
30-34	14.9	-	1.5	6.0	40.3	37.3	-	-	100.0	67
35-39	13.7	1.4	1.4	4.1	49.3	28.7	-	1.4	100.0	73
40-44	18.2	3.0	3.0	1.5	53.0	21.2	-	-	100.0	66
45-49	30.8	-	7.7	15.4	23.1	23.1	-	-	100.0	13
計	19.1	2.8	1.5	6.5	42.3	27.8	-	0.3	100.0	324
2. ダヌーシャ郡										
15-19	6.3	6.3	-	6.3	25.0	50.0	6.3	-	100.0	16
20-24	18.9	10.8	-	2.7	16.2	51.3	-	-	100.0	37
25-29	10.2	-	2.0	4.1	4.1	79.6	-	-	100.0	49
30-34	12.1	3.0	1.0	2.0	3.0	78.8	-	-	100.0	99
35-39	6.8	2.7	-	2.7	11.0	76.7	-	-	100.0	73
40-44	9.1	2.3	-	-	20.5	68.2	-	-	100.0	44
45-49	-	-	-	-	17.4	82.6	-	-	100.0	23
計	10.0	3.2	0.6	2.3	10.6	73.0	0.3	-	100.0	341

表4-3-3 現在実行している避妊法

年 齢	避 妊 法 名 (％)									合 計	総サンプル数
	ピ ル	コンドーム	IUD	デボプロベラ	不妊手術(男)	不妊手術(女)	伝統的手法	その他	実行していない		
1. カブレパランチョーク郡											
15-19	-	-	-	-	2.2	2.2	-	-	95.6	100.0	45
20-24	1.0	2.0	-	6.1	8.1	6.1	-	-	76.8	100.0	99
25-29	1.7	0.8	-	2.5	21.7	16.7	-	-	56.7	100.0	120
30-34	2.6	-	-	1.7	23.3	21.6	-	-	50.9	100.0	116
35-39	2.7	-	-	-	32.4	18.9	-	0.9	45.9	100.0	111
40-44	3.3	-	1.1	-	38.0	15.2	-	-	42.4	100.0	92
45-49	5.7	-	-	5.7	8.6	8.6	-	-	71.4	100.0	33
計	2.3	0.5	0.2	2.1	22.0	14.6	-	0.2	58.3	100.0	618
2. ダヌーシャ郡											
15-19	-	8.3	-	-	16.7	33.3	-	-	41.7	100.0	24
20-24	-	3.3	-	1.7	10.0	31.7	-	-	53.3	100.0	60
25-29	-	-	-	-	3.7	72.2	-	-	24.1	100.0	54
30-34	2.0	-	-	-	3.1	79.6	-	-	15.3	100.0	98
35-39	1.4	-	-	1.4	11.1	77.8	-	-	8.3	100.0	72
40-44	-	-	-	-	20.0	66.7	-	-	13.3	100.0	45
45-49	-	-	-	-	16.0	76.0	-	-	8.0	100.0	25
計	0.8	1.1	-	0.5	9.5	65.9	-	-	22.2	100.0	378

表4-3-4 将来利用するつもりのある避妊法

年 齢	避 妊 法 名 (％)										計	総サンプル数
	ピル	コンドーム	I U D	デボプロベラ	不妊手術(男)		不妊手術(女)	そ の 他	わ か ら な い			
					不妊手術(男)	不妊手術(女)						
1. カブレランチョーク郡												
15-19	25.8	-	1.6	14.5	22.6	32.3	-	3.2	100.0	62		
20-24	17.7	1.4	-	8.5	31.2	36.9	2.1	2.1	100.0	141		
25-29	21.4	0.8	-	15.1	19.8	38.0	3.2	1.6	100.0	126		
30-34	20.0	2.9	1.4	14.3	28.6	28.6	1.4	2.9	100.0	70		
35-39	26.8	2.4	-	22.0	19.5	29.3	-	-	100.0	41		
40-44	35.3	-	5.9	35.3	5.9	11.7	5.9	-	100.0	17		
45-49	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0	4		
計	21.7	1.5	0.7	14.5	24.3	33.4	2.0	2.0	100.0	461		
2. ダヌーシャ郡												
15-19	3.7	-	-	-	9.3	77.8	3.7	5.6	100.0	54		
20-24	2.3	-	-	3.0	2.3	88.0	0.8	3.8	100.0	133		
25-29	5.7	-	-	4.1	4.9	78.9	2.4	4.1	100.0	123		
30-34	6.0	-	1.2	6.0	2.4	79.5	2.4	2.4	100.0	83		
35-39	6.7	-	-	4.4	4.4	84.4	-	-	100.0	45		
40-44	17.6	-	-	5.9	11.8	64.7	-	-	100.0	17		
45-49	20.0	-	20.0	-	-	40.0	20.0	-	100.0	5		
計	5.2	-	0.4	3.7	4.3	81.1	2.0	3.3	100.0	460		

デポプロベラといった手法を答える者が比較的多いことである。一方ダヌーシャ郡の場合には、第1位が女性不妊手術、第2位が男性不妊手術、そして第3位がピルである。この点はこれまでの傾向と同じである。

さて、以上述べてきたことから、カブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡のいずれにおいても家族計画を聞いたことのある者は多いにもかかわらず、なかなか実行にうつされていない現状がわかるであろう。最後にこの原因を見ておこう。表4-3-5には、年齢ごとに、家族計画を実行しない理由の構成比が示されている。この表から読み取れるように、カブレパランチョーク、ダヌーシャのいずれの郡においても、15歳から30代前半までの若い年代は「子供が欲しい」という理由が最も多い。これとは逆に、両地域とも30代後半以降は、「閉経」、「不妊」、「健康上の理由」、「宗教上の理由」、「夫が嫌う」が多くなる。これを地域別に見るなら、「健康上の理由」はカブレパランチョーク郡に多く、「宗教上の理由」と「夫が嫌う」はダヌーシャ郡に多い。また両地域とも「女兒が欲しい」という理由はきわめて少ない。しかしながら、「男児が欲しい」という理由に関していうならば、両地域ともかなり多い。これを年齢別に見ると、カブレパランチョーク郡の場合には、15-19歳の7.7%から25-29歳の30.9%まで急増し、それ以降は45歳-49歳の6.0%へと急落している。他方ダヌーシャ郡の場合には、ピークは25-29歳の28.3%と同じ年齢層であるが、カブレパランチョーク郡に比べると全年齢階層にわたってほぼ均等に十数パーセントの水準を維持している。このことからするならば、男子選好の慣習はダヌーシャ郡の方が根強いといえよう。この女兒よりも男児を欲する男子選好の慣習は、出生を増加させる方向に作用する。

ここで特筆すべきことは、「避妊具の入手不可能」はカブレパランチョーク郡に多く、ダヌーシャ郡に少ないことである。これは両地域の地理的特性に関係があると思われる。というのは、丘陵部に位置するカブレパランチョーク郡は、平野部に位置するダヌーシャ郡に比べて交通が困難だからである。このような交通の困難が、避妊器具入手の障害になっていることは、想像に難くない。

さて、子供に対する需要と家族計画の実施との関係は、表4-3-6からも読み取ることができる。これは、現存子供数ごとに、実行している避妊法の比率を表している。この表からわかるように、カブレパランチョーク郡では現存子供数が3人になったあたりから、男性不妊手術を受けるものが増える反面、家族計画を「実行していない」者は減少する。またダヌーシャ郡でも、現存子供が3人あたりになると女性不妊手術を受ける者が増える反面、家族計画を「実行していない」者は減少する。この3人という子供の数は、既に第4章第2節で述べた理想子供数にほぼ一致している。これらの事実から、いずれの地域においても、人々が家族計画を実施するのは理想子供数を達成した後であるということが類推できよう。

これまでに述べてきたことを簡潔に要約するならば、およそ次のようにいうことができよう。カブレパランチョーク、ダヌーシャのいずれの郡においても家族計画について聞いたことのある者は多数いるが、家族計画の実行者はなお低水準にある。夫婦が家族計画を実行にうつすのは、

表4-3-5 家族計画を実行しない理由

年 齢	家 族 計 画 を 実 行 し な い 理 由 (%)											計	総サンプル数	
	子供が欲しい	男児が欲しい	女児が欲しい	健康上の理由	宗教上の理由	夫がきらい	別 居	閉 経	不 妊	避妊具の入手不可	その他			
1. カブレバランチョーク郡														
15-19	87.9	7.7	-	1.1	-	-	-	-	1.1	-	1.1	100.0	91	
20-24	64.7	19.6	1.1	0.5	0.5	1.0	2.5	1.0	-	2.9	4.9	100.0	204	
25-29	33.0	30.9	2.5	11.5	2.6	2.6	1.6	-	1.0	6.8	7.3	100.0	191	
30-34	10.1	17.1	5.4	28.7	0.7	2.3	3.9	-	2.3	13.2	16.3	100.0	129	
35-39	7.1	13.3	1.8	31.9	1.8	6.2	3.5	1.8	7.1	9.7	15.9	100.0	113	
40-44	4.3	3.3	-	26.1	6.5	1.1	2.2	13.0	10.9	14.1	18.5	100.0	92	
45-49	2.0	6.0	-	16.0	6.0	-	2.0	38.0	20.0	8.0	2.0	100.0	50	
計	34.8	17.1	2.3	14.8	2.1	2.1	2.3	4.0	3.9	7.4	9.4	100.0	870	
2. ダヌーシャ郡														
15-19	77.3	2.7	-	-	0.9	0.9	1.8	-	-	-	16.1	100.0	110	
20-24	69.5	17.7	0.8	-	2.9	2.1	-	-	0.4	0.8	5.8	100.0	243	
25-29	47.7	28.3	1.7	5.5	3.4	3.0	-	-	1.7	1.3	7.6	100.0	237	
30-34	37.0	19.6	1.6	11.4	4.3	4.3	-	0.5	5.4	1.6	14.1	100.0	184	
35-39	18.9	15.6	1.6	18.0	8.2	6.6	-	9.8	5.7	0.8	14.8	100.0	122	
40-44	13.4	11.0	2.4	6.1	6.1	9.8	-	25.6	15.9	-	9.8	100.0	82	
45-49	4.3	11.6	-	8.7	4.3	5.8	-	39.1	17.4	-	8.7	100.0	69	
計	45.1	17.7	1.2	6.4	4.0	3.9	0.2	5.8	4.5	0.9	10.3	100.0	1,047	

表4-3-6 現存子供数と避妊の実行

現存子供数	避妊法名 (%)									合計	総サンプル数
	ピル	コンドーム	IUD	デポプロベラ	不妊手術(男)	不妊手術(女)	伝統的手法	その他	実行していない		
1. カブレパランチョーク郡											
0	-	-	-	-	4.7	-	-	-	95.3	100.0	64
1	1.5	1.5	-	5.9	2.9	1.5	-	-	86.6	100.0	68
2	2.4	2.4	-	2.4	17.1	11.0	-	-	65.9	100.0	82
3	1.6	1.6	0.8	1.6	27.6	16.5	-	0.8	50.4	100.0	127
4	3.0	3.0	-	3.0	29.7	14.9	-	-	49.5	100.0	101
5	-	-	-	1.4	33.8	18.3	-	-	46.5	100.0	71
6	5.0	5.0	-	-	22.5	20.0	-	-	52.5	100.0	40
7+	12.0	12.1	-	3.0	9.1	15.2	-	-	60.6	100.0	33
2. グヌーシャ郡											
0	-	-	-	-	-	9.1	-	-	90.9	100.0	22
1	-	-	-	3.0	3.0	12.1	-	-	75.8	100.0	33
2	2.2	2.2	-	-	6.7	51.1	-	-	37.8	100.0	45
3	-	-	-	1.2	5.8	80.2	-	-	11.6	100.0	86
4	1.3	1.3	-	-	7.7	85.9	-	-	5.1	100.0	78
5	2.6	2.6	-	-	10.3	76.9	-	-	10.3	100.0	39
6	-	-	-	-	5.0	80.0	-	-	15.0	100.0	20
7+	-	-	-	-	-	85.7	-	-	14.3	100.0	7

およそ3人の水準にある理想子供数を達成してからのことであり、女性の年齢にして25-29歳以降のことと思われる。また、両地域ともに男子選好の風習が見られるが、この傾向はダヌーシャ郡の方が根強いように思われる。このような地域差は、実際に用いられる（用いられた）避妊法等にも見られるが、こうした地域差には両地域間に見られる地理的、社会的、文化的といった様々な相違が微妙に作用しているように思われる。家族計画をさらに促進させるには、こうした地域差を考慮にいれたきめの細かい対策をたてる必要がある。

第4節 死 亡

死亡に関しては、世帯調査票第2部の「世帯の社会・経済的状況」で、過去12か月間に死亡した者の性、死因、そして死亡時の年齢が調査されている。表4-4-1は、この死亡状況を年齢5区分別（0歳、0-4歳、1-14歳、15-64歳、65歳以上）、地域別に示したものであって、性別表示はしていない。このように簡略な分類を採用したのは、死亡のサンプル数が少ないために、地域、性、年齢等について詳細な区分を行うと法則性が失われてしまい、理解が困難になるからである。しかし、合計で230を上回るサンプル数からは、若干の有益な情報を得ることができ

表4-4-1 地域別年齢別死亡数とその年齢構成比

年 齢	実 数		構 成 比 (%)	
	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
0歳	44	43	36.7	37.1
0-4歳	56	61	46.7	52.6
1-14歳	23	28	19.2	24.1
15-64歳	34	18	28.3	15.5
65歳以上	19	27	15.8	23.3
合 計	120	116	100.0	100.0

まず、地域別の死亡総数であるが、これはカブレパランチョーク郡が120名、ダヌーシャ郡が116名とほぼ同数であって、両地域の死亡総数には有意差は認められない。これを死亡の年齢構成比の観点から見ると、興味深い事実を読み取ることができる。両地域の死亡総数の3分の1以上、すなわちカブレパランチョーク郡の36.7%、ダヌーシャ郡の37.1%は0歳で生じているのである（乳児死亡）。また、年齢区分の幅を0-14歳に広げてみると、カブレパランチョーク郡の場合は55.9%、ダヌーシャ郡の場合は61.2%と、死亡数の2分の1以上がこの若い年齢層に集中していることがわかる。つまり、両地域とも死亡の半数以上が0-14歳の年齢層（年少人口）に生じており、残りの部分を15-64歳（生産年齢人口）と65歳以上（老年人口）の2つの年齢階層が分け

あっていることになる。このように死亡の多くの部分が年少人口に集中する現象は、死亡率の高い社会によく見られる典型的なパターンである。

この死亡の年齢構成比に見られる両地域間の相違は、また非常に重要な問題を提起している。両地域とも乳児死亡の比率はほぼ同じである。ところが1-14歳の年少人口の死亡構成比はカブレパランチョーク郡が19.2%であるのに対し、ダヌーシャ郡は24.1%である。15-64歳の死亡構成比では、この関係が逆転してカブレパランチョーク郡の28.3%に対して、ダヌーシャ郡は15.5%である。さらに、65歳以上の年齢層になると両地域間の関係は再び逆転して、カブレパランチョーク郡の構成比が15.8%であるのに対し、ダヌーシャ郡は23.3%となる。

上記の観察は両地域の人口の構造を考慮していない。そこで、人口の構造の影響を考慮にいて、このような傾向を死亡率の観点から表したものが、表4-4-2である。普通死亡率は両地域とも人口1,000人当たり13人強であって大差はないが、乳児死亡（0歳児の死亡）は両地域ともきわめて高く、死亡の多くは低年齢層に集中していることがわかる。また、ダヌーシャ郡のそれはとくに顕著であるが、その詳細な説明は第5章総括指標の設定にゆずる。ここでとくに重視すべきことは、年齢別の死亡率にも、先に見たのと同じ両地域間の逆転現象があらわれていることである。

表4-4-2 地域別年齢別死亡数と地域別死亡率

年 齢	実 数		年 齢 別 死 亡 率 (%)	
	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
0 歳	44	43	148.1	170.6
0-4 歳	56	61	42.1	47.7
1-14 歳	23	28	6.6	8.6
15-64 歳	34	18	7.3	3.8
65歳以上	19	27	53.2	114.9
合計/普通死亡率	120	116	13.7	13.9

こうした現象の原因としては、死亡数の一時的な変動、死因構造の地域差、社会経済状況や公衆衛生水準の相違等様々な要因が考えられるが、その究明はより詳細な分析と、いっそうの情報収集とを要する今後の課題である。

さて、こうした死亡パターンをもたらした死因は、表4-4-3と表4-4-4から見る事ができる。前者は今回の分析に用いた死因の分類表であり、後者はその死因別死亡の発生件数である。この死因分類表は、国際疾病分類基準（ICD）やわが国のそれと違って非常に簡単なものであるが、ネパール農村部における保健・衛生状態の実情を把握するには効果的である。なぜならば、病気や出産のときに医者にかかるのは、農村部では一般的なことではない（このことは次節、第5節に詳しく述べられている）。したがって、回答者が正確な死因を知っている可能性は少

なく、彼女たちから得た情報に基づいて死因を正確に判定することは、一般的にいて不可能である。そこで今回の調査では、死因が不明である場合には、調査員が死亡者の生前の病状に関する情報をできるかぎり正確に収集し、コーダーがその情報に基づいて適当と思われる病名を死因分類表から選び出す、という方法によって死因を判定した。このような方法を採用する場合、回答者から得られる情報の質などを勘案するならば、詳細な分類基準よりは、むしろ簡単な分類基準の方が実情をより正確に反映するといえよう。

表 4-4-3 死因分類表

対 象	死 因
5 歳 未 満 の 児 童	急性呼吸器系不全
	マシンおよび他の伝染病
	下 痢
	栄 養 失 調
	百 日 ぜ き
	ジ フ テ リ ア
	他の科学的理由
妊 婦	迷 信
	出 血
	妊 婦 の 発 熱
	妊 婦 の 発 作 と 浮 腫
そ の 他	妊 婦 の 黄 だ ん
	発熱（原因不明）
	その他の疾病
	分 か ら な い

表 4-4-4 主たる死因

順 位	死 因	件 数
1	そ の 他 の 疾 病	104
2	他 の 科 学 的 理 由	24
3	発 熱 （ 原 因 不 明 ）	18
4	下 痢	15
5	マシンおよび他の伝染病	13
6	急性呼吸器系不全	6
7	妊 婦 の 発 作 と 浮 腫	5
8	百 日 ぜ き	4

さて、このような配慮をした場合でさえも、死因の分析には困難が生じる。表 4-4-4 からわかるように、死因の第 1 位は「その他の疾病」の 104 件であり、第 2 位は 24 件の「他の科学的な理由」である。しかし、この死因では何がおきたのかはわからない。第 3 位の「発熱(原因不明)」になって、ようやく熱病によって死亡していることはわかるが、その正確な病名は不明のままである。つまり、死亡総数の半分近くは、実質的には死因がわからないのである。しかしながら、このような問題点はあるものの、この表からは若干の重要な情報を読み取ることができる。第 7 位の妊産婦の合併症を別にすれば、第 4 位の下痢、第 5 位の急性呼吸器系不全、第 8 位の百日ぜきといった乳幼児の多くかかる疾病が流行していることである。こうした事実は、死亡総数のおよそ半分が年少人口に集中していることと関連があると思われる。

今回の死因分析では、死亡総数の半数近くの死因の詳細は不明である。この原因は、死因の判定をコーダーに依存したことにあり、と思われる。医者も同席の上で、質問票上の回答を再度検討するならば、詳細不明の死因の数が減少し、より正確な分析が可能になるものと思われる。

第5節 疾病

疾病には、感染性疾患、非感染性疾患および外因性障害があるが、とくに感染性疾患においては、1人の患者が発生すれば単に1人だけにとどまらず、初発患者が火元となって病害がつぎつぎに地域住民の間に波及し、病苦やそれに伴う各種の損害が地域社会に広がるものである。そのためにも感染源となる患者、保菌者、接触者ならびに感染動物源に対しての感染源対策である届出と消毒を行い、さらに感染経路対策や感受性対策を行わなければならない。

ネパール王国は、疾病に対して、都市には病院はあるが、農村部には病院はほとんどなく、そのためヘルスポストが置かれ、疾病の治療、予防、妊婦の検診、ファミリープランニングの指導を行っているのが現状である。

我々は、住民の疾病に対する態度について、丘陵部であるカブレパランチョーク郡と平野部であるダヌーシャ郡の各4つのヘルスポストが統括する地域のほとんどが農業従事者である住民女性に対して質問調査を行い検討した。

第1項 治療とその対策

本項ではまずネパールの2郡の女性について疾病に対する治療態度について検討を行った。

表4-5-1-1 病気にかかった人が治療をするかどうか -ヘルスポスト別

<単位：％，ただし（ ）内は総数>

	治療する	治療しない	無回答	計
1. カブレパランチョーク郡				
Bhumlutar	93.6	1.7	4.7	(406)
Dapcha	91.4	0.4	8.2	(279)
Khopasi	90.1	1.0	8.8	(477)
Nala	98.4	0	1.8	(304)
計	93.0 (1,364)	0.9 (13)	6.1 (89)	(1,466)
2. ダヌーシャ郡				
Godar	96.9	1.8	1.3	(391)
Godhaghas	98.8	0.6	0.8	(309)
Sabaila	95.7	1.9	2.4	(488)
Tarapatti	91.7	2.0	6.3	(303)
計	95.9 (1,410)	1.6 (24)	2.5 (37)	(1,471)

「病気にかかったら治療をするかどうか」の質問についての答えは表4-5-1-1に示した通りで、カブレパランチョーク郡では1,466名中93.0%の者が治療すると答え、各ヘルスポスト地域でも90%を越えており、ダヌーシャ郡では1,471名中95.9%の者が治療すると答え、各ヘルスポスト地域でも

91.7%を越えていた。このように、ほとんどの者が病気にかかれば、治療するという態度を持っているのがわかる。

次にわずかではあるが、治療をしないと答えた、カブレパランチョーク郡の13名とダヌーシャ郡の24名について分析した結果、小数の人々ではあるが両郡とも財政上の問題と答えた者が最も多いことについては考える必要があるであろう（表4-5-1-2参照）。

表4-5-1-2 治療を受けなかった理由

(単位：%)

ヘルスポスト名	財政上の問題	治療に信頼が持てない	距離があまりすぎ	医療機関の設備がない
1. カブレパランチョーク郡				
Bhumlutar	46.2	23.1	7.7	15.4
Dapcha	7.7	0.0	0.0	7.7
Khopasi	30.8	15.4	15.4	7.7
Nala	0.0	7.7	0.0	7.7
計	84.7	46.2	23.1	38.5
2. ダヌーシャ郡				
Godar	20.8	4.2	0.0	0.0
Godhaghas	4.2	0.0	0.0	4.2
Sabaila	20.8	8.3	4.2	8.3
Tarapatti	16.7	0.0	0.0	8.3
計	62.5	12.5	4.2	20.8

治療をすると答えた者が、「治療をどこで受けるか」という質問に対して、表4-5-1-3のように答えている。カブレパランチョーク郡では、1,459名中54.8%が医療機関（病院やH. P.）、32.8%がダミジャクリ(祈禱師)に、ダヌーシャ郡では、1,480名中42.6%が医療機関、42.5%が医者か看護婦に治療を受けると答えている。

カブレパランチョーク郡では地域開業医が皆無のため祈禱師の所に行くのが多くなっているであろう。ダヌーシャ郡ではゴダールヘルスポスト地域を除いては、開業医と無資格医師がいるため彼らの所に行く者が多くなっていると思われる。

ネパールにおいて最も多発する疾病である下痢について調査した結果、下痢に対する知識は、カブレパランチョーク郡においては有効回答数、1,370名中94.5%の女性が下痢の知識を持っており、年齢階級別でも各年齢階級とも96.8%から100%という高い値が得られた。ダヌーシャ郡においても同様に1,401名中84.2%の女性が下痢の知識を持っており、年齢階級別でも、14歳以下の回答女性1名を除いて、15歳以上の年齢階級別でも各年齢階級とも72.8%から88.6%という高い値が得られた。（表4-5-1-4参照）

次に5歳以下の子供を持っている母親に子供の下痢の理由を質問したのが、表4-5-1-5であり、カブレパランチョーク郡では、有効回答数830名中、41.9%が理由を知らず、知っている者は迷信、

表4-5-1-3 治療場所 -ヘルスポスト別

<単位：％，ただし（ ）内は総人数>

ヘルスポスト名	病 院 H P	医者の家 看護 婦	ダミジ ジャクリ	カ ビ ラ ー ジ ュ	無資格 医 師	その他	無回答	計
1 カブレパランチョーク郡								
Bhumlutar	58.6	1.0	34.8	-	-	0.8	4.8	(399)
Dapcha	56.7	3.5	30.1	0.4	1.4	-	7.8	(282)
Khopasi	56.3	4.2	27.4	1.3	1.5	0.6	8.6	(474)
Nala	45.4	3.9	40.8	4.3	3.6	0.7	1.3	(304)
計	54.8 (799)	3.2 (46)	32.8 (478)	1.4 (20)	1.5 (22)	0.5 (8)	5.9 (86)	(1,459)
2. ダヌーシャ郡								
Godar	40.2	34.5	1.3	-	12.4	10.1	1.6	(386)
Godhaghas	43.9	50.3	0.3	3.2	1.3	0.6	0.3	(310)
Sabaila	42.8	42.1	0.6	-	10.4	1.9	2.2	(463)
Tarapatti	44.2	45.5	0.7	1.0	1.7	0.3	6.6	(301)
計	42.6 (622)	42.5 (621)	0.8 (11)	0.9 (13)	7.2 (105)	3.5 (51)	2.5 (37)	(1,460)

表4-5-1-4 年齢別下痢に対する知識

年齢区分	カブレパランチョーク郡		ダヌーシャ郡	
	知っている	比率（％）	知っている	比率（％）
-14	2	100.0	-	0.0
15-19	105	86.8	91	72.8
20-24	252	93.3	235	84.5
25-29	277	95.8	255	85.0
30-34	220	94.8	235	85.8
35-39	188	97.4	171	88.6
40-44	167	96.5	114	83.8
45-49	80	92.0	78	83.0
50+	3	100.0	-	-
計	1,294	94.5	1,179	84.1

表4-5-1-5 下痢の理由

%, ただし () 内は実数

年齢区分	消化不良	迷信	胃の不良	腐敗物	汚い食物	ハエ	汚水	理由を不知	計
1. カブレパランチョーク郡									
-14	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0 (1)
15-19	7.5	13.4	-	14.9	6.0	6.0	1.5	50.7	100.0 (67)
20-24	14.0	12.7	4.0	13.3	9.3	8.0	0.7	38.0	100.0 (150)
25-29	9.3	14.5	2.3	11.6	8.1	11.0	1.2	41.9	100.0 (172)
30-34	12.1	10.7	2.1	12.9	8.6	6.4	2.1	45.0	100.0 (140)
35-39	9.4	15.0	1.6	11.8	11.8	8.7	0.8	40.9	100.0 (127)
40-44	12.3	14.9	1.8	14.0	7.0	13.2	0.9	36.0	100.0 (114)
45-49	8.8	8.8	3.5	12.3	3.5	10.5	1.8	50.9	100.0 (57)
50+	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0 (2)
計	11.0	13.3	2.3	12.9	8.3	9.1	1.2	41.9	100.0 (830)
2. ダヌーシャ郡									
15-19	25.0	4.2	-	29.2	8.3	-	-	33.3	100.0 (24)
20-24	20.7	12.6	-	12.6	5.7	-	-	48.3	100.0 (87)
25-29	18.2	10.4	-	19.5	2.6	-	1.3	48.1	100.0 (77)
30-34	20.4	14.6	1.0	19.4	2.9	0.2	1.0	40.8	100.0 (103)
35-39	19.7	9.9	4.2	15.5	7.0	-	-	43.7	100.0 (71)
40-44	12.5	15.0	2.5	17.5	7.5	-	-	45.0	100.0 (40)
45-49	32.1	14.3	3.6	17.9	-	-	3.6	28.6	100.0 (28)
計	20.2	12.1	1.4	17.7	4.7	0.2	0.4	43.3	100.0 (430)

腐敗物, 消化不良, ハエ, 汚い食物, 胃の不良, 汚水の順で理由を答えている。またダヌーシャ郡では, 有効回答数430名中, 43.3%の者が理由を知らず, 知っている者は, 消化不良, 腐敗物, 迷信, 汚い食物, 胃の不良, 汚水, ハエの順で理由を答えている。

両郡とも5歳以下の子供を持つ母親の約40%が子供の下痢の原因を知らないという事は, 重大な事であり, 両郡の5歳以下の子供の死因の第1位が下痢であることも当然といえよう。このためにも公衆衛生上, 母親の疾病に対する教育が大切である。これに付随して, 迷信によって下痢がおけると信じている者が, カブレパランチョーク郡では13.3%, ダヌーシャ郡では12.1%もいる事も, 子供の死亡率を高めている理由であろう。また下痢がハエによっておけると考えている母親がカブレパランチョーク郡で9.1%, ダヌーシャ郡で0.2%あり, ダヌーシャ郡の方が非常に低い率であるのは, ダヌーシャ郡は1年中暑い地域のため常にハエが多く, ハエに対してあまり関心がないのではないかと思われる。

下痢の治療対策については, カブレパランチョーク郡では有効回答数1,278名中, 28.9%の女性が伝統的治療法によって治療をすると最も多く答え, ついで化学的薬品投与と答えている。ダヌーシャ郡では, 有効回答数1,158名中44.7%の女性が化学的薬品投与によって治療をすると最も多く答え

ており、ついで経口補水液であるジーバンジャルの投与と答えている。すなわち、カブレパランチョーク郡では、伝統的治療法の1つである祈禱師による治療などが前述したように多く行われているのではなかろうか。(表4-5-1-6参照)

このように両郡とも下痢が多く、とくに下痢は水系伝染病の1種であるため、子供に水を与える時は、一度煮沸した湯冷を与えるようにし、水源地の汚染を避け消毒するようにすることである。また衛生指導並びに正しい治療法をヘルスワーカーなどによって教育していくべきであろう。

表4-5-1-7は、母親が5歳以下の子供で眼疾患を患っている者の両郡のヘルスポストごとの百分率とその眼病の種類、さらには、母親が子供に「夜、眼がよく見えない」と訴えられて夜盲症であると答えた百分率を示したものである。カブレパランチョーク郡の眼疾患率は、有効回答者1,304名中10.1%で、その中の48.5%が結膜炎であり、トラコーマ(3.8%)、眼球乾燥症(2.3%)の順で、また全体の0.8%が夜盲症である。ダヌーシャ郡の眼疾患率は有効回答者1,256名中7.7%で、その中の39.2%が結膜炎であり、眼球乾燥症(6.2%)、出生後失明の順で、また全体の4.3%が夜盲症である。これらの事を勘案するとカブレパランチョーク郡の方がダヌーシャ郡より眼疾患が多いことがわかり、その中でも結膜炎、トラコーマが多いという事は、両郡の生活様式の違いからおこるものと思われる。カブレパランチョーク郡は家の中で火を炊いて、炊事をする習慣があるため、室内にその煙が蔓延し、結膜炎やトラコーマがダヌーシャ郡より多くみられるのであろう。また、ダヌーシャ郡の方がカブレパランチョーク郡より眼球乾燥症が多く、また夜盲症も6倍程あり、全体の4.3%というのは、ダヌーシャ郡はカブレパランチョーク郡に比して、今回の調査でビタミンAの摂取量が食事の差異から少ないためであろうと思われる。またダヌーシャ郡の夜盲症と思われる発症が4.3%ということは、世界各国の中でも多い方に属すると思われる。WHOの報告にはみられないが、その対策を立てる必要がある。また眼球乾燥症は、WHOの1978年の報告⁴⁾によると隣国のインドで、8.2%の発生率であることから、ダヌーシャ郡では、この数値に似た値であると思われる、夜盲症とともにビタミンAの摂取指導をすべきである。

表4-5-1-8は両郡の5歳以下の子供の主疾病6種類についてどのような疾病に罹患したかを、母親に質問したものである。合計の()内の数は、各疾病について答えた母親の有効回答数であり、カブレパランチョーク郡では、下痢に罹患した子供が最も多く881名の母親のうち72%の子供が罹患したと答えている。次いで寄生虫症、急性呼吸器系疾患、百日ゼキ、麻疹、ジフテリアの順であった。ダヌーシャ郡では、832名中63.3%の子供が下痢に罹患しており最も多く、次いで、急性呼吸器疾患、寄生虫症、百日ゼキ、麻疹、ジフテリアの順であった。このことから、両郡とも5歳以下の子供に下痢が多発し、前述したように死亡数も高いことから、下痢対策を考える必要がある。寄生虫症については、寄生虫の駆虫と人糞の処理が大きな問題であり、生野菜はよく洗うか、湯に通して食べることである。他の疾病は後で述べるが、まずは予防接種の普及によって大きく減少するであろう。

最後に生まれた子供が前表で記した疾病に罹患した時に、何処で治療したかについては表4-5-1-9のみを記しておくので参考とされたい。

表4-5-1-6 下痢の治療とその対策

年齢区分	単位：%ただし()内は実数									
	治療せず	ジーバンジャル	塩・砂糖水	近代的薬物	アユルヴェティック	他の伝統的治療法	その他	治療法知らない	計	
1. カブレランチョーク郡										
-14	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0 (2)	
15-19	4.9	10.8	4.9	19.6	5.9	29.4	11.8	12.7	100.0 (102)	
20-24	4.9	16.2	6.5	25.1	6.5	25.5	8.9	6.5	100.0 (247)	
25-29	3.3	17.8	6.5	25.5	9.5	24.7	10.9	1.8	100.0 (275)	
30-34	2.7	15.1	2.7	21.0	8.7	34.7	12.8	2.3	100.0 (219)	
35-39	6.5	8.1	1.6	32.4	7.6	24.9	15.7	3.2	100.0 (185)	
40-44	3.0	9.6	3.0	25.3	4.2	34.9	15.7	4.2	100.0 (166)	
45-49	5.1	7.6	1.3	29.1	7.6	34.2	15.2	-	100.0 (79)	
50+	-	-	-	66.7	-	33.3	-	-	100.0 (3)	
計	4.1	13.3	4.2	25.5	7.4	28.9	12.5	4.1	100.0 (1,278)	
2. ダヌーシャ郡										
15-19	3.4	17.0	1.1	36.4	6.8	3.4	14.8	17.0	100.0 (88)	
20-24	5.7	20.0	1.3	43.0	7.0	3.9	11.7	7.4	100.0 (230)	
25-29	5.6	17.5	1.2	46.4	6.3	3.2	14.7	5.2	100.0 (252)	
30-34	4.3	20.3	2.2	43.3	8.2	2.6	13.0	6.1	100.0 (231)	
35-39	4.2	22.2	0.6	43.1	6.0	1.8	15.0	7.2	100.0 (167)	
40-44	1.8	15.9	2.7	49.6	5.3	5.3	17.7	1.8	100.0 (113)	
45-49	3.9	11.7	-	55.8	3.9	2.6	14.3	7.8	100.0 (77)	
計	4.5	18.7	1.4	44.7	6.6	3.2	14.1	6.8	100.0 (1,158)	

表4-5-1-7 眼疾患とその種類

(%)

ヘルスポスト名	疾病率	疾 病 の 種 類						夜盲症
		結膜炎	眼球乾燥症	出生後失明	先天的失明	トラコーマ	その他	
1. カブレパランチョーク郡								
Bhumlutar	12.7	43.2	2.3	-	-	-	54.5	0.3
Dapcha	10.6	63.0	3.7	3.7	-	3.7	25.9	1.4
Khopasi	6.7	40.7	0.0	-	3.7	3.7	51.9	1.1
Nala	11.6	50.0	3.1	-	-	9.4	37.5	0.4
計	10.1	48.5	2.3	0.8	0.8	3.8	43.8	0.8
2. ダヌーシャ郡								
Godar	2.0	14.3	14.3	-	14.3	-	57.1	1.7
Godhaghas	10.1	42.9	7.1	-	-	-	50.0	6.3
Sabaila	10.8	48.4	9.7	9.7	-	-	32.3	3.5
Tarapatti	12.4	31.3	3.1	-	-	3.1	62.5	9.5
計	7.7	39.2	6.2	3.1	1.0	1.0	49.5	4.9

表4-5-1-8 5歳以下での子供のヘルスポストごとの疾病発生状況

単位：%, ただし()内は総数

ヘルスポスト名	下痢症	麻 疹	寄生虫症	百日ぜき	呼吸器系感染症	ジフテリア
1. カブレパランチョーク郡						
Bhumlutar	69.3	10.3	42.2	39.2	46.0	6.0
Dapcha	69.8	17.8	37.3	41.8	38.6	3.2
Khopasi	71.5	21.3	37.5	26.4	38.8	4.3
Nala	78.2	25.1	43.1	28.9	33.7	6.5
計	72.0 (861)	18.9 (850)	40.1 (856)	33.5 (856)	39.7 (853)	5.1 (849)
1. ダヌーシャ郡						
Godar	64.1	8.4	21.4	11.8	17.8	1.4
Godhaghas	70.3	12.7	46.5	25.3	77.1	4.8
Sabaila	56.9	10.9	21.4	20.0	31.3	1.6
Tarapatti	65.1	9.8	30.1	22.3	62.9	1.2
計	63.3 (832)	10.4 (818)	28.4 (830)	19.4 (829)	44.0 (831)	2.1 (797)

表4-5-1-9 子供の治療場所（末子についてのみ）

(下段%)

	治療せず	自宅治療	ヘルスポスト/病院	F Pクリニック	ダミ/ジャンクリ	アユルベティック医師	その他	計
1. カブレパランチョーク郡								
下痢	122 21.0	96 16.5	158 27.2	2 0.3	121 20.8	39 6.7	43 7.4	581
麻疹	72 48.6	37 25.0	19 12.8	—	8 5.4	5 3.4	7 4.7	148
寄生虫症	47 18.8	35 14.0	68 27.2	22 8.8	17 6.8	19 7.6	42 16.8	250
百日ぜき	74 30.7	44 18.3	78 32.4	1 0.4	6 2.5	18 7.5	20 8.3	241
呼吸器系感染症	134 43.6	48 15.6	63 20.5	1 0.3	27 8.8	16 5.2	18 5.9	307
ジフテリア	8 22.9	7 20.0	8 22.9	—	3 8.6	4 11.4	5 14.3	35
計	457 29.3	267 17.1	394 25.2	26 1.7	182 11.7	101 6.5	135 8.6	1,562
2. ダヌーシャ郡								
下痢	72 14.8	185 38.0	41 8.4	8 1.6	2 0.4	52 10.7	127 26.1	487
麻疹	38 49.4	30 39.0	3 3.9	—	—	1 1.3	5 6.5	77
寄生虫症	29 15.3	62 32.6	16 8.4	3 1.6	8 4.2	22 11.6	50 26.3	190
百日ぜき	34 23.8	42 29.4	10 7.0	—	1 0.7	22 15.4	34 23.8	143
呼吸器系感染症	96 28.6	133 39.6	15 4.5	2 0.6	4 1.2	23 6.8	63 18.8	336
ジフテリア	4 28.6	7 50.0	1 7.1	—	—	—	2 14.3	14
計	273 21.9	459 36.8	86 6.9	13 1.0	15 1.2	120 9.6	281 22.5	1,247

第2項 産前・産後の女子検診

産前・産後の女子検診は、母子保健上重要な問題であり、妊産婦死亡率の高いといわれているネパールでは、とくに実行しなければならない課題である。即ち母子保健は公衆衛生の基本分野の1つで、行政的にも確固たる地位を占めなければならない。

まず両地域の結婚している女性に、現在妊娠しているかどうか、妊娠していればどこで出産をしたいかを質問したのが、表4-5-2-1であり、カブレパランチョーク郡では1,356名の女性中妊娠していると答えた者は148名(10.9%)であり、この中で出産したい場所については、93.2%の者が自宅と答え、病院が5.4%であった。妊娠していない者1,196名中で希望出産場所について答えた者は5名で、自宅が3名、ヘルスポストが2名であった。ダヌーシャ郡では、1,407名の女性中妊娠していると答えた者は、115名(8.2%)であり、この中で出産したい場所については、96.5%の者が自宅と答え、ヘルスポストが2.6%、病院が0.9%であった。妊娠していない者1,282名中で、希望出産場所について答えた者は1名で、ヘルスポストで出産したいとの事であった。

表4-5-2-1 妊産婦の希望出産場所 単位：％、ただし（ ）内は実数

希望場所	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
病院	5.4	0.9
ヘルスポスト	0	2.6
自宅	93.2	96.5
計	100.0 (148)	100.0 (115)

次に、母親に「子供をどこで出産したか」と質問したところ、カブレパランチョーク郡では、有効回答数、1,190名中家で出産した者が95.3%と最も高く、病院4.0%、ヘルスポスト0.7%であり、ダヌーシャ郡では、有効回答数1,225名中家での出産が96.6%と最も高く、病院2.9%、ヘルスポスト0.5%であった。(表4-5-2-2参照)

表4-5-2-2 子供の出産場所 単位：％ただし（ ）内は実数

ヘルスポスト名	病院	ヘルスポスト	自宅	その他	計
1. カブレパランチョーク郡					
Bhumlutar	5.0	0.3	94.7	—	100.0 (337)
Dapcha	3.6	0.9	95.5	—	100.0 (223)
Khopasi	3.8	1.1	95.1	—	100.0 (369)
Nala	3.4	0.4	96.2	—	100.0 (261)
計	4.0	0.7	95.3	—	100.0 (1,190)
2. ダヌーシャ郡					
Godar	1.2	—	98.8	—	100.0 (336)
Godhaghas	3.1	0.4	96.6	—	100.0 (261)
Sabaila	3.1	0.5	96.4	—	100.0 (388)
Tarapatti	5.0	1.2	93.8	—	100.0 (241)
計	2.9	0.5	96.6	—	100.0 (1,225)

妊産婦の希望出産場所は両郡ともに93%以上の者が自宅と答えている。病院で出産した者はカブレパランチョーク郡の方が4.0%でダヌーシャ郡の2.9%より多く、またヘルスポストで出産した者はカブレパランチョーク郡の0.7%、ダヌーシャ郡の0.5%である。したがって今後ヘルスポストの普及と設備の向上、従事者の質の向上と常在者の増加を計らなければならないであろう。

母性保護を完全に行うには、妊婦を集めて集団検診などによって集団指導をするのがよいが、妊娠末期あるいは異常、合併症などによって集団検診に参加できない妊婦に対しては訪問指導が必要である。妊婦の検診した場所についての回答結果は、表4-5-2-3に示す通りである。

表4-5-2-3 ヘルスポストごとの妊娠期間中の母親検診場所
 <単位：％，ただし（ ）内は総数>

ヘルスポスト名	病 院	ヘルスポスト	T.B.A.	その他	計
1. カブレパランチョーク郡					
Bhumlutar	82.1	14.3	—	3.6	100.0 (28)
Dapcha	72.7	9.1	—	18.2	100.0 (11)
Khopasi	82.1	7.7	2.6	7.7	100.0 (39)
Nala	82.8	—	4.3	13.0	100.0 (22)
計	82.0	8.0	2.0	8.0	100.0 (100)
2. ダヌーシャ郡					
Godar	76.9	7.7	—	15.4	100.0 (13)
Godhaghas	50.0	5.6	—	44.4	100.0 (18)
Sabaila	30.4	26.1	4.3	39.1	100.0 (23)
Tarapatti	57.1	14.3	—	28.6	100.0 (21)
計	50.7	14.7	1.3	33.3	100.0 (75)

カブレパランチョーク郡では回答者1,372名中有効回答数100名(7.3%)、ダヌーシャ郡では、回答者1,429名中有効回答数75名(5.2%)と非常に少なく、これでは正確な情報を得ることは困難であるが、有効回答数の中で分析してみると、カブレパランチョーク郡では82.0%、ダヌーシャ郡では50.7%が病院で検診を受けており、カブレパランチョーク郡の方が病院での検診が多く、ヘルスポストでの検診はダヌーシャ郡の方が多くみられる。またその他と答えたのは、ダヌーシャ郡が多く、これは恐らく無資格医師にみてもらっているのではないかと思われる。しかしこの表における質問項目は、場所と人についての異なるものに対して質問しており、質問票作成上の誤りが問題である。次に、検診を受けた人がその検診に対して満足しているかどうかを示したのが表4-5-2-4、で多くの者が満足しているようである。

妊婦がいかなる時に検診するのかという理由を、両郡で質問したのが表4-5-2-5であり、答えた妊婦は、カブレパランチョーク郡105名、ダヌーシャ郡81名と少数ではあるが、通常検診のために行くと言った者は、ダヌーシャ郡の方が多く、これはダヌーシャ郡の方が地理的に平野部

で検診のために医療機関へ行く事が容易であり、またヘルスワーカーやマザーズクラブの活動が活発であるためだと推察される。カブレパランチョーク郡では、合併症のある時に検診を受ける割合が多くなっている。

表4-5-2-4 各検診場所に対する満足度

()内は%

地域名	病院	ヘルスポスト	T.B.A.	その他	計
1. カブレパランチョーク郡	74 (90.2)	6 (75.0)	2 (100.0)	7 (87.5)	89 (89.0)
2. ダヌーシャ郡	29 (76.3)	9 (81.8)	0 (0.0)	23 (92.0)	61 (81.3)

表4-5-2-5 妊婦検診の理由

%, ()内実数

ヘルスポスト名	通常検診	合併症	通常検診+合併症	計
1. カブレパランチョーク郡				
Bhumlutar	35.7	57.1	7.1	100.0 (28)
Dapcha	53.8	46.2	—	100.0 (13)
Khopasi	41.5	51.2	7.3	100.0 (41)
Nala	52.2	30.4	17.4	100.0 (23)
計	43.8	47.6	8.6	100.0 (105)
2. ダヌーシャ郡				
Godar	64.3	14.3	21.4	100.0 (14)
Godhaghas	60.9	34.8	4.3	100.0 (23)
Sabaila	47.8	43.5	8.7	100.0 (23)
Tarapatti	47.6	52.4	—	100.0 (21)
計	54.3	38.3	7.4	100.0 (81)

妊婦の検診内容は、表4-5-2-6のとおりで、検査を受けた項目が少なく、全員が全ての検査項目を受けるのが当然であるが、各人とも1つの項目しか受けていないことは残念である。

妊婦検診に対する助言者についての質問は表4-5-2-7のとおりで、両郡とも家族からの助言が最も多く60%を占めている。それに対して両郡ともヘルスワーカーによる助言が数%と少ないことは今後の大きな課題であろう。

ヘルスワーカーが家庭を訪問した頻度は、カブレパランチョーク郡では、1,372名の母親のうち、月に1回と答えたものが3.0%、3ヶ月に1回が3.7%、1年に1回が4.9%で、ともに同じような頻度で訪問しており、少なくとも1年に1回以上訪問を受けたのは、11.6%と非常に訪問頻度は少ない。ダヌーシャ郡では、1,411名の母親のうち、月に1回と答えたものが49.2%、3ヶ月に1回が9.5%、1年に1回が9.7%で、1ヶ月に1回訪問を受けるという頻度が最も高く、ヘルスワーカーの訪問が頻繁であることを物語っている。少なくとも1年に1回以上訪問を受けたのは、68.4%と大変高い頻度を示し、ダヌーシャ郡の方がカブレパランチョーク郡に比べて約6倍ものヘルスワーカーの訪問を受けていることになる。

表4-5-2-6 妊婦検診内容

単位：%ただし（ ）内は実数

ヘルスポスト名	体 重	血 圧	尿検査	触 診	聴診器	その他	回答者数
1. カブレパランチョーク郡							
Bhumlutar	57.1	64.3	64.3	46.4	57.1	10.7	(28)
Dapcha	76.9	84.6	69.2	84.6	15.4	15.4	(13)
Khopasl	51.2	63.4	58.5	51.2	26.8	26.8	(41)
Nala	52.2	47.8	43.5	69.6	39.1	17.4	(23)
計	56.2	62.9	58.1	58.1	36.2	15.2	(105)
2. ダヌーシャ郡							
Godar	50	71.4	64.3	71.4	42.9		(14)
Godhaghas	21.7	47.8	30.4	30.4	39.1	21.7	(23)
Sabaila	30.4	43.5	39.1	69.6	39.1	30.4	(23)
Tarapatti	19.0	38.1	33.3	42.9	57.1	9.5	(21)
計	28.4	48.1	39.5	51.9	44.4	17.3	(81)

表4-5-2-7 妊婦検診の助言者

単位：%ただし（ ）内は実数

ヘルスポスト名	ヘルスワーカー	配偶者	その他の家族	友人	その他	計
1. カブレパランチョーク郡						
Bhumlutar	6.9	6.9	62.1	13.8	10.3	100.0 (29)
Dapcha	—	25.0	41.7	25.0	8.3	100.0 (12)
Khopasi	5.0	10.0	65.0	7.5	12.5	100.0 (40)
Nala	4.5	18.2	72.7	—	4.5	100.0 (22)
計	4.9	12.6	63.1	9.7	9.7	100.0 (103)
2. ダヌーシャ郡						
Godar	30.8	7.7	53.8	7.7	—	100.0 (13)
Godhaghas	5.6	22.2	66.7	—	5.6	100.0 (18)
Sabaila	4.2	12.5	79.2	—	4.2	100.0 (24)
Tarapatti	—	9.5	71.4	4.8	14.3	100.0 (21)
計	7.9	13.2	69.7	2.6	6.6	100.0 (76)

これらのヘルスワーカーが少なくとも1年に1回以上訪問した時に、どのような母子保健上必要な項目について話しをしたのを聞いたことがあるのかというのが、表4-5-2-8であり、複数回答であるのに、カブレパランチョーク郡では各項目について話しを聞いた頻度は、わずか10%以下で、最も高い頻度の予防接種と次の家族計画の項目についてすら7.5%、7.4%でしかない。ダヌーシャ郡では、カブレパランチョーク郡に比べて、各項目とも話しを聞いた頻度は高く、最も高い頻度で聞いた項目は、家族計画で65.5%、次が下痢と経口補水液の話で34.9%である。これは、ダヌーシャ郡の方が平野地でありカブレパランチョーク郡の方は山岳地帯であるため、

ヘルスワーカーの訪問がダヌーシャ郡では容易であり、またヘルスワーカーの活動もダヌーシャ郡の方が盛んなためであると思われる。

表4-5-2-8 ヘルスワーカーが何について話しているか (単位：%)

1. カブレパランチョーク郡	2. ダヌーシャ郡
予 防 接 種	家 族 計 画
7.5	65.5
家 族 計 画	下 痢 / 経 口 補 水 治 療
7.4	34.9
下 痢 / 経 口 補 水 治 療	子 供 の 保 健
5.7	34.1
医 薬 品	予 防 接 種
4.9	31.2
子 供 の 保 健	寄 生 虫
4.7	28.8
保 健 教 育	医 薬 品
4.7	27.8
寄 生 虫	出 産 間 隔
4.6	24.5
呼 吸 器 系 疾 患	産 前 産 後 検 診
4.3	22.1
出 産 間 隔	授 乳
4.1	21.2
産 前 産 後 検 診	栄 養
3.9	19.6
授 乳	保 健 教 育
3.6	18.7
栄 養	呼 吸 器 系 疾 患
3.5	17.6
ポスター／パンフレット	ポスター／パンフレット
1.4	9.9

一般に標準的な妊婦健康管理のパターンは初回受診時の詳しい問診による一般歴から始まる。つぎに診察に際してはとくに血圧と体重に注意し、検査としては検尿、貧血検査を行うようにすればよいと思われる。

今後はネパールにおいても母子健康手帳に代わるものを作成し、妊婦にそれを交付し、定期検診を行っていけば妊産婦死亡が減少するであろう。このためにも、検診のできる設備を増大し、ヘルスワーカーの養成をすべきである。

第3項 予防接種

小児に対する予防接種は、小児の感染症に対する感受性対策であって、人工免疫により感受性を低下させることである。

両郡の母親に予防接種に対する知識を誰から得たかを質問したのが表4-5-3-1である。

両郡とも最も多かったのは、予防接種キャンプと答えているが、ダヌーシャ郡の方がカブレパランチョーク郡よりもはるかに多く、予防接種キャンプの活動が大きい中でもとくにダヌーシャ郡では活発であることがうかがえる。ヘルスワーカーと答えた者は、両郡ともほぼ同様であるが、ともに10%以下であることは母子保健を踏えた上で、ヘルスワーカーの指導と増員をしなければならないと思われる。

両郡における5歳以下の子供を持っている母親に予防接種の種類ごとの受けた割合を尋ねたものが表4-5-3-2である。

表4-5-3-1 ヘルスポスト別予防接種に対する知識

単位：％，ただし（ ）内は総数

ヘルスポスト名	ヘルスワーカー	配偶者	その他の家族	友人	ラジオ	新聞	マザーズクラブ	予防接種キャンプ	その他	計
1. カブレパランチョーク郡										
Bhumlutar	12.9	1.4	1.4	0.7	3.4	—	0.3	52.4	27.6	(294)
Dapcha	10.3	3.4	1.7	0.9	7.8	—	—	50.4	25.4	(232)
Khopasi	5.8	3.4	1.7	1.2	7.8	—	0.2	53.9	26.0	(412)
Nala	6.1	3.8	1.1	2.3	9.1	—	—	57.4	20.2	(263)
計	8.5 (102)	3.0 (36)	1.5 (18)	1.2 (15)	7.0 (84)	—	0.2 (2)	53.6 (644)	25.0 (300)	(1,201)
2. ダヌーシャ郡										
Godar	7.1	1.5	2.2	0.6	—	—	0.6	80.6	7.4	(325)
Godhaghas	8.6	1.4	1.1	0.7	0.4	—	0.4	63.2	24.3	(280)
Sabaila	4.5	2.4	0.8	0.3	—	0.3	0.5	80.7	10.6	(378)
Tarapatti	9.9	0.4	—	0.7	—	—	—	39.2	26.7	(273)
計	7.2 (91)	1.5 (19)	1.0 (13)	0.6 (7)	0.1 (1)	0.1 (1)	0.4 (5)	72.8 (914)	16.3 (205)	(1,256)

表4-5-3-2 予防接種割合 —ヘルスポスト別—

単位：％，ただし（ ）内は総数

ヘルスポスト名	B. C. G.	麻疹	D. P. T.					ポリオ						
			0回	1回	2回	3回	計	0回	1回	2回	3回	計		
1. カブレパランチョーク郡														
Bhumlutar	52.3 (67)	46.6 (61)	33.1	45.2	16.1	5.6	(124)	54.1	31.1	11.5	3.3	(122)		
Dapcha	47.3 (43)	62.1 (54)	34.4	44.1	11.8	9.7	(93)	43.8	31.5	15.7	9.0	(89)		
Khopasi	55.6 (84)	57.2 (87)	24.5	42.3	20.2	12.9	(163)	48.7	28.5	12.0	10.8	(158)		
Nala	63.5 (54)	51.8 (44)	35.6	31.7	17.8	14.9	(101)	51.0	23.0	11.0	15.0	(100)		
計	54.5 (248)	54.1 (246)	31.0	41.2	17.0	10.8	(481)	49.7	28.6	12.4	9.4	(469)		
2. ダヌーシャ郡														
Godar	93.1 (161)	75.6 (121)	6.8	26.0	22.6	44.6	(177)	8.5	27.8	19.3	44.3	(176)		
Godhaghas	90.7 (127)	54.1 (72)	14.7	14.0	20.3	51.0	(143)	17.5	17.5	19.6	45.5	(143)		
Sabaila	83.1 (152)	68.6 (120)	11.8	24.6	26.7	36.9	(187)	24.2	24.2	21.0	30.6	(186)		
Tarapatti	97.0 (131)	65.3 (79)	12.1	14.3	21.4	52.1	(140)	15.8	18.7	18.7	46.8	(139)		
計	90.5 (571)	66.6 (392)	11.1	20.4	23.0	45.4	(647)	16.6	22.5	19.7	41.1	(644)		

BCGの予防接種をしたと答えた者は、カブレパランチョーク郡で54.5%、ダヌーシャ郡で90.5%であり、ダヌーシャ郡はカブレパランチョーク郡より約36%程多く、ほとんどの子供が接種している。また麻疹の予防接種については、両郡とも約50%以上の接種を受けており、ダヌーシャ郡の方が約12%程多く接種している。ジフテリア、百日せき、破傷風の3種混合ワクチンの接種率は、両郡とも60%以上と高く、カブレパランチョーク郡では69.0%の接種率で3回接種のうち1回したと答えた者が、41.2%で最も多かった。ダヌーシャ郡では、88.9%の接種率で3回接種のうち3回したと答えた者が45.4%で最も多く、ダヌーシャ郡の方が接種率が高かった。ポリオ・ワクチンの接種率は、両郡とも50%以上で、カブレパランチョーク郡では、50.3%の接種率で3回接種のうち1回したと答えた者が28.6%で最も多かった。ダヌーシャ郡では、83.4%の接種率で3回したと答えた者が41.1%で最も多く、ダヌーシャ郡の方が接種率が高かった。以上のように各予防接種ともダヌーシャ郡の方がカブレパランチョーク郡より高い割合で接種されている。このようにダヌーシャ郡の方が高いのは、やはり前述したように地理的条件とヘルスワーカーの訪問頻度それに予防接種キャンプの活動によるためであろう。

次に、両郡の5歳以下の子供を持っている母親にどこで子供の予防接種を受けたかを質問したのが表4-5-3-3であり、カブレパランチョーク郡では、63.9%、ダヌーシャ郡では80.1%と両郡とも高い割合で予防接種キャンプで接種を受けているが、ダヌーシャ郡の方がさらに高い値を示している。ヘルスポストと病院で受けた者は両郡とも少ないがヘルスポストで受けた者はカブレパランチョーク郡の方が多く、病院で受けたものはダヌーシャ郡の方が多い。これらのことは予防接種キャンプに負う所が大であり、とくにダヌーシャ郡において活発に活躍しているものと思われる。しかしまたヘルスポストの活躍をも忘れてはならないであろう。

予防接種を受けられなかった理由は、両郡ともサービスが利用できないと答えた者が多くカブレパランチョーク郡では74%、ダヌーシャ郡44.8%となっているが、これは交通の便の問題と合わせて考える時、接種を受ける場所までの距離が大であるということと、カブレパランチョーク郡のように山であるため道が悪いということも考慮にいれなければならないであろう。そのためにも、予防接種キャンプの設定場所並びに回数の増加を計らなければならない。(表4-5-3-4参照)

第4項 経口補水治療法

ネパールでは子供の下痢症が非常に多く、下痢症による死亡も第1位を占めていることは前述したとおりである。下痢をおこすと体内の水分が多量に失われるので、水分の補給が重要である。ネパールの農村のように医療設備や薬品の乏しい場所では、応急治療法としての経口補水治療は、重要な下痢治療法であり、そのためにすでに商品化されたジーバン・ジャルと家庭で塩・砂糖と水を混ぜて作るメディスン・ウォーターがある。

これらの経口補水液の知識を母親が得た場所の質問に答えたのが表4-5-4、である。

経口補水液について聞いたことがある母親は、ジーバン・ジャルについてはカブレパランチョ

表4-5-3-3 5歳以下の子供が予防接種を受けた場所

単位：％ただし（ ）内は実数

場 所	病 院	ヘルスポスト	予防接種キャンプ	FPクリニック	そ の 他	無 回 答	計
1. カブレパランチョーク郡							
Bhumlutar	8.0	9.9	63.0	—	—	19.1	100.0 (162)
Dapcha	3.7	19.6	54.2	—	0.9	21.5	100.0 (107)
Khopasi	3.8	3.8	66.0	0.5	0.5	25.4	100.0 (209)
Nala	9.4	9.4	70.8	—	2.8	7.5	100.0 (106)
計	6.0	9.4	63.9	0.2	0.9	19.7	100.0 (584)
2. グヌーシャ郡							
Godar	5.6	3.6	82.6	—	0.5	7.7	100.0 (195)
Godhaghas	15.2	2.4	75.0	—	0.6	6.7	100.0 (164)
Sabaila	2.4	1.4	84.9	—	0.9	10.4	100.0 (212)
Tarapatti	8.0	1.7	76.4	—	—	13.8	100.0 (174)
計	7.4	2.3	80.1	—	0.5	9.7	100.0 (745)

表4-5-3-4 5歳以下の子供が予防接種を受けられなかった理由

単位：％ただし（ ）内は実数

ヘルスポスト名	サービスが利用 出来ない	経費の問題	交通の便 の問題	場 所 が わからない	サービスは 必要ない	必要性を 感じない	計
1. カブレパランチョーク郡							
Bhumlutar	68.8	3.1	7.8	4.7	10.9	4.7	100.0 (64)
Dapcha	73.7	2.6	5.3	5.3	7.9	5.3	100.0 (38)
Khopasi	70.3	5.4	2.7	8.1	9.5	4.0	100.0 (74)
Nala	84.7	—	8.5	1.7	1.7	3.4	100.0 (59)
計	74.0	3.0	6.0	5.1	7.7	4.2	100.0 (235)
2. グヌーシャ郡							
Godar	63.6	—	—	4.5	27.3	4.5	100.0 (22)
Godhaghas	39.1	8.7	13.0	8.7	30.4	—	100.0 (23)
Sabaila	48.6	2.7	10.8	8.1	21.6	8.1	100.0 (37)
Tarapatti	26.1	4.3	13.0	8.7	34.8	13.0	100.0 (23)
計	44.8	3.8	9.5	7.6	27.6	6.7	100.0 (105)

表4-5-4 経口補水治療法関連情報

単位：%

情報源	ジーバン・ジャル		メディスン・ウォーター	
	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
ヘルスワーカー	6.4	38.2	1.4	33.3
配偶者	2.6	1.1	0.6	1.5
その他の家族	3.2	9.8	1.7	8.2
友人	2.2	4.1	0.9	3.6
ラジオ	69.3	19.0	89.1	33.7
新聞	0.1	0.4	-	0.4
マザーズクラブ	0.2	1.6	0.2	1.3
その他	16.1	25.7	6.2	17.8

ーク郡で1,479名中65.7%、ダヌーシャ郡で1,478名中59.1%、メディスン・ウォーターについては、カブレパランチョーク郡で73.2%、ダヌーシャ郡で35.3%であり、経口補水液について両補水液ともカブレパランチョーク郡の方がダヌーシャ郡よりもよく聞いている。またカブレパランチョーク郡では、メディスン・ウォーター、ダヌーシャ郡では、ジーバン・ジャルの方をよく聞いている。

経口補水液の情報を得たところは、カブレパランチョーク郡では、ジーバン・ジャルについては、有効回答数973名の女性中69.3%の者がラジオから最も多く、ヘルスワーカーからは6.4%であり、ダヌーシャ郡では、874名の女性中38.2%の者がヘルスワーカーと答えており、最も多く、ラジオと答えたものが、19.0%であった。また、メディスン・ウォーターについては、カブレパランチョーク郡では有効回答数1,082名の女性中89.1%の者がラジオから情報を得ており、家族が1.7%、ヘルスワーカーが1.4%であった。ダヌーシャ郡では、有効回答数522名の女性中33.7%がラジオ、33.3%がヘルスワーカーからと答えている。このように両郡とも経口補水液の情報をかなり多く、ラジオから得ていることは、やはり宣伝効果がいかに大きいかということを実に物語っており、前に述べた下痢の治療法でも経口補水液を使用すると答えた母親がカブレパランチョーク郡では17.5%、ダヌーシャ郡では、20.1%いたことから、名前だけを知っているのではなく、実際の治療に使用していることがわかり、今後は、ラジオによる簡単な情報を繰り返し放送して、疾病予防や治療の情報源として使用すればかなりの効果があることが示唆された。

また、経口補水液の情報をダヌーシャ郡では多くの女性がヘルスワーカーから得ているということは、ダヌーシャ郡の方が前述したように保健活動が活発であることを示している。今後は、ラジオによる宣伝とヘルスワーカーやマザーズクラブから正しい経口補水液の情報を母親達に数多く繰り返し伝えるべきであろう。

第6節 食習慣と栄養状態

我々の日常行動の多くは、ほとんど無意識に行われているが、食べることについても全く同じである。習慣は意識的な行動に根ざしているものであるが、時の経過とともに不変的な繰り返しや慣行によって、このような行動を無意識的に、かつ自動的に固定化する傾向を持っている。

食習慣は我々のものの考え方や、好き嫌い、経験、食物の選択および食べることに関心をもつことなどの行為の総括であって、文化的、社会的、経済的、感情的、生理的な影響から育ってくる。もし人々がよい食習慣をもっているならば、心身のためになる最もよい食物を選択するであろう。また、よくない食習慣とは、結果的にあまり質のよくない食物を食べる習慣であって、よくない食習慣を改めることが困難なのは、適切な食餌と身体に欠乏した食餌をみきわめることに無知であるためである。しかし、教育と説得によってよくない食習慣は改善されるはずである。このことからよい食習慣を身につけ、よくない食習慣を改めれば、栄養状態は良好となってくる。

また栄養は、生物が代謝を営むために、外界から適当な物質を体内にとりこむことであって、とくに人間自身を対象とした時に使われることばであり、物質を体内にとりこむ状態が栄養状態である。

我々は、上記の観点からネパールの食習慣と栄養状態についてアンケート調査を実施した。

第1項 子供の栄養状態と食習慣

乳児の栄養の必要性は高く、正常な乳児は5～6ヶ月で生まれたときの体重の2倍になり、最初の誕生日前にはその3倍になる。そのためにも栄養の補給が必要となってくる。生まれて2、3日間は初乳という特別な母乳がでることを母親は知っていなければならない。これは普通の母乳や牛乳よりも多量のタンパク質と塩分を含み、また感染に対する乳児の抵抗力を作る一定の物質を含んでいるからである。ネパールでは初乳は不潔なので乳児には飲ませないという習慣がある。

実際カブレパランチョーク郡では、母親1,279名中66.1%が初乳を飲ませていると答え、ダヌーシャ郡では、1,270名中34.2%が初乳を飲ませていると答えている。ダヌーシャ郡の医師の中にも初乳を飲ませないという事例もあった。

子供の無機質、カルシウム、リン、ビタミンDの必要量は大人よりも多いが、タンパク質、D以外のビタミン、鉄分については大人より少ない。このような栄養必要量は牛乳を多飲させることによって満たされる。

ネパールの子供の栄養状態についてカブレパランチョーク、ダヌーシャ両郡で調べたのが表4-6-1-1である。

ここでの栄養状態は、UNICEFが開発した簡便法で判定している。即ち、小児の上腕部の周囲をプラスチック製のテープで測定して腕の大きさから判定する方法である。本来ならば3ヶ月以降の小児なら、カーブ指数で栄養指数をあらわせばよいのであるが、体重計と身長を測定する計

表4-6-1-1 子供の栄養状態

<単位：％，ただし（ ）内は総数>

	栄養失調	軽度の栄養失調	正 常	計
1. カブレパランチョーク郡				
末 子	13.6	33.2	53.2	(810)
末子から2番目	6.8	32.0	61.3	(266)
末子から3番目	8.3	29.2	62.5	(24)
計	11.8	32.8	55.4	(1,100)
2. ダヌーシャ郡				
末 子	21.7	35.9	42.4	(766)
末子から2番目	6.8	29.3	63.9	(191)
末子から3番目	23.0	38.5	38.5	(13)
計	18.8	34.6	46.6	(970)

器がないために、インタビューアが本法で測定した。その結果カブレパランチョーク郡では検査

$$\text{カーブ(Kaup)指数} = \frac{\text{体重 (g)}}{[\text{身長(cm)}]^2} \times 10$$

した1,100名の5歳以下の子供のうち、11.8%の栄養失調と34.6%の軽度の栄養失調がみられ、ダヌーシャ郡では、検査した970名の5歳以下の子供のうち、18.8%の栄養失調と34.6%の軽度の栄養失調がみられた。

またカブレパランチョーク郡では、最後に生まれた子供に、ダヌーシャ郡では最後から2番目とそれに次いで近い値で最後の子供に栄養失調がみられた。

本法だけでこのように栄養失調といえるかどうかは、困難なところであるが、我々の見たところでもやはり、かなりの栄養状態の悪い子供がみうけられた。このようにかなり高い栄養失調の子供が両地域の農村地帯にいることは、食習慣にも原因があるのではなかろうか。米は十分に食べるが、動物タンパクや脂肪の摂取が非常に少ないためであろう。アフリカの黄金海岸によくみられるクワシオルクル症も少数ではあるがみられた事は、明らかに糖質は充分摂取していてもタンパク質をほとんど摂取していないということを如実に物語っている。

次に乳児が離乳食として、どのような食物を与えられているであろうか。それが表4-6-1-2である。

ほとんどの両郡の母親が、離乳食としてダレと米を与えており、ついで牛乳と米飯を混ぜたものでこの2種類が乳児の主な離乳食であると思われる。それに緑色野菜などを食べさせており、またネパール独特の離乳食を若干の母親が与えているようである。ただ残念な事に卵がほとんど与えられておらず、これは卵が非常に高価であり、自分の所で生産されてもほとんど売られてしまうといった現状にあるためであろう。また、獣肉や魚肉についてもあまり与えられていないことは、これらの食物が貴重なために経済的に与えることが困難なのであろう。離乳期には、固

表4-6-1-2 離乳食として与えられている食物 -ヘルスポスト別-

1. カブレパランチョーク郡

単位：％（ ）内は母親の回答数

Bhumlutar (408)		Dapcha (283)		Khopasi (480)		Nala (305)		計 (1,476)	
Dal & Rice	75.5	Dal & Rice	75.3	Dal & Rice	70.0	Rice with Milk	84.9	Dal & Rice	75.0
Rice with Milk	70.3	Rice with Milk	68.6	Rice with Milk	65.0	Dal & Rice	81.6	Rice with Milk	71.3
Green Vegetable	19.9	Green Vegetable	36.0	Green Vegetable	27.5	Green Vegetable	23.0	Green Vegetable	26.1
Kichadi, Jaulo	19.4	Kichadi, Jaulo	19.1	Kichadi, Jaulo	17.9	Kichadi, Jaulo	10.2	Kichadi, Jaulo	16.9
Sarbottam Pitho	7.1	Dried beans	7.1	Sarbottam Pitho	5.8	Dried beans	4.9	Dried beans	5.3
Dried beans	5.9	Sarbottam Pitho	2.1	Dried beans	4.6	Meat & Fish	3.6	Sarbottam Pitho	4.7
Meat & Fish	5.4	Khir	1.4	Meat & Fish	3.8	Sarbottam Pitho	2.3	Meat & Fish	3.7
Egg	3.4	Fruits	1.4	Fruits	2.7	Egg	2.3	Egg	2.4
Fruits	2.7	Meat & Fish	1.1	Egg	2.5	Khir	2.0	Fruits	2.1
Khir	0.2	Egg	0.7	Khir	0.6	Fruits	1.0	Khir	0.9

2. ダヌーシャ郡

Godar (394)		Godhaghas (314)		Sabaila (472)		Tarapatti (303)		計 (1,483)	
Dal & Rice	92.6	Dal & Rice	95.2	Dal & Rice	93.6	Dal & Rice	87.1	Dal & Rice	92.4
Rice with Milk	50.3	Rice with Milk	32.2	Rice with Milk	62.7	Rice with Milk	44.6	Rice with Milk	49.2
Khichadi, Jaulo	39.3	Green Vegetable	16.9	Khichadi, Jaulo	23.1	Khichadi, Jaulo	25.7	Khichadi, Jaulo	26.2
Green Vegetable	17.8	Khichadi, Jaulo	14.6	Green Vegetable	16.1	Green Vegetable	12.5	Green Vegetable	16.0
Meat & Fish	13.5	Fruits	0.6	Khir	12.3	Fruits	2.3	Meat & Fish	7.1
Sarbottam Pitho	12.7	Khir	0.3	Meat & Fish	9.5	Meat & Fish	2.3	Khir	5.6
Fruits	10.2	Dried beans	0.3	Fruits	5.5	Sarbottam Pitho	1.7	Sarbottam Pitho	5.3
Dried beans	9.1	Meat & Fish	0.3	Sarbottam Pitho	5.1	Khir	1.7	Fruits	5.1
Egg	5.6	Sarbottam Pitho	-	Dried beans	3.2	Dried beans	0.3	Dried beans	3.6
Khir	4.8	Egg	-	Egg	2.3	Egg	-	Egg	2.2

形食の導入を続けることが大切であり、穀物食、卵黄、裏ごしした肉、果物、野菜は早い時期に食べさせるようにすべきである。

第2項 妊娠期間の栄養状態

妊娠は、自分自身と胎児およびその付属組織のために十分な食品が必要であると考え、妊娠は生理学的には、妊娠前とは全く異なった状態であり、そのような状態に対して適応する過程において、食餌の必要性も変化していくものと思われる。そのためにも妊婦は毎日良質のタンパク質、無機質であるカルシウムやリン、鉄、それにビタミンを上手に摂取しなければならない。

妊婦が栄養を補うために食べる食品について質問した回答が表4-6-2である。

両郡とも栄養を補うために必要な食品をとっている妊婦は15%以下で非常に少ない。その中でも少ないながらどのような必要品をとっているかをみるとカブレパランチョーク郡では、ナラを除いては、第1にタンパク質の摂取としており、ダヌーシャ郡ではゴタールを除いては、第1に牛乳と答えている。ついで果物、Ghee（脂肪）、野菜などが両郡でわずかに摂取すると答えているが、カブレパランチョーク郡の方はGheeの方が多く、ダヌーシャ郡では野菜の方が多いようである。卵については、カブレパランチョーク郡の方が幾分多く摂取しているようであるが、その中でもコパシーではとくに多く摂取されている。ダヌーシャ郡では一般に卵を摂取する者は少ないようである。

ネパールでは、妊婦の食習慣に、動物性タンパクや脂肪を多く取る習慣がないのかも知れないし、後の項で述べるが妊産婦の取るべき食事の悪習慣が原因となっているのかもしれない。先にも述べたように妊婦は適切な栄養摂取が重要であり良質なタンパク質が必要であるが、必要総タンパク質の3分の1以上を動物性タンパク質で摂取する必要性がある。これは植物性タンパク質に不足しているアミノ酸を補うためであって、タンパク質の不足は母体の栄養を悪くし、貧血の原因となる。また脂肪も熱量が大であるばかりでなく、ビタミンA、D、E、Fなどがあり妊娠産褥に重要な要素である。即ちビタミンAの欠乏は、先天性の盲の子供を出産する率が高くなる。隣国のインドでは毎年かなりの先天性の盲の子供がビタミンAの欠乏で出産しているとの報告⁴⁾があった。また妊娠中は、カルシウムが必要であり、胎内の子供の骨や歯の形成に重要な無機質で、1日1.5gが必要となるが、穀類中のカルシウムはphytin塩として存在するために吸収されないの⁴⁾で他の食物からとらなければならないことに注意すべきである。そのためにもネパールでは、牛乳を多量に飲むことが大切であろう。またビタミンB、Cは、野菜を多量に摂取することによって補えばよいのである。

第3項 授乳と食習慣

哺乳している母親は1日当たり850mlという多量の乳汁を作っているために、授乳中の栄養所要量は成人の生活中でほぼ最高のものである。このために母親は、およそ1,000cal程の追加エネルギーを必要とし、さらに過剰のタンパク質、鉄、ビタミンも必要となる。

表4-6-2 妊婦が栄養を補うために食べる物 -ヘルスポスト別-

単位：％（ ）内は母親の回答数

1. カブレパランチョーク郡									
Bhumlutar (408)		Dapcha (283)		Khopasi (480)		Nala (350)		計 (1,476)	
Protein	16.2	Protein	11.7	Protein	18.1	Ghee	14.8	Protein	15.4
Ghee	9.8	Milk	8.1	Milk	9.4	Protein	13.4	Milk	8.9
Milk	9.1	Fruits	7.4	Fruits	8.3	Milk	8.5	Fruits	7.7
Fruits	6.7	Ghee	3.9	Beans	6.0	Fruits	8.2	Ghee	6.1
Beans	3.4	Beans	3.5	Ghee	5.6	Green Vegetable	3.3	Beans	4.1
Green Vegetable	2.7	Green Vegetable	2.1	Green Vegetable	5.4	Beans	2.6	Green Vegetable	3.6
Egg	1.7	Egg	2.1	Egg	5.4	Egg	1.6	Egg	3.0
Others	15.2	Others	15.9	Others	16.7	Others	8.9	Others	15.4
2. ダヌーシャ郡									
Godar (394)		Godhahas (314)		Sabaila (472)		Tarapatti (303)		計 (1,483)	
Protein	10.9	Milk	15.0	Milk	11.9	Milk	16.5	Milk	12.3
Milk	7.6	Fruits	7.0	Protein	6.6	Protein	7.3	Protein	7.8
Green Vegetable	6.3	Protein	6.1	Fruits	4.0	Fruits	5.0	Fruits	4.9
Fruits	4.1	Egg	1.9	Green Vegetable	2.1	Green Vegetable	1.7	Green Vegetable	3.0
Ghee	2.0	Green Vegetable	1.6	Ghee	1.3	Beans	1.7	Ghee	1.2
Egg	1.3	Ghee	0.6	Beans	0.8	Egg	0.7	Egg	0.9
Beans	-	Beans	0.3	Egg	0.2	Ghee	0.7	Beans	0.7
Others	3.0	Others	15.3	Others	10.6	Others	14.2	Others	10.3

表4-6-3 授乳期間に栄養を補うために食べる物 -ヘルスポスト別-

1. カブレパランチョーク郡

単位：％（ ）内は母親の回答数

Bhumlutar (408)		Dapcha (283)		Khopasi (480)		Nala (305)		計 (1,476)	
Protein	20.3	Protein	16.3	Protein	21.3	Protein	24.9	Protein	20.8
Ghee	12.7	Milk	12.4	Ghee	11.7	Milk	12.8	Milk	12.0
Milk	11.8	Ghee	11.0	Milk	11.5	Ghee	12.1	Ghee	11.9
Green Vegetable	5.6	Green Vegetable	7.8	Green Vegetable	6.0	Green Vegetable	3.6	Green Vegetable	5.8
Fruits	3.9	Fruits	4.9	Fruits	6.0	Beans	3.0	Fruits	4.4
Beans	2.9	Beans	3.9	Beans	5.8	Fruits	2.0	Beans	4.1
Egg	2.0	Egg	2.5	Egg	2.3	Egg	1.0	Egg	2.0
Others	20.6	Others	29.0	Others	25.0	Others	29.8	Others	25.5

2. ダヌーシャ郡

Godar (394)		Godhaghas (314)		Sabaila (472)		Tarapatti (303)		計 (1,483)	
Milk	8.9	Milk	33.8	Milk	18.0	Milk	29.4	Milk	21.2
Protein	5.3	Beans	3.5	Green Vegetable	5.1	Protein	6.6	Protein	4.4
Green Vegetable	5.3	Protein	2.9	Protein	3.2	Beans	5.0	Green Vegetable	3.8
Fruits	2.3	Fruits	2.5	Fruits	1.9	Fruits	3.6	Fruits	2.5
Egg	1.0	Egg	2.2	Beans	1.5	Green Vegetable	2.3	Beans	2.3
Ghee	0.8	Green Vegetable	1.3	Egg	0.4	Egg	1.0	Egg	1.1
Beans	0.3	Ghee	0.3	Ghee	0.4	Ghee	1.0	Ghee	0.6
Others	12.4	Others	40.1	Others	20.3	Others	29.0	Others	24.2

授乳期間中に栄養を補うために食べる食品について質問した回答が表4-6-3である。

カブレパランチョーク郡では、全てのヘルスポスト地域で第1にタンパク質と答えているのに対して、ダヌーシャ郡では牛乳と答えている。しかしカブレパランチョーク郡ではタンパク質は20.8%、牛乳12.0%の者しか摂取しておらず、またダヌーシャ郡では牛乳は21.2%、タンパク質4.4%の者しか摂取しておらず、授乳期間中に必要な栄養物をとっている妊産婦は大変少ないのがわかる。

Ghee（脂肪）、果物、緑色野菜になると摂取している妊産婦はなお少なく、卵になると両郡ともほぼ同じ程度で、摂取するのが大変高価な食品でとることができないようである。

妊婦と授乳中の産婦、即ち妊産婦についての食習慣をみるとカブレパランチョーク郡は山岳地、ダヌーシャ郡では平野部でインドの影響を受けている地域であるため、幾分かの違いはある筈である。ネパールにはホット食品とコールド食品があり熱い冷たいという食品ではないらしいが、妊産婦はコールド食品を食べてはいけないという食習慣がある。そのために乳児死亡率と妊産婦死亡率が高くなっている原因の一因かもしれない。

このような食習慣は今後、栄養学的に解明し、よいものは残し悪いものは捨てるべきである。これまでの食習慣を改めるのは大変であろうが、教育の普及と公衆衛生の向上によって農村部の意識の改革を行うことが大切である。

次に子供に対する授乳期間がどのくらいであるかを次の式で求めた。

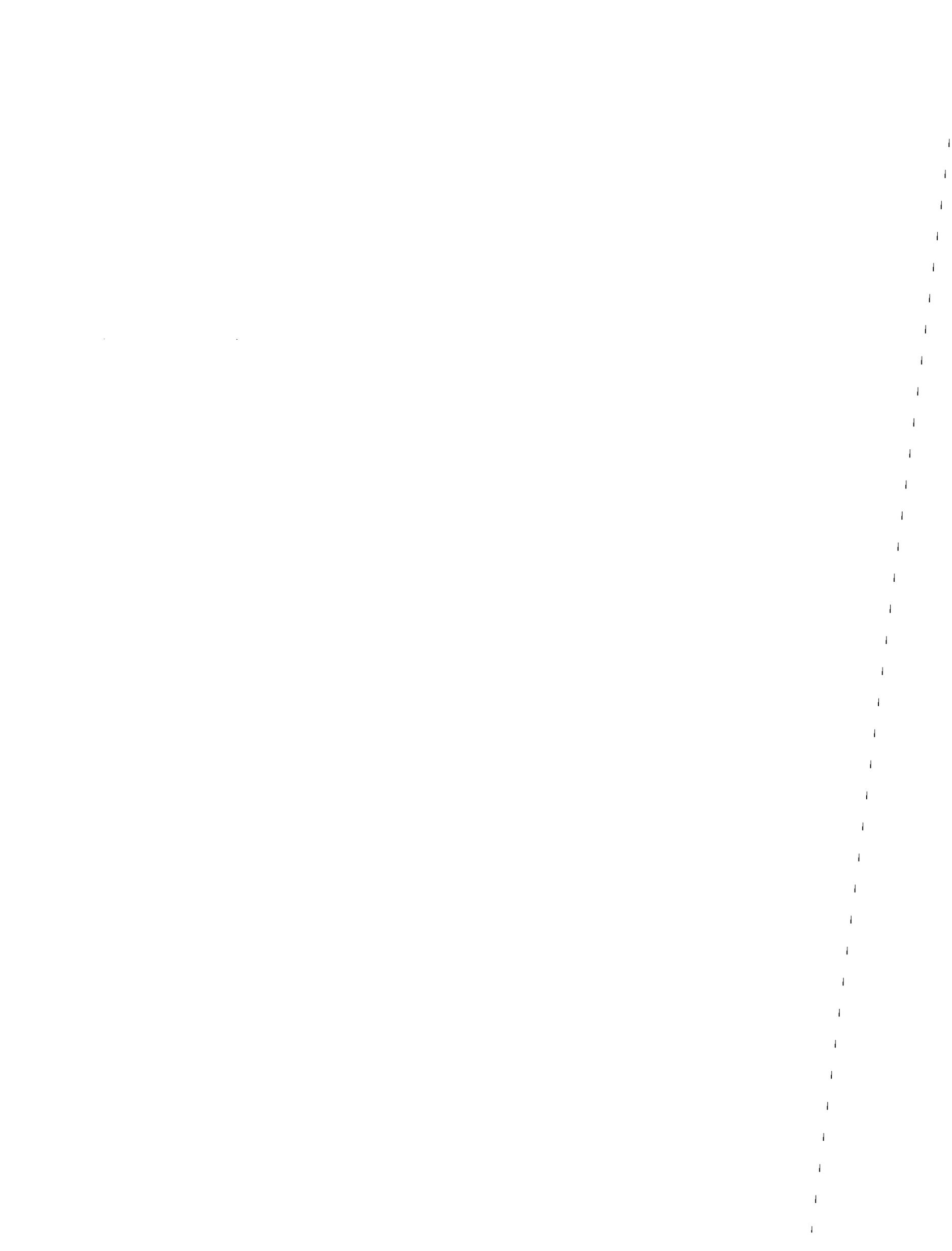
$$\text{平均授乳期間} = \frac{\Sigma \cdot M \cdot P}{\Sigma \cdot P} \quad (M: \text{授乳の月数} \quad P: \text{各授乳月数の}^5) \text{人数})$$

カブレパランチョーク郡では子供への平均授乳期間は、26.3ヶ月、ダヌーシャ郡は26.9ヶ月で、ダヌーシャ郡の方が0.6ヶ月程子供への平均授乳期間が長い、ほとんど変わりがないようである。

乳児の離乳は通常生後5ヶ月から9ヶ月の間に始まり、18～24ヶ月ぐらいまでに子供はたいいての成人食を食べることができるようになるものである。授乳期間はネパールの現状に則したものを考慮するのが最良であろう。今後は離乳について適切な指導をすべきである。

(注)

- 1) 人口ピラミッド類型別年齢構造指標で山型にみられる類型によれば、0～4歳人口比率が、14～20%、年少人口係数（年少人口／総人口×100）が40～49、年少人口指数70～75（年少人口／生産年齢人口×100）である。
大友篤、嵯峨座晴夫編、『アジア諸国の人口構造と労働力』、アジア経済研究所、1980年、16ページ。
- 2) 大友篤、嵯峨座晴夫編、『アジア諸国の人口動態』、アジア経済研究所、1982年、130ページ。
- 3) 上田耕三、小林和正、大友篤、『アジア人口学入門』、アジア経済研究所、1978年、61ページ。
- 4) World Health Organization, *Global Occurrence of Vitamin A Deficiency and Xerophthalmia, Report of a Joint WHO/UNICEF/USAID/Helen Keller International Meeting*, World Health Organization Technical Report Series 672, pp.21-23, 1982.
- 5) 授乳月数は36カ月までである。



第5章 総括：最終目標指標の設定

第5章 総括：最終目標の設定

既に第1章で述べたように、人口、家族計画、母子保健、医療・公衆衛生等に関する統計資料は、ネパールでは十分とはいえない状況にあるのが実情である。今回の「人口・家族計画基礎調査」の目的は、母子保健（MCH）に重点をおきながらこれらの資料を収集し、家族計画・母子保健プロジェクトの指針を策定する際の参考資料、すなわち11の項目について基礎指標を構築することである。本章では、これまでの諸章で行ってきた分析をふまえた上で、これら一連の指標を算定する。

(1) 妊婦の検診率

妊婦が検診を受けたか否かを調べることは、母性の健康を考えるに際して、きわめて重要な情報となる。そこで、まずカブレパランチョーク、ダヌーシャ両郡の妊婦の総数について検診率を求めると。この場合、分母は妊娠歴のある女子人口であり、分子は妊娠期間中に何らかの妊婦検診を受けた女子人口である。

妊婦の検診率 = 妊婦検診を受けた女子人口 ÷ 妊娠歴のある女子人口

	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
病院, ヘルスポスト	9.2%	7.1%

上記の計算結果からわかるように、両地域とも10%にも満たない低水準にあるとはいえ、医療機関での検診率はカブレパランチョーク郡の方が若干高い。この一因は、カブレパランチョーク郡内の調査対象地域が首都カトマンズにも近く、医療機関にもアクセスしやすい、比較的めぐまれた地域であることにもあろう。

(2) 児童の検診率

5歳未満の児童が病気にかかったときに、どの程度の割合が医療機関で検診を受けるかを見ることは、児童保健の実態を知る上でも重要である。ここでは、児童の検診率を次式によって求めた。ただし、この場合の医療機関とは、ヘルスポスト、FPクリニックに限る。

児童の検診率 = 各種疾病時に子供を医療機関につれて行った母親の数 ÷ 0～4歳人口

各種疾病時	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
下痢	12.0%	3.8%
マシ	1.4%	0.2%
寄生虫	6.8%	1.5%
百日ゼキ	5.9%	0.8%
急性呼吸器系不全	4.8%	1.3%
ジフテリア	0.6%	0.1%

上記の推計結果から、両地域とも各種の疾病時における児童の通院率はきわめて低調であるが、それでもカブレパランチョーク郡の方がダヌーシャ郡よりは良いことがわかる。この原因も上記（妊婦の検診率）と同じであろう。

(3) 児童の予防接種率

予防接種は児童の疾病や死亡を予防する上で重要な要因である。そこで、児童保健を推進するためにも、どの程度の児童が予防接種を受けているかを知る必要がある。この割合は次の式から求めた。

$$\text{児童の予防接種率} = \text{各種予防接種の件数} \div 0 - 4 \text{ 歳人口}$$

	BCG	マシ	D P T			ポリオ		
			1 回	2 回	3 回	1 回	2 回	3 回
カブレパランチョーク郡	18.7%	18.5%	14.9%	6.2%	3.9%	10.1%	4.4%	3.3%
ダヌーシャ郡	44.6%	30.6%	10.3%	11.6%	23.0%	11.3%	9.9%	20.7%

上に記された割合から、ほとんど全ての予防接種割合において、ダヌーシャ郡がカブレパランチョーク郡を上回っていることがわかる。BCGとマシの予防接種では、両地域の格差はきわめて大きい。また、DPT（ジフテリア、百日ゼキ、破傷風の三種混合ワクチン）とポリオの予防接種からは、きわめて興味深い知見が得られる。DPT、ポリオのいずれの場合にも、両地域における第1回目の接種率には大きな差は見られない。しかし、カブレパランチョーク郡の場合には、予防接種率は回を追うごとに減少し、最終的な接種率は3.9%と3.3%になる。これとは対照的に、ダヌーシャ郡の場合には回を追うごとに増加し、第3回目の接種率は23.0%と20.7%になる。この原因は、カブレパランチョーク郡の場合には、予防接種の回数が進むにつれてドロップ・アウトする者が増えるのに対し、ダヌーシャ郡の場合には、大半の者が2回、3回目の予防接種をドロップ・アウトすることなく継続して受けるために、予防接種を受けた者の数が累積さ

れていくことにある，と思われる。

(4) 疾病の発生およびその原因

今回の基礎調査では，過去12か月間における主要な疾病の発生状況に関する情報は，5歳未満の子供について収集されている。これは，本基礎調査が児童の保健に重点をおいているためである。このデータに基づいて，疾病の発生率を求めた。なお，計算式とその結果は，下記の通りである。

$$0 - 4 \text{ 歳児の各種疾病の発生率} = 0 - 4 \text{ 歳児で各疾病にかかった者} \div 0 - 4 \text{ 歳人口}$$

	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
下痢	46.7%	41.2%
マシソン	12.1%	6.6%
寄生虫	25.8%	18.5%
百日ぜき	21.6%	12.6%
急性呼吸器系不全	25.5%	28.6%
ジフテリア	3.2%	1.3%

各種疾病の発生率からまず気づくことは，カブレパランチョーク郡，ダヌーシャ郡のいずれにおいても，児童の4割以上が過去12か月の間に下痢にかかっていることである。また，発生率の大きさを順位別に見た場合，両地域ともほとんど同じであることと，大半の疾病の発生率はカブレパランチョーク郡の方がダヌーシャ郡よりも高いこと，の2点も印象的である。ここで指摘しておかなければならないことは，マシソン，百日ぜき，ジフテリアといった伝染病の発生率と，下痢の発生率である。上記の計算結果では，伝染病の発生率は，カブレパランチョーク郡の方がダヌーシャ郡より高くなっている。しかし常識的には，丘陵部に位置し，人家が散在し，往来も困難なカブレパランチョーク郡は，全く対照的な地理的条件下にあるダヌーシャ郡より，伝染病は伝播しにくいはずである¹⁾。このような結果をもたらした原因の1つとしては，両郡における予防接種率の影響が考えられる（先に述べた予防接種率を参照）。

下痢の発生率に関しても同様の傾向が見られる。大半の疾病は汚染された飲料水，食物等を媒介として伝染するが²⁾，下痢はとくにその傾向が強い。しかし，既に第4章第1節で述べたように，丘陵部に位置するカブレパランチョーク郡の主たる水源は，泉や湧水であって，一般的には，これらは平野部に位置するダヌーシャ郡の主たる水源である井戸よりは，汚染される危険性は少ないと思われる。では，なぜカブレパランチョーク郡の方が下痢にかかる割合が高いのだろうか。この問題に関してはさらに慎重な検討が必要であるが，カブレパランチョーク郡で発生する下痢は主としてミネラルを含んだ湧水，すなわち硬水に起因するものであって，ダヌーシャ郡の細菌性の下痢とは異質のものである可能性も考えられる。

(5) 死亡

死亡に関しては、下記の計算式から乳児死亡率、幼児死亡率、普通死亡率といった基礎的な指標を求めることができる。これらの指標のなかでも、乳児死亡は公衆衛生水準、栄養、社会・経済状況等に敏感に反応するため、その社会の保健・福祉水準等を考察する上でも重要な指標であるし、また出生率に多大な影響を与えるので、出生を分析する上でも重要な指標である。³⁾

$$\text{乳児死亡率} = (\text{乳児死亡数} \div \text{出生数}) \times 1,000$$

$$\text{幼児死亡率} = (1 \text{ 歳} - 4 \text{ 歳児の死亡数} \div 1 \text{ 歳} - 4 \text{ 歳児の人口}) \times 1,000$$

$$\text{普通死亡率} = (\text{総死亡数} \div \text{総人口}) \times 1,000$$

なお、各指標の推計結果は次の通りである。

	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
乳 児 死 亡 率	148.1	170.6
幼 児 死 亡 率	11.6	17.5
普 通 死 亡 率	13.7	13.9

上記の推計値からわかるように両地域の普通死亡率はそれぞれ1,000人当たり13.7、13.9といくぶん低めに見えるが、1971-81年の普通死亡率を13.5とする中央統計局の推計値、1984年のそれを11.9とするニュー・イラーの推計値等からすれば、⁴⁾ まず妥当なものと思われる。乳児死亡率はカブレパランチョーク郡が148.1である。この推計値は、ネパールの1970-1975年の乳児死亡率を153、1980-1985年を139とする国連の推計値を考慮するならば、まず無難な数値といえるであろう。⁵⁾ これに対して、ダヌーシャ郡の乳児死亡率は170.6であり、若干高すぎるようにも思われる。この原因の1つとして挙げることができるのは一時的な出生変動である。既に第4章第4節の死亡（表4-4-1）からわかるように、乳児の死亡数はほぼ同じである。ところが出生水準はダヌーシャ郡の方が低くなっている（後述の出生率参照）。このような場合、ダヌーシャ郡の乳児死亡率は、当然高くなる。乳児死亡率という指標には、出生に敏感に反応する傾向がある。しかし、もしダヌーシャ郡の出生水準が一時的なものでないならば、このダヌーシャ郡の乳児死亡率は高いことになる。この問題は、時系列分析による詳細な検討が必要であって、慎重な考察を要する今後の課題である。この乳児死亡率に関する問題はまた、出生率との関係という観点からみると、重大な課題を提起していることになる。この点については出生率の項目で詳細に述べる。

(6) 乳児の死因

乳児の死因はきわめて興味ある課題である。しかしながら、既に第4章の4節で述べたように、死因に関する大半の回答が「その他の疾病」、「他の科学的理由」であることや、また総死亡数に関してはある程度のサンプル数は確保できたが、乳幼児死亡だけに限って言えば死因を分類する

にはサンプル数があまりにも少ない，といった理由から乳児の死因は求められなかった。

(7) 避妊法の普及率

避妊法に関するデータには，残念ながら不整合が生じた。周知のように，不妊手術は，男女の別を問わず，恒久的な避妊手段である。つまり，かつて受けた不妊手術の効果は，現在も継続していることになる。そこで，「以前に不妊手術を受けた」と答えた者については，現在実行している避妊法の「不妊手術」の項目にも丸印が自動的に記載されるべきである。しかし，そのような処理が施されなかった事例が，コンピュータ処理の段階で発見されている。つまり，不妊手術による避妊の現時点における実行者数が，過去に不妊手術を受けた者より少なくなっているのである。そこで今回の分析では，かつて不妊手術を受けた者の数を，不妊手術による避妊の調査時点における実行者数の代理変数として用い，避妊法の普及率を求めた。なお，この普及率の計算式は，次の通りである。

現在の避妊法普及率＝現在の避妊実行件数÷被調査女子人口

現在の普及率	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
普及率（全手法）	18.7%	20.5%
男性不妊手術	9.9%	2.5%
女性不妊手術	6.5%	17.4%
不妊手術以外の手法	2.2%	0.6%
伝統的手法	0.1%	—

上記の計算結果からわかるように，両地域とも現在の避妊法の普及率は約20%程度である。この普及率はこれまでの調査結果から見ても妥当なものであると思われるが⁶⁾，既に第4章第3節で述べたように，重複回答が可能な設問形式からすれば，この推計値は若干高めになっている可能性もある。さて，両地域とも主な避妊法は男女の不妊手術であるが，カブレパランチョーク郡は男性不妊手術が多く，ダヌーシャ郡は女性不妊手術が多いという特色が見られる。また伝統的避妊法はほとんど活用されていないといえよう。

(8) 出生率

出生に関しては，普通出生率，合計特殊出生率，総有配偶出生率の3つの指標が一般的である。その計算式は，下記の通りである。

普通出生率＝（総出生数÷総人口）×1,000

合計特殊出生率＝ \sum （母親の年齢別の出生数÷年齢別女子人口）

総有配偶出生率＝ \sum （母親の年齢別の出生数÷年齢別有配偶女子人口）

普通出生率は最も一般的な指数であって，人口1,000人当たり何人生まれるかを示している。

また、合計特殊出生率は1人の女性が15～49歳の間（再生産期間）に生む子供の数を示しており、有配偶出生率は結婚した女性が同期間内で生む子供数を示している。なかでも総有配偶出生率は、ネパールのようにほとんどの女性が結婚する皆婚に近い状況の下では、3つの指標のなかでは最も有効であろう。各指数の計算結果は次の通りである。

	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
普通出生率	31.97	27.53
合計特殊出生率	4.62	3.90
総有配偶出生率	6.40	4.95

上記の推計結果からわかるように、いずれの指標をみても、カブレパランチョーク郡の出生水準の方がダヌーシャ郡よりも高い傾向がみられる。ここで指摘しておかなければならないことは、乳児死亡率と出生率との関係である。既に第1章をはじめとして幾度か述べたように、乳児死亡率の低下は出生率の低下に貢献することが知られている。しかし、上記の乳児死亡率と出生率とを比較すると、乳児死亡率の低いカブレパランチョーク郡で出生率が高く、逆に乳児死亡率の高いダヌーシャ郡で出生率が低くなっている。この原因の探究には、さらに多くの情報の収集と、より慎重な分析が必要である。また、これら一連の推計値の信頼度であるが、1986年の総有配偶出生率が5.62であることからすれば、⁷⁾この推計結果はかなりの妥当性を有しているといえよう。

(9) 食習慣

妊婦および授乳期間中の母親に与える食物は、母性の健康を推し量る上できわめて重要である。そこで、妊婦および授乳期間中の母親に下記の食物を与えると答えた者の被調査女子人口に対する比率を求めた。下記の計算結果から、ミルクを除けば、いずれの項目もカブレパランチョーク郡の比率の方が、ダヌーシャ郡よりも高いことがわかる。この推計結果から、両地域の間には食習慣の相違があることが、読み取れるであろう。

妊婦に対する食	カブレパラン チョーク郡	ダヌーシャ郡	授乳中の母親 への食物	カブレパラン チョーク郡	ダヌーシャ郡
動物性タンパク	16.4%	8.0%	動物性タンパク	22.2%	4.5%
果物	8.2%	5.0%	果物	4.7%	2.6%
野菜	3.8%	3.1%	野菜	6.1%	3.9%
豆類	4.4%	0.7%	豆類	4.3%	2.4%
卵	3.2%	1.0%	卵	2.1%	1.1%
ミルク	9.5%	12.7%	ミルク	12.8%	22.0%
ギ	6.5%	1.3%	ギ	12.7%	0.6%
その他	16.5%	10.7%	その他	27.3%	25.1%

(10) 児童の栄養状態

児童の保健を考える場合、予防接種、医療機関、疾病構造を見ることも重要であるが、また児童の栄養状態を考慮することも同じように必要である。なぜならば、低栄養摂取と感染症が結びつく時、往々にして児童にとっては致命的な結果をもたらされるからである。本基礎調査では、⁸⁾アーム・サーカムフェレンス・テープを用いて、6か月以上5歳未満の児童の栄養状態を「栄養失調」、「低栄養摂取」、「正常」の3つに分けて評価した。このデータに基づいて、カブレパランチョーク、ダヌーシャ両郡の児童がおかれている栄養状態を、次式によって指数化した。

児童の栄養状態構成比 = 各栄養状態の児童数 ÷ 0 - 4歳人口

地 名	カブレパランチョーク郡			ダヌーシャ郡		
	栄養失調	低栄養摂取	正 常	栄養失調	低栄養摂取	正 常
割 合	9.8%	27.2%	45.8%	14.4%	26.3%	35.3%

この計算結果からわかるように、両地域とも栄養失調児は全児童の約1割、あるいはそれ以上いることになる。低栄養摂取の児童も入れると、その割合は約4割になる。つまり、全児童のおよそ半数近くが、栄養不良の状態にあることになる。これを出生順位別の比率に換算してみると、また興味深い知見が得られる（計算結果は下記）。

	カブレパランチョーク郡			ダヌーシャ郡		
	栄養失調	低栄養摂取	正 常	栄養失調	低栄養摂取	正 常
末 子	13.6%	33.2%	53.2%	21.7%	35.9%	42.4%
末子から2番目	6.8%	32.0%	61.3%	6.8%	29.3%	63.9%
末子から3番目	8.3%	29.2%	62.5%	23.1%	38.5%	38.5%

カブレパランチョーク郡の栄養失調児の割合は、末子から3番目の場合8.3%と少ないが、末子では13.6%に増加している。低栄養児の場合にも同じ傾向が見られる。ところが、正常児の場合には、末子から3番目の62.5%、末子から2番目の61.3%、末子の53.2%と減少している。つまり、子供数が多くなるほど、また後に生まれた子供ほど、栄養失調が多くなり、正常児が減少することになる。これは人口学の常識にかなっている。なぜならば、子供数が多くなるほど、子供1人当たりの食料分配は減少し、親の世話も十分に行き渡らなくなるが、このような場合には、後に生れた幼弱な子供ほど不利な状況におかれるからである。ところがダヌーシャ郡の場合には、このような傾向は明確には見られない。このような地域差の原因を探ることは、今後の課題となるであろう。また本分析は性別を考慮していないが、性別を考慮した場合、分析結果が異なってくる可能性もある。この問題も今後慎重な分析をする必要がある。

(11) その他の指標—経口補水液 (ORT)

既に疾病の項でも述べたように、ネパールでは下痢の発生がきわめて多く、抵抗力の弱い乳幼児の死亡の相当部分は下痢によるものであるといえよう。経口補水液 (ORT) は、厳密に言えば下痢の治療薬ではないが、有効な対処療法である。そこでカブレパランチョーク郡、ダヌーシャ郡の調査対象女子人口のどの程度の割合が、経口補水液に関する情報を持っているかを知ることが、下痢に対する対応策を考察する上で重要である。そこで、ここではジーバン・ジャルを経口補水液の代表例として、ORTを聞いたことのある割合を求めた。

ORTを聞いたことのある割合 = $\frac{\text{ジーバン・ジャルについて聞いたことのある者の数}}{\text{調査対象女子人口}}$

	カブレパランチョーク郡	ダヌーシャ郡
ORTを聞いた割合	70.5%	61.9%

以上の結果からわかるように、カブレパランチョーク郡の方が高い水準を示している。これは、第4章第5節で述べた情報の入手先と関係があるように思われる。経口補水液に関する情報の入手先は、カブレパランチョーク郡がラジオであるのに対して、ダヌーシャ郡はヘルス・ワーカーである。このことから、ラジオ等による大衆教育の方が有効であるように思われる。

注)

- 1) USAID & HMG, *Nepal Nutrition Status Survey*, Kathmandu, 1975, p. 33.
- 2) Kenneth Lee and Ann Mills ed., *The Economics of Health in Developing Countries*, Oxford, Oxford University Press, 1983, p. 9.
- 3) 大塚友美「乳幼児生存仮説の検証」, 『経済集志』第55巻第3号, 1985年10月, 67-73ページ。
- 4) Bakta B. Gubhaju, *Mortality*, mimeo, p. 6.
- 5) United Nations, *World Population Prospects*, New York, 1986, p. 136.
- 6) New ERA. *Fertility and Mortality Rates in Nepal*, Kathmandu, 1984. pp. 70-79.
- 7) Ministry of Health, *Findings From Nepal Fertility and Family Planning Survey*, Ministry of Health, Kathmandu, p. 6.
- 8) Kenneth Lee and Ann Mills ed., op. cit., 1983. p. 9.

第6章 調査日程、調査団の構成、 協力者・機関等

I 調査日程

1986年 8月25日	調査設計の暫定案の決定
9月1日	プリテスト用質問票作成開始
9月30日	プリテスト用質問票作成終了
10月22日	プリテスト用質問票印刷(150部)
10月23日	Scope of Work 締結
10月26日～31日	スーパーバイザー, エディターの訓練
11月5日～6日	スーパーバイザー, エディターの訓練を兼ねたプリテスト実施
11月5日～16日	カブレパランチョーク郡インタビュアー公募
11月7日～10日	質問票の修正と最終決定
11月10日	調査設計の最終決定
11月11日	質問票の印刷開始
11月12日～21日	ダヌーシャ郡インタビュアー公募
11月19日	カブレパランチョーク郡インタビュアー選考
11月20日～21日	スーパーバイザー, エディターにサンプリング等講義 (Evaluation Division スタッフ)
11月21日	質問票の一部印刷終了(500部)
11月23日	ダヌーシャ郡インタビュアー選考
11月24日～12月6日	カブレパランチョーク郡インタビュアー訓練
12月1日～2日	フィールド訓練
11月25日	全質問票の印刷終了(5,000部)
11月25日～12月6日	ダヌーシャ郡インタビュアー訓練
12月1日～2日	フィールド訓練
12月3日	JICA調査団ネパール着
12月7日	カブレパランチョーク郡, ダヌーシャ郡フィールド調査開始
12月17日	コードブック作成開始
12月25日	コーディング・シート作成開始
12月26日	コーディング・シート完成, 印刷開始
12月26日	コードブック完成
12月28日	コーダー, エディター訓練
12月31日	コーディング・シート印刷終了
1987年 1月1日	コーダー, エディターへのインストラクション
1月2日	コーディング, オフィス・エディティング開始

1月9日	ダヌーシャ郡フィールド調査終了
1月14日	カブレバランチョーク郡フィールド調査終了
1月16日	チェック・コーディング開始
1月22日	コーディング終了
1月23日	チェック・コーディング終了
1月25日	調査団帰国
2月1日～28日	データ入力
3月1日～31日	プログラミング, データ分析
4月1日～5月10日	データ分析結果検討, ドラフトレポート作成
4月7日～21日	NFP/MCH プロジェクト・M. ムール氏来日・調査結果討議)
5月17日～19日	ドラフト説明および討議 (団長・相良徹 於：NFP/MCHプロジェクト)
5月21日～27日	ファイナル・レポート作成
5月28日～6月13日	報告書印刷

II 調査団メンバー

氏名・所属	担当業務	現地調査期間
相 良 徹 (財)アジア人口・開発協会嘱託 (日本大学歯学部助教授)	総括・人口・公衆衛生	昭和61年12月2日～12月26日 昭和62年5月16日～5月21日
西 川 由 比 子 (財)アジア人口・開発協会研究員	人口・社会・経済	昭和61年12月2日～ 昭和62年1月26日
大 塚 友 美 (財)アジア人口・開発協会嘱託 (日本大学経済学部助手)	人口・家族計画母子保健	昭和61年12月2日～ 昭和62年1月26日

国際協力事業団（JICA）とネパール家族計画・母子保健プロジェクト（NFP/MCHプロジェクト）は、S/Wを締結し、このS/Wに従い、JICAは、財団法人アジア人口・開発協会に本調査を委託した。国際協力事業団は、上記メンバーを組織し、NFP/MCHプロジェクトの協力を得て、調査を行い、本報告書を作成した。なお、以下の1名が下記の期間、作業管理のため、国際協力事業団から派遣された。

氏名・所属	担当業務	現地調査期間
新 納 宏 国際協力事業団医療協力部医療協力特別業務室	現地調査 作業管理	昭和61年12月2日～12月11日

また、FP/MCHプロジェクトには、以下の3名が国際協力事業団専門家として派遣されており、今回の調査の協力にあたった。

氏名・所属	担当業務
綿 引 信 義	チームリーダー代行 公衆衛生
宇 井 照 子	母子保健
成 瀬 章	業務調整

Ⅲ スタッフ・リスト

(1) FP/MCH プロジェクト

Project chief	Dr. Tara B. Khatri
Deputy chief	Dr. Sham P. Bhattarai
	Dr. Madhav Joshi
	Dr. Pramila Sharma

Research, Planning, Evaluation Division

Acting chief	Mr. Gokarna Regmi
staff	Dr. Bhakta B. Gubhaju
"	Mr. Muniswor Mool
"	Mr. Tek B. Dangi
"	Mr. Vinaya R. Dhakhwa

Service Division

Mr. Jiv K. Shrestha
Mr. Hari P. Koirala
Mr. Shyam K. Shrestha

(2) カブレパランチョーク郡

FPO	Mr. Mohon K. Joshi
-----	--------------------

(3) ダヌーシャ郡

FPO	Mr. Jagatananda P. Singh
-----	--------------------------

(4) フィールドワーク

① カブレパランチョーク郡

スーパーバイザー :

1. Mr. Mohan Bhattarai	Health Educator
2. Mr. Badri Narshing K. C.	F. P. O.
3. Mr. Nabin Pyakuryal	IEC Officer

エディター :

1. Miss Bimala Manandhar	Interviewer/Coder
2. Mrs. Sabari Badan Malla	Research Assistant
3. Mr. Deepak Raj Giri	Research Assistant

インタビューアー :

- 女子
1. Nagina Kokh Shrestha
 2. Sakuntala Shrestha
 3. Rasmi Devi Kayastha
 4. Indra Kumri Khatri
 5. Batu Devi Adhikari
 6. Saraswti Tripathi
 7. Omhari Awa
 8. Biku Maya Shakya
 9. Krishna Maya Toujali
 10. Ramila Katila
 11. Dev Laxmi Shayaula
 12. Reeta Bade
 13. Jyotsna Khadka
 14. Jwala Khadka
 15. Kalpana Sipkhan
- 男子
16. Suresh Khatri
 17. Jaddu Nath Kapali
 18. Sunil Malla
 19. Hemanta Bahadur Pal
 20. Torna Bahadur Lawati
 21. Badri Prashad Sharma
 22. Amar Bahadur Sharma
 23. Fanindra Bahadur Chhetri
 24. Prem Bahadur Khadka

② ダヌーシャ郡

スーパーバイザー :

1. Mrs. Indu Devkota Section Officer
2. Mr. Sudarsan R. Gautam Section Officer

エディター :

1. Mr. Durga B. Subedi Interviewer/Coder
2. Mr. Suman K. Sharma "

インタビューアー :

- 女子
1. Miss Binita Kumari Pokhrel
 2. Mrs. Iswori Bajracharya

男子

3. Mrs. Tank Kumari Basnet
4. Miss Bhes Kumary Adhikari
5. Mr. Devi Kant Misra
6. Mr. Siweswor Mandal
7. Mr. Sudhir Kumar Sharma
8. Mr. Jiwachha Raya
9. Mr. Achyut Raj Paudyal
10. Mr. Dhaneswor Yadab
11. Mr. Narendra Kumar Upadhyaya
12. Mr. Sushil Kumar Upadhyaya
13. Mr. Amar Bhadur Nyaupane
14. Mr. Manoj Kumar Datta
15. Mr. Lila Kant Jha
16. Mr. Ram Kumar Mahatha Sudi

Ⅳ スーパーバイザー・エディター訓練日程

日 時	項 目	講 師
Day 1		
10:30-11:00	Registration	
11:00-11:30	Overview of FP/MCH, JICA Project	Mr. Watahiki
11:30-12:00	Objective of Survey and Programme Introduction	Mr. Regmi
12:00-01:00	General Introduction of Questionnaire & Technique of Interview	Mr. Dangi, Mool Dhakhwa & Dr. Gubhaju
01:00-01:30	Familiarization of Questionnaire Sec. 1 H. H. Questionnaire	Mr. Dhakhwa
Day 2		
11:00-12:00	Sampling and Field Editing	Mr. Dhakhwa
12:00-01:00	Sec. 2 Socio-Economic Characteristic of the Family, Sec. 3 Background Information of Respondent	Mr. Mool Mr. Mool
01:00-02:00	Tea Break	
02:00-04:30	Sec. 4 Fertility Sec. 5 Antenatal/Postnatal Care Sec. 6 Family Planning	Dr. Gubhaju Mr. Dhakhwa Mr. Mool
Day 3		
11:00-11:30	Sec. 7 Oral Rehydration Therapy	Mr. Dangi
11:30-12:00	Sec. 8 Immunization	Mr. Dangi & Mr. Mool
12:00-01:00	Sec. 9 Breast Feeding	Mr. Regmi
01:00-01:30	Tea Break	
01:30-02:30	Sec. 10 Nutrition and Feeding Habit	Dr. Gubhaju
02:30-04:30	Sec. 11 Mortality and Causes of Illness	Mr. Dangi & Mr. Regmi

Day 4		
11 : 00 - 01 : 00	Questionnaire Practice	All
01 : 00 - 01 : 30	Tea Break	
01 : 30 - 02 : 00	Role/Responsibility of Supervisors	Mr. Regmi
02 : 00 - 04 : 30	Questionnaire Practice/Role Play	All
Day 5	Field Practice	

V インタビュアー訓練日程

日 時	項 目
<u>Day 1</u>	
10:30-11:00	Registration
11:00-12:00	Overview of FP/MCH, JICA Project
12:00-01:00	Objective of survey and programme introduction
01:00-01:30	Tea Break
01:30-04:00	Introduction to Family Planning methods
<u>Day 2</u>	
10:30-01:00	Introduction to childhood disease and their prevention (Immunization) and treatment (Oral Rehydration Therapy and Sarbottam pitho)
01:00-01:30	Tea Break
01:30-04:00	General Introduction of questionnaire and Technique of Interview.
<u>Day 3</u>	
10:30-01:00	Familiarization of Questionnaire Sections 1-3.
01:00-01:30	Tea Break
01:30-04:00	Sections 4-6.
<u>Day 4</u>	
10:30-01:00	Sections 7-9
01:00-01:30	Tea Break
01:30-04:00	Sections 10-11.
<u>Day 5</u>	
10:30-01:00	Questionnaire practice (in Group)
01:00-01:30	Tea Break
01:00-04:00	Role Play (in Group)

Day 6

10 : 30 – 01 : 00 Questionnaire practice (in Group)

01 : 00 – 01 : 30 Tea Break

01 : 30 – 04 : 00 Questionnaire practice (in Group)

Day 7

10 : 30 – 04 : 00 Field practice

Day 8

10 : 30 – 04 : 00 Field practice

Day 9

10 : 30 – 01 : 00 Group Discussion on Field practice

01 : 00 – 01 : 30 Tea Break

01 : 30 – 04 : 00 General Discussion and Review

Day 10

10 : 30 – 01 : 00 Final Review (in Group)

01 : 00 – 01 : 30 Tea Break

01 : 30 – 04 : 00 Preparation for Field work

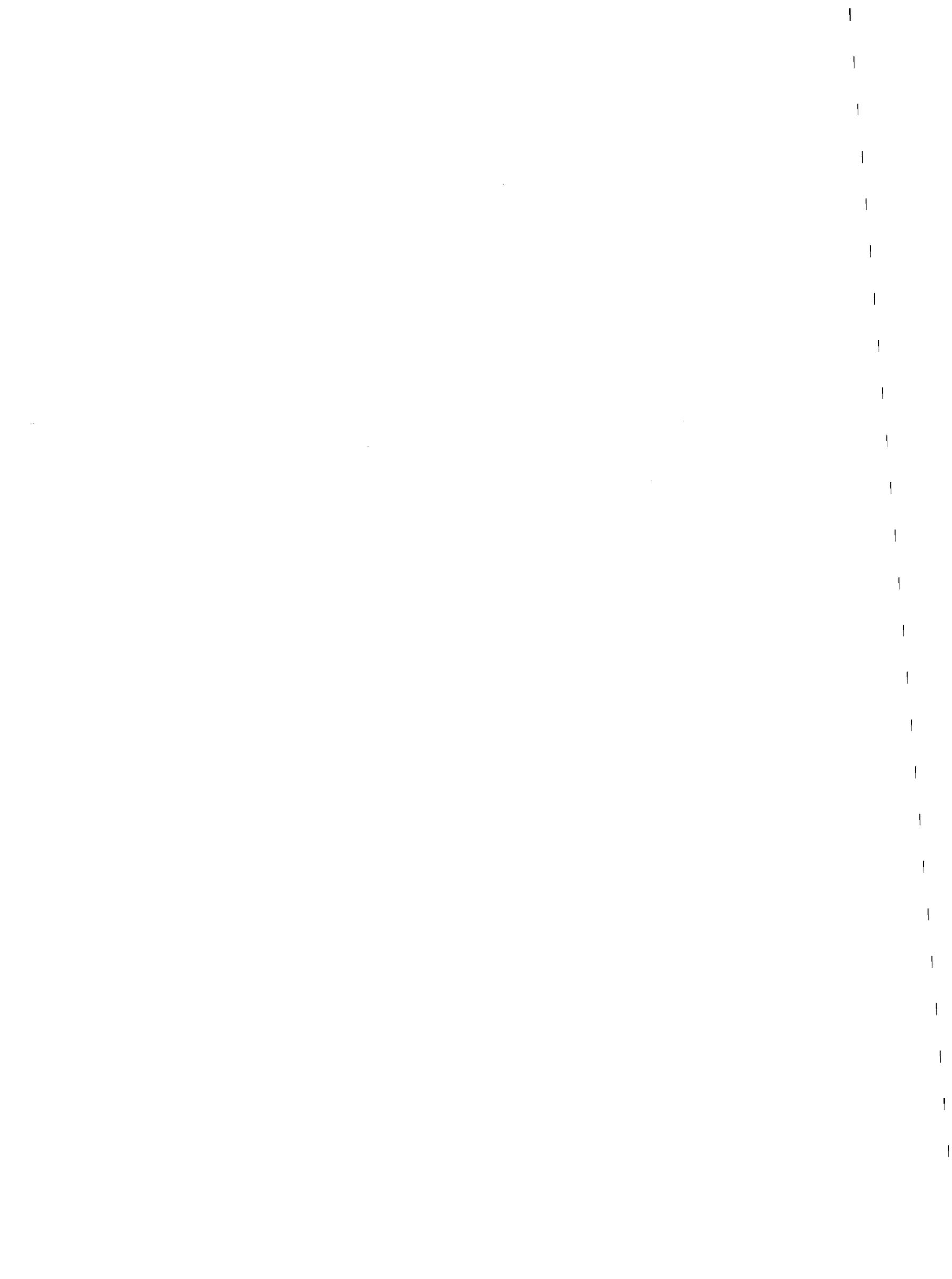
VI フィールド調査日程

(1) カブレパランチョーク郡

パンチャヤート名	開始日	終了日	チーム名	スーパーバイザー名
1. Bhumlutar	1986. 12. 7	1986. 12. 18	B	Mr. Nabin P.
2. Gothpani Chour	1986. 12. 7	1986. 12. 16	A	Mr. Badri N.K.C.
3. Sallye Mulabari	1986. 12. 7	1986. 12. 15	C	Mr. Mohah Bhattarai
4. Balthali	1986. 12. 19	1986. 12. 28	A	Mr. Badri N.K.C.
5. Chalal Ganeshthan	1986. 12. 16	1986. 12. 29	B	Mr. Nabin P.
6. Sunthan Sarada	1986. 12. 17	1987. 1. 1	C	Mr. Mohan Bhattarai
7. Dapcha Chatrebanjh	1986. 12. 29	1987. 1. 6	A	Mr. Badri N.K.C.
8. Khanalthock	1986. 12. 30	1987. 1. 7	B	Mr. Nabin P.
9. Nayagaun Deupur	1987. 1. 2	1987. 1. 9	C	Mr. Mohan Bhattarai
10. Ugrachandi Nala	1987. 1. 7	1987. 1. 14	A+B+C	

(2) ダヌーシャ郡

パンチャヤート名	開始日	終了日	チーム名	スーパーバイザー名
1. Mithileswor Mahrubhi	1986. 12. 7	1986. 12. 14	A	Mrs. Indu Devkota
2. Sabaila	1986. 12. 7	1986. 12. 12	B	Mr. S.R. Gautam
3. Kajara Ramol	1986. 12. 15	1986. 12. 18	A	Mrs. Indu Devkota
4. Balabakhar	1986. 12. 13	1986. 12. 19	B	Mr. S.R. Gautam
5. Bhutahi Paterba	1986. 12. 19	1986. 12. 25	A	Mrs. Indu Devkota
6. Raghunathpur	1986. 12. 20	1986. 12. 24	B	Mr. S.R. Gautam
7. Devapura Rupaitha	1986. 12. 26	1987. 1. 1	A	Mrs. Indu Devkota
8. Bharatpur	1987. 12. 25	1987. 1. 1	B	Mr. S.R. Gautam
9. Lohana	1987. 1. 2	1987. 1. 9	A	Mrs. Indu Devkota
10. Uma Prempur	1987. 1. 2	1987. 1. 9	B	Mr. S.R. Gautam



付 録

集 計 表
調 査 票

Table 1 : Population Distribution by Age, Sex and Marital Status

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

A G E	M A L E													F E M A L E													T O T A L												
	TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS				TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS				TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS				TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS						
		A	B	C	D	E	F	G	H		A	B	C	D	E	F	G	H		A	B	C	D	E	F	G	H		A	B	C	D	E	F	G	H			
0	151	128	-	23	151	-	-	-	-	146	110	1	35	145	1	-	-	-	297	238	1	58	296	1	-	-	-												
1 - 4	533	583	1	149	531	-	2	-	-	493	350	1	148	496	1	2	-	-	1,032	733	2	297	1,027	1	4	-	-												
5 - 9	617	423	1	155	615	1	3	-	-	638	422	-	216	635	-	3	-	-	1,255	845	1	409	1,248	1	6	-	-												
10 - 14	605	19	12	574	555	10	40	-	-	576	6	13	557	525	12	39	-	-	1,181	25	25	1,151	1,080	22	79	-	-												
15 - 19	458	-	61	347	322	81	25	-	-	473	3	162	308	294	161	15	2	1	631	3	223	655	616	222	43	2	1												
20 - 24	320	4	193	123	122	189	7	-	2	401	4	341	55	57	339	3	-	2	721	8	534	179	179	528	10	-	4												
25 - 29	250	1	212	37	37	205	7	-	1	317	3	303	11	12	299	-	4	2	567	4	515	48	43	504	7	4	5												
30 - 34	217	1	203	13	12	201	2	-	2	261	4	248	9	8	237	-	9	7	418	5	451	22	20	438	2	9	9												
35 - 39	251	3	193	5	6	188	3	-	3	257	6	228	3	4	211	-	17	5	438	9	421	8	10	400	3	17	8												
40 - 44	225	2	217	6	7	214	3	-	1	227	8	208	11	8	188	1	29	1	452	10	425	17	15	402	4	29	2												
45 - 49	182	1	159	2	1	153	7	-	1	155	5	128	2	2	99	2	28	4	297	6	287	4	3	252	9	28	5												
50 - 54	170	3	165	2	3	148	17	-	2	227	9	212	6	3	170	1	50	3	397	12	377	8	6	318	18	50	5												
55 - 59	127	2	121	4	4	110	13	-	-	104	4	97	3	2	57	1	39	5	231	6	218	7	6	167	14	39	5												
60 - 64	90	-	89	1	1	79	9	1	-	135	6	125	4	3	75	-	58	1	225	6	214	5	4	154	9	57	1												
65 +	188	6	180	2	1	128	55	5	1	169	11	156	2	5	55	3	105	1	357	17	336	4	6	181	58	110	2												
UNKNOWN	6	1	3	2	1	2	2	-	1	5	1	4	-	1	-	-	4	-	11	2	7	2	2	2	2	4	1												
TOTAL	4,270	977	1,610	1,483	2,367	1,688	195	8	14	4,550	952	2,227	1,371	2,200	1,905	70	343	32	8,820	1,929	4,037	2,854	4,567	3,533	265	349	48												

DISTRICT : DHANUSA

A G E	M A L E													F E M A L E													T O T A L												
	TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS				TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS				TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS				TOTAL	EVER MARRIED?				CURRENT MARITAL STATUS						
		A	B	C	D	E	F	G	H		A	B	C	D	E	F	G	H		A	B	C	D	E	F	G	H		A	B	C	D	E	F	G	H			
0	120	114	-	6	120	-	-	-	-	132	122	-	10	129	-	3	-	-	252	236	-	16	249	-	3	-	-												
1 - 4	521	462	-	59	515	-	6	-	-	509	446	-	60	497	-	9	-	-	1,027	908	-	119	1,012	-	15	-	-												
5 - 9	689	533	1	105	674	1	14	-	-	606	534	6	66	535	6	5	-	-	1,235	1,117	7	171	1,269	7	19	-	-												
10 - 14	513	19	13	481	446	11	56	-	-	414	9	56	349	307	56	51	-	-	827	28	69	830	759	67	107	-	-												
15 - 19	504	3	78	225	202	75	27	-	-	253	2	195	62	49	184	15	-	1	563	5	271	287	251	269	42	-	1												
20 - 24	275	1	168	78	71	185	7	1	1	374	1	365	8	8	366	-	-	-	643	2	563	84	79	561	7	1	1												
25 - 29	378	-	343	35	27	332	15	-	4	356	-	351	5	5	348	-	3	2	734	-	694	40	32	678	15	3	6												
30 - 34	290	-	283	7	4	277	6	1	2	320	-	318	1	1	311	1	6	1	610	-	602	8	5	588	7	7	3												
35 - 39	327	-	322	5	3	318	4	2	-	233	-	229	-	1	208	-	14	-	550	-	545	5	4	526	4	16	-												
40 - 44	166	-	163	1	1	176	8	1	-	177	1	176	-	-	163	-	12	2	363	1	361	1	1	339	8	13	2												
45 - 49	167	2	165	-	2	158	8	1	-	128	2	126	-	-	101	-	26	1	255	4	231	-	2	257	8	27	1												
50 - 54	147	-	147	-	-	135	9	2	1	232	2	229	1	2	183	1	45	1	378	2	376	1	2	316	10	47	2												
55 - 59	133	-	138	1	1	128	8	2	-	132	1	129	2	-	96	2	34	-	271	1	267	3	1	224	10	56	-												
60 - 64	153	-	152	1	-	134	14	4	1	118	4	115	1	1	49	2	66	-	271	4	265	2	1	183	16	70	1												
65 +	130	1	128	1	-	110	20	-	-	105	2	101	2	1	26	1	77	-	235	3	229	3	1	156	21	77	-												
UNKNOWN	4	1	2	1	2	1	1	-	-	2	-	2	-	-	2	-	-	-	6	1	4	1	2	3	1	-	-												
TOTAL	4,343	1,186	2,153	1,004	2,058	2,649	203	14	9	4,684	1,126	2,331	587	1,556	2,107	90	283	8	8,427	2,312	4,544	1,571	3,664	4,156	293	297	17												

A ; Inapplicable, B ; Married, C ; Unmarried, D ; Inapplicable, E ; Currently Married, F ; Widower, G ; Widow, H ; Divorce/Separated

Table 2 : Distribution by Type of Family and Number of Persons in the Family

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

FAMILY SIZE	FAMILY TYPE				TOTAL
	NUCLEAR	STEM	JOINT	UNKNOWN	
1	60	1	-	1	62
2	106	14	2	1	123
3	112	21	8	2	143
4	151	41	11	1	204
5	164	66	25	1	256
6	127	78	32	-	237
7	90	56	31	-	177
8	44	60	34	-	138
9	18	30	24	-	72
10	7	23	22	-	52
11	1	7	16	-	24
12	1	4	15	-	20
13	-	2	9	-	11
14	1	3	5	-	9
15	-	-	2	-	2
16	1	-	3	-	4
17	-	1	3	-	4
18	-	-	-	-	-
19	-	-	1	-	1
20	-	-	-	-	-
21	-	-	1	-	1
22	-	-	1	-	1
23	-	-	1	-	1
24	-	-	1	-	1
25	-	-	-	-	-
26	-	-	1	-	1
27	-	-	-	-	-
28	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-
UNKNOWN	-	-	-	49	49
TOTAL	883	407	248	55	1,593

DISTRICT : DHANUSA

FAMILY SIZE	FAMILY TYPE				TOTAL
	NUCLEAR	STEM	JOINT	UNKNOWN	
1	35	-	-	4	39
2	115	7	2	2	126
3	190	29	2	-	221
4	168	75	11	-	254
5	175	85	23	-	283
6	131	102	16	-	249
7	49	80	35	1	165
8	15	38	35	-	88
9	7	28	26	-	61
10	1	17	18	-	36
11	-	7	17	-	24
12	-	5	8	-	13
13	-	1	4	-	5
14	-	2	4	-	6
15	-	-	5	-	5
16	-	-	-	-	-
17	-	-	3	-	3
18	-	-	1	-	1
19	-	-	1	-	1
20	-	-	-	-	-
21	-	-	-	-	-
22	-	1	-	-	1
23	-	-	1	-	1
24	-	-	-	-	-
25	-	-	-	-	-
26	-	-	1	-	1
27	-	-	-	-	-
28	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-
UNKNOWN	-	-	-	31	31
TOTAL	886	477	213	38	1,614

Table 3: Distribution of Head of the Household by Educational Attainment and Occupation

DISTRICT : KAVREPALANCHOK										DISTRICT : DHANUSA									
EDUCATION OF H.H.	TOTAL	OCCUPATION								EDUCATION OF H.H.	TOTAL	OCCUPATION							
		A	B	C	D	E	F	G	H			A	B	C	D	E	F	G	H
INAPPLICABLE	693	24	566	38	10	8	31	8	8	INAPPLICABLE	1,116	24	468	565	6	34	7	5	7
ONE YEAR	570	14	405	29	68	26	7	18	3	ONE YEAR	257	2	161	42	10	32	2	5	3
TWO YEARS	16	-	12	2	1	1	-	-	-	TWO YEARS	12	-	8	3	-	1	-	-	-
THREE YEARS	28	-	21	1	2	4	-	-	-	THREE YEARS	15	-	8	4	-	3	-	-	-
FOUR YEARS	30	-	20	2	5	2	1	-	-	FOUR YEARS	18	-	14	1	1	2	-	-	-
FIVE YEARS	31	-	18	1	8	3	-	1	-	FIVE YEARS	17	-	10	5	1	1	-	-	-
SIX YEARS	20	-	13	1	1	3	-	1	1	SIX YEARS	17	-	8	3	2	3	-	-	1
SEVEN YEARS	28	-	20	1	5	2	-	-	-	SEVEN YEARS	28	-	20	2	4	1	-	1	-
EIGHT YEARS	26	-	16	-	2	8	-	-	-	EIGHT YEARS	14	1	7	2	2	2	-	-	-
NINE YEARS	8	-	6	-	1	1	-	-	-	NINE YEARS	9	-	8	-	1	-	-	-	-
TEN YEARS OR S.L.C	65	1	19	-	38	6	1	-	-	TEN YEARS OR S.L.C	56	1	27	2	17	7	1	1	-
I.A.	16	-	1	-	14	1	-	-	-	I.A.	13	-	6	-	5	1	-	-	1
B.A.	7	-	-	-	7	-	-	-	-	B.A.	5	-	2	-	3	-	-	-	-
M.A.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M.A.	1	-	-	-	1	-	-	-	-
NOT STATED	55	-	5	1	-	-	-	-	49	NOT STATED	36	-	1	1	-	-	-	-	34
TOTAL	1,593	39	1,122	76	162	65	40	28	61	TOTAL	1,614	28	748	630	53	87	10	12	46

A : No Job, B : Agriculture, C : Labour, D : Service, E : Business, F : House Work, G : Others
H : Not Stated

Table 4 : Distribution of Household by Possession of Land, Source of Drinking Water and Availability of Latrine

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

ROPANIES	TOTAL	WATER									LATRINE		
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
0	34	13	-	16	-	-	1	-	-	4	5	24	5
1 ~ 4	486	156	37	185	1	3	77	2	25	-	80	406	-
5 ~ 9	366	140	29	143	-	-	42	-	12	-	74	290	2
10 ~ 14	230	74	14	102	-	-	36	1	2	1	60	170	-
15 ~ 19	153	60	15	49	-	-	26	1	2	-	26	127	-
20 ~ 24	87	32	7	36	-	-	11	1	-	-	20	67	-
25 ~ 29	53	12	5	24	-	-	9	1	2	-	17	36	-
30 ~ 34	37	10	1	16	-	-	9	-	1	-	13	24	-
35 ~ 39	15	4	-	7	-	1	1	-	2	-	2	13	-
40 ~ 44	29	12	-	13	-	1	2	-	1	-	8	21	-
45 ~ 49	6	-	-	4	-	-	2	-	-	-	-	6	-
50 ~ 54	15	6	1	5	-	-	3	-	-	-	3	12	-
55 ~ 59	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
60 ~ 64	7	4	-	1	-	-	2	-	-	-	-	7	-
65 ~ 69	5	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	5	-
70 ~ 74	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-
75 ~ 79	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-
80 ~ 84	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-
85 ~ 89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
90 ~ 94	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
95 ~ 97	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
99	59	1	-	4	-	-	3	-	1	50	-	9	50
TOTAL	1,593	530	109	614	1	5	225	6	48	55	313	1,223	57

A : Kuwa
 B : Khola
 C : Kaldhara
 D : Pokhari
 E : Tubewell
 F : Dhungedhara
 G : Inar
 H : Others
 I : Not Stated
 J : Yes
 K : No
 L : Not Stated

DISTRICT : DHANUSA

ROPANIES	TOTAL	WATER									LATRINE		
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
0	443	-	6	-	-	239	1	184	11	2	1	436	6
1 ~ 4	318	2	-	21	-	128	1	151	14	1	1	316	1
5 ~ 9	222	2	4	4	-	95	1	104	12	-	1	218	3
10 ~ 14	156	2	4	7	-	72	-	67	4	-	5	150	1
15 ~ 19	50	-	-	-	-	27	1	21	1	-	1	49	-
20 ~ 24	61	1	3	1	-	26	-	30	-	-	-	61	-
25 ~ 29	98	1	5	2	-	33	1	53	2	1	4	93	1
30 ~ 34	40	1	-	-	-	10	-	27	2	-	2	37	1
35 ~ 39	69	1	2	1	-	39	1	25	-	-	7	62	-
40 ~ 44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 ~ 49	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-
50 ~ 54	41	1	1	2	-	19	-	18	-	-	6	35	-
55 ~ 59	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	1	-
60 ~ 64	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
65 ~ 69	23	-	-	2	-	9	1	11	-	-	4	19	-
70 ~ 74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75 ~ 79	12	-	-	-	-	8	-	4	-	-	3	9	-
80 ~ 84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
85 ~ 89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
90 ~ 94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
95 ~ 97	35	-	-	-	-	16	-	19	-	-	11	24	-
98	3	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	3	-
99	37	-	-	-	-	2	-	1	-	34	-	3	34
TOTAL	1,614	11	25	41	-	727	7	718	47	38	47	1,520	47

Table 5 : Distribution of Eligible Women by 5 Year Age Group, Literacy and Educational Attainment

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	READ & WRITE		SCHOOL		YEARS OF SCHOOLING										EDUCATIONAL ATTAINMENT			NOT STATED	
	NO	NOT STATED	YES	NO	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 (S.L.C.)	I.A.	B.A.		M.A.+
~14	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	114	-	15	3	116	-	3	3	3	1	-	1	1	-	3	-	-	-	1
20 ~ 24	243	-	23	6	250	1	2	3	4	3	4	-	1	-	4	-	-	-	-
25 ~ 29	260	-	20	8	268	-	2	3	4	5	2	-	-	2	2	-	-	-	1
30 ~ 34	219	-	9	3	224	-	-	2	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-
35 ~ 39	179	-	4	9	188	1	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1
40 ~ 44	170	1	1	2	176	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
45 ~ 49	85	-	1	-	85	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
50+	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	3	83	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
TOTAL	1,279	84	73	31	1,316	4	8	11	14	11	7	2	3	4	10	-	-	-	88

DISTRICT : DHANUSA

AGE	READ & WRITE		SCHOOL		YEARS OF SCHOOLING										EDUCATIONAL ATTAINMENT			NOT STATED	
	NO	NOT STATED	YES	NO	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 (S.L.C.)	I.A.	B.A.		M.A.+
~14	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	124	-	13	-	124	-	2	2	3	1	2	1	-	1	1	-	-	-	-
20 ~ 24	259	-	21	3	260	-	1	3	1	4	3	6	1	-	2	-	-	-	-
25 ~ 29	293	-	10	1	294	1	-	2	-	2	1	2	-	2	-	1	-	-	-
30 ~ 34	267	-	11	3	269	-	2	2	2	1	1	1	-	-	1	-	-	-	1
35 ~ 39	188	1	5	2	190	-	1	-	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-
40 ~ 44	132	-	4	2	142	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
45 ~ 49	94	-	1	1	95	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	3	32	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
TOTAL	1,361	33	65	12	1,378	1	6	10	9	11	7	12	1	3	5	1	-	-	34

Table 6 : Distribution of Eligible Women by 5 Year Age Group and Occupation

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	TOTAL	O C C U P A T I O N								
		A	B	C	D	E	F	G	H	I
~14	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	132	1	115	-	2	1	13	-	-	-
20 ~ 24	272	-	244	2	1	1	23	1	-	-
25 ~ 29	289	-	256	1	2	-	29	1	-	-
30 ~ 34	233	-	205	3	-	5	20	-	-	-
35 ~ 39	194	2	174	2	-	6	10	-	-	-
40 ~ 44	179	5	158	1	-	5	9	-	-	1
45 ~ 49	87	-	78	1	-	3	5	-	-	-
50+	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	86	-	2	-	-	-	1	-	-	83
TOTAL	1,478	8	1,238	10	5	21	110	2	-	84

DISTRICT : DHANUSA

AGE	TOTAL	O C C U P A T I O N								
		A	B	C	D	E	F	G	H	I
~14	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
15 ~ 19	137	-	3	10	1	2	121	-	-	-
20 ~ 24	281	-	10	21	1	-	246	-	1	2
25 ~ 29	305	1	3	26	-	-	274	-	-	1
30 ~ 34	280	-	9	26	2	3	237	2	-	1
35 ~ 39	196	-	4	14	1	3	174	-	-	-
40 ~ 44	147	8	3	20	1	-	114	-	-	1
45 ~ 49	96	-	3	6	-	3	83	1	-	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	35	-	-	-	-	-	3	-	-	32
TOTAL	1,478	9	35	123	6	11	1,253	3	1	37

A : No Job, B : Agriculture, C : Labour, D : Service, E : Business, F : House Work, G : Others, H : Don't Know, I : Not Stated

Table 7 : Distribution of Respondents' Husbands by 5 Year Age Group, Literacy and Educational Attainment

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE OF HUSBAND	READ & WRITE			SCHOOL		YEARS OF SCHOOLING														NOT STATED
	NO	DON'T KNOW	NOT STATED	YES	NO	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 (S.L.C.)	I.A.	B.A.	M.A.+	
~14	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	9	-	-	38	3	12	-	1	6	5	6	-	5	2	4	8	-	-	-	1
20 ~ 24	38	-	1	140	22	61	2	6	22	9	11	4	11	8	7	53	5	-	-	3
25 ~ 29	50	-	-	139	27	60	5	8	14	13	12	7	9	11	5	41	8	2	-	3
30 ~ 34	59	-	-	103	47	104	6	9	7	5	9	4	6	15	5	25	10	2	-	3
35 ~ 39	64	-	-	78	58	123	3	4	6	11	8	3	7	7	1	18	5	3	-	4
40 ~ 44	71	-	-	63	78	152	3	4	2	7	11	9	5	10	-	6	1	1	-	3
45 ~ 49	59	-	-	20	52	111	3	1	-	3	2	2	2	-	-	4	1	1	-	2
50+	60	-	-	22	64	126	1	-	3	2	5	1	-	3	1	3	1	-	-	2
NOT STATED	3	-	84	4	3	6	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	84
TOTAL	413	-	85	608	354	781	23	34	60	55	66	30	45	57	23	158	32	9	-	105

DISTRICT : DHANUSA

AGE OF HUSBAND	READ & WRITE			SCHOOL		YEARS OF SCHOOLING														NOT STATED
	NO	DON'T KNOW	NOT STATED	YES	NO	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 (S.L.C.)	I.A.	B.A.	M.A.+	
~14	1	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	16	-	-	14	-	16	-	1	1	2	-	1	-	2	1	6	-	-	-	-
20 ~ 24	80	-	-	47	3	83	1	2	2	4	3	2	3	1	2	22	3	1	-	1
25 ~ 29	156	-	-	88	7	163	-	8	7	4	9	7	4	4	2	36	5	2	-	2
30 ~ 34	186	-	-	74	7	195	1	1	3	10	6	7	14	3	4	16	6	-	1	1
35 ~ 39	192	-	-	77	24	220	1	4	5	8	6	6	6	6	4	14	10	3	-	2
40 ~ 44	105	-	-	38	15	121	2	4	2	3	5	1	7	1	1	5	4	1	-	1
45 ~ 49	99	-	-	26	15	114	1	4	-	1	1	1	6	1	2	5	-	2	-	1
50+	121	-	-	20	12	133	3	1	2	1	1	-	1	1	1	6	-	-	-	3
NOT STATED	8	-	33	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	33
TOTAL	964	-	33	366	83	1,062	9	25	22	33	31	25	41	20	17	111	28	9	1	44

Table 8 : Distribution of Respondents' Husbands by Occupation

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE OF HUSBAND	O C C U P A T I O N O F H U S B A N D									
	TOTAL	A	B	C	D	E	F	G	H	I
~14	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	50	8	29	1	6	1	3	2	-	-
20 ~ 24	202	10	117	9	52	9	1	2	-	2
25 ~ 29	218	3	128	17	58	7	1	3	-	1
30 ~ 34	210	1	127	13	55	9	-	4	-	1
35 ~ 39	203	3	135	14	40	8	-	3	-	-
40 ~ 44	214	1	163	10	24	13	-	3	-	-
45 ~ 49	132	-	103	3	17	5	-	2	-	2
50+	148	2	112	4	18	7	3	1	-	1
NOT STATED	100	6	7	1	2	-	-	-	-	84
TOTAL	1,478	34	922	72	272	59	8	20	-	91

DISTRICT : DHANUSA

AGE OF HUSBAND	O C C U P A T I O N O F H U S B A N D									
	TOTAL	A	B	C	D	E	F	G	H	I
~14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	30	5	10	12	-	3	-	-	-	-
20 ~ 24	130	4	50	58	6	8	1	2	-	1
25 ~ 29	253	5	112	93	25	15	1	1	-	1
30 ~ 34	268	3	105	128	14	15	-	3	-	-
35 ~ 39	295	3	135	108	20	24	2	2	-	1
40 ~ 44	158	1	86	50	9	8	1	3	-	-
45 ~ 49	139	1	79	42	7	10	-	-	-	-
50+	153	1	97	45	-	6	2	1	-	1
NOT STATED	52	9	4	4	2	-	-	-	-	33
TOTAL	1,478	32	678	540	83	89	7	12	-	37

A : No Job, B : Agriculture, C : Labour, D : Service, E : Business, F : House Work, G : Others, H : Don't Know, I : Not Stated

Table 9 : Age at Marriage and Number of Years of Cohabitation of Respondents by Education

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

EDUCATION READ & WRITE	AGE AT MARRIAGE												MEAN	LIVE TOGETHER											MEAN
	TOTAL	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		TOTAL	0	1	2	3	4	5	6	7	8	99	
NO	845	33	34	52	84	86	141	116	97	101	48	53	15.42	1,279	1,171	19	15	15	19	7	5	5	1	22	0.22
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84	-
SCHOOL YES	32	-	2	3	5	-	6	6	6	2	1	1	15.19	73	70	-	-	-	1	-	-	-	-	2	0.06
NO	18	1	-	-	1	3	1	3	2	3	3	1	16.28	31	28	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0.50

DISTRICT : DHANUSA

EDUCATION READ & WRITE	AGE AT MARRIAGE												MEAN	LIVE TOGETHER											MEAN
	TOTAL	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		TOTAL	0	1	2	3	4	5	6	7	8	99	
NO	946	231	39	150	80	127	126	84	33	35	10	32	13.32	1,361	543	170	163	115	78	108	45	36	23	74	1.80
NOT STATED	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.00	33	-	-	-	-	-	1	-	-	-	32	5.00
SCHOOL YES	38	3	3	2	4	2	3	8	1	3	3	-	14.68	65	54	8	1	1	-	-	-	1	-	-	0.31
NO	7	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	12.57	12	6	-	2	2	-	1	1	-	-	-	1.75

Table 10 : Number of Live Births of Last Year of Respondents by 5 Year Age Group and Age Specific Fertility Rate, and Proportion of Respondents Who Are Currently Pregnant by 5 Year Age Group.

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	NO. OF LIVE BIRTHS LAST YEAR				ASFR	PREGNANCY			
	TOTAL	A	B	C		YES	NO	DON'T KNOW	NOT STATED
~14	2	1	1	-	0.50	-	1	-	1
15 ~ 19	128	102	25	1	0.21	21	103	3	4
20 ~ 24	271	130	80	1	0.30	46	221	2	1
25 ~ 29	287	200	86	1	0.31	43	237	4	-
30 ~ 34	232	190	42	-	0.18	28	201	-	-
35 ~ 39	194	163	30	1	0.16	14	177	2	-
40 ~ 44	176	162	13	1	0.09	5	164	1	3
45 ~ 49	87	84	3	-	0.03	-	86	-	-
50+	3	2	1	-	0.33	-	3	-	-
NOT STATED	3	2	1	-	0.33	-	3	-	83
TOTAL	1,383	1,096	282	5	0.21	157	1,196	12	92

A : Inapplicable

B : Yes

C : No

DISTRICT : DHANUSA

AGE	NO. OF LIVE BIRTHS LAST YEAR				ASFR	PREGNANCY			
	TOTAL	A	B	C		YES	NO	DON'T KNOW	NOT STATED
~14	1	1	-	-	-	-	1	-	-
15 ~ 19	130	114	16	-	0.12	14	110	1	6
20 ~ 24	281	216	64	1	0.23	35	241	5	-
25 ~ 29	305	233	70	2	0.24	32	270	1	1
30 ~ 34	278	229	48	1	0.18	23	254	1	1
35 ~ 39	195	174	21	-	0.11	18	176	1	-
40 ~ 44	141	133	8	-	0.06	2	133	1	6
45 ~ 49	96	91	5	-	0.05	2	94	-	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	3	3	-	-	-	-	3	-	32
TOTAL	1,430	1,194	232	4	0.17	126	1,282	10	46

Table 11 : Number of Live Births, Currently Living Children, Miscarriages and Still Births by 5 Year Age Group of Respondents

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	LIVE BIRTH							NO. OF CURRENTLY LIVING CHILDREN							MISCARRIAGE							STILL BIRTH										
	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7
~14	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
15 ~ 19	86	84	6	1	-	-	-	-	88	84	6	1	-	-	-	127	1	-	-	-	-	-	-	126	1	1	-	-	-	-	-	
20 ~ 24	65	95	77	24	8	1	1	-	80	105	67	17	3	-	-	257	13	1	-	-	-	-	-	262	7	1	-	-	-	-	-	
25 ~ 29	19	36	73	65	57	31	11	1	17	46	86	85	58	13	2	258	25	5	1	-	-	-	-	277	8	4	-	-	-	-	-	
30 ~ 34	5	4	19	47	64	37	29	13	5	14	33	65	64	27	17	209	16	5	1	1	-	-	1	215	14	3	1	-	-	-	-	
35 ~ 39	7	6	7	21	28	35	38	21	8	7	17	37	58	43	26	159	23	7	4	-	-	-	-	178	15	-	-	-	-	-	-	
40 ~ 44	7	4	4	20	14	24	28	27	9	7	10	28	27	41	25	19	134	26	8	6	1	1	-	161	9	5	1	-	-	-	-	
45 ~ 49	1	-	7	11	5	12	8	15	3	1	14	11	14	17	11	8	71	11	4	-	1	-	-	80	4	2	-	1	-	-	-	
50+	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
NOT STATED	-	1	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
TOTAL	185	180	195	189	177	142	115	77	209	214	234	244	165	143	81	48	1,220	117	51	12	5	1	-	1,507	58	17	2	1	-	-	-	

DISTRICT : DHANUSA

AGE	LIVE BIRTH							NO. OF CURRENTLY LIVING CHILDREN							MISCARRIAGE							STILL BIRTH									
	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6
~14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	84	37	7	2	1	-	-	-	69	38	3	-	1	-	-	129	2	-	-	-	-	-	-	131	-	-	-	-	-	-	-
20 ~ 24	73	107	69	22	12	1	2	-	87	115	58	21	1	-	1	-	264	15	2	-	-	-	-	268	9	2	-	1	1	-	-
25 ~ 29	26	40	70	87	46	25	8	2	35	60	83	66	34	6	1	-	284	11	7	2	-	-	-	297	5	2	-	-	-	-	-
30 ~ 34	12	18	40	53	64	44	24	15	18	26	61	74	66	25	8	1	249	23	4	3	-	-	-	257	13	5	1	1	-	1	1
35 ~ 39	5	8	18	22	42	39	26	22	6	21	25	52	44	28	14	5	178	14	2	2	-	-	-	184	9	2	1	-	-	-	-
40 ~ 44	9	-	7	15	18	27	24	21	14	3	19	24	34	25	12	9	131	9	1	-	-	-	-	126	13	2	-	-	-	-	-
45 ~ 49	1	1	8	8	10	22	22	13	2	3	17	22	24	14	11	2	90	3	3	-	-	-	-	88	5	2	-	1	-	-	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	212	211	214	209	193	159	106	73	253	264	267	279	205	98	47	17	1,329	77	19	7	-	-	-	1,555	54	15	2	3	1	1	1

Table 12: Distribution of Respondents Who Are Currently Pregnant by Their Preference for The Place of Delivery

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

PLACE OF DELIVERY	P R E G N A N C Y			
	YES (%)	NO	DON' T KNOW	NOT STATED
0	2 (1.3)	1,191	12	-
HOSPITAL	8 (5.1)	-	-	-
HEALTH POST	- (-)	2	-	-
AT HOME	138 (87.9)	3	-	-
OTHERS	- (-)	-	-	-
NOT STATED	9 (5.7)	-	-	92
TOTAL	157 (100.0)	1,196	12	92

DISTRICT : DHANUSA

PLACE OF DELIVERY	P R E G N A N C Y			
	YES (%)	NO	DON' T KNOW	NOT STATED
0	- (-)	1,281	10	-
HOSPITAL	1 (0.8)	-	-	-
HEALTH POST	3 (2.4)	1	-	-
AT HOME	111 (88.1)	-	-	-
OTHERS	- (-)	-	-	-
NOT STATED	11 (8.7)	-	-	46
TOTAL	126 (100.0)	1,282	10	46

Table 13: Ideal Number of Children (Sons and Daughters) by 5 Year Age Group of Respondents

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

A G E	IDEAL NO. OF CHILDREN								IDEAL NO. OF SONS							IDEAL NO. OF DAUGHTERS								
	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7
~14	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	1	2	46	53	19	5	2	-	1	47	73	6	1	-	-	-	3	98	24	3	-	-	-	-
20 ~ 24	-	4	86	130	44	4	1	-	1	77	184	5	2	-	-	1	25	188	55	1	-	-	-	1
25 ~ 29	1	5	92	125	51	10	4	-	2	89	179	16	3	-	-	-	27	194	61	7	-	-	-	-
30 ~ 34	1	1	53	89	70	10	3	1	1	55	153	18	4	-	-	1	14	127	79	8	3	-	-	1
35 ~ 39	-	1	58	67	50	9	6	2	1	53	120	15	3	1	1	-	10	119	54	8	1	-	-	1
40 ~ 44	2	2	39	71	50	4	4	2	1	38	123	10	1	1	-	-	13	99	53	7	1	1	-	-
45 ~ 49	1	-	16	31	31	5	2	1	-	17	59	9	1	1	-	-	-	50	33	3	-	1	-	-
50+	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
UNKNOWN	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
TOTAL	6	15	392	570	316	48	22	6	7	378	896	80	15	3	1	2	92	881	361	37	5	2	-	3

DISTRICT : DHANUSA

A G E	IDEAL NO. OF CHILDREN								IDEAL NO. OF SONS							IDEAL NO. OF DAUGHTERS								
	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7
~14	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	4	1	12	84	26	1	1	-	4	10	98	16	-	-	-	-	7	103	16	2	1	-	-	-
20 ~ 24	-	1	37	179	49	7	1	3	-	29	213	24	7	3	-	3	17	224	32	2	1	-	-	3
25 ~ 29	1	6	28	169	79	12	2	2	4	31	222	33	7	2	1	1	17	217	59	5	2	-	-	1
30 ~ 34	2	5	25	137	87	15	4	-	1	26	194	45	8	2	1	-	9	188	71	5	4	-	-	-
35 ~ 39	-	1	18	113	50	12	1	-	-	22	138	32	3	-	-	-	8	141	45	1	-	-	-	-
40 ~ 44	4	-	6	79	38	10	1	2	4	8	97	25	5	1	-	1	8	96	33	2	-	1	-	1
45 ~ 49	-	3	7	48	25	11	1	-	1	7	64	18	4	1	-	-	1	69	21	4	-	-	-	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
TOTAL	11	17	133	811	355	68	11	7	14	133	1,029	193	34	9	2	5	67	1,040	278	21	8	1	-	5

Table 14 : Mean and Currently Living Number of Children and Mean and Desired Number of Children by Educational Level of Respondents

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

EDUCATION READ & WRITE	NO. OF CURRENTLY LIVING CHILDREN										MEAN	DESIRED NO. OF CHILDREN										MEAN	DIFFERENCE
	TOTAL	0	1	2	3	4	5	6	7+	TOTAL		0	1	2	3	4	5	6	7				
NO	1,275	178	191	226	219	172	139	76	74	2.90	1,266	5	14	353	519	301	46	22	6	3.07	0.17		
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
SCHOOL YES	71	21	18	6	12	9	-	3	2	2.68	71	-	1	29	31	9	1	-	-	2.72	0.04		
NO	31	7	4	3	11	2	2	2	-	2.35	31	-	-	9	16	5	1	-	-	2.94	0.59		

DISTRICT : DHANUSA

EDUCATION READ & WRITE	NO. OF CURRENTLY LIVING CHILDREN										MEAN	DESIRED NO. OF CHILDREN										MEAN	DIFFERENCE
	TOTAL	0	1	2	3	4	5	6	7+	TOTAL		0	1	2	3	4	5	6	7				
NO	1,354	238	250	260	259	193	90	44	20	2.35	1,335	8	14	119	767	344	66	10	7	3.27	0.92		
NOT STATED	1	-	-	-	-	-	1	-	-	5.00	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3.00	2.00		
SCHOOL YES	65	12	13	6	15	9	7	3	-	2.45	64	-	3	12	38	8	2	1	-	2.95	0.50		
NO	12	-	2	2	6	2	-	-	-	2.67	12	-	-	3	7	2	-	-	-	2.92	0.25		

Table 15 : Desired Number of Children (Sons and Daughters) by Number of Living Children

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

NO. OF CURRENTLY CHILDREN	DESIRED NO. OF CHILDREN							DESIRED NO. OF SONS							DESIRED NO. OF DAUGHTERS									
	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7
0	2	4	69	82	38	9	1	-	2	67	124	10	2	-	-	1	11	142	49	2	1	-	-	1
1	1	6	67	100	32	2	2	-	3	71	132	4	3	-	-	-	13	163	34	2	1	-	-	-
2	1	1	94	95	36	3	2	-	-	71	158	4	1	-	-	-	31	152	49	2	-	-	-	-
3	1	2	42	149	41	6	2	1	1	51	171	17	3	1	-	-	18	164	58	3	-	1	-	-
4	1	1	54	44	75	4	6	-	-	56	108	21	-	-	-	-	6	102	66	11	-	-	-	-
5	-	1	38	44	39	17	-	2	-	34	94	8	4	1	-	1	12	74	44	9	1	-	-	2
6	-	-	13	34	22	4	7	1	1	13	56	9	2	-	-	-	-	46	25	6	2	1	-	-
7+	-	-	15	21	33	3	2	2	-	15	52	7	-	1	1	-	1	37	36	2	-	-	-	-
SONS																								
0	3	5	125	166	74	11	2	-	3	132	235	14	4	-	-	1	17	271	95	3	2	-	-	1
1	2	8	115	154	75	8	6	2	3	126	231	12	1	1	-	-	22	244	93	11	1	2	-	1
2	-	2	89	161	73	14	4	1	-	61	271	8	3	1	-	-	34	216	82	11	1	-	-	-
3	1	-	49	55	62	7	7	1	-	43	98	38	2	-	-	1	17	101	54	8	1	-	-	1
4	-	-	7	20	20	6	2	-	-	8	39	4	4	-	-	-	2	27	23	3	-	-	-	-
5	-	-	4	8	8	2	-	1	1	5	13	2	1	1	-	-	-	11	11	-	-	-	-	-
6	-	-	1	3	3	-	1	1	-	1	5	2	-	-	1	-	-	6	2	1	-	-	-	-
7+	-	-	2	2	1	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-
DAUGHTERS																								
0	4	9	153	180	75	14	3	-	5	121	281	28	5	-	-	1	62	284	88	5	1	-	-	1
1	1	1	115	203	75	8	6	1	1	114	268	20	8	-	1	-	8	325	70	7	1	-	-	-
2	-	4	54	96	91	10	4	3	-	80	164	14	2	2	-	1	8	124	125	4	-	1	-	1
3	-	-	37	61	41	12	7	1	1	33	112	12	-	1	-	-	8	67	43	20	1	-	-	-
4	1	1	22	18	24	3	1	-	-	19	48	4	-	-	-	-	6	38	24	-	2	-	-	1
5	-	-	7	9	5	1	1	1	-	7	15	2	-	-	-	-	-	16	6	1	-	1	-	-
6	-	-	4	2	3	-	-	-	-	4	5	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-	-	-	-
7+	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-

DISTRICT : DHANUSA

NO. OF CURRENTLY CHILDREN	DESIRED NO. OF CHILDREN							DESIRED NO. OF SONS							DESIRED NO. OF DAUGHTERS									
	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7
0	8	1	25	150	55	6	-	1	10	23	179	30	3	-	-	2	17	195	33	-	1	-	-	2
1	1	9	24	183	35	8	2	1	3	27	201	24	5	2	1	-	13	224	22	4	-	-	-	-
2	-	3	53	131	60	12	2	3	-	43	182	28	7	3	-	2	18	188	53	-	4	-	-	2
3	-	2	11	195	56	7	1	1	1	16	220	35	2	1	-	1	14	207	49	4	1	-	-	1
4	1	2	12	79	104	5	2	-	-	15	140	42	7	1	-	-	4	125	70	5	-	1	-	-
5	1	-	6	43	21	23	1	-	-	7	61	19	6	2	1	-	1	59	30	5	1	-	-	-
6	-	-	2	20	17	5	3	-	-	2	33	11	1	-	-	-	-	27	17	2	1	-	-	-
7+	-	-	-	10	7	2	-	1	-	-	13	4	3	-	-	-	-	15	4	1	-	-	-	-
SONS																								
0	9	5	45	276	96	11	2	1	13	44	334	48	5	-	-	3	20	349	70	5	1	-	-	3
1	-	8	48	261	91	20	4	3	1	61	317	42	10	3	1	2	16	329	78	6	6	-	-	2
2	-	2	28	195	97	15	3	2	-	16	289	28	5	5	-	-	18	228	91	5	1	-	-	-
3	2	1	4	62	52	12	1	-	-	4	67	58	4	1	-	-	11	96	25	2	-	-	-	-
4	-	1	6	11	14	9	1	-	-	6	15	12	9	-	1	-	2	26	12	2	-	1	-	-
5	-	-	2	3	5	1	-	1	-	2	4	5	1	-	-	-	-	9	2	1	-	-	-	-
6	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
7+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DAUGHTERS																								
0	8	8	62	316	104	19	2	3	10	49	369	75	13	4	1	2	57	399	61	3	1	1	-	2
1	2	8	49	284	98	14	1	3	3	50	328	66	12	2	1	1	6	395	51	4	4	-	-	1
2	1	1	13	115	102	19	4	1	1	22	196	31	5	2	-	2	2	129	121	4	1	-	-	2
3	-	-	7	63	33	11	2	-	-	9	90	15	1	1	-	-	2	76	31	7	-	-	-	-
4	-	-	1	23	11	5	2	-	-	2	34	3	3	-	-	-	-	27	10	3	2	-	-	-
5	-	-	-	6	5	-	-	-	-	-	8	3	-	-	-	-	-	9	2	-	-	-	-	-
6	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
7+	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-

Table 16 : Additional Number of Children Desired (Sons and Daughters) by Number of Living Children (Sons and Daughters)

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

NO. OF ADDITIONAL CHILDREN	NO. OF CURRENTLY CHILDREN								NO. OF CURRENTLY SONS							NO. OF CURRENTLY DAUGHTERS								
	0	1	2	3	4	5	6	7+	0	1	2	3	4	5	6	7+	0	1	2	3	4	5	6	7+
0	21	38	120	180	148	132	79	73	41	194	301	166	53	23	9	4	135	260	186	124	56	20	8	2
1	5	47	59	46	23	9	2	2	64	93	21	12	2	-	-	1	54	58	43	23	10	4	1	-
2	69	80	41	11	10	2	-	1	141	59	10	4	-	-	-	-	113	61	25	9	5	1	-	-
3	63	32	7	2	1	-	-	-	85	13	7	-	-	-	-	-	80	22	2	1	-	-	-	-
4	36	10	4	2	2	-	-	-	42	10	2	-	-	-	-	-	43	6	4	1	-	-	-	-
5	8	3	-	2	-	-	-	-	10	2	1	-	-	-	-	-	9	3	1	-	-	-	-	-
6	1	1	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
7	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
SONS																								
0	19	46	130	134	151	132	79	75	40	202	315	179	54	23	9	4	162	266	186	125	56	21	8	2
1	61	69	60	34	21	9	2	1	128	117	8	2	1	-	-	1	105	71	43	23	10	4	1	-
2	107	70	38	13	10	2	-	-	193	32	14	1	-	-	-	-	134	61	29	11	5	-	-	-
3	8	4	-	1	-	-	-	-	10	3	-	-	-	-	-	-	11	1	1	-	-	-	-	-
4	1	4	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
7	7	20	4	1	3	-	-	-	11	18	6	-	-	-	-	-	24	8	3	-	-	-	-	-
DAUGHTERS																								
0	34	97	192	220	175	143	81	74	168	278	311	169	54	23	9	4	165	340	249	156	70	25	9	1
1	116	82	30	17	3	-	-	2	153	62	21	12	1	-	-	1	191	54	3	2	-	-	-	-
2	44	11	5	3	3	-	-	-	50	13	3	-	-	-	-	-	53	6	5	1	1	-	-	-
3	2	1	-	1	1	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-
4	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	7	20	5	2	3	-	-	-	12	19	6	-	-	-	-	-	24	8	5	-	-	-	-	-

DISTRICT : DHANUSA

NO. OF ADDITIONAL CHILDREN	NO. OF CURRENTLY CHILDREN								NO. OF CURRENTLY SONS							NO. OF CURRENTLY DAUGHTERS								
	0	1	2	3	4	5	6	7+	0	1	2	3	4	5	6	7+	0	1	2	3	4	5	6	7+
0	31	36	105	196	170	92	41	19	54	157	293	131	42	10	3	-	155	249	171	70	32	9	3	1
1	5	11	57	40	20	2	5	1	22	89	25	2	1	2	-	-	25	54	33	22	4	1	-	2
2	30	124	67	26	9	2	1	-	132	113	14	-	-	-	-	-	104	94	36	18	5	1	-	1
3	127	67	21	4	1	1	-	-	166	47	7	-	1	-	-	-	169	40	11	1	-	-	-	-
4	42	16	9	7	2	-	-	-	55	15	3	3	-	-	-	-	53	15	6	2	-	-	-	-
5	8	2	-	2	-	-	-	-	9	3	-	-	-	-	-	-	10	-	1	1	-	-	-	-
6	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
7	2	2	2	1	-	-	-	-	2	4	1	-	-	-	-	-	4	3	-	-	-	-	-	-
SONS																								
0	26	38	116	198	169	92	40	17	50	162	302	130	40	9	3	-	159	252	171	70	31	9	3	1
1	24	64	56	35	18	1	3	1	52	134	14	1	-	1	-	-	81	62	33	20	3	1	-	2
2	144	117	64	30	9	3	-	-	269	82	15	-	1	-	-	-	194	106	42	20	5	-	-	-
3	26	12	3	3	3	-	-	-	33	7	3	3	1	-	-	-	36	9	2	-	-	-	-	-
4	2	3	1	1	-	-	-	-	3	3	-	1	-	-	-	-	5	2	-	-	-	-	-	-
5	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
7	23	26	27	10	4	2	3	2	37	47	9	1	1	2	-	-	46	28	13	5	3	1	-	1
DAUGHTERS																								
0	37	100	186	249	192	94	43	18	162	266	309	131	38	10	3	-	176	354	230	105	38	10	3	-
1	161	127	39	8	1	1	-	-	206	107	20	3	1	-	-	-	269	61	6	1	-	-	-	-
2	23	7	11	6	4	-	-	-	35	11	4	-	1	-	-	-	27	11	10	3	-	-	-	-
3	2	2	2	3	2	1	-	1	5	4	-	2	2	-	-	-	5	4	1	1	2	-	-	-
4	-	-	1	2	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	23	26	28	10	4	2	3	1	37	47	10	-	1	2	-	-	47	28	13	5	2	1	-	-

Table 17 : Distribution of Respondents Who Had Ever Been Pregnant by Place They Went for Check-up and Whether or Not They Were Satisfied with the Check-up

PANCHAYAT CODE	CHECK UP PLAN				TOTAL (1-4)	
	INAPPLI- CABLE (0)	HOSPITAL (1)	HEALTH POST (2)	T. B. A. (3)		
1 ~ 3						
A	354	-	-	-	-	1 - 3 : Bhumlutar
B	-	19	4	-	1	24 4 - 5 : Dapcha
C	-	4	-	-	-	4 6 - 8 : Khopasi
4 ~ 5						
A	243	1	3	-	-	4 9 - 10 : Nala
B	-	7	1	-	2	10 11 - 13 : Godar
C	-	1	-	-	-	1 14 - 15 : Godhaghas
6 ~ 8						
A	391	-	2	-	1	3 19 - 20 : Tarapatti
B	-	30	1	1	3	35
C	1	2	2	-	-	4 A : Inapplicable
9 ~ 10						
A	276	-	-	-	-	- B : Yes
B	-	18	-	1	1	20 C : No
C	-	1	-	-	1	2
SUB-TOTAL						
A	1,264	1	5	-	1	7
B	-	74	6	2	7	89
C	1	8	2	-	1	11
11~13						
A	368	-	-	-	-	-
B	-	9	1	-	2	12
C	-	1	-	-	-	1
14~15						
A	284	4	3	-	-	7
B	-	7	-	-	8	15
C	-	2	1	-	-	3
16~18						
A	426	-	7	-	-	7
B	1	6	5	-	9	20
C	-	1	1	1	-	3
19~20						
A	259	-	1	-	-	1
B	-	7	3	-	4	14
C	1	5	-	-	2	7
SUB-TOTAL						
A	1,337	4	11	-	-	15
B	1	29	9	-	23	61
C	1	9	2	1	2	14
TOTAL						
A	2,601	5	16	-	1	22
B	1	103	15	2	30	150
C	2	17	4	1	3	25

Table 18 : Distribution of Respondents by Place of Delivery of Last Child

PANCHAYAT CODE	THE PLACE OF DELIVERY OF LAST CHILD					
	TOTAL	HOSPITAL	HEALTH POST	HOME	OTHERS	
1 ~ 3	337	17	1	319	-	
4 ~ 5	223	8	2	213	-	1 - 3 : Bhumlutar
6 ~ 8	369	14	4	351	-	4 - 5 : Dapcha
9 ~ 10	261	9	1	251	-	6 - 8 : Khopasi
SUB-TOTAL	1,190	48	8	1,134	-	9 - 10 : Nala
11 ~ 13	336	4	-	331	1	11 - 13 : Godar
14 ~ 15	262	8	1	252	1	14 - 15 : Godhaghas
16 ~ 18	389	12	2	374	1	16 - 18 : Sabaila
19 ~ 20	241	12	3	226	-	19 - 20 : Tarapatti
SUB-TOTAL	1,228	36	6	1,183	3	
TOTAL	2,418	84	14	2,317	3	

Table 19 : Distribution of Respondents by Reasons for Having Check-up

PANCHAYAT CODE	THE REASON TO GO				
	TOTAL	A	B	C	
1 ~ 3	28	10	16	2	1 - 3 : Bhumlutar
4 ~ 5	13	7	6	-	4 - 5 : Dapcha
6 ~ 8	41	17	21	3	6 - 8 : Khopasi
9 ~ 10	23	12	7	4	9 - 10 : Nala
SUB-TOTAL	105	46	50	9	11 - 13 : Godar
11 ~ 13	14	9	2	3	14 - 15 : Godhaghas
14 ~ 15	23	14	8	1	16 - 18 : Sabaila
16 ~ 18	23	11	10	2	19 - 20 : Tarapatti
19 ~ 20	21	10	11	-	
SUB-TOTAL	81	44	31	6	
TOTAL	186	90	81	15	

A : Regular Check-up
 B : Due to Complication
 C : Regular Check-up and
 Complication

Table 20 : Distribution of Respondents by Types of Check-up Done (Multiple Answer)

PANCHAYAT CODE	TOTAL	Type of Check-up						
		A	B	C	D	E	F	
1 ~ 3	84	16	18	18	13	16	3	1 - 3 : Bhumlutar
4 ~ 5	45	10	11	9	11	2	2	4 - 5 : Dapcha
6 ~ 8	110	21	26	24	21	11	7	6 - 8 : Khopasi
9 ~ 10	62	12	11	10	16	9	4	9 - 10 : Nala
SUB-TOTAL	301	59	66	61	61	38	16	11-13 : Godar
11 ~ 13	42	7	10	9	10	6	-	14-15 : Godhaghas
14 ~ 15	44	5	11	7	7	9	5	16-18 : Sabaila
16 ~ 18	58	7	10	9	16	9	7	19-20 : Tarapatti
19 ~ 20	42	4	8	7	9	12	2	A : Weighted
SUB-TOTAL	186	23	39	32	42	36	14	B : Blood Pressure
TOTAL	487	82	105	93	103	74	30	C : Urine Exam.
								D : Chest
								E : Use of Stethoscope
								F : Others

Table 21 : Distribution of Respondents by Type of Persons Who Advised for Medical Check-up During Pregnancy

PANCHAYAT CODE	TOTAL	Advisor								
		HEALTH WORKER	SPOUSE	FAMILY MEMBER	FRIEND	RADIO	NEWS- PAPER	MOTHER'S CLUB	OTHERS	
1 ~ 3	29	2	2	18	4	-	-	-	3	1 - 3 : Bhumlutar
4 ~ 5	12	-	3	5	3	-	-	-	1	4 - 5 : Dapcha
6 ~ 8	40	2	4	26	3	-	-	-	5	6 - 8 : Khopasi
9 ~ 10	22	1	4	16	-	-	-	-	1	9 - 10 : Nala
SUB-TOTAL	103	5	13	65	10	-	-	-	10	11-13 : Godar
11 ~ 13	13	4	1	7	1	-	-	-	-	14-15 : Godhaghas
14 ~ 15	18	1	4	12	-	-	-	-	1	16-18 : Sabaila
16 ~ 18	24	1	3	19	-	-	-	-	1	19-20 : Tarapatti
19 ~ 20	21	-	2	15	1	-	-	-	3	
SUB-TOTAL	76	6	10	53	2	-	-	-	5	
TOTAL	179	11	23	118	12	-	-	-	15	

Table 22 : Distribution of Respondents by Type of Persons Who Assisted at the Time of Last Delivery

TYPE OF PERSON	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
DOCTOR/ NURSE	7	24
T.B.A.	71	1026
FAMILY MEMBER	717	69
NEIGHBORS	145	21
OTHERS	24	1

Table 23 : Distribution of Respondents by Whether or Not They had Post-Natal Check-up for the Last Child

CHECK-UP	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	46	30
No	1151	1188

Table 24 : Distribution of Respondents (Who Had Post-natal Check-up after the Last Delivery) by Whether or Not They Were Satisfied with the Check-up

SATISFACTION	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	40	23
No	7	9

Table 25 : Distribution of Respondents by Knowledge of Family Planning, Different Methods of Contraceptive and At Least One Modern Method of Contraceptive by 5 Year Age Group

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	KNOWLEDGE FOR FAMILY PLANNING									AT LEAST ONE
	FAMILY PLANNING	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS	
~14	2	1	-	1	1	2	2	1	-	2
15 ~ 19	99	83	38	39	56	83	84	2	-	94
20 ~ 24	242	197	77	81	142	206	213	8	2	234
25 ~ 29	251	209	79	87	155	223	226	8	-	245
30 ~ 34	202	162	74	74	124	176	171	8	4	195
35 ~ 39	176	146	52	58	94	158	153	5	3	175
40 ~ 44	154	131	46	51	74	139	130	5	3	154
45 ~ 49	67	55	20	23	37	59	58	2	1	67
50+	2	2	1	-	2	2	2	-	-	2
NOT STATED	3	2	-	-	1	3	3	-	-	3
TOTAL	1,198	988	387	414	686	1,051	1,042	39	13	1,171

DISTRICT : DHANUSA

AGE	KNOWLEDGE FOR FAMILY PLANNING									AT LEAST ONE
	FAMILY PLANNING	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS	
~14	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1
15 ~ 19	115	60	38	11	39	95	111	4	-	113
20 ~ 24	261	145	82	31	107	232	260	4	1	260
25 ~ 29	282	163	79	27	106	255	281	6	2	285
30 ~ 34	268	179	78	20	107	247	268	8	-	269
35 ~ 39	183	91	41	15	59	156	182	1	-	182
40 ~ 44	129	71	27	8	56	117	125	7	-	126
45 ~ 49	90	43	20	7	35	84	91	2	1	91
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	2	-	-	-	-	1	2	-	-	2
TOTAL	1,331	752	365	119	509	1,188	1,321	32	4	1,329

Table 26 : Distribution of Respondents by Knowledge of Family Planning, Different Methods of Contraceptive by Educational Level

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

	KNOWLEDGE FOR FAMILY PLANNING								
	FAMILY PLANNING	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS
READ & WRITE NO	1,093	887	325	351	604	956	946	30	11
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SCHOOL YES	70	68	44	44	57	64	65	5	1
NO	30	28	14	15	21	26	25	2	1
READ & WRITE NO	-	54	6	4	17	127	78	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SCHOOL YES	-	6	2	-	2	5	7	-	-
NO	-	2	1	1	2	4	4	-	1

DISTRICT : DHANUSA

	KNOWLEDGE FOR FAMILY PLANNING								
	FAMILY PLANNING	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS
READ & WRITE NO	1,257	695	319	89	466	1,123	1,249	30	4
NOT STATED	1	-	-	-	1	1	1	-	-
SCHOOL YES	64	48	38	24	34	55	62	1	-
NO	11	9	7	6	7	11	11	1	-
READ & WRITE NO	-	33	10	2	8	30	229	1	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	1	-	-
SCHOOL YES	-	1	1	-	-	4	16	-	-
NO	-	-	-	-	-	3	5	-	-

Table 27 : Distribution of Respondents by Ever-Use of Contraception by Methods and Age (5 Year Age Group)

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	EVER USED							
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS
~14	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	3	-	-	-	1	1	-	-
20 ~ 24	10	5	-	6	8	6	-	-
25 ~ 29	13	1	-	5	26	20	-	-
30 ~ 34	10	-	1	4	27	25	-	-
35 ~ 39	10	1	1	3	36	21	-	1
40 ~ 44	12	2	2	1	35	14	-	-
45 ~ 49	4	-	1	2	3	3	-	-
50+	-	-	-	-	1	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	62	9	5	21	137	90	-	1

DISTRICT : DHANUSA

AGE	EVER USED							
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS
~14	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	1	1	-	1	4	8	1	-
20 ~ 24	7	4	-	1	6	19	-	-
25 ~ 29	5	-	1	2	2	39	-	-
30 ~ 34	12	3	1	2	3	78	-	-
35 ~ 39	5	2	-	2	8	56	-	-
40 ~ 44	4	1	-	-	9	30	-	-
45 ~ 49	-	-	-	-	4	19	-	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	34	11	2	8	36	249	1	-

Table 28 : Distribution of Respondents by Current Use of Contraception by Methods and Age (5 Year Age Group)

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	METHOD CURRENTLY USED									
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS	NO USE	NOT STATED
~14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
15 ~ 19	-	-	-	-	-	-	-	-	43	8
20 ~ 24	1	2	-	6	7	4	-	-	76	8
25 ~ 29	2	1	-	3	20	14	-	-	68	10
30 ~ 34	3	-	-	2	24	23	-	-	59	5
35 ~ 39	3	-	-	-	32	17	-	1	50	3
40 ~ 44	3	-	1	-	34	11	-	-	39	13
45 ~ 49	2	-	-	2	3	3	-	-	25	3
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	3	83
TOTAL	14	3	1	13	120	72	-	1	363	135

DISTRICT : DHANUSA

AGE	METHOD CURRENTLY USED									
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS	NO USE	NOT STATED
~14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	-	2	-	-	-	1	-	-	10	8
20 ~ 24	-	2	-	1	2	11	-	-	32	3
25 ~ 29	-	-	-	-	1	36	-	-	13	4
30 ~ 34	2	-	-	-	1	75	-	-	15	4
35 ~ 39	1	-	-	1	3	50	-	-	6	2
40 ~ 44	-	-	-	-	10	27	-	-	6	8
45 ~ 49	-	-	-	-	3	17	-	-	2	1
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33
TOTAL	3	4	-	2	20	217	-	-	84	63

Table 29 : Distribution of Respondents by Current Use of Contraception by Methods and Educational Level

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

	METHOD CURRENTLY USED							
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS
READ & WRITE NO	13	1	-	11	112	64	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-
SCHOOL YES	1	2	-	1	5	6	-	-
NO	-	-	1	1	2	1	-	1

DISTRICT : DHANUSA

	METHOD CURRENTLY USED							
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS
READ & WRITE NO	3	4	-	2	17	196	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	1	-	-
SCHOOL YES	-	-	-	-	2	16	-	-
NO	-	-	-	-	1	4	-	-

Table 30 : Distribution of Respondents by Current Use of Contraception by Methods and Number of Living Children

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

NO. OF LIVING CHILDREN	METHOD CURRENTLY USED									NOT STATED
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS	NO USE	
0	-	-	-	-	3	-	-	-	61	6
1	1	1	-	4	2	1	-	-	59	9
2	2	1	-	2	14	9	-	-	54	9
3	2	1	1	2	35	21	-	1	64	9
4	3	-	-	3	30	15	-	-	50	3
5	-	-	-	1	24	13	-	-	33	4
6	2	-	-	-	9	8	-	-	21	2
7+	4	-	-	1	3	5	-	-	20	2
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	1	91
TOTAL	14	3	1	13	120	72	-	1	363	135

DISTRICT : DHANUSA

NO. OF LIVING CHILDREN	METHOD CURRENTLY USED									NOT STATED
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	TRAD. METHOD	OTHERS	NO USE	
0	-	-	-	-	-	2	-	-	20	5
1	-	2	-	1	1	4	-	-	25	2
2	1	1	-	-	3	23	-	-	17	5
3	-	1	-	1	5	69	-	-	10	1
4	1	-	-	-	6	67	-	-	4	2
5	1	-	-	-	4	30	-	-	4	3
6	-	-	-	-	1	16	-	-	3	-
7+	-	-	-	-	-	6	-	-	1	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45
TOTAL	3	4	-	2	20	217	-	-	84	63

Table 31 : Distribution of Respondents by Their Future Intentions to Use Contraception by Methods and Age (5 Year Age Group)

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	METHOD OF FUTURE USE							(8)	NOT STATED
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	OTHERS		
~14	1	-	-	-	-	-	-	-	1
15 ~ 19	16	-	1	9	14	20	-	2	6
20 ~ 24	25	2	-	12	44	52	3	3	11
25 ~ 29	27	1	-	19	25	48	4	2	7
30 ~ 34	14	2	1	10	20	20	1	2	7
35 ~ 39	11	1	-	9	8	12	-	-	4
40 ~ 44	6	-	1	6	1	2	1	-	7
45 ~ 49	1	1	-	2	-	-	-	-	3
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	83
TOTAL	101	7	3	67	112	154	9	9	129

DISTRICT : DHANUSA

AGE	METHOD OF FUTURE USE							(8)	NOT STATED
	PILL	CONDOM	IUD	DEPO	MALE STERIL.	FEMALE STERIL.	OTHERS		
~14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	2	-	-	-	5	42	2	3	8
20 ~ 24	3	-	-	4	3	117	1	5	4
25 ~ 29	7	-	-	5	6	97	3	5	4
30 ~ 34	5	-	1	5	2	66	2	2	1
35 ~ 39	3	-	-	2	2	38	-	-	1
40 ~ 44	3	-	-	1	2	11	-	-	9
45 ~ 49	1	-	1	-	-	2	1	-	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	-	33
TOTAL	24	-	2	17	20	373	9	15	60

Table 32 : Distribution of Respondents by Reason for Not Using Any Methods of Contraception

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	TOTAL	THE REASON FOR NOT USING FAMILY PLANNING											
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
~14	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A : Desire of Additional Children
15 ~ 19	91	80	7	1	1	-	-	-	-	1	-	1	B : Desire of Sons
20 ~ 24	204	132	40	5	1	1	2	5	2	-	6	10	C : Desire of Daughters
25 ~ 29	191	63	59	5	22	5	5	3	-	2	13	14	D : Health Reason
30 ~ 34	129	13	22	7	37	1	3	5	-	3	17	21	E : Religious Reason
35 ~ 39	113	8	15	2	36	2	7	4	2	8	11	18	F : Husband's Disapproval
40 ~ 44	92	4	3	-	24	6	1	2	12	10	13	17	G : Husband Away
45 ~ 49	50	1	3	-	8	3	-	1	19	10	4	1	H : Menopause
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I : No Fertility
NOT STATED	3	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	J : Contraception Not Available
TOTAL	875	303	151	20	129	18	18	20	36	34	64	82	K : Other Reason

DISTRICT : DHANUSA

AGE	TOTAL	THE REASON FOR NOT USING FAMILY PLANNING											
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
~14	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
15 ~ 19	110	85	3	-	-	1	1	2	-	-	-	18	
20 ~ 24	243	169	43	2	-	7	5	-	-	1	2	14	
25 ~ 29	237	113	67	4	13	8	7	-	-	4	3	18	
30 ~ 34	184	68	36	3	21	8	8	-	1	10	3	26	
35 ~ 39	122	23	19	2	22	10	8	-	12	7	1	18	
40 ~ 44	82	11	9	2	5	5	8	-	21	13	-	8	
45 ~ 49	69	3	8	-	6	3	4	-	27	12	-	6	
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT STATED	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
TOTAL	1,050	473	185	13	67	42	41	2	62	47	9	103	

Table 33 : Distribution of Respondents With Regard to What They Usually Do When Someone in The Household Is Sick and by Reasons for Not Treating the Patient

PANCHAYAT CODE	T R E A T M E N T				THE REASON FOR NOT (MULTIPLE ANSWER)				TOTAL	
	TO TREAT	NOT TO TREAT	NOT STATED	TOTAL	A	B	C	D		
1 ~ 3	380	7	19	406	6	3	1	2	12	
4 ~ 5	255	1	23	279	1	-	-	1	2	
6 ~ 8	430	5	42	477	4	2	2	1	9	1 - 3 : Bhumlutar
9 ~ 10	299	-	5	304	-	1	-	1	2	4 - 5 : Dapcha
SUB-TOTAL	1,364	13	89	1,466	11	6	3	5	25	6 - 8 : Khopasi
11 ~ 13	379	7	5	391	5	1	-	-	6	9 - 10 : Nala
14 ~ 15	305	2	2	309	1	-	-	1	2	11 - 13 : Godar
16 ~ 18	448	9	11	468	5	2	1	2	10	14 - 15 : Godhaghas
19 ~ 20	278	6	19	303	4	-	-	2	6	16 - 18 : Sabaila
SUB-TOTAL	1,410	24	37	1,471	15	3	1	5	24	19 - 20 : Tarapatti
TOTAL	2,774	37	126	2,937	26	9	4	10	49	

A : Financial Problems. B : No Belief In Treatment. C : Long Distance.
D : Bad Treatment In Health Institution .

Table 34 : Distribution of Respondents by Places Contacted for Treatment

PANCHAYAT CODE	THE PLACE TO TREAT								TOTAL	
	A	B	C	D	E	F	G	H		
1 ~ 3	9	234	4	139	-	-	3	19		
4 ~ 5	1	160	10	85	1	4	-	22		
6 ~ 8	6	267	20	130	6	7	3	41		1 - 3 : Bhumlutar
9 ~ 10	1	138	12	124	13	11	2	4		4 - 5 : Dapcha
SUB-TOTAL	17	799	46	478	20	22	8	86		6 - 8 : Khopasi
11 ~ 13	8	155	133	5	-	48	39	6		9 - 10 : Nala
14 ~ 15	4	136	156	1	10	4	2	1		11 - 13 : Godar
16 ~ 18	9	198	195	3	-	48	9	10		14 - 15 : Godhaghas
19 ~ 20	2	133	137	2	3	5	1	20		16 - 18 : Sabaila
SUB-TOTAL	23	622	621	11	13	105	51	37		19 - 20 : Tarapatti
TOTAL	40	1,421	667	489	33	127	59	123		

A : Inapplicable. B : Hospital/Health Center. C : Doctor/Other Health Worker/Nurse. D : Dhami/Jankri.
E : Kaviraj. F : Quack. G : Others. H : Not Stated

Table 35 : Distribution of Respondents by Frequency of Health Workers Visit Reported

PANCHAYAT CODE	FREQUENCY OF VISIT OF HEALTH WORKER								
	A	B	C	D	E	F	G	H	
1 ~ 3	1	9	9	23	343	-	-	23	1 - 3 : Bhumlutar
4 ~ 5	4	4	9	10	234	-	-	22	4 - 5 : Dapcha
6 ~ 8	4	22	25	29	353	-	-	47	6 - 8 : Khopasi
9 ~ 10	1	5	8	5	281	-	-	5	8 - 10 : Nala
SUB-TOTAL	10	40	51	67	1,211	-	-	97	11 - 13 : Godar
11 ~ 13	3	291	17	12	61	-	-	10	14 - 15 : Godhaghas
14 ~ 15	4	83	34	30	156	-	2	5	16 - 18 : Sabaila
16 ~ 18	4	237	43	36	134	-	-	18	19 - 20 : Tarapatti
19 ~ 20	-	85	40	59	99	-	-	20	A : Inapplicable
SUB-TOTAL	11	696	134	137	450	-	2	53	B : Once a Month
TOTAL	21	736	185	204	1,661	-	2	150	C : Once Every Three Months
									D : Once A Year
									E : Does Not Come
									F : Others
									G : Don't Know
									H : Not Stated

Table 36 : Distribution of Respondents Who Talked with Health Worker by Contents Talked with Health Worker and Frequency of His/Her Visit

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

TALK ABOUT	FREQUENCY OF VISIT OF HEALTH WORKER					
	A	B	C	D	E	
F.P.	34	28	39	4	-	A : Once A Month
HEALTH OF CHILDREN	32	19	32	1	-	B : Once Every Three Months
ARI	23	14	22	-	-	C : Once A Year
WORMS	22	19	22	-	-	D : Does Not Come
BREASTFEEDING	21	11	17	-	-	E : Others
BIRTH SPACING	23	16	17	1	-	
DIARRHOEA/ORT	27	24	27	1	-	
IMMUNIZATION	29	24	50	1	-	
HEALTH EDUCATION	24	15	26	-	-	
NUTRITION	20	8	20	1	-	
PRE & POSTNATAL CARE	24	12	18	-	-	
MEDICINE	25	17	25	1	-	
POSTERS/PAMPHLETS	8	1	10	-	-	

DISTRICT : DHANUSHA

TALK ABOUT	FREQUENCY OF VISIT OF HEALTH WORKER				
	A	B	C	D	E
F.P.	661	129	134	2	-
HEALTH OF CHILDREN	414	44	23	1	-
ARI	218	21	9	1	-
WORMS	308	59	40	-	-
BREASTFEEDING	268	18	13	1	-
BIRTH SPACING	281	34	31	1	-
DIARRHOEA/ORT	381	64	47	1	-
IMMUNIZATION	366	47	27	1	-
HEALTH EDUCATION	242	13	9	-	-
NUTRITION	255	13	9	1	-
PRE & POSTNATAL CARE	278	17	17	-	-
MEDICINE	337	37	18	1	-
POSTERS/PAMPHLETS	106	26	7	-	-

Table 37 : Distribution of Respondents by Knowledge of Diarrhoea by 5 Year Age Group

DISTRICT : KAVREPALANCHOK
KNOWLEDGE OF DIARRHOEA

AGE	YES	NO
~14	2	-
15 ~ 19	105	16
20 ~ 24	252	18
25 ~ 29	277	12
30 ~ 34	220	12
35 ~ 39	188	5
40 ~ 44	167	6
45 ~ 49	80	7
50+	3	-
NOT STATED	2	1
TOTAL	1,296	77

DISTRICT : DHANUSA

KNOWLEDGE OF DIARRHOEA

AGE	YES	NO
~14	-	1
15 ~ 19	91	34
20 ~ 24	235	43
25 ~ 29	255	45
30 ~ 34	235	39
35 ~ 39	171	22
40 ~ 44	114	22
45 ~ 49	78	16
50+	-	-
NOT STATED	1	1
TOTAL	1,180	223

Table 38 : Distribution of Respondents by Their Knowledge About Causes of Diarrhoea by 5 Year Age Group

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	THE REASON									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
~14	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	36	5	9	-	10	4	4	1	34	-
20 ~ 24	92	21	19	6	20	14	12	1	57	-
25 ~ 29	101	16	25	4	20	14	19	2	72	1
30 ~ 34	70	17	15	3	18	12	9	3	63	2
35 ~ 39	60	12	19	2	15	15	11	1	52	-
40 ~ 44	43	14	17	2	16	8	15	1	41	1
45 ~ 49	22	5	5	2	7	2	6	1	29	-
50+	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
NOT STATED	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
TOTAL	427	91	110	19	107	69	76	10	349	4

- A : Inapplicable
- B : Indigestible Food Eaten/Over Eating
- C : Superstition
- D : Stomach Disorder
- E : Stale Food
- F : Dirty Food
- G : Food With Flies
- H : Stagnant Water
- I : Don't Know
- J : Not Stated

DISTRICT : DHANUSA

AGE	THE REASON									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
~14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	64	6	1	-	7	2	-	-	8	-
20 ~ 24	142	18	11	-	11	5	-	-	42	-
25 ~ 29	174	14	8	-	15	2	-	1	37	-
30 ~ 34	127	21	15	1	20	3	1	-	42	-
35 ~ 39	97	14	7	3	11	5	-	-	31	-
40 ~ 44	72	5	6	1	7	3	-	-	18	-
45 ~ 49	48	9	4	1	5	-	-	1	8	-
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	725	87	52	6	76	20	1	2	186	-

Table 39 : Distribution of Respondents by Their Attitude Towards Types of Treatment of Diarrhoea

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	TREATMENTS								
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
~14	-	-	-	2	-	-	-	-	-
15 ~ 19	5	11	5	20	6	30	12	13	3
20 ~ 24	12	40	16	62	16	63	22	16	5
25 ~ 29	9	49	18	70	26	68	30	5	1
30 ~ 34	6	33	6	46	19	76	28	5	1
35 ~ 39	12	15	3	60	14	46	29	6	3
40 ~ 44	5	16	5	42	7	58	26	7	1
45 ~ 49	4	6	1	23	6	27	12	-	1
50+	-	-	-	2	-	1	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	1	1	-	-
TOTAL	53	170	54	327	94	370	160	52	15

A : No Treatment
 B : Rehydration With Jeevan Jal
 C : Rehydration (With Salt Sugar Water) Solution
 D : Medicine (Modern)
 E : Medicine (Ayurvedic)
 F : Other Traditional Treatment
 G : Other Treatment
 H : Don't Know
 I : Not Stated

DISTRICT : DHANUSA

AGE	TREATMENTS								
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
~14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	3	15	1	32	6	3	13	15	3
20 ~ 24	13	46	3	99	16	9	27	17	4
25 ~ 29	14	44	3	117	16	8	37	13	3
30 ~ 34	10	47	5	100	19	6	30	14	4
35 ~ 39	7	37	1	72	10	3	25	12	4
40 ~ 44	2	18	3	56	6	6	20	2	1
45 ~ 49	3	9	-	43	3	2	11	6	1
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	1	-	-
TOTAL	52	216	16	519	76	37	164	79	20

Table 40 : Distribution of Respondents by Their Knowledge of "Jeevan Jal"

PANCHAYAT CODE	HEARD OF "JEEVAN JAL"		
	YES	NO	NOT STATED
1 ~ 3	232	154	22
4 ~ 5	193	66	23
6 ~ 8	356	73	48
9 ~ 10	195	104	5
SUB-TOTAL	976	397	98
11 ~ 13	229	151	10
14 ~ 15	228	76	5
16 ~ 18	240	214	17
19 ~ 20	190	89	20
SUB-TOTAL	887	530	52
TOTAL	1,863	927	150

1 - 3 : Bhumlutar
4 - 5 : Dapcha
6 - 8 : Khopasi
9 - 10 : Nala
11 - 13 : Godar
14 - 15 : Godhaghas
16 - 18 : Sabaila
19 - 20 : Tarapatti

Table 41 : Distribution of Respondents (Who Knew About "Jeevan Jal") by Source of Information about "Jeevan Jal" and Age (5 Year Age Group)

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

SOURCE OF INFORMATION (JEEVAN JAL)

AGE	HEALTH WORKER	SPOUSE	FAMILY MEMBER	FRIENDS	RADIO	NEWS-PAPER	MOTHERS' CLUB	OTHERS
~14	-	-	1	-	-	-	-	1
15 ~ 19	2	2	2	2	66	-	-	8
20 ~ 24	7	2	9	5	163	-	-	25
25 ~ 29	23	8	3	3	142	1	2	31
30 ~ 34	12	7	4	2	104	-	-	38
35 ~ 39	8	5	4	3	78	-	-	29
40 ~ 44	8	-	3	2	86	-	-	15
45 ~ 49	2	1	5	4	34	-	-	9
50+	-	-	-	-	1	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	1	-	-	1
TOTAL	62	25	31	21	675	1	2	157

DISTRICT : DHANUSA

SOURCE OF INFORMATION (JEEVAN JAL)

AGE	HEALTH WORKER	SPOUSE	FAMILY MEMBER	FRIENDS	RADIO	NEWS-PAPER	MOTHERS' CLUB	OTHERS
~14	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	24	1	3	2	22	-	1	12
20 ~ 24	72	4	19	2	32	-	1	42
25 ~ 29	59	1	21	7	43	2	2	47
30 ~ 34	75	4	16	10	30	-	4	47
35 ~ 39	54	-	12	2	23	-	3	35
40 ~ 44	31	-	6	9	13	1	3	24
45 ~ 49	19	-	9	4	3	1	-	17
50+	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	-	-	-	-	-	-	-	1
TOTAL	334	10	86	36	166	4	14	225

Table 42: Distribution of Respondents (Who Knew About "Jeevan Jal") by Whether Or Not They Have Right Knowledge of Preparing It

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
CORRECT WAY	156	136
WRONG WAY	245	384
DON'T KNOW	581	366
NOT STATED	95	51

Table 43: Distribution of Respondents (Who Knew About "Jeevan Jal") by Their Knowledge About Amount to Be Given to Diarrhoea Patients

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
CORRECT WAY	98	123
WRONG WAY	302	446
DON'T KNOW	585	319
NOT STATED	95	54

Table 44 : Distribution of Respondents (Who Knew About Medicine Water) by Their Source of Information about Medicine Water and Age (5 Year Age Group)

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

AGE	SOURCE OF INFORMATION (SALT, SUGAR, WATER SOLUTION)										
	INAPPLI- CABLE (0)	NOT STATED (9)	HEALTH WORKER (1)	SPOUSE (2)	FAMILY MEMBER (3)	FRIENDS (4)	RADIO (5)	NEWS- PAPER (6)	MOTHERS' CLUB (7)	OTHERS (8)	TOTAL (1-8)
~14	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1
15 ~ 19	31	4	1	2	1	3	89	-	-	1	97
20 ~ 24	44	4	2	1	1	1	210	-	-	9	224
25 ~ 29	58	1	2	1	4	1	199	-	2	21	230
30 ~ 34	46	1	6	1	3	1	163	-	-	12	186
35 ~ 39	50	2	3	-	3	2	123	-	-	11	142
40 ~ 44	33	4	-	-	1	2	125	-	-	8	136
45 ~ 49	23	-	1	1	4	-	53	-	-	5	64
50+	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
NOT STATED	2	83	-	-	-	-	1	-	-	-	1
TOTAL	295	100	15	6	18	10	965	-	2	67	1,083

DISTRICT : DHANUSA

AGE	SOURCE OF INFORMATION (SALT, SUGAR, WATER SOLUTION)										
	INAPPLI- CABLE (0)	NOT STATED (9)	HEALTH WORKER (1)	SPOUSE (2)	FAMILY MEMBER (3)	FRIENDS (4)	RADIO (5)	NEWS- PAPER (6)	MOTHERS' CLUB (7)	OTHERS (8)	TOTAL (1-8)
~14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	82	10	10	-	5	2	20	-	-	8	45
20 ~ 24	181	-	34	2	12	1	34	-	1	16	100
25 ~ 29	201	1	41	-	6	3	34	1	2	16	103
30 ~ 34	168	2	35	2	11	7	36	-	1	18	110
35 ~ 39	116	1	24	1	4	2	27	-	2	19	79
40 ~ 44	86	9	18	2	2	2	15	1	1	11	52
45 ~ 49	62	1	12	1	3	2	10	-	-	5	33
50+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT STATED	2	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	899	57	174	8	43	19	176	2	7	93	522

Table 45 : Distribution of Respondents (Who Knew About Medicine Water) by Whether or Not They Have Right Knowledge of Preparing It

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
CORRECT WAY	195	109
WRONG WAY	347	175
DON'T KNOW	538	229
NOT STATED	101	67

Table 46 : Distribution of Respondents by Their Attitude Towards Giving Fluid to Diarrhoea Patient As Usual

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	1185	927
NO	193	417
DON'T KNOW	2	64
NOT STATED	94	57

Table 47 : Distribution of Respondents (Who Said That Fluids Should Not Be Given To Diarrhoea Patients) by Reason for Not Giving Fluids

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
WORSEN DIARRHOEA	146	372
CUSTOMARY	3	3
UNADVISABLE TO GIVE	1	4
DON'T KNOW	6	23
NOT STATED	129	98

Table 48 : Distribution of Respondents by Their Attitude Towards Breastfeeding to Diarrhoea Patients

ADVISABLE TO BREASTFEED	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	1344	1324
NO	30	29
DON'T KNOW	2	51
NOT STATED	96	57

Table 49 : Distribution of Respondents by Knowledge Of Immunization

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	1110	1210
NO	267	206
DON'T KNOW	1	2
NOT STATED	97	52

Table 50 : Distribution of Respondents by Knowledge of Preventable Disease Through Immunization

DISTRICT: KAVREPALANCHOK

	YES	NO	DON'T KNOW	NOT STATED
TETANUS	110	871	125	96
POLIO	113	870	124	95
DIPHTHERIA	112	871	124	95
WHOOPING COUGH	277	707	124	95
MEASLES	499	485	124	95
TUBERCULOSIS	186	797	124	96
OTHERS	142	527	432	98

DISTRICT: DHANUSA

	YES	NO	DON'T KNOW	NOT STATED
TETANUS	592	473	135	65
POLIO	133	933	127	64
DIPHTHERIA	68	999	127	64
WHOOPING COUGH	142	923	127	64
MEASLES	188	878	127	64
TUBERCULOSIS	121	945	127	64
OTHERS	3	682	512	67

Table 51 : Distribution of Respondents by Source of Information About Immunization

PANCHAYAT CODE	SOURCE OF INFORMATION (IMMUNIZATION)										TOTAL (1-9)
	INAPPLI- CABLE (0)	HEALTH WORKER (1)	SPOUSE (2)	FAMILY MEMBER (3)	FRIENDS (4)	RADIO (5)	NEWS- PAPER (6)	MOTHERS' CLUB (7)	IMMUNI. CAMP (8)	OTHERS (9)	
1 ~ 3	114	38	4	4	2	10	-	1	154	81	294
4 ~ 5	51	24	8	4	2	18	-	-	117	59	232
6 ~ 8	68	24	14	7	5	32	-	1	222	107	412
9 ~ 10	42	16	10	3	6	24	-	-	151	53	263
SUB-TOTAL	275	102	36	18	15	84	-	2	644	300	1,201
11 ~ 13	69	23	5	7	2	-	-	2	262	24	325
14 ~ 15	34	24	4	3	2	1	-	1	177	68	280
16 ~ 18	94	17	9	3	1	-	1	2	305	40	378
19 ~ 20	30	27	1	-	2	-	-	-	170	73	273
SUB-TOTAL	227	91	19	13	7	1	1	5	914	205	1,256
TOTAL	502	193	55	31	22	85	1	7	1,558	505	2,457

1 - 3 : Bhumlutar
 4 - 5 : Dapcha
 6 - 8 : Khopasi
 9 - 10 : Nala
 11 - 13 : Godar
 14 - 15 : Godhaghas
 16 - 18 : Sabaila
 19 - 20 : Tarapatti

Table 52 : Incidence of Immunization of B. C. G., D. P. T., Polio and Measles

PANCHAYAT CODE	B. C. G.				D. P. T.					P O L I O					M E A S L E S			
	A	B	C	D	E	F	G	H	D	E	F	G	H	D	A	B	C	D
1 ~ 3	3	67	61	30	41	56	20	7	38	66	38	14	4	40	2	61	70	29
4 ~ 5	2	43	48	22	32	41	11	9	22	39	28	14	8	26	6	54	33	22
6 ~ 8	16	84	67	50	40	69	33	21	54	77	45	19	17	59	14	87	65	51
9 ~ 10	19	54	31	6	36	32	18	15	9	51	23	11	15	10	19	44	41	6
SUB-TOTAL	40	248	207	108	149	198	82	52	123	253	134	58	44	135	41	246	209	108
11 ~ 13	3	161	12	21	12	46	40	79	20	15	49	34	78	21	16	121	39	21
14 ~ 15	4	127	13	19	21	20	29	73	20	25	25	28	65	20	10	72	61	20
16 ~ 18	5	152	31	29	22	46	50	69	30	45	45	39	57	31	10	120	55	32
19 ~ 20	5	131	4	28	17	20	30	73	28	22	26	26	65	29	20	79	42	27
SUB-TOTAL	17	571	60	97	72	132	149	294	98	107	145	127	265	101	56	392	197	100
TOTAL	57	819	267	205	221	330	231	346	221	340	279	185	309	236	97	638	406	208

1 - 3 : Bhumlutar A : Inapplicable
 4 - 5 : Dapcha B : Yes
 6 - 8 : Khopasi C : No
 9 - 10 : Nala D : Not Stated
 11 - 13 : Godar E : Never Done
 14 - 15 : Godhaghas F : Once
 16 - 18 : Sabaila G : Twice
 19 - 20 : Tarapatti H : Three Times

Table 53 : Distribution of Children Immunized by Place of Taking Immunization

PANCHAYAT CODE	THE PLACE FOR IMMUNIZATION						NOT STATED	
	INAPPLI- CABLE	HOSPITAL	HEALTH POST	IMMUNI. CAMP	FP CLINIC	OTHERS		
1 ~ 3	245	13	16	102	-	-	31	1 - 3 : Bhumlutar
4 ~ 5	172	4	21	58	-	1	23	4 - 5 : Dapcha
6 ~ 8	271	8	8	138	1	1	53	6 - 8 : Khopasi
9 ~ 10	199	10	10	75	-	3	8	9 - 10 : Nala
SUB-TOTAL	887	35	55	373	1	5	115	11-13 : Godar
11 ~ 13	198	11	7	161	-	1	15	14-15 : Godhaghas
14 ~ 15	150	25	4	123	-	1	11	16-18 : Sabaila
16 ~ 18	260	5	3	180	-	2	22	19-20 : Tarapatti
19 ~ 20	129	14	3	133	-	-	24	
SUB-TOTAL	737	55	17	597	-	4	72	
TOTAL	1,624	90	72	970	1	9	187	

Table 54 : Distribution of Respondents (Who Had at Least A Child Under 5 and Have Not Immunized Their Child/ren) by Reasons for Not Immunizing the Children (Multiple Answer)

PANCHAYAT CODE	THE REASON FOR NOT IMMUNIZATION						TOTAL	
	A	B	C	D	E	F		
1 ~ 3	44	2	5	3	7	3	64	1 - 3 : Bhumlutar
4 ~ 5	28	1	2	2	3	2	38	4 - 5 : Dapcha
6 ~ 8	52	4	2	6	7	3	74	6 - 8 : Khopasi
9 ~ 10	50	-	5	1	1	2	59	9 - 10 : Nala
SUB-TOTAL	174	7	14	12	18	10	235	11-13 : Godar
11 ~ 13	14	-	-	1	6	1	22	14-15 : Godhaghas
14 ~ 15	9	2	3	2	7	-	23	16-18 : Sabaila
16 ~ 18	18	1	4	3	8	3	37	19-20 : Tarapatti
19 ~ 20	6	1	3	2	8	3	23	
SUB-TOTAL	47	4	10	8	29	7	105	
TOTAL	221	11	24	20	47	17	340	

A : Service Not Available
 B : Cost
 C : Not Accessible
 D : Don't Know The Source
 E : Service Not Needed
 F : Don't Know Its Need

Table 55 : Duration of Breastfeeding of Respondents by Months and Age of Respondents
(5 Year Age Group)

DISTRICT : KAVREPALANCHOK											
MONTHS	A G E									STILL CONT.	TOTAL
	~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50+		
1	-	-	4	3	-	2	-	-	-	-	9
2	-	-	1	2	1	-	-	1	-	-	5
3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
7	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2
8	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
9	-	-	-	3	1	-	-	1	-	-	5
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2
12	-	-	3	4	2	2	3	2	-	-	16
13	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
16	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
17	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
18	-	-	1	2	4	4	6	2	-	-	19
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	3
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	-	2	9	20	16	20	17	8	-	-	92
25	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
26	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	5
27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2
29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	2	3	1	5	1	-	-	-	12
31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2
35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	-	1	3	21	24	26	21	29	1	-	126
88	1	38	170	191	149	98	64	12	1	2	726
TOTAL	1	41	199	258	203	161	116	56	2	2	1,039

DISTRICT : DHANUSA											
MONTHS	A G E									STILL CONT.	TOTAL
	~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50+		
1	-	1	1	3	-	1	-	-	-	-	6
2	-	-	1	1	-	1	2	-	-	-	5
3	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	4
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
6	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	3
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
9	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	3
10	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2
11	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	3
12	-	-	1	1	5	2	1	1	-	-	11
13	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
18	-	1	2	5	4	4	3	1	-	-	20
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
23	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
24	-	-	10	10	15	10	11	5	-	-	61
25	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
26	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
29	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	3
30	-	-	2	4	3	5	1	3	-	-	18
31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	-	-	2	15	26	35	26	19	-	-	123
88	-	41	163	195	171	86	39	19	-	1	715
TOTAL	-	44	190	241	228	148	89	54	-	1	995

Table 56 : Distribution of Respondents by Practice of Breastfeeding to the Last Child

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	1186	1191
NO	13	22
NOT STATED	96	54

Table 57 : Distribution of Respondents by Reasons for Discontinuing Breastfeeding

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
CHILD GREW UP	204	207
MOTHER'S MILK DRIED OUT	54	66
MOTHER'S POOR HEALTH	29	13
MOTHER'S CONCERN FOR BEAUTY	-	1
CHILD DIED	40	49
WORKING MOTHER	4	3
DUE TO NEXT PREGNANCY	53	49
DON'T KNOW	66	80
NOT STATED	106	57

Table 58 : Distribution of Respondents by Reasons for Not Breastfeeding the Last Child

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
CHILD DIED	18	9
MOTHER'S HEALTH	13	4
NO MILK	-	2
DON'T KNOW	-	1
NOT STATED	100	64

Table 59 : Distribution of Respondents by Their Attitudes Towards Feeding the First Milk

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	846	434
NO	335	778
DON'T KNOW	-	4
NOT STATED	98	54

Table 60 : Distribution of Respondents by Practice of Feeding the Colostrum

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	833	421
NO	19	24
DON'T KNOW	3	7
NOT STATED	110	95

Table 61 : Distribution of Respondents by Reasons for the Colostrum

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
NOT GOOD FOR HEALTH	165	259
NOT CUSTOMARY	26	25
NOT GOOD APPEAL	31	305
DIFFICULT TO DIGEST	20	32
UNADVISABLE TO FEED	37	14
DON'T KNOW	12	48
NOT STATED	160	117

Table 62 : Distribution of Respondents by Performance of Rice-feeding Ceremony

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	1198	89
NO	173	1327
DON'T KNOW	2	-
NOT STATED	99	54

Table 63 : Distribution of Respondents by Incidence of Giving Supplementary Food Before the Ceremony

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	829	27
NO	351	55
DON'T KNOW	1	1
NOT STATED	117	59

Table 64 : Distribution of Respondents by Types of Solid Foods Given to Children

PANCHAYAT CODE	SOLID FOODS										
	SARBOTTAM PITHO	KHIR	EGGS	DRIED BEANS	FRUITS	RICE WITH MILK	DAL & RICE	GREEN VEGETABLE	KHICHADI JAULO, KHOLE	MEATS & FISH	
1 ~ 3	29	1	14	24	11	287	309	81	79	22	
4 ~ 5	6	4	2	20	4	194	213	102	54	3	1 - 3 : Bhumlutar
6 ~ 8	28	3	12	19	13	312	336	132	86	18	4 - 5 : Dapcha
9 ~ 10	7	6	7	15	3	259	249	70	31	11	6 - 8 : Khopasi
SUB-TOTAL	70	14	35	78	31	1,052	1,107	385	250	54	9 - 10 : Nala
11 ~ 13	50	19	22	36	40	198	365	70	155	53	11 - 13 : Godar
14 ~ 15	-	1	-	1	2	101	299	53	46	1	14 - 15 : Godhaghas
16 ~ 18	24	58	11	15	26	236	442	76	109	45	16 - 18 : Sabaila
19 ~ 20	5	5	-	1	7	135	264	38	78	7	19 - 20 : Tarapatti
SUB-TOTAL	79	83	33	53	75	730	1,370	237	388	106	
TOTAL	149	97	68	131	106	1,782	2,477	622	638	160	

Table 65 : Distribution of Respondents by Their Attitude Towards Breastfeeding after the Child Has Started Taking Solid Food

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	1320	1247
NO	32	31
DON' T KNOW	20	72
NOT STATED	98	56

Table 66 : Distribution of Respondents by Their Attitude Towards Giving Additional Food to Pregnant Women and by Type of Food

PANCHAYAT CODE	SUPPLEMENTARY FOOD FOR PREGNANT WOMAN							
	PROTEIN	FRUITS	GREEN VEGETABLES	BEANS	EGGS	MILK	GHEE	OTHERS
1 ~ 3	66	28	11	14	7	37	40	62
4 ~ 5	33	21	6	10	6	23	11	45
6 ~ 8	87	40	26	29	26	45	27	80
9 ~ 10	41	25	10	8	5	26	12	41
SUB-TOTAL	227	114	53	61	44	131	90	228
11 ~ 13	43	16	25	-	5	30	8	12
14 ~ 15	19	22	5	1	6	47	2	48
16 ~ 18	31	19	10	4	1	56	6	50
19 ~ 20	22	15	5	5	2	50	2	43
SUB-TOTAL	115	72	45	10	14	183	18	153
TOTAL	342	186	98	71	58	314	108	381

1 - 3 : Bhumlutar
4 - 5 : Dapcha
6 - 8 : Khopasi
9 - 10 : Nala
11 - 13 : Godar
14 - 15 : Godhaghas
16 - 18 : Sabaila
19 - 20 : Tarapatti

Table 67 : Distribution of Respondents by Their Attitude Towards Giving Additional Food to Breastfeeding Mother by Type of Food

PANCHAYAT CODE	SUPPLEMENTARY FOOD FOR BREASTFEEDING MOTHER							
	PROTEIN	FRUITS	GREEN VEGETABLES	BEANS	EGGS	MILK	GHEE	OTHERS
1 ~ 3	83	16	23	12	8	48	51	84
4 ~ 5	46	14	22	11	7	35	31	82
6 ~ 8	102	29	29	28	11	55	56	120
9 ~ 10	76	6	11	9	3	39	37	91
SUB-TOTAL	307	65	85	60	29	177	175	377
11 ~ 13	21	9	21	1	4	35	3	49
14 ~ 15	9	8	4	11	7	106	1	126
16 ~ 18	15	9	24	7	2	85	2	96
19 ~ 20	20	11	7	15	3	89	3	88
SUB-TOTAL	65	37	56	34	16	315	9	359
TOTAL	372	102	141	94	45	492	184	736

1 - 3 : Bhumlutar
 4 - 5 : Dapcha
 6 - 8 : Khopasi
 9 - 10 : Nala
 11 - 13 : Godar
 14 - 15 : Godhaghas
 16 - 18 : Sabaila
 19 - 20 : Tarapatti

Table 68 : Distribution of Respondents by Knowledge About "Runche" or "Sukenash"

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
YES	1054	843
NO	326	574
DON'T KNOW	-	1
NOT STATED	97	56

Table 69 : Distribution of Respondents by Their Knowledge of Knowing "Runche" or "Sukenash" and by Reasons for Having It

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
PHYSICAL CONTACT WITH PREGNANT MOTHER	358	21
PHYSICAL CONTACT WITH AN INFANT	52	12
OTHER SUPERSTITIOUS REASON	381	316
CHILD IF MALNOURISHED	25	53
DON'T KNOW	5	7
NOT STATED	120	86

Table 70 : Distribution of Respondents by Their Knowledge About Treatment of "Runche" or "Sukenash" and by Type of Treatment

	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
MORNING BATH	47	13
SPRINKLING COWS' URINE	25	6
SPRINKLING COWS' MILK	11	16
FAITH HEALER/TRADITIONAL TREAT.	724	461
MODERN TREATMENT	65	86
AYURVEDIC TREATMENT	5	23
PROVIDE NOURISHMENT	9	14
DON'T KNOW	13	10
NOT STATED	105	58

Table 71 : Distribution of Respondents by Incidence of Eye Problem and Nightblindness to Children

PANCHAYAT CODE	EYE PROBLEM YES	THE KIND OF EYE PROBLEM								NIGHT BLINDNESS			
		0	1	2	3	4	5	6	NOT STATED	0	1	2	9
1 ~ 3	44	335	19	1	-	-	-	24	29	52	1	326	29
4 ~ 5	27	218	17	1	1	-	1	7	38	27	3	215	38
6 ~ 8	29	379	11	-	-	1	1	14	74	49	4	355	72
9 ~ 10	31	266	16	1	-	-	3	12	7	44	1	249	11
SUB-TOTAL	131	1,198	63	3	1	1	5	57	148	172	9	1,145	150
11 ~ 13	7	339	1	1	-	1	-	4	48	50	5	284	55
14 ~ 15	27	273	12	1	-	-	-	14	13	47	16	237	14
16 ~ 18	31	399	15	3	3	-	-	10	42	85	12	333	42
19 ~ 20	32	244	10	1	-	-	1	20	27	45	22	210	26
SUB-TOTAL	97	1,255	38	6	3	1	1	48	130	227	55	1,064	137
TOTAL	228	2,453	101	9	4	2	6	105	278	399	64	2,209	287

1 - 3 : Bhumltar. 4 - 5 : Dapcha. 6 - 8 : Khopasi. 9 - 10 : Nala. 11 - 13 : Godar. 14 - 15 : Godhaghas. 16 - 18 : Sabaila. 19 - 20 : Tarapatti

Table 72 : Distribution of Nutritional Status of Children

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

	NUTRITIONAL STATUS		
	A	B	C
LAST CHILD	110	269	431
LAST BUT ONE CHILD	18	85	163
LAST BUT TWO CHILD	2	7	15
TOTAL	130	361	609

DISTRICT : DHANUSA

	NUTRITIONAL STATUS		
	A	B	C
LAST CHILD	166	275	325
LAST BUT ONE CHILD	13	56	122
LAST BUT TWO CHILD	3	5	5
TOTAL	182	336	452

A : Malnourished
 B : Slightly Undernourished
 C : Well Nourished

Table 73 : Number of Deaths by 5 Year Age Group

AGE	DISTRICT	
	KAVREPALANCHOK	DHANUSA
0	44	43
1~ 4	12	18
5~ 9	7	6
10~14	4	4
15~19	2	1
20~24	3	2
25~29	2	-
30~34	1	1
35~39	2	4
40~44	1	3
45~49	3	4
50~54	7	1
55~59	4	1
60~64	9	1
65+	19	27
UNKNOWN	1	1
TOTAL	121	117

Table 74 : Incidence of Diarrhoea, Measles, Worms, Whooping Cough, A. R. I. and Diphtheria among Children under Five

PANCHAYAT CODE	DIARRHOEA		MEASLES		WORMS		WHOOPING COUGH		A. R. I.		DIPHTHERIA	
	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO	YES	NO
1 ~ 3	174	77	31	217	105	144	98	152	115	135	15	234
4 ~ 5	111	48	28	129	59	99	66	92	61	97	5	152
6 ~ 8	188	75	55	203	98	163	69	192	100	158	11	247
9 ~ 10	147	41	47	140	81	107	54	133	63	124	12	173
SUB-TOTAL	620	241	161	689	343	513	287	569	339	514	43	806
11 ~ 13	141	79	18	197	47	173	26	194	39	180	3	217
14 ~ 15	123	52	22	151	80	92	44	130	135	40	8	157
16 ~ 18	149	113	28	229	56	206	52	208	82	180	4	243
19 ~ 20	114	61	17	156	53	123	39	136	110	65	2	163
SUB-TOTAL	527	305	85	733	236	594	161	668	366	465	17	780
TOTAL	1,147	546	246	1,422	579	1,107	448	1,237	705	979	60	1,586

1-3 : Bhumlutar, 4-5 : Dapcha, 6-8 : Khopasi, 9-10 : Nala, 11-13 : Godar, 14-15 : Godhaghas,
16-18 : Sabaila, 19-20 : Tarapatti

Table 75 : Distribution of Children by Type of Treatment Received for Diarrhoea, Measles, Worms, Whooping Cough, A. R. I. and Diphtheria

DISTRICT : KAVREPALANCHOK

	THE PLACE FOR TREATMENT						
	NOT TREATED	AT HOME	H. P. / HOSPITAL	FP CLINIC	DHAMI / JHANKRI	KAVIRAJ / VAIDYA	OTHERS
DIARRHOEA (LAST BUT TWO CHILD)	112	96	158	2	121	39	43
MEASLES (ANY CHILDREN)	72	37	19	-	8	5	7
WORMS (LAST CHILD)	47	35	68	22	17	19	42
WHOOPING COUGH (LAST CHILD)	74	44	78	1	6	18	20
A. R. I. (LAST CHILD)	134	48	63	1	27	16	18
DIPHThERIA (LAST CHILD)	8	7	8	-	3	4	5

DISTRICT : DHANUSA

	THE PLACE FOR TREATMENT						
	NOT TREATED	AT HOME	H. P. / HOSPITAL	FP CLINIC	DHAMI / JHANKRI	KAVIRAJ / VAIDYA	OTHERS
DIARRHOEA (LAST BUT TWO CHILD)	72	185	41	8	2	52	127
MEASLES (ANY CHILDREN)	38	30	3	-	-	1	5
WORMS (LAST CHILD)	29	62	16	3	8	22	50
WHOOPING COUGH (LAST CHILD)	34	42	10	-	1	22	34
A. R. I. (LAST CHILD)	96	133	15	2	4	23	63
DIPHThERIA (LAST CHILD)	4	7	1	-	-	-	2

1 HOUSEHOLD INFORMATION

Name of Panchayat: _____ District: _____
 Ward No: _____ Questionnaire No: _____
 Household No: _____ Sample No: _____

Attempt No.	1	2	3	4
Date				
Interviewer				
Result (In code)*				

* Result type	Code
Interview completed	1
No responsible respondent at house	2
Appointment for later date fixed (Note time & date of appointment)	3
Refuse (also specify reason if possible)	4
Other (specify)	5

HOUSEHOLD SCHEDULE:

NAMES OF USUAL RESIDENTS AND VISITORS	RELATIONSHIP	RESIDENCE		SEX	AGE IN COMPLETED YEARS	MARITAL STATUS (ASK ONLY TO THOSE AGED 15 YEARS AND ABOVE)			ELIGIBILITY
		DOES THIS PERSON USUALLY LIVE HERE	DID THIS PERSON SLEEP HERE LAST NIGHT?	IS THIS PERSON MALE OR FEMALE?	HOW OLD IS THIS PERSON ?	IS THIS PERSON MARRIED	IS THIS PERSON MARRIED ?	TICK ALL MARRIED WOMEN ELIGIBLE FOR INTERVIEW.	
(1)	(2)	(YES/NO) (3)	(YES/NO) (4)	(MALE/FEMALE) (5)	(6)	(YES/NO) (7)	UNMARRIED - U MARRIED - M WIDOWED - W DIVORCED - D SEPERATED - S (8)	(9)	
01									
02									
03									
04									
05									
06									
07									
08									
09									
10									

* IF CONTINUATION SHEET USED, TICK HERE []

2 SOCIO-ECONOMIC STATUS OF THE HOUSEHOLD:

INTERVIEWER: INFORMATION IN THIS SECTION OF THE QUESTIONNAIRE SHOULD BE COLLECTED FROM ANY KNOWLEDGEABLE ADULT MEMBER OF THE HOUSEHOLD WHO CAN PROVIDE THESE INFORMATION.

2.1 What is the level of education (i.e. highest grade passed) of the head of the household ? _____

2.2 What is the highest level of education ever received by a member of the family ? _____

2.3 What is the occupation of the head of the household (i.e. The activity he or she spent most of his time ?

2.4 Do you or your family have own land ?
Yes No
↓ (Skip to Q. 2.5)

2.4.1 How much ? _____
(specify the unit)

2.5 What is the main source of drinking water ?
Tube Well Tap
Spring Lake
River Well
Deep Well Other (specify) _____

2.6 Is there a fixed latrine for the exclusive use of this household?
Yes No

2.7 Has there been any live birth in this house during the past 12 months ? Yes No
↓

2.7.1 How many ? _____

2.8 Has there been any death in this house during the past 12 months?
Yes No
↓

2.8.1 How many ? _____

INSTRUCTION: If there are any deaths reported please fill in the following table .

Items	Number of deceased	1	2	3
Age at death				
Sex				
Cause of death				

INDIVIDUAL QUESTIONNAIRE.

(Only for 15 to 49 aged married women)

Name of Panchayat: _____ District: _____
 Ward No: _____ Respondent's serial No: _____
 Household No: _____ Questionnaire No: _____

Attempt No	1	2	3	4
Date				
Interviewer				
Result (in code)*				

* Result type	Code
Interview completed	1
Respondent not at home	2
Appointment for later date fixed (note time & date of appointment)	3
Refusal(also specify reason if possible)	4
Incomplete interview	5
Other (specify)	6

Form Checked !__! Supervisor present !__! Edited !__! Coded !__!
 Name of _____ at the time of
 Editor: _____ Interview / _____
 Date: _____ reinterview By: _____ By: _____
 Name of Super- Name of Supervisor: Date: _____ Date: _____
 visor: _____
 Date: _____ Date: _____

3 BACKGROUND INFORMATION OF THE RESPONDENT.

3.1 What is your date of birth ? (to write in B.S. Era.)
 _____ Year _____ month, Don't Know !__!
 †

3.1.1 How old are you ? _____ (Age in completed years).

3.2 Can you read and write ?
 Yes !__! No !__!
 †

3.2.1 Have you ever attended school ?
 Yes !__! No !__!
 †

3.2.1.1 What was the highest class attended ? _____ .

3.3 What is your occupation ? _____ .

3.4 How old is your husband ? _____ (Age in completed years).

3.5 Can he read and write ?
 Yes !__! No !__!
 †

3.5.1 Did he attend school ?
 Yes !__! No !__!
 †

3.5.1.1 What was the highest class attended ? _____ .

3.6 What is his occupation ? _____ .

3.7 Which is the nearest Hospital / Health centre / Health post from here ?

Name: _____ Don't know {___}
Distance (in mile) _____ .

3.8 What do you usually do when someone in this house becomes ill ?

Go for treatment {___} Don't go for treatment {___}
Why ? _____

(skip to Section 4.)

3.9 Where do you take the patient for treatment ?

1. Hospital / Health centre / Health post {___} Skip to 3.10.
2. Doctor / Health Assistant / Nurse {___} -
3. Dhama / Jhankri {___} Skip to
4. Kabiraj {___} Section 4.
5. Other (Specify) _____ ;

3.10 Are you satisfied or not from the service you receive from Hospital / Health centre / Health post ?

Yes {___} No {___}

4 FERTILITY HISTORY.

4.1 How old were you when you had your first menstruation ?

_____ Don't know {___}
Completed age. Not yet started {___}
(Stop to take interview).

4.2 In what month and year did you get married ?

_____ Don't know {___}
year. month. (Stop to take interview).

4.2.1 How old were you when you got married ?

_____ Completed age.

4.3 Did you start living with your husband immediately after marriage?

Yes {___} No {___}

4.3.1 After how many years did you start living together ?

_____ Years. (If they are still not live together, then stop to take Interview).

4.4 Have you ever had any live born child ?

Yes {___} No {___}
(Skip to Q.No 4.6)

4.4.1 How many of your children were born alive ?

(Total _____, Sons _____, Daughters _____).

4.4.2 How many of them are now alive ?

(Total _____, Sons _____, Daughters _____).

4.6 In the past one year (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986) did you have any live born child ?

Yes {___} No {___}

†

4.5.1 How many _____ .

4.5.2 In what month and year were they born ?

1st born, _____ month _____ year.

2nd born, _____ month _____ year.

4.6 Did any of your pregnancy result in non-live birth ?

Yes {___} No {___}

†

4.6.1 Number of miscarriages _____ .

4.7 Did you have any still birth ?

Yes {___} No {___}

†

4.7.1 How many ? _____ .

4.8 Are you pregnant now ?

Yes {___} No {___} Don't know {___}

†

4.8.1 For how long have you been pregnant ? _____ months.

4.8.2 Where would you go for delivery ? _____ .

{Skip to Q No. 4.10}

4.9 When did you have your last menstruation ?

{ Year _____ month _____ }

4.10 Do you want to have {additional} children ?

Yes {___} No {___} Don't know {___}

†

4.10.1 How many {additional} children do you want to have?

{ Total _____ , Sons _____ , Daughters _____ . }

Don't know {___}

4.11 In your opinion what would be an ideal number of children for a couple ?

{ Total _____ , Sons _____ , Daughters _____ . }

4.12 In your opinion what will be correct spacing between two children ?

_____ .

5 ANTE-NATAL AND POST-NATAL CARE:

[FILTER: If 'No' in Q.4.4; 'No' in Q. 4.6; 'No' in 4.7; and 'No' or Don't know in 4.8; then tick in "Never pregnant" box otherwise tick in "ever pregnant" box.]

Ever pregnant :___; Never pregnant :___;
 ; (Skip to next section)

5.1 Did you go for medical check-up due to pregnancy ?

Yes :___; No :___;
 ; (Skip to Q.No 5.1)

5.1.1 Where did you go for check-up ?

Hospital, :___;
 Health Post, :___; (ask Q.No 5.1.2)
 T.B.A. :___; (ask Q.No 5.2)
 Other (specify) _____

5.1.2 What for ?

Routine, :___;
 Complication, :___;
 Both, :___;

5.1.3 What kind of check-up did you have ?

Weight, :___;
 Blood Pressure, :___;
 Urene test, :___;
 Palpation, :___;
 Other (specify) _____

5.2 Who advised you to have check-up ?

Health Worker :___; Family Member :___;
 Friend :___; Other (specify) _____

5.3 Is the check-up satisfactory ?

Yes :___; No :___;

5.4 Did you take Tetanus Toxoid immunization ?

Yes :___; No :___;

[FILTER: If 'No' in Q. 4.4; and Q. 4.7; then tick in "No delivery" otherwise tick in "at least one delivery" box.]

At least one delivery :___; No delivery :___;
 ; (Skip to section 6)

5.5 Where did you go for last delivery ? _____

[FILTER: If they give answer at 'hospital' in Q.5.5, ask Q.5.7]

5.6 Did anybody assist you in the last delivery ?

Yes :___; No :___;
 ; (skip to Q. __)

5.6.1 Who assisted you ?

Doctor/ Nurse :___;
 T.B.A. :___;
 Other (specify) _____

5.7 Did you go to Hospital / Health centre / Health post for check-up after delivery ?

Yes No

†

5.7.1 Were you satisfied with it ?

Yes No

6 FAMILY PLANNING

1. Have you heard of Family Planning ?

Yes No

TABLE NO 1

Q 6.2, Have you heard of _____ (read out all the methods one by one serially).

Q6.3, Have you or your spouse ever used the method (read out all the methods that are marked by "Yes" only in Q6.2.

Q6.4, Are you or your spouse currently using any FP method, if "Yes" circle in the appropriate method. If 'No' tick the appropriate box.

METHOD	Yes	No	Yes	No	Yes	No
01Pill	<input type="checkbox"/>					
02Condom	<input type="checkbox"/>					
03Loop	<input type="checkbox"/>					
04Injectable	<input type="checkbox"/>					
05Vasectomy	<input type="checkbox"/>					
06Female sterilization	<input type="checkbox"/>					
07Traditional	<input type="checkbox"/>					
08Other (specify)	<input type="checkbox"/>					
					Currently using	no method. <input type="checkbox"/>

[FILTER: If they are still using any FP methods then don't have to ask Q.No. 6.5 and 6.6.

[FILTER: Ask the following questions to those who have knowledge of Family Planning Methods, but have never used F.P. methods]

6.5 What is the reason for not using any F.P. methods till now ?

- 6.5.1 Desire for more children. {__}
- 6.5.2 Want to have son. {__}
- 6.5.3 Want to have daughter. {__}
- 6.5.4 Due to health reason. {__}
- 6.5.5 Due to religion. {__}
- 6.5.6 Husband does not like. {__}
- 6.5.7 husband away. {__}
- 6.5.8 Too old. {__}
- 6.5.9 Due to infacundity. {__}
- 6.5.10 Unavailability of F.P. methods. {__}
- 6.5.11 Others (specify) _____

6.6 Do you expect to use any F.P. methods in future ?

Yes {__} No {__}

†

6.6.1 what method do you want to use ?

- Pill, {__} Depoprovera, {__}
- Condom, {__} Male Sterilization, {__}
- IUD, {__} Female Sterilization, {__}
- Other (specify) _____

6.7 How often does the health worker visit you ?

Once a month {__} Once three months {__}

Once a year {__} Never visited {__}

(Skip to next Section).

6.8 Does he talk about F.P. methods ?

Yes {__} No {__}

6.9 Does he talk about child care ?

Yes {__} No {__}

6.10 Does he talk about ARI ?

Yes {__} No {__}

6.11 Does he talk about Deworming ?

Yes {__} No {__}

6.12 Does he talk about Breastfeeding ?

Yes {__} No {__}

6.13 Does he talk about child spacing ?

Yes {__} No {__}

6.14 Does he talk about O.R.T. ?

Yes {__} No {__}

6.15 Does he talk about immunization ?

Yes {__} No {__}

6.16 Does he talk about health education ?

Yes {__} No {__}

6.17 Does he talk about Nutrition ?

Yes {__} No {__}

6.18 Does he talk about Ante-natal and Post-natal care of the mother?

Yes {__}! No {__}!

6.19 Does he distribute the medicine ?

Yes {__}! No {__}!

6.20 Does he show the pictures when he talk about above subjects ?

Yes {__}! No {__}!

7 Q.R.T.

7.1 Do you know what diarrhoea is ?

Yes {__}! No {__}!

(Skip to Q No 7.4)

7.1.1 What is diarrhoea ?

7.2 Do you know what can cause diarrhoea ?

Yes {__}! No {__}!

↓

7.2.1 What are these ? -----

7.3 What treatment would you give when your child suffers from diarrhoea ?

7.4 Have you ever heard of "Jeevan Jul" ?

Yes {__}! No {__}!

↓

(Ask Q.No 7.5)

7.4.1 How did you come to know about it ?

7.4.2 How do you prepare it ? -----

7.4.3 In what quantity will you provide the solution to the sick ? -----

7.5 Have you ever heard of medicine water (sugar salt solution) ?

Yes No

↓

7.5.1 How did you come to know about it ?

7.5.2 How do you prepare it ?

7.6 Do you provide the child with regular amount of liquid food / water when your child is suffering from diarrhoea ?

Yes No

↓

7.6.1 Why ?

7.7 Do you continue breastfeeding if the child suffers from diarrhoea?

Yes No

↓

7.7.1 Why ?

8 IMMUNIZATION

8.1 Have you ever heard of immunization ?

Yes No

(Skip to next Section)

8.2 How did you know about it ?

8.3 What are the disease that can be prevented from immunization ?

Tetanus, Whooping cough,

Polio, Measles,

Diphtheria, T.B.

Other (specify) _____

[INTERVIEWER: If the respondent has the children below 5 year of age, ask following questions, otherwise skip to Section 9.

8.4 Have you immunized your children ?

Yes No

↓

(Skip to Q.No 8.5)

8.4.1 What are they and how many times did you immunized ?

[INTERVIEWER: Write the name of childrens orderly from young one.]

Immunization History

Name of child:	D.C.P.	D.P.T.	Polio.	Measles.
01. _____	---	1.2.3.	1.2.3.	---
02. _____	---	1.2.3.	1.2.3.	---
03. _____	---	1.2.3.	1.2.3.	---

9.3 After delivery is the first milk (Colostrum) usually feed to the child ?

Yes {___} No {___}

↓ ↓

9.3.1 Did you feed the first milk to your child ? 9.3.2. Why ? _____

Yes {___} No {___}

9.4. What are the advantages of Breastfeeding ?

10 NUTRITION, FOOD AND FEEDING HABIT

10.1 Do you perform a rice feeding ceremony in your family ?

Yes {___} No {___}

↓ (Skip to Q.No 10.2)

10.1.1 At what age do you usually perform this ceremony ?

1) Boy _____ months, 2) Girl _____ months,

10.1.2 Do you provide any supplementary food (Naram khana) before the rice feeding ceremony ?

Yes {___} No {___}

10.2 After how many months do you usually start giving solid food ?

_____ months.

10.3 What kind of Foods do you usually give as supplementary food?

[Tick mark in appropriate box.]

ITEMS		ITEMS	
Sarhoṭṭna pitho,	{___}	Milk/ Rice,	{___}
Rice Pudding,	{___}	Dal/ Dhat,	{___}
Legums,	{___}	Green Vigetable,	{___}
Egg,	{___}	Khichadi/ Jaulo/	
Fresh Fruit	{___}	Khole,	{___}
		Neut/ Fish	{___}
Other (Specify)	_____		

10.4 Should a mother continue breast-feeding even after the child starts taking solid food ?

Yes {___}; No {___}; Don't know {___};

↓

↓

10.4.1 How long should the mother continue breastfeeding after giving solid food ?
_____ months.

10.4.2 Why do you think so ?

10.5 Do you supplement the child with other milk ?

Yes {___}; No {___};

↓

10.5.1 What kind of milk ?

Cow {___};

Buffalo {___};

Goat {___};

Tin(commercial) {___};

Other. _____ {___};

10.6 Are pregnant mothers provided with special food during the pregnancy period ?

Yes {___}; No {___}; Don't know {___};

↓

10.6.1 What food do you usually provide ?

1. _____

2. _____

3. _____

10.7 What kind of food is usually not given to pregnant mothers ?

a) Name of food:

b) Reason ?

1. _____

1. _____

2. _____

2. _____

3. _____

3. _____

Don't know {___};

10.8 Are lactating mothers provided with extrafood ?

Yes {___}; No {___}; Don't know {___};

↓

10.8.1 What food items ?

1. _____

2. _____

3. _____

10.9 What kind of foods are usually not given to lactating mothers ?

a) Name of food:

b) Reason ?

1. _____

1. _____

2. _____

2. _____

3. _____

3. _____

Don't know {___};

10.10 Have you heard of "Runche" or "Sukenash" ?

Yes {___} No {___} Don't Know {___}

↓

↓

Note:- INTERVIEWERS; show photograph of malnourished child, and ask local name and repeat the earlier question again ?

↓

10.10.1 Do you know why this "Runche" or "Sukenash" happens ?

Yes {___} No {___}

↓

10.10.1.1 Why ?

1) _____

2) _____

10.10.1.2 Do you know how to prevent "Runche" and "Sukenash" ?

Yes {___} No {___}

↓

10.10.1.2.1 Do you know how to treat "Runche" and "Sukenash" ?

Yes {___} No {___}

10.11 Do you know how to prepare weaning food ?

Yes {___} No {___}

↓

10.11.1 What is the composition of weaning food;

Name of food: Proportion:

1, _____ 1, _____

2, _____ 2, _____

3, _____ 3, _____

(INTERVIEWER: Ask mothers, who have children.)

10.12 Does your child have any eye vision problem ?

Yes {___} No {___}

↓

10.12.1 What problem ?

10.13 Do you think your child's vision in the evening or night is normal ?

Yes {___} No {___}

10.13.1 How many children have night vision problem ?

10.14 Measure the nutritional status of the each child (6 months - under 5 years) using arm circumference tape. If there are no children in this age group tick the box; No children {___}

(Skip to next Section)

Age	(1)Red	(2)Yellow	(3)Green
Name { Year/month; Sex; malnourished; slightly	well		
	undernourished; Nourished		

11 MORBIDITY AND CAUSES OF ILLNESS.

Tick () appropriate box:

The woman:-

has children under five years.	Does not have children under five years.
-----------------------------------	---

{__}

{__}

(Terminate Interview).

Name (orderly from young one), age,

1. _____
2. _____
3. _____

11.1 During the last 12 months (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986) did any of your children have diarrhoea ?

Yes {__} No {__}

†

11.1.1 How many of them had diarrhoea ? _____

11.1.2 How many times did they have diarrhoea ?

	1st	2nd	3rd
	{__}	{__}	{__}

11.1.3 Where did you go for the treatment ?

No treatment,	{__}	{__}	{__}
At home,	{__}	{__}	{__}
H.P./ Hospital,	{__}	{__}	{__}
MCH Clinic,	{__}	{__}	{__}
Faith healers,	{__}	{__}	{__}
other(specify), _____			

11.2 During the last 12 months (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986) did any of your children have measles ?

Yes {__} No {__}

†

11.2.1 How many of them had measles ? _____

11.2.2 Where did you go for treatment ?

	1st	2nd	3rd
	{__}	{__}	{__}

No treatment,	{__}	{__}	{__}
At home,	{__}	{__}	{__}
H.P./ Hospital,	{__}	{__}	{__}
MCH Clinic,	{__}	{__}	{__}
Faith healers,	{__}	{__}	{__}
other(specify) _____			

11.3 During the last 12 months (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986) did any of your children have worms ?

Yes {__} No {__}

†

11.3.1 How many of them had worms ? _____

11.3.2 How many time did they have worms ?

	1st	2nd	3rd
	{__}	{__}	{__}

11.3.3 Where did you go for treatment ?

No treatment,	{__}	{__}	{__}
At home,	{__}	{__}	{__}
H.P./ Hospital,	{__}	{__}	{__}
MCH Clinic,	{__}	{__}	{__}
Faith healers,	{__}	{__}	{__}
other(specify) _____			

11.4 During the last 12 months (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986)

did any of your children have whooping cough ?

Yes :___: No :___:

↓

11.4.1 How many of them had whooping cough ? _____

11.4.2 How many times did they have whooping cough ?

	<u>1st</u>	<u>2nd</u>	<u>3rd</u>
	:___:	:___:	:___:

11.4.3 Where did you go for treatment ?

No treatment,	:___:	:___:	:___:
At home,	:___:	:___:	:___:
H.P./ Hospital,	:___:	:___:	:___:
MCH Clinic,	:___:	:___:	:___:
Faith healers,	:___:	:___:	:___:
other(specify) _____			

11.5 During the last 12 months (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986)

did any of your children have ARI (explain) ?

Yes :___: No :___:

↓

11.5.1 How many of them had ARI ? _____

11.5.2 How many times did they have ARI ?

	<u>1st</u>	<u>2nd</u>	<u>3rd</u>
	:___:	:___:	:___:

11.5.3 Where did you go for treatment ?

	<u>1st</u>	<u>2nd</u>	<u>3rd</u>
No treatment,	:___:	:___:	:___:
At home,	:___:	:___:	:___:
H.P./ Hospital,	:___:	:___:	:___:
MCH Clinic,	:___:	:___:	:___:
Faith healers,	:___:	:___:	:___:
other(specify) _____			

11.6 During the last 12 months (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986)

did any of your children have diphtheria (explain) ?

Yes :___: NO :___:

↓

11.6.1 How many of them had diphtheria ? _____

11.6.2 How many times did they have diphtheria ?

	<u>1st</u>	<u>2nd</u>	<u>3rd</u>
	:___:	:___:	:___:

11.6.3 Where did you go for treatment ?

No treatment,	:___:	:___:	:___:
At home,	:___:	:___:	:___:
H.P./ Hospital,	:___:	:___:	:___:
MCH Clinic,	:___:	:___:	:___:
Faith healers,	:___:	:___:	:___:
other(specify) _____			

11.7 During the last 12 months (from 16th Nov. 1985 to 15th Nov. 1986) did any of your children have any diseases other than mentioned above ?

Yes {__}; No {__};

†

11.7.1 What sort of disease ? _____

11.7.2 How many of them had ? _____

11.7.3 How many times did they have 1st 2nd 3rd
..... ? {__} {__} {__}

11.7.4 Where did you go for treatment ? 1st 2nd 3rd
No treatment, {__} {__} {__}
At home, {__} {__} {__}
H.P./ Hospital, {__} {__} {__}
MCH clinic, {__} {__} {__}
Faith healers, {__} {__} {__}
other(specify) _____

12 HEALTH POST INFORMATION.

Background Information.

Name :- _____
Designation :- _____
Total Number of years served in different Post :- _____
Duration of stay in this Health Post :- _____
Qualifications :- _____

Information of Health Post/Centre;

- How many panchayats does this Health post serve for ?
No of panchayata: _____
- What is the farthest Panchayat served by this health post ?
Panchayat _____ Distance ____ Km.
- Does this health post have its own building ?
Yes {__}; No {__};
- On an average, how many patients visit this health post per day ?
Average No _____

5. What are the most common diseases in this area among children five ?

- 1) _____ ;
- 2) _____ ;
- 3) _____ ;
- 4) _____ ;
- 5) _____ ;

6. What is the major cause of death of children under five ?

- 1) Diarrhoea {___} 2) Measles {___}
- 3) Tetanus {___} 4) A R I {___}
- 5) Other (specify) _____

7. In your opinion, is the drug supply adequate at this health post?

- Yes {___} No {___} Don't know {___}

8. Is there any drug store in this locality ?

- Yes {___} No {___}

9. Are there private practitioners in this locality ?

- Yes {___} No {___}

10. Is there a health committee in this locality ?

- Yes {___} No {___}

10.1 Is this helpful or not ?

- Yes {___} No {___}

11. Do you practice outside the health post ?

- Yes {___} No {___}

12. How many posts are sanctioned and filled in at this health post/ now ?

Post:	Number Sanctioned:	Number Filled in:	Number Vacant:
1. _____	---	---	---
2. _____	---	---	---
3. _____	---	---	---
4. _____	---	---	---
5. _____	---	---	---
6. _____	---	---	---
7. _____	---	---	---

13. Do you think the existing manpower is enough ?

- Yes {___} No {___}

14. Do you have storage facility in your health post ?

- Yes {___} No {___}

15. Do you have necessary equipment in your health post ?

- Yes {___} No {___}

16. Is there any problem at your health post ?

- Yes {___} No {___}

16.1 What are they ?

- 1) _____
- 2) _____
- 3) _____
- 4) _____

खण्ड १. घर लगत प्रश्नावली

पंचायत:-
वार्ड नं:-
घर नं:-

जिल्ला:-
प्रश्नावली नं:-
समूह संख्या:-

अन्तरवार्ता लिन गएको पटक	१	२	३	४
भिति				
अन्तरवार्ता लिनेको नाम				
परिणाम (संकेतमा)				

परिणामको संकेत

परिणाम	संकेत
अन्तरवार्ता पूरा भएको	१
ब्यस्तक उत्तरदाता घरमा नभएको	२
पीछ अन्तरवार्ता लिनको लागि समय लिएको	३
अन्तरवार्ता दिन नचाहेको	४
अन्य (खुलाउने)	५

घरमा प्राय जसो बस्ने तथा बागनुकहरूको नाम	माता (सम्बन्ध)	बसोबास स्थिति	पिब	उमेर	बैवाहिक स्थिति (१५ वर्ष भन्दा माथिकरलाई मात्र सोच्ने)	अन्तरवार्ता गरिनु पर्ने सबै महिलाहरूको लागि टिक लगाउनु होम (✓) (१५-४९ वर्ष भित्रमा) गए गरी सुतेको		
१	२	विज संघे जसो यहाँ नै बस्नु हुन्छ? हुन्छ। हुँदैन	विज हिजो गरी घरमा सुत्नु भएको थियो? पियो/पिएन	विज पृष्ठ कि महिमा पू/म	विजको उमेर कति थियो?	विजको के विवाह भएको छ? (छा/छैन) (१० वर्ष भन्दा मुनिको लागि नसोच्ने)	विवाह भएको छ भने विजको बैवाहिक स्थिति के छ? विधुर विधवा घरपाबुके अथवा छुट्टी बमैकी खुलाएर लेख्ने	९
०१								०१
०२								०२
०३								०३
०४								०४
०५								०५
०६								०६
०७								०७
०८								०८
०९								०९
१०								१०

घर लगतको लागि कन्टीन्चुएन्स स्रीट प्रयोग गरेको भए यस बाकसमा
चिन्हो लगाउनु होम

छात्र २ . परिवारको सामाजिक तथा आर्थिक विवरण

- २.१ घर मुलीले कति पढ्नु भएको छ?.....
 २.२ यो घरमा सब भन्दा धेरै पढ्नेले कति कक्षा सम्म पढ्नु भएको छ?.....
 २.३ घर मुलीले काम गर्नु हुन्छ? (विभिन्न काम गर्ने भए कुन चाहि काम बढी समय गर्नु हुन्छ उल्लेख गर्नुहोस्).....
 २.४ तपाईंहरूको आफ्नै जग्गा छ?

छ

छैन
(२.५ सोध्ने)

२.४.१. जग्गा कति छ?

२.५ पिउने पानी कहाँबाट ल्याउनुहुन्छ?

कुना

दुधबनेल

खोला

दुग्धधारा

कलधारा

इनार

पोखरी

अन्य.....

२.६ तपाईंको आफ्नै चर्पी छ?

छ

छैन

२.७ गएको १ वर्षमा (०४२ साल मंसिर १ गते देखी ०४३ साल कार्तिक मसान्त सम्म) यस घरमा कुनै बच्चा (जिवीत) जन्मेको थियो?

थियो थिएन

२.७.१ कति जना?.....

२.८ गएको १ वर्षमा (०४२ साल मंसिर १ गते देखी ०४३ साल कार्तिक मसान्त सम्म) यस घरमा कुनै व्यक्ति मरेको थियो?

थियो थिएन

२.८.१ कति जना?.....

नोट:- यदि कसैको मृत्यु भएको भए, तलको तालिका भर्ने:-

विवरण	मृतकको क्रमांक		
	१	२	३
मृतकको उमेर			
मृतकको लिंग			
मृत्युको कारण			

व्यक्तिगत प्रश्नावली
(१५ वर्षीय ४९ वर्ष सम्मको विवाह भइसकेका महिलाहरूको लागिपाम)

परिचयात्मक विवरण

वार्ड नं:--
जिल्ला:--
समुह संख्या:--
उक्त महिलाको क्रमांक:--

गाउँ पन्चायत:--
घर संख्या:--

अन्तरवार्ता लिन गएको पटक	१	२	३	४
मिति				
परिणाम				

परिणाम संकेत:--

१. अन्तरवार्ता पुग्न भएको
२. उक्त व्यक्ति घरमा नभएको
३. अन्तरवार्ता पछि दिने

४. अन्तरवार्ता दिन नमानेको
५. आधा मात्र सकिएको
६. अन्य (खुलाएर लेख्ने)

अन्तरवार्ता फरमको बाँच गरेको इन्टरको नाम: <input type="checkbox"/> मिति: सुररभाइबरको नाम: मिति:	पुनः अन्तरवार्ता गरेको वा अन्तर्वार्ता गरेको ठाउँमा आफै उपस्थित भएको <input type="checkbox"/> नाम:-- मिति:--	केन्द्रमा सम्पादन <input type="checkbox"/> नाम:-- मिति:--	कोट गरेको <input type="checkbox"/> नाम:-- मिति:--
---	--	---	---

खण्ड ३. उत्तरवाताको पृष्ठभूमि

३.१ तपाईंको जन्म कहिले भएको हो? (मिक्रम सम्बतमा लेख्ने)

साल..... महिना..... बाहा छैन

३.१.१ तपाईं कति वर्षको हुनु भयो?
(पुग गरेको वर्ष लेख्ने)

३.२ तपाईं लेख पढ गर्न सक्नु हुन्छ?

सक्छु सक्तीन

३.२.१ तपाईंले कहिल्यै स्कूलमा पढ्नु भएको थियो?

थियो थिएन

३.२.१.१ तपाईंले कति कक्षा पास गर्नु भएको छ?.....

३.३ तपाईं के काम गरि जिबिका चलाउनु हुन्छ?

३.४ तपाईंको श्रीमानको उमेर कति भयो?

३.५ के वहाँ लेख पढ गर्न सक्नु हुन्छ?

सक्नु हुन्छ सक्नु हुन्न

३.५.१ के वहाँले स्कूलमा पढ्नु भएको थियो?

थियो थिएन

३.५.१.१. वहाँले कति कक्षा पास गर्नु भएको छ?.....

३.६ तपाईंको श्रीमान के काम गर्नु हुन्छ?.....

३.७ यहाँबाट सबभन्दा नजिकको स्वास्थ्य केन्द्र कुन हो र यहाँबाट त्यो कति टाढा पर्छ?

नाम..... दुरि (माइलमा)..... बाहा छैन

३.८ घरमा केही बिरामी हुँदा तपाईं प्रत्यय के गर्नु हुन्छ?

उपचार गर्ने

केही पनि गर्दैन

३.८.१ किन?.....
सबभ ४ मा जाने

३.९ बिरामीलाई औषधी गराउन कहाँ लैजाय्नु हुन्छ?

१) स्वास्थ्य केन्द्र । अस्पताल

३.९.० मा जाने

२) डाक्टर । अरु स्वास्थ्य कार्यकर्ता । नर्स

सबभ ४ मा जाने

३) धामी । माफी

४) कब्रिघर । बैद्य

५) अरु (उल्लेख गर्ने)

३.१० स्वास्थ्य केन्द्रबाट पाएको सेवाबाट के तपाईं सन्तुष्ट हुनुहुन्छ?

छु

छैन

खण्ड ४. प्रजनन

४.१ पहिलो पटक महिनाबारी हुँदा तपाईं कति वर्षको हुनुहुन्छो?

वर्ष.....

बाहा छैन

राहु नै भएको

(अन्तरवार्ता टुप्पाउने)

४.२ तपाईंको विवाह कुन साल र महिनामा भएको हो?

साल.....

महिना.....

बाहा छैन.....

४.२.१ कति वर्षको हुँदा तपाईंको विवाह भएको थियो?

वर्ष

४.३ विवाह भएको लगत्तै पछि तपाईं आफ्नो श्रीमान संगै बस्नु प्रयो कि बस्नु भएन?

बस्ते

बसिन

४.३.१ विवाह भएको कति वर्ष पछि संगै बस्नु बाल्नु भएको हो?

वर्ष/महिना

(हाल सम्म पनि संगै नबस्नेको भए अन्तरवार्ता टुप्पाउने)

४.४ तपाईंने (त्रिवीत) बच्चा जन्माउनु भएको छ?

छ

छैन

प्र.नं. ४.६ सोध्ने

४.४.१ तपाईंने हाल सम्म कति जना (त्रिवित) छोरा छोरी

जन्माउनु भएको छ जम्मा..... छोरा..... छोरी.....

४.४.२ तपाईंको हाल कति जना छोरा छोरीहरू छन्?

जम्मा..... छोरा..... छोरी.....

४.४ गएको एक वर्ष भित्रमा (०४२ साल मंसिर १ गते देखि ०४३ साल कार्तिक मसान्त सम्ममा तपाईंले कुनै विधीत बच्चा जन्माउनु भएको छ?

छ छैन

४.४.१ कति जना.....
 ४.४.२ कुन साल र महिनामा जन्मेको भियो?
 १ साल ----- महिला-----
 २ साल ----- महिला-----

४.६ तपाईंको कुनै गर्भरुख बरेर गएको भियो?

भियो भिएन

४.६.१ कति बटा गर्भरुख बरेर गएको भियो?

४.७ तपाईंको कुनै बच्चा परेकै बच्चेको पनि भियो?

भियो भिएन

४.७.१ कति जना?.....

४.८ तपाईं हाल गर्भरुखी हुनु हुन्छ?

छ छैन बाल छैन

४.८.१ तपाईंको गर्भ रहेको कति महिना भयो?.....
 ४.८.२ तपाईंको बच्चा जन्माउन कहाँ जाने बिचार गर्नु भएको छ?.....
 प. नं. ४.१० सोच्ने

४.९ तपाईंको परिवारको महिनावारी नहीने भएकै भियो?

साव महिला

४.१० तपाईंलाई (अरू) सत्तावको इच्छा छ?

छ छैन थाहा छैन

४.१०.१ तपाईंलाई (अरू) कति जना सत्तावको इच्छा छ?
 जम्मा..... छोरा..... छोरी.....
 ने भए पनि हुन्छ

४.११ तपाईंको विद्यामा पढ्दा दयालीको कति जना छोरा छोरी भए वेग होला?
 जम्मा..... छोरा..... छोरी.....

४.१२ तपाईंको विद्यामा कति कति कार्यको सत्काम बच्चा जन्माउनु वेग होला?.....

खण्ड ५ गर्भवती तथा सुत्केरी महिलाहरूको हेरचाह

प्रश्नकर्ता: यदि प्रश्न नं. ४.४, ४.६, ४.९, ४.१० मा छैन तब ४.८ मा "छैन" वा "यादाछैन" भन्ने बाकसमा चिन्हो लगाएको भए तलको "कहिल्यै" "गर्भवती नभएको" बाकसमा चिन्हो लगाउने नभन्ने "कुनै बेला गर्भवती भएको" भन्ने बाकसमा चिन्हो लगाउने।

कुनै बेला गर्भवती भएको कहिल्यै गर्भवती नभएको

(खण्ड ६ सोध्ने)

५.१ गर्भवती हुँदा तपाईं गर्भ सम्बन्धी जाँच गराउन जानु भएको थियो भियो भिएन

प्र.न. ५.४ सोध्नु

५.१.१ कहा जानु भएको थियो?

अस्पताल ----- प्र.नं. ५.१.२ सोध्ने

स्वास्थ्य चौकी ----- प्र.नं. ५.१.२ सोध्ने

सुवेनी ----- प्र.नं. ५.२ सोध्ने

अन्य (उल्लेख गर्ने).....

५.१.२ के समस्या भएर जाँच गराउन भएको थियो?

गर्भ सम्बन्धी साधारण जाँच

गर्भ सम्बन्धी समस्या भएर

माथिका दुवै कारणले

५.१.२ के के जाँच गरेको थियो?

१ तौल दिएको

२ रक्त चाप

३ रिसाव

४ छरती तथा पेटमा

आला लगाएको

५ अन्य (खुलाउने)

५.२ तपाईंलाई गर्भ सम्बन्धि स्वास्थ्य जाँचाउने सल्लाह कसले दिएको थियो?

स्वास्थ्य कार्यकर्ता घरको परिवार

साथी अन्य (उल्लेख गर्ने)

५.३ स्वास्थ्य जाँचबाट तपाईं संतोष हुनु भयो?

भए भएन

५.४ के तपाईंले घनुष्टकारको सुई लिनु भएको थियो?

भिए भिएन

प्रश्न कर्ता: यदि प्रश्न नं. ४.४ र ४.७ मा "भियन" भन्ने जवाफ आएको भए "सुत्केरी नभएको" भन्ने "बाकसमा" चिन्हो (✓) दिने बन्ध्या "कतिपय एक पटक सुत्केरी भएकी" भन्ने बाकसमा चिन्हो (✓) लगाउने।

कतिपय एकपटक सुत्केरी भएकी सुत्केरी नभएकी

खण्ड ६ सोध्नु

५.५ सबभन्दा परिश्रमो बच्चा तपाईंले कहाँ जन्माउनु भयो?.....

प्रश्नकर्ता: प्र.नं. ५.५ मा अस्पताल भन्ने जवाफ आएमा प्र.नं. ५.७ सोध्ने।

५.६ सबभन्दा परिश्रमो पटक सुत्केरी हुँदा तपाईंलाई कसैले मद्दत गरेको थियो?

थियो भिएन

५.६.१ कसले मद्दत गरेको थियो?

डाक्टर : नर्स

सुवेनी

अन्य (खुलाउने).....

५.७ के तपाईंले सुकेरी भए पछि स्वास्थ्य जाँच गरउउन अस्पताल। स्वास्थ्य केन्द्र। स्वास्थ्य चौकीमा जानु भएके थियो।

भए गइन

५.७.१ स्वास्थ्य जाँचबाट तपाईं सन्तुष्ट हुनु भयो?

भए भएन

खण्ड ६. परिवार नियोजन

६.१ के नयाईले परिवार नियोजन बारे सुनु भएके छ?

सुनेके छु सुनेके छैन

तानिका १

साधन	६.२ के तपाईंले..... (प्रत्येक साधनको नाम तिर एक एक गरि सोध्नु) बारे सुनु भएके छ। "छु" भन्ने उत्तर आएमा "छु" मा गोली लगाउने र "छैन" भन्ने जसक आएमा "छैन" मा गोली लगाउने	६.३ के तपाईं वा तपाईंको जहानले प्रयोग गर्नुभएके थियो? (प्र.नं. ६.२ मा सुनेको छु मा गोली घेरेको प्रत्येक साधनबारे एक एक गरी सोध्नु)	६.४ के तपाईं वा तपाईंको जहानले हाल कुनै साधन प्रयोग गरिरहनु भएके छ? छ भने कुन साधन हो सो साधनको "छु" भन्नेमा गोलीले घेरी दिने यदि हाल कुनै साधन नअपनाएके भए हाल कुनै साधन प्रयोग नगरेके बाकसमा चिन्हो लगाउने।		
०.१ सानो चक्री	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
०.२ कण्डोम	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
०.३ सुप	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
०.४ सुई	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
०.५ पुरुष बन्ध्या करण	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
भ्यासेन्टोमी	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
०.६ प. बन्ध्या (ह्याप्रोस्कोपी)	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
०.७ गाउँ घरमा पाइने	छु	छैन	भिए	भिएन	छु
०.८ अन्य.... उल्लेख गर्ने	छु	छैन	भिए	भिएन	छु

प्रश्नकर्ता: हालसम्म कुनै साधन प्रयोग गरिराखेको भए
वा प्र.नं. ६.२ को कुनै पनि उत्तरको "छु" मा
गोली नलगाएके भए प्र.नं. ६.७ मा जाने।

प्रश्नकर्ता:- परिवार नियोजनको कुनै साधनबारे ज्ञान भएक्य तर कहिल्यै पनि प्रयोग नगरेक्य महिलाहरूलाई निम्न प्रश्नहरू सोध्नु।

६.५ हाल सम्म परिवार नियोजनको कुनै पनि साधन प्रयोग नगर्नको कारण के होला?

- ६.५.१ अरु सन्तानको इच्छा भएकोले
- ६.५.२ छोराको इच्छा भएकोले
- ६.५.३ छोरीको इच्छा भएकोले
- ६.५.४ स्वास्थ्यको कारणले
- ६.५.५ धर्मको कारणले
- ६.५.६ श्रीमानले मन नपराउने
- ६.५.७ श्रीमान मर्दा नभएकोले
- ६.५.८ बुढी भै सकेकोले
- ६.५.९ बच्चा नै नहुने
- ६.५.१० प.नि. साधन प्राप्त नहुने
- ६.५.११ अन्य (उल्लेख गर्ने).....

६.६ के तपाईं वा तपाईंको श्रीमानले भविष्यमा परिवार नियोजनको कुनै साधन अपनाउने विचार गर्नु भएको छ?

छ छैन

६.६.१ कुन साधन अपनाउने विचार गर्नु भएको छ?

खाने चनकी <input type="checkbox"/>	सुई <input type="checkbox"/>
कण्डोम <input type="checkbox"/>	पू. बन्ध्याकरण <input type="checkbox"/>
सुप <input type="checkbox"/>	म. बन्ध्याकरण <input type="checkbox"/>
अन्य (उल्लेख गर्ने).....	

६.७ कति दिनको फरकमा स्वास्थ्य कार्यकर्ता तपाईंको आउछ?

- महिनामा एकपटक दिन महिना एक पटक
- सातमा एक पटक कहिले पनि नआउने
- खरब ७ मा जाने

- ६.८ के उसले परिवार नियोजन बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.९ के उसले बच्चाको स्वास्थ्य बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१० के उसले स्वास्थ्य प्रस्ताव सम्बन्धी रोग बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.११ के उसले चुक्काको औषधी बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१२ के उसले बच्चालाई आफ्नो दूध खाउने बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१३ के उसले गर्भलाई पर सार्ने बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१४ के उसले विश्व पसाला बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१५ के उसले खोप सम्बन्धी कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१६ के उसले स्वास्थ्य शिक्षा बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१७ के उसले पोषण बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१८ के उसले गर्भवती तथा मुत्केरी आफ्नाहरूको स्वास्थ्य बारे कुरा गर्छ?
- गर्छ गर्दैन
- ६.१९ के उसले कुनै औषधि पनि नहिँछ?
- भाइछ बाइँदैन
- ६.२० माथिको भिषयमा कुरा गर्दा कुनै बिग्रार पनि देखाउँछ?
- देखाउँछ देखाउँदैन

खण्ड ७ पुनर्जनित उपचार

७.१ तपाईंलाई दिसा । पछाला बारे थाहा छ?

थाहा छ

थाहा छैन

प्र.नं. ७.४ सोध्ने

७.१.१ दिसा । पछाला लाग्दा के हुन्छ?
.....
.....

७.२ दिसा पछाला के कारणले लाग्छ तपाईंलाई थाहा छ?

थाहा छ

थाहा छैन

७.२.१ के कारणले लाग्छ?

७.३ बच्चालाई दिसा पछाला लागेकोमा के उपचार गरिन्छ?

.....
.....

७.४ के तपाईंले जीवन जनसारे सुरु भएको छ?

छ

छैन

प्र.नं. ७.५ सोध्ने

७.४.१ तपाईंले यो कसरी थाहा पाउनु भयो?
.....
७.४.२ जीवनजल कसरी बनाउनु पर्छ?
.....
७.४.३ दिसा । पछाला लागेको विटामीलाई जीवनजल
कति कति खाउनु पर्छ?
.....

७.५ तपाईंले औषधी पानी (नून । पिनी । पानी) बारे सुरु भएको छ?

छ

छैन

७.५.१ तपाईंले यो कसरी थाहा पाउनु भयो?
.....
७.५.२ नून । पिनी । पानी, कसरी बनाउनु पर्छ?
.....

७.६ बच्चालाई दिसा । पछाला लागेको बेलाया पानी । मोल खाना साथिक र्थै खाउनु हुन्छ कि हुँदैन?

हुन्छ

हुँदैन

७.६.१ किन खाउनु हुन्न?
.....

७.७ बच्चालाई दिसा । पछाला लागेको बेलाया आमाको दूध खाउनु हुन्छ कि हुँदैन?

हुन्छ

हुँदैन

७.७.१ किन खाउनु हुन्न?
.....

खण्ड ८. खोप

८.१ तपाईंले खोप बारे सुनु भएको छ
 छ छैन
 (खण्ड ९ सोध्ने)

८.२ तपाईंले यो कसरी थाहा पाउनु भयो? -----

८.३ खोपबाट रोकथाम गर्न सकिने रोगहरू कुन कुन हुन्?
 टिटानस लहरे छोकी
 पोसिकी दादुरा
 भ्यागुलेरोग क्षयरोग
 अन्य (खुलाउने)

प्रश्नकर्ता: ५ वर्ष मुनीको केटाकेटीहरू भएका महिलाहरूलाई तलका प्रश्नहरूसोध्ने। अन्यथा खण्ड ९ जाने

८.४ तपाईंले आफ्नो केटाकेटीहरूलाई खोपाउनु भएको छ?
 छ छैन
 (८.५ सोध्ने)

८.४.१ कुन कुन खोप कति कति पटक दिनु भएको छ?

खोपको विवरण (नाम लेख्दा सबभन्दा पछिल्लो (कान्छो) बच्चादेखि लेख्ने)

नाम	बच्चाको उमेर	वि मि वि	डि पी टि	पोलीयो	दादुरा
१			१ २ ३	१ २ ३	
२			१ २ ३	१ २ ३	
३			१ २ ३	१ २ ३	

८.४.२ तपाईंले खोप कहाँबाट दिन लगाउनु भयो?
 अस्पताल खोप टोली
 हेल्थपोष्ट अरु खुलाउने.....

८.५ तपाईंले आफ्नो केटाकेटीहरूलाई किन नखोपाउनु भएको हो?

खण्ड ९. आमाको दुध खाउने

प्रश्नकर्ता: प्र.नं. ४,५ हेरी उपयुक्त कोठामा चिन्ह (✓) लगाउनु होस।

जिवीत बच्चा जन्मेको जिवित बच्चा जन्मेको
 (प्र.नं. ९.१ देखि सोध्ने) (खण्ड १० सोध्ने)

९.१ के तपाईंले सबै भन्दा कान्छो । कान्छी बच्चालाई आफ्नो दुध खाउनु भयो?

हवाए खाइन

९.१.१ तपाइने उक्त बच्चालाई जम्मा कति महिना आफ्नो दुध खाउनु भयो?
 महिना । हाल सम्म खाइरहेको
 ९.१.१.१ तपाइने दुध । ९.१.१.२ तपाईंको उक्त बच्चा
 खाउन छुटाउनुको कारण। कति महिनाको भयो?
 के हो?

 महिना
 प्र.नं. ९.३ प्र.नं. ९.३ सोध्ने

९.२ तपाईंले उक्त बच्चालाई किन आफ्नो दुध नखाउनु भएको?

९.३ बच्चा पाए पछि रूकुमा आउने बाबली किसिमको दुध बच्चालाई खाउनु पर्छ कि फाल्नु पर्छ?

खाउनु पर्छ फाल्नु पर्छ

९.३.१ आफ्नो बच्चालाई खाउनु भयो कि भएन? हवाए <input type="checkbox"/> खाइने <input type="checkbox"/>	९.३.२ किन फाल्नु पर्छ? ----- -----
--	--

९.४ आमाको दुध खाउनले के के फरकहरू हुन्छन्?.....

खण्ड १०. पोषण, खाना र खुराक दे घसन

१०.१ के तपाईंके परिवारमा बच्चाके पासनी गर्ने चलन छ?

छ छैन

प्र.नं. १०.२ सोज्ने

१०.१.१ बच्चा कति महिना पुगेपछि पासनी गर्नु हुन्छ?

१) छोटो..... महिना.....

२) छोटो..... महिना.....

१०.१.२ पासनी गर्नु भन्दा पहिने पनि बच्चालाई कुनै नरम खाना खाउनु हुन्छ कि हुन्न?

हुन्छ हुँदैन

१०.२ बच्चा कति महिना पुगेपछि टोम खाना (दाल भात तरकारी आदी) खाउनु शुरू गर्नु हुन्छ..... महिना।

१०.३ साधारणतया बच्चालाई खाउने खानाहरू के के हुन्?
(सम्बन्धीत कोठामा चिन्हो लगाउने)

खानेकुराहरू	खानेकुराहरू
सबोतम पीठो <input type="checkbox"/>	दुध भात <input type="checkbox"/>
खीर <input type="checkbox"/>	दाल भात <input type="checkbox"/>
गेडागुडी <input type="checkbox"/>	हरियो सागपात <input type="checkbox"/>
फुल <input type="checkbox"/>	खीचडी, जाउलो, घाने <input type="checkbox"/>
फलफुल <input type="checkbox"/>	भारुन भात <input type="checkbox"/>
अन्य खुवाउने	

१०.४ तपाईंके विचारमा बच्चाने सामान्य खाना खान घाने पछि पनि बच्चालाई आमाके दुध खाइ राख्नु पर्छ?

पर्छ पर्दैन थाहा छैन

१०.४.१ कहिलेसम्म आमाके दुध खाइराख्नु पर्छ?महिना	१०.४.२ आमाके दुध खाइराख्नु पर्दैन किन?
--	--

१०.५ तपाईंले बच्चालाई (आमाके दुधके साथ साथै) के अरु कुनै दुध पनि खाउनु हुन्छ?

खाउछु खाउदैन

१०.५.१ के के दुध खाउनु हुन्छ?

१ गार्ईके दुध

२ भैँसके दुध

३ बाखीके दुध

४ बछुाके दुध

५ अरु कुनै

१०.६ गर्भवतीकाके आमालाई घरमा सबै पानने खान बाहेक अरु थप खाना खाउनु पर्छ?

पर्छ पर्दैन थाहा छैन

साधारणतया के के खाना दिनु पर्छ?

१.....

२.....

३.....

१०.७ गर्भवती आमाले खान नहुने कुराहरू (खाना) के के हुन्?

खाने कुराको नाम करण

१.....

२.....

३..... याहा छैन

१०.८ बच्चालाई दुध खाउने गरेकी आमाहरूलाई घरमा सधै पाक्ने खाना बाहेक अरु थाप खाना दिनु पर्छ?

पर्छ पर्दैन याहा छैन

↓

१०.८.१ के के खाना दिनु पर्छ?

१०.९ बच्चालाई दुध खाउने आमाले खान नहुने खावाहरू के के हुन्?

नाम खान नहुने कारण

१.....

२.....

३..... याहा छैन

१०.१० के तपाइले "रुन्ने" अथवा "सुकेनास" भन्ने सयु भएको छ?

सुनेकी छु सुनेकी छैन

↓ ↓

 प्र.नं. १०.११ सोध्ने

प्रश्नकर्ता: कुनोषण भएको बच्चाको तस्वीर महिलालाई देखाएर स्थानीय भाषामा के भन्छन् सोझुहोस त्य स पछि फेरी माथिको प्रश्न दोहोराएर सोझुहोस्।

१०.१०.१ बच्चालाई "रुन्ने" अथवा "सुकेनास" किन लाग्छ?

के तपाईंलाई याहा छ?

याहा छ याहा छैन

↓

१०.१०.१.१ किन लाग्छ?

१०.१०.१.२ बच्चालाई "रुन्ने" अथवा "सुकेनास" लाग्नबाट बचाउन के गर्नु पर्छ के तपाईंलाई याहा छ?

छ छैन

↓

१०.१०.१.२.१ बच्चालाई "सुकेनास" अथवा "रुन्ने" लागेमा के जीबधि गर्नु हुन्छ?

१०.११ के तपाईंले बच्चाको लागि नियो जाउलो वा बच्चाको पचाउन सक्ने अरु कुनै खाना बनाउन जान्नु भएको छ?

छ छैन

↓

१०.११.१. त्यो खाना बनाउन के के कुराहरू मिसाउनु पर्छ?

के करि

१.....

२.....

३.....

प्रश्नकर्ता:- बच्चा भएकै महिनाहस्ताई मात्र सोध्ने तब भने खण्ड ११ मा जाने

१०.१२ के तपाईंके बच्चालाई अर्थात् सम्बन्धी केही समस्या बा रोय छ?

छ छैन

↓

१०.१२.१ के समस्या छ?
.....
.....

१०.१३ के तपाईंके बच्चालाई रतन्धो भएके छ? (राती देख्न नसकिने)

भएके छ भएके छैन

↓

१०.१३.१ कीत जनालाई?
.....

१०.१४ उक्त उत्तरदाताके ६ महिना देखि पाँच बर्ष भित्रका सबै बच्चाहस्ताके पाखुराको माप लिनु होस् र तलके तालिकामा भर्नु होस् यदि की उमेरका एउटा पनि बच्चा छैन भने "बच्चा छैनन्" भन्ने बाकसमा (✓) चिन्हो लगाउनु होस् र खण्ड ११ मा जानु होस्।

बच्चा छैनन्

↓
.. खण्ड ११ मा जाने

बच्चाके नाम	उमेर		लिंग	रातो कुपोषित	पहेँलो केहीमात्र कुपोषित	हरियो रायो
	बर्ष	महिना				

खण्ड ११. रोगको अवस्था र विरामी हुने कारणाहरू

प्रश्नकर्ता:-उपयुक्त बाक्समा (✓) चिन्हो लगाउनु होस्

महिलाको पाँच वर्ष
मुनीक छोरा छोरी छन् महिलाको पाँच वर्ष
मुनीक छोरा छोरी छन्

बच्चाको नाम	उमेर
१.....
२.....
३.....

उत्तरदातालाई धन्यवाद दिइ
अन्तरवार्ता यही टुट्याउने।

११.१ गएको १ वर्ष भित्र (०४२ साल मंसिर १ गते देखि ०४३ साल कार्तिक मसान्त सम्म) के तपाईंका कुनै केटा केटीलाई दिरा पखाला लागेको थियो?

थियो थिएन

११.१.१ कति जनालाई दिरा पखाला लागेको थियो?..... जना
११.१.२ कस कसलाई कति कति पटक दिरा पखाला लागेको थियो?
बच्चाहरूको सि. नं.

	१	२	३
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
११.१.३ दिरा पखालाको औषधि कहाँ गराउनु भयो?			
औषधि नै नगराएको	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
घरेमा	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
हे.पो/अस्पताल	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
प.नि. क्लिनिक	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
धामी/साकी	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
अन्य (खुसाउनु होस)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

११.२ गएको १ वर्ष भित्र (०४२ साल मंसिर १ गतेदेखि ०४३ साल कार्तिक मसान्त सम्म) के तपाईंका कुनै केटा केटीहरूलाई दादुरा आएको थियो?

थियो थिएन

११.२.१ कति जनालाई दादुरा आएको थियो?..... जना
११.२.२ दादुराको औषधि कहाँ गराउनु भयो?

	१	२	३
औषधि नै नगराएको	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
घरेमा	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
हे.पो/अस्पताल	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
प.नि. क्लिनिक	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
धामी । साकी	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
अन्य खुसाउने	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

११.३. आपको १ वर्ष भित्र (०४२ साल मीसर १ गतेदेखि ०४३ साल कार्तिक महान्त सम्म) के तपाईका कुनै केटा केटीलाई जुका चुना परेको थियो?

थियो भिएन

११.३.१ कति जनालाई जुका परेको थियो?.... जना	१	२	३
११.३.२ कस कसलाई कति कति पटक जुका परेको थियो?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
११.३.३	१	२	३
जुकाको औषधि कहाँ गराउनु भयो	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
औषधि नै नगराएको	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
परमा	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
हे.पो/अस्पताल	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
धामी । झाक्री	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
अन्य(खुलाउनु)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

११.४. आपको १ वर्ष भित्र (०४२ साल मीसर १ गतेदेखि ०४३ साल कार्तिक महान्त सम्म) के तपाईका कुनै केटाकेटीलाई लहरे छोकी लागेको थियो?

थियो भिएन

११.४.१ कति जनालाई लहरे छोकी लागेको थियो?..... जना	१	२	३
११.४.२ कस कसलाई कति कति पटक लहरे छोकी आएको थियो?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
११.४.३ लहरे छोकी औषधि कहाँ गराउनु भयो?	१	२	३
औषधि नै नगराएको	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
परमा	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
हे.पो/अस्पताल	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
प.नि. क्लिनिक	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
धामी । झाक्री	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
अन्य(खुलाउनु)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

११.५. आपको १ वर्ष भित्र (०४२ साल मीसर १ गते देखि ०४३ साल कार्तिक महान्त सम्म) के तपाईका कुनै केटा केटीलाई स्वास प्रस्वास सम्बन्धी रोग (जस्तै: नाक बन्द हुने वा सिंगान। पानी बग्ने, घाटी दुख्ने, घ्यार घ्यार गर्ने, कान दुख्ने वा कानबाट पानी आउने, छोकी लाग्ने, सास फेरेको परैबाट मुनीने, छिटो छिटो सास फेर्ने, नाकको पोग हल्लिने र कोखा हाभ्ने) लागेको थियो?

थियो भिएन

११.५.१ कति जनालाई स्वास प्रस्वास सम्बन्धी रोग लागेको थियो?	१	२	३
११.५.२ कस कसलाई कति कति पटक स्वास प्रस्वास सम्बन्धी रोग लागेको थियो?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
११.५.३ स्वास प्रस्वास सम्बन्धी रोगको औषधि कहाँ गराउनु भयो?	१	२	३
औषधि नै नगराएको	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
परमा	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
हे.पो/अस्पताल	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
प.नि. क्लिनिक	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
धामी । झाक्री	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
अन्य(खुलाउने)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

११.६. गएको १ वर्ष भित्र (०४२ साल मंसिर १ गते देखि ०४३ साल कार्तिक मसान्त सम्म) के तपाईंको कुनै केटा केटीहरूलाई भ्यागुने रोग लागेको थियो?

थियो थिएन

११.६.१ कति जनालाई भ्यागुने रोग लागेको थियो?..... जना			
११.६.२ कस कसलाई कति कति पटक भ्यागुने रोग लागेको थियो?			
११.६.३ भ्यागुने रोगको औषधि कहाँ गराउनु भयो?			
	१	२	३
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
औषधि नै नगराएको	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
घरैमा	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
हे.पो/अस्पताल	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
प.नि क्लिनिक	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
धामी । साकी	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
अन्य खुलाउने	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

११.७. गएको १ वर्ष भित्र (०४२ साल मंसिर १ गते देखि ०४३ साल कार्तिक मसान्त सम्म) के तपाईंका केटाकेटीलाई माथि सोधिएका रोगहरू बाहेक अरु कुनै रोग पनि लागेको थियो?

थियो थिएन उत्तरदातालाई धन्यवाद दिइ अन्तरवार्ता यही टुंग्याउने।

११.७.१ के रोग लागेको थियो?			
११.७.२ रोग कति जनालाई लागेको थियो? जनालाई			
११.७.३ कस कसलाई कति कति पटक रोग लागेको थियो ?			
	१	२	३
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
११.७.४ रोगको औषधि कहाँ गराउनु भयो?			
	१	२	३
औषधि नै नगराएको	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
घरैमा	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
हे.पो/अस्पताल	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
प.नि क्लिनिक	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
धामी । साकी	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
अन्य खुलाउने	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

उत्तरदातालाई धन्यवाद दिइ अन्तरवार्ता यही टुंग्याउने।

स्वास्थ्य चौकी सम्वन्धि सुझावहरू ।

मुख्यभूमि वा पत्रिका ।

रे.पो. वन्चार्को नाम :-

पद :-

विभिन्न पदमा वसि हाल सम्म काम गरेको अवधि :-
(वर्षमा)

कस रे.पो. मा काम गरेको अवधि :-
(वर्ष) (महिना)

शैक्षिक योग्यता :-

स्वास्थ्य चौकी सम्वन्धि सुझावहरू ।

१. कस स्वास्थ्य चौकीबाट कति फंवायतलाई सेवा फु्याउने गरेको छ ?
२. यो स्वास्थ्य चौकीले सेवा पु-याउने सबभन्दा टाढाको फंवायत कुन हो र यो कति टाढा पर्दछ ?

फंवायतको नाम :- दुरी :-
(कि मि)

३. कस स्वास्थ्य चौकीको आप-ने भवन छ ?

क केन

४. कस स्वास्थ्य चौकीमा सधना एक दिनमा कति जना विरामीहरू आउंछन् ?
... .. जना !

५. कस भेसमा ५ वर्ष मुन्डिा वन्चार्लाई प्रायःसो लाग्ने रोगहरू के के हुन् ?

१.
२.
३.
४.
५.

६. कस भेसमा मुख्यतया कुन रोगबाट ५ वर्ष मुन्डिा वन्चार्हरू मर्ने गर्दछन् ?

१ दिवा पहाला २ दादुरा

३ धनुष्टकार ४ स्वास प्रस्वास

(टिटानस) (ए, आर, बाई)

५ अन्य :-
(उल्लेख गर्नु)

७. तपासको विवापमा कस स्वास्थ्य चौकीको निमित्त पठाएको औषधीहरू पर्याप्त हुन्छ ?

हुन्छ हुँदैन

८. कस भेसमा कुनै औषधी फल छ ?

क केन

९. कस भेसमा कुनै चिकित्सकहरू कोही छन् ?

छन् केनछन्

१०. कस भेसमा स्वास्थ्य कमिटी छ ?

क केन

↓

१०.१ फसले मदन गर्छ ? गर्छ <input type="checkbox"/> गर्दैन <input type="checkbox"/>

११. के तपासले स्वास्थ्य चौकी वासैक वासिा पनि प्रावटीस गर्नु हुन्छ ?

गर्छ गर्दैन

१२. कस स्वास्थ्य चौकीको निमित्त के कति दस्त-दीवरू बन्न १ त्यस मध्ये कति पुर्ति भएका बन्न ?

पद	दस्त-दी निम्त्यासा	पुर्ति भएका	घाटी
१. हे, व । सि, अ, रे, व,	---	---	---
२. अ, रे, व,	---	---	---
३. अ, न, सी,	---	---	---
४. ग्रा, स्वा, का,	---	---	---
५.	---	---	---
६.	---	---	---
७.	---	---	---
८.	---	---	---

१३. के हाल पुर्ति भएका जनशक्ति पर्याप्त क ?

क केन

१४. के कस स्वास्थ्य चौकीमा भण्डारको निमित्त ठाउँ क ?

क केन

१५. के कस स्वास्थ्य चौकीमा आवश्यक पर्ने औजारहरू क ?

कन्न केनन्न

१६. के कस स्वास्थ्य चौकी सम्वन्धमा केही समस्याहरू क ?

कन्न केनन्न

उत्तरदातालाई धन्यवाद दिई
अन्तमाता दृष्याउने ।

१६.१ तिमि के के क ?

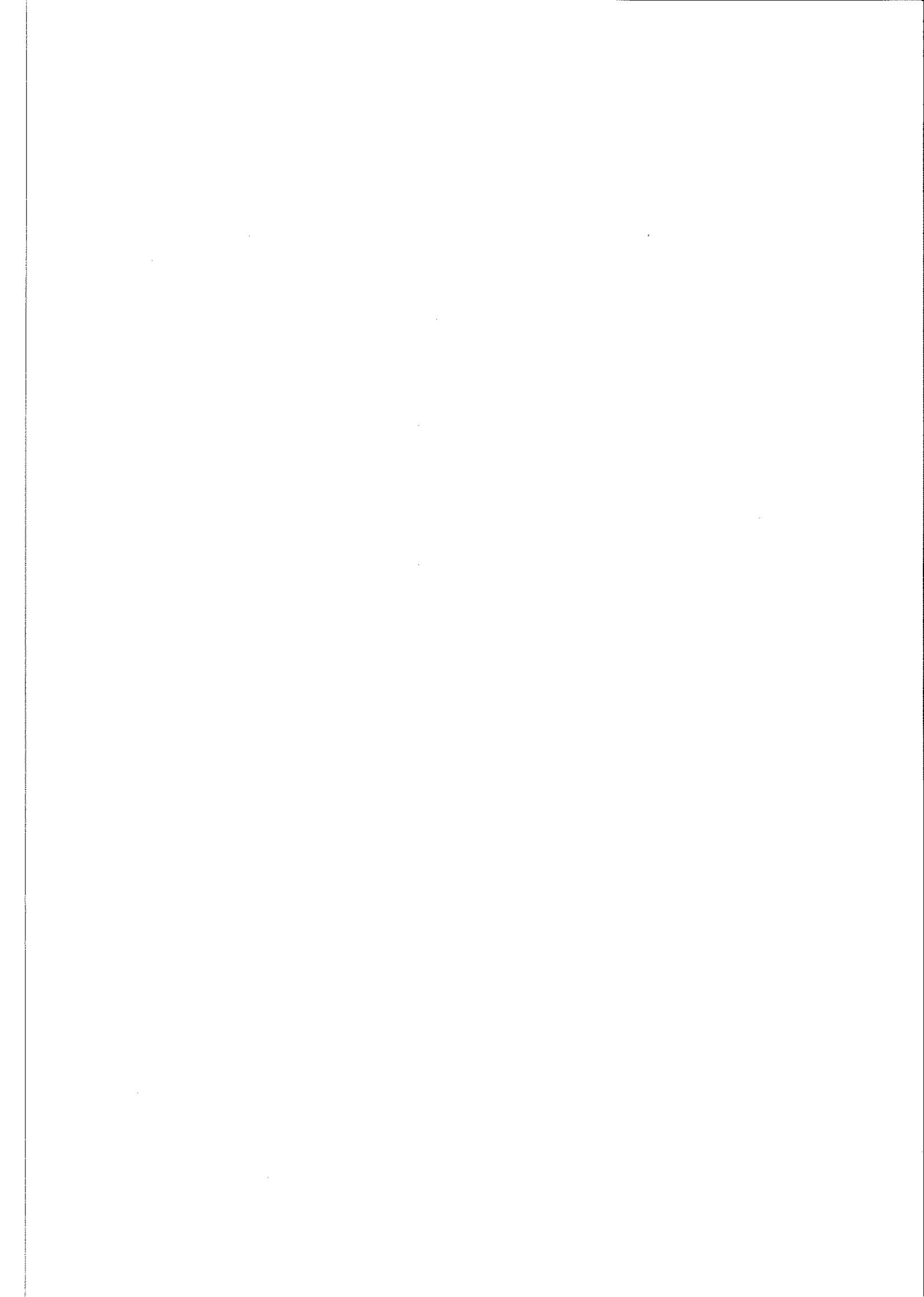
१.

२.

३.

४.

५.



JICA